BC
AD

地図対照

日本史年表

—改訂版—

三省堂編修所編

三省堂

日本史

世紀	時代区分 社会	政治			文化	日本の歩み
	原始社会	原始			縄文式文化	無土器文化
B.C. 50						縄文式文化（漁や狩の生活）
10						
5						
4						
3						
2						弥生式文化（農耕生活・金属器使用）
1				小国家の分立	弥生式文化	
A.D. 1						57 倭の奴王，後漢に遣使
2						107 倭国，後漢に遣使
3	古代社会	古代	大和	氏姓制度	古墳文化	239 卑弥呼，魏に遣使（国土統一の時代）
4						391 倭，百済・新羅を破る
5						478 倭王武，宋に遣使
6		上代	飛鳥	律令政治	貴族文化 （飛鳥）（白鳳）（天平）（弘仁・貞観）（藤原）（平家）	538 仏教伝来 562 任那日本府ほろぶ
7			奈良			604 聖徳太子十七条憲法 645 大化の改新（大化1）
8			平安			701 大宝律令（大宝1） 794 平安京遷都（延暦13）
9				摂関政治		858 良房摂政（天安2） 894 遣唐使廃止（寛平6）
10						939 将門・純友の乱（天慶2）
11				院政		1053 宇治の鳳凰堂なる（天喜1） 1086 院政開始（応徳3）
12						1156・59 保元・平治の乱 1185 守護地頭設置（文治1）

略年表

世紀	時代区分 社会	政治			文化		日本の歩み
13	封建社会（前期）	中世	鎌倉	源氏将軍	武家文化	（鎌倉）	1221 承久の変（承久3）
				北条執権			1232 貞永式目（貞永1）
							1274 文永の役（文永11）
							1281 弘安の役（弘安4）
14			吉野	南北朝		（北山）	1334 建武中興（建武1）
			室町	足利将軍		（東山）	1392 南北朝合一（元中9）
15				戦国		（戦国）	1467 応仁の乱（応仁1）
16							1543 鉄砲伝来（天文12）
							1549 キリスト教伝来（天文18）
		近世	安土桃山	織田豊臣		（安土・桃山）	1573 室町幕府ほろぶ（天正1）
							1600 関ヶ原の戦い（慶長5）
17	同上（後期）		江戸	徳川将軍（幕藩体制）			1603 江戸幕府成立（慶長8）
							1639 鎖国令完成（寛永16）
					町人文化	（元禄）	1687 生類憐みの令（貞享4）
18							1716 享保の改革（享保1）
						（文化文政）	1787 寛政の改革（天明7）
							1792 ラクスマン来航（寛政4）
19							1825 異国船打払令（文政8）
							1841 天保の改革（天保12）
							1853 ペリー来航（嘉永6）
	近代社会	近代・現代	東京	明治	市民文化	（明治）	1867 大政奉還（慶応3）
							1889 帝国憲法発布（明治22）
20							1904 日露戦争（明治37）
				大正		（大正）	1925 普通選挙法（大正14）
				昭和		（昭和）	1931 満州事変（昭和6）
							1941 太平洋戦争（昭和16）
							1946 日本国憲法（昭和21）
							1951 サンフランシスコ条約（昭和26）

地図対照

日本史年表

-改訂版-

三省堂編修所 編

三省堂

編修協力

新宿高校教諭 杉浦武
風巻磊蔵

新宿高校教諭 丸山外史

はしがき

歴史の学習にあたって，年表と地図とを手もとに置くことは，常識となっている。歴史を学ぶとき，まず「だれが (who)，いつ (when)，どこで (where)，何を (what)」ということが問題にされ，この基礎となる作業が進んだのち，はじめて「なぜ (why)」という疑問が解かれるのだということも，だれもが知るところである。「いつ」「どこで」と調べるときの用意に年表があり，地図がある。しかし実際には，複雑多岐にわたる歴史を勉強する時，むづかしい語句，耳慣れない地名や人名などが，あまりにもたくさん出てくるので，いちいち年表や地図に当たって，知識を正確にし，理解を深めるといった仕事をしていないのではないだろうか。どんなことでも，はじめに確かめておけばらくなのに，あと回しにするからめんどうとなる。めんどうで覚えられず，覚えられないでよけいな苦労をする。それでは，いわゆるイタチごっこで，ついには歴史の勉強そのものがめんどうになる。こんなことの起こらぬように，少しでも歴史の学習を便利にするため，年表と地図とをいっしょにし，しかも手軽に，いつでも，ポケットにでも入れておいて使えるようにと考えて作ったのがこの本である。

歴史の学習は単に知識をふやすことではなく，歴史の流れをつかみ，歴史をになう自分を自覚するためであるが，歴史を研究する態度を身につけることもたいせつなのである。自発的，積極的な学習は戦後の教育の特色であるが，歴史の学習の場合も，年表や地図を活用して，この特色を発揮することが何よりも望ましい。この本は，その目的を達成できるよう十分に創意くふうを凝らしたつもりである。三省堂がはじめての歴史年表として「最新世界年表」を世に送ったのは，実に 1909 年(明治 42) のことであり，幸いにして好評を得，修訂増補を重ねて，たくさんの学生・読書人に愛用され，連綿としてその生命を今日まで持続しているが，この伝統を受けて，この本もまず第一に精確を期し，時代の要求を正しく反映させて内容を整備した。また地図も経験と技術を生かして作成したが，紙面の制約もあり，学習に必要にして十分であることを目標として地名や事項を極力整理した。その結果，一応見やすく，便利な

ものにすることができたことを自負したいと思う。

この本を使用されるかたがたは，凡例をよく読まれて，利用効果をあげていただきたいが，歴史の学習に限らず，座右の友として読書のときなどに活用してくだされば幸いである。なお，この本についてお気づきの点がいろいろあろうかと思われるので，御遠慮なく御意見を寄せていただき，より良いものにしてゆきたいと考えている。

このたび発行する「日本史年表地図対照改訂版」と「世界史年表地図対照改訂版」は姉妹編であり，あわせて御利用を願いたい。

この本を作るにあたって，都立新宿高校の杉浦武・丸山外史両先生および風巻磊蔵先生の御協力を得たことを感謝する。

昭和41年8月

三省堂編修所

凡　例

◇年表について◇

○偶数ページには年号，政治・経済・社会の事項，天皇・摂関・将軍等を，奇数ページには文化の事項，朝鮮・中国の王朝名，世界史の事項を記載した。

○摂関・院政・将軍・執権・内閣等の欄は，それぞれが政治上，重要な意味を持った期間に限って設けた。

○欄外左右の肩にあるゴチック(太字)数字は，そのページに取り扱う期間の西暦年である。

○欄外上にそのページに取り扱う期間の要目を示し，本文中には重要事項をゴチックで示して，学習の便をはかった。

○記載事項には，つとめて読み方をつけた。年号，天皇の諡号の読み方は，付録 1，3 にそれぞれ示した。

○太陽暦採用(1873 年)以前は，すべて太陰暦によった。陰暦の 12 月は，陽暦の翌年になることが多いが，あえて改めなかった。

王政復古の大号令は，陰暦では 1867 年 12 月 9 日だが，陽暦では 1868 年 1 月 3 日となる。

○①～⑫で示したものは月，㊀～㊁で示したものは閏月，○で示したものは月不詳のものである。

年月不詳のものは，○このころ　としるした。

○何某死すのあとの(　)内の数字は，没年の数え年であり，必要に応じて心学者とか俳人とかの説明も加えた。

○著書名は「　」で囲み，著者名はその前にしるした。

○建築・絵画・彫刻等の文化財で，今日に残るものは◉で示し，作品で固有の名称を持つものは「　」で囲んだ。作者・所蔵者も明らかなものは示したが，作者は作品のあとの（　）内に記した。

○世界史の欄には，英のように国名などの略記号を用い，地図の下に説明をつけた。

○世界史の欄で 1868 年以降は，月を示した。

◇地図について◇

○収載した地図は両ページにわたるものを含めて224図におよぶが，使用の便をはかって，地図目次を巻頭に作った。

○大体において，上の年表と関係のあるページに掲げた。

○大きさに制限があるが，必要なものはほとんど収載した。地図の表記も学習理解を適確にするため，つとめて簡明にした。

○山城・大和などの国名(近代では府県名)を省略した場合が多いが，その際でも国境(府県境)が示してあるから理解できよう。国名・県名は付録 19 にも示したから，早く記憶されたい。

○東北地方は陸奥・出羽の二国であるが，必要に応じて陸中・陸前などの国境を示した。

◇付録について◇

○系図・職官制表など 21 項を掲載して，学習にそなえた。

◇索引について◇

○人名・事項名の二種類を作って，索引しやすいようにした。索引は整理にも役立ててもらいたい。

目　次

地　図　目　次

年表と地図

原始～B.C. 1　　原始社会，農耕生活の開始

西暦	時代		政治・経済・社会
20000	無土器時代		○このころ日本列島が大陸から孤立
			○打製石器を用いて狩猟漁撈を行なう。火の使用も推定 岩宿(いわじゅく)…群馬県，茂呂(もろ)…東京都，白滝…北海道など全国的に遺跡
7500			
7491ごろ	縄文時代	早期	○夏島貝塚…横須賀市
6443ごろ			○黄島貝塚…岡山県
4000		前期	
			○竪穴住居に住み，集落の定着性が強まる
3145ごろ			○加茂遺跡…千葉県丸山町
3000		中期	
			○大集落が形成され，黒曜石・硬玉などの交易も盛ん。一部に平地(敷石)住居始まる
2563ごろ			○姥山(うばやま)貝塚…市川市
2000		後期	
			○集落が海岸などの平地に降りる。狩猟漁撈の共同化進む
1122ごろ			○検見川(けみがわ)遺跡…千葉県
1000		晩期	
(660)			(日本書紀に辛酉(しんゆう)の年，神武天皇橿原(かしはら)宮に即位とする)
300			○東日本にサケ・マス漁業盛ん。西日本の採集経済は停滞
	弥生時代	前期	○このころ水稲農業始まる。板付(いたづけ)・立屋敷…福岡県，唐古(からこ)…奈良県などに遺跡
			○金属器伝わる
200			
100		中期	
			○倭人，分かれて百余国，楽浪郡に入貢するものあり(漢書) 小国家(部落国家)の発生
B.C.1			



無土器・縄文式文化遺跡

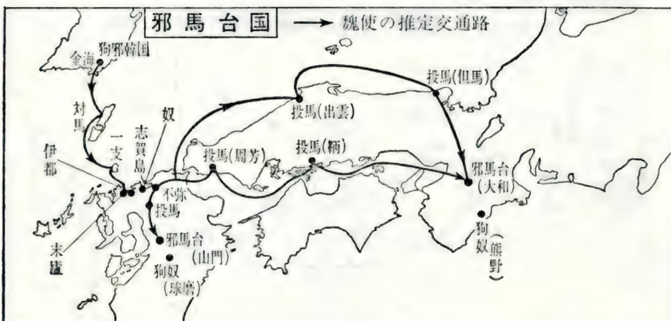
西暦	文　化	朝鮮	中国	世界史
20000				
	○無土器(先縄文)文化			○中石器時代
7500				○新石器時代に入る
(早期)	○縄文式文化　貝塚・縄文式土器・石器・骨角器			
4000 (前期)	玦状(けつじょう)耳飾りが流行 屈葬(くっそう)			○エジプト文明 ○メソポタミア文明 ○インダス文明
3000 (中期)	打製石斧・乳棒状石斧盛んに用いられる 装飾文の発達，原始信仰の遺物			○黄河文明
2000 (後期)	土偶・土版・環状列石…秋田県大湯，抜歯の風習 甕棺(かめかん)葬始まる		殷	2000〕[希]ギリシア人の南下始まる 1500〕[中]このころ殷興る
1000 (晩期)	東日本に亀ケ岡式土器，西日本の土器は簡素化		周 (春秋) 771～403	1200〕[中]このころ周興る 334〕[希]アレクサンダー大王の東征
300	呪術用の遺物ふえる		(戦国) 403～221	
(前期)	○弥生式文化　弥生式土器・木製農具・石庖丁(いしぼうちょう)・高床倉庫・紡錘車(ぼうすいしゃ)			221〕[中]秦の始皇帝，天下統一
200	○鉄器の伝来…農具・工具に使われる 甕棺・箱式石棺・支石墓が行なわれ，副葬品がふえる		秦 前	202〕[中]前漢興る
100 (中期)	○青銅器の伝来　銅鏡・銅剣・銅矛・銅戈(どうか)・銅鐸(どうたく)…宝器・祭器に使われる	楽浪四郡		108〕[中]漢の武帝，朝鮮に楽浪など四郡を置く
	西日本に銅利器文化圏，近畿中央部に銅鐸文化圏	高句麗 三韓	漢	27〕[羅]元首政となる
B.C.1				4〕[羅]キリスト誕生



[中]—中国　[希]—ギリシア　[羅]—ローマ

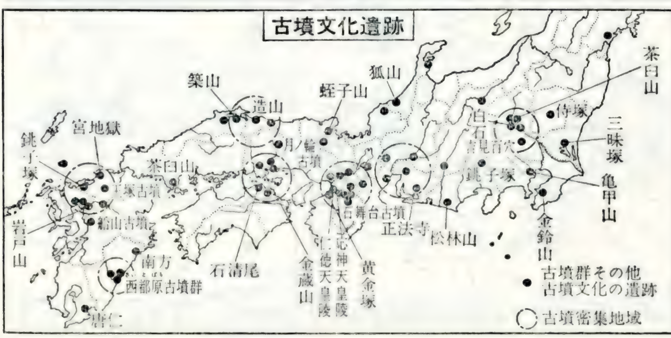
A.D.1～400　小国家分立，邪馬台国，大和朝廷の発展

西暦	時代		政治・経済・社会
A.D.1	弥生時代	中期	○小国家(部落国家)分立
57			**○倭の奴国王，後漢に入貢。光武帝これに印綬を与える**（漢委奴国王金印・後漢書）…建武中元2年
100			
107		後期	○倭の国王帥升ら後漢に遣使，生口160人を安帝に献上（後漢書）…安帝永初元年
146～188			○このころ倭国大いに乱れる(魏志倭人伝)…桓帝・霊帝の間
			○卑弥呼，邪馬台国女王に立てられる
200			○小国家の統合進む
239	古墳時代	(崇神・垂仁・景行)	**○卑弥呼，使を帯方郡に派遣，**郡の太守これを魏都に送り，明帝，卑弥呼を親魏倭王とし金印紫綬を与える…景初3年
247			○卑彌呼，狗奴国王と戦う…正始8年。まもなく卑弥呼死し，壱与女王となる
266			○倭の女王壱与，晋に使を送る…武帝泰始2年（この後147年間，中国史籍に倭の記事が見えない）
300			
			○このころ大和朝廷，日本の大部分を統一
346			○倭兵新羅の風島を襲い，王城をかこむ（三国史記）
366～372			○百済初めて日本に遣使，このころまでに任那成立
391		(応神)	**○倭軍海を渡り，百済・新羅を破り高句麗と戦う**(好太王碑)
400			○高句麗，新羅を救い倭軍を破り，任那に侵入



中—中国

西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
A.D.1（中期） 100	○弥生式文化　農耕儀礼・高床式住居，階級分化起こる 水稲耕作は，東北地方南部まで広まる	三韓（弁韓・馬韓・辰韓） 楽浪・帯方 高句麗	新 後漢	8〕[中]王莽(おうもう)の新興る 25〕[中]後漢興る 67〕[中]このころ仏教中国に伝わる 79〕[羅]ポンペイ埋まる
（後期） 200	灌漑施設発達（登呂遺跡…静岡県） 氏ごとに神を祭る。巫女(みこ)・卜骨で神意を聞く			117〕[羅]ローマ帝国領土最大となる 140〕[印]カニシカ王即位 166〕[中]ローマ皇帝の使者，中国にきたる
300	○古墳文化　高塚式古墳（円墳・方墳・**前方後円墳**・上円下方墳）・埴輪(はにわ)・仿製鏡・土師器(はじき)・勾玉・剱		三国（魏・呉・蜀） 西晋	208〕[中]赤壁の戦い 220〕[中]後漢滅ぶ 226〕[斯]ササン朝興る 280〕[中]晋，中国を統一
369 400	○百済王，倭王のため鉄の七支刀(ななさやのたち)を造る。いま石上(いそのかみ)神宮…奈良県にある（日本書紀に神功皇后 52 年百済の使が七支刀などを献ずるとある） このころ前方後円墳盛ん，動物埴輪・人物埴輪の製作盛ん	百済 新羅	317 東晋 五胡十六国 386 北魏	313〕[鮮]高句麗，楽浪・帯方2郡を滅ぼす ミラノ勅令 320〕[印]グプタ朝興る [鮮]このころ百済・新羅統一国家を形成 375〕[欧]ゲルマン民族大移動始まる 395〕[羅]帝国，東西に分裂



西暦	時代	政治・経済・社会	天皇
401	大和時代(古墳時代)		仁徳(古事記注干支による推定)—427 履中—432 反正—437 允恭—454 安康・雄略—489 清寧・顕宗 (宋書) 讃(応神・仁徳)—珍(反正)—済(允恭)—興(安康)—武(雄略) (日本書紀) 履中・反正・允恭—安康・雄略—清寧・顕宗・仁賢・武烈
404		○倭軍，帯方郡地方に高句麗と戦う（好太王碑）	
413		○倭王讃(さん)，東晋に遣使貢献…安帝義熙(ぎき)9年(晋書)	
421		○倭王讃，宋に遣使…武帝永初2年（宋書）	
425		○倭王讃，司馬曹達を宋に遣わす…文帝元嘉2年	
430		○倭王，宋に遣使…文帝元嘉7年	
438		○倭王珍(ちん)，宋に遣使，宋より安東将軍の号を受ける…文帝元嘉15年	
443		○倭王済(せい)，宋に遣使…文帝元嘉20年	
451		○倭王済，宋に遣使，六国諸軍事安東将軍の号を受ける…文帝元嘉28年	
460		○倭王，宋に遣使…孝武帝大明4年	
462		○倭王興(こう)，宋に遣使…孝武帝大明6年	
463		○吉備田狭(きびのたさ)，任那(みまな)で反乱（紀）	
		このころ帰化人を重用，集中化が行なわれる(紀)	
477		○倭王，宋に遣使…順帝昇明元年	
478		○倭王武，宋に遣使，安東大将軍の号を受ける…順帝昇明2年	
479		○斉の高帝，武を鎮東大将軍とする…建元元年（南斉書）	
487		○紀生磐(きのおいわ)任那によって高句麗に通じ反乱，百済と戦って敗れる（紀）	
500			



3世紀の東アジア



5世紀の東アジア

西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
401	○大陸文化の伝来（儒教・易・暦・医・天文・養蚕・機織・裁縫など）	百済　新羅　高句麗	北魏（北朝）　東晋	408〕 欧バンダル人イベリア半島に入る 412〕 鮮高句麗好太王没す 415〕 欧西ゴート王国，スペインに建設（～711）
	◉応神天皇陵			
	◉仁徳天皇陵（百舌鳥耳原中陵 もずみみはらのなかのみささぎ）		420 宋（南朝）	420〕 中東晋滅び，宋興る 427〕 中陶淵明没す
438 ?	◉船山古墳（熊本県）出土大刀銘（日本最古の漢字）			439〕 中北魏江北を統一，南北朝時代始まる（～589）
451				
463	○百済から陶工・画工きたる（紀）			460〕 中北魏，雲岡（うんこう）の石窟を掘り始める
470	○呉国から織縫の工女きたる（紀）			
	○須恵器（すえき）・馬具・金銀細工起こる			476〕 羅西ローマ帝国滅ぶ
478	○豊受（とようけ）大神を丹波から伊勢の山田に迎えて祭る（紀）		479 斉	479〕 中宋滅び，斉興る
				485〕 中北魏，均田法を施行 486〕 欧フランク王国建設
493	○高句麗の皮革工きたり，皮をなめす方法を伝える（紀）			493〕 中北魏，洛陽遷都
500				



神武・日本武尊東征伝説地図

西暦	時代	政 治 ・ 経 済 ・ 社 会	天 皇
501	大和時代（古墳時代）		武烈
502		○梁の武帝，倭王武に征東大将軍の号を与える（梁書）	
507		○男大迹王（おおどのおう）（継体天皇），大伴金村らに迎えられて即位	507
512		⑫大伴金村，任那（みまな）の4県を百済に与える	継体
513		⑪百済に己汶（こもん）帯沙（たさ）を与える	
527		⑥近江毛野（おうみのけの）任那の失地回復に向かう。筑紫国造磐井（いわい）反してこれをさえぎる	
528		⑪物部麁鹿火（もののべのあらかひ）磐井を討滅	531
532		○任那の金官国，新羅に降伏	安閑535
537		⑩大伴磐・同狭手彦（さてひこ）を遣わして任那を救援	宣化539
540		○帰化人の戸籍を作る	
541		○百済で任那復興の会議を行なう	
547		④高句麗南下し，百済，日本の援兵を請う	欽明
554		⑤百済に援兵を送る　⑫百済の聖明王，新羅と戦って戦死	
562		①任那の日本府，新羅に滅ぼされる　⑦紀男麻呂（きのおまろ）新羅を討つ　⑧大伴狭手彦，高句麗を討つ	571
571		④欽明天皇崩ず(63)　新羅征討任那再興を遺詔	敏達
572		④蘇我馬子大臣に，物部守屋大連になる	585
587		⑦蘇我馬子，物部守屋を滅ぼす	用明587
592		⑪蘇我馬子，崇峻（すしゅん）天皇を殺す　⑫推古天皇即位	崇峻592

6世紀の朝鮮

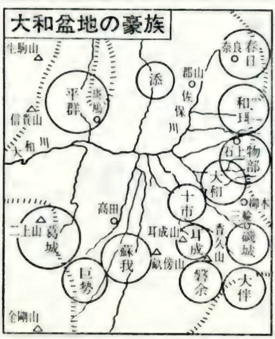


任那の興亡

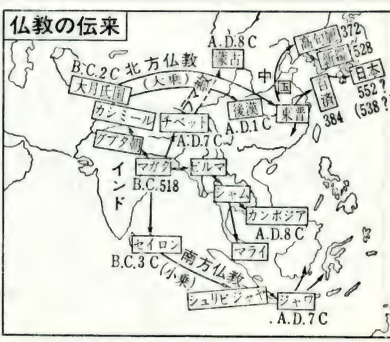


西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
501				502〕[中]斉滅び，梁興る
503	◉隅田(すだ)八幡宮(和歌山県)，人物画像鏡銘		北魏	
513	⑥百済，五経博士段楊爾を貢す			
				523〕[鮮]百済の聖明王即位
522	○南梁の人司馬達止(しばたつと)来朝，仏教を信仰	百済　新羅　高句麗	梁	529〕[東羅]「ユスチニアヌス法典」成る
				531〕[中]梁の昭明太子(文選の編者)没す
538	⑩仏教公伝，百済聖明王仏像などを伝える(上宮聖徳法王帝説)		西魏　東魏	534〕[中]北魏滅ぶ 535〕[中]東魏・西魏建国
545	⑨百済，天皇のため丈六仏像を造る			
552	⑩仏教伝わり，仏像礼拝の可否につき論争起こる(紀)			550〕[中]東魏滅び，北斉興る
554	②百済から医・易・暦等の博士来朝		北周　北斉	556〕[中]西魏滅び，北周興る 557〕[中]梁滅び，陳興る
				570〕[サ]このころマホメット生まる
577	⑪百済，経論・僧・仏工等を献上			577〕[中]北周，北斉を滅ぼす
579	⑩新羅，仏像を献ず			
584	○蘇我馬子，塔を大野丘北に起こす		陳	581〕[中]北周滅び，隋立つ
585	③疫病流行し，物部守屋ら仏像を難波の堀江に投ず			
588	○百済，仏舎利・鑪盤博士・瓦博士・画工を献ず。法興寺着工		隋	589〕[中]隋，中国を統一
	◉このころ，竹原古墳壁画			

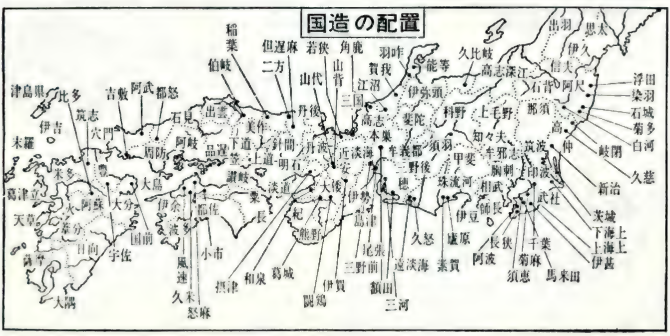
大和盆地の豪族



仏教の伝来



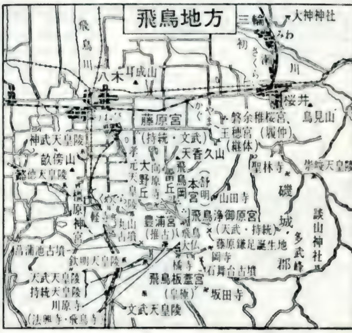
西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	摂政	大臣
593	推古天皇1	④厩戸(うまやど)皇子，皇太子となり摂政	推古(女帝)	聖徳太子	蘇我馬子
594	〃 2	②仏教興隆の詔			
600	〃 8	○境部臣ら，万余の軍を率いて新羅を討つ ○倭王阿毎多利思比孤(あめのたりしひこ)，隋に遣使…文帝開皇20年(隋書)			
601	〃 9	○讖緯(しんい)説による神武元年起算点(辛酉(しんゆう))			
602	〃 10	②来目(くめ)皇子を撃新羅将軍に任命			
603	〃 11	②来目皇子，筑紫に薨ず　⑫**冠位十二階**制定			
604	〃 12	④**十七条憲法**を作る			
607	〃 15	②敬神の詔　⑦**小野妹子(おののいもこ)を隋に派遣**			
608	〃 16	④妹子帰朝　隋使裴世清(はいせいせい)来朝　⑨妹子再び入隋，留学生・学問僧ら随行			
609	〃 17	⑨妹子帰朝			
613	〃 21	⑪難波より京に至る大道を開く			
614	〃 22	⑥犬上御田鍬(いぬがみのみたすき)らを隋に派遣			
615	〃 23	⑦御田鍬，百済使を伴って帰朝			
622	〃 30	②太子斑鳩(いかるが)宮に没す　磯長陵に葬る		622	
624	〃 32	⑩蘇我馬子，天皇に葛城県(かつらぎのあがた)を請い許されず			626
628	〃 36	③推古天皇崩ず(73)	628		
630	舒明天皇2	⑧遣唐使犬上御田鍬らを派遣　⑩飛鳥岡本宮に移る	舒明		〃蝦夷
632	〃 4	⑩御田鍬，唐使高表仁(こうひょうじん)とともに帰朝			
633	〃 5	①唐使帰国			
636	〃 8	⑥岡本宮焼失，田中宮に移る			
642	皇極天皇1	①皇極天皇即位　○蝦夷(えみし)墓を作り陵という	641		
643	〃 2	⑩蝦夷，紫冠を入鹿(いるか)に授ける　⑪入鹿，山背大兄王(やましろのおおえのおう)を殺す	皇極(女帝)		
644	〃 3	○中臣鎌足，中大兄皇子と蘇我氏打倒をはかる			



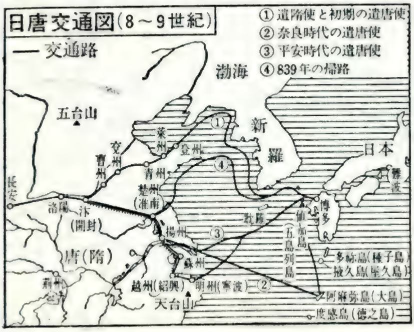
国造の配置

西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
593	○四天王寺を難波に造る			
595	⑤高句麗僧慧慈帰化，太子これに師事			
596	⑪法興寺(飛鳥寺)成る			
				―英七王国時代始まる
602	⑩百済僧観勒来朝，暦本天文地理書を献上		隋	
604	①初めて暦日を使用(元嘉暦)	百済　新羅　高句麗		605〕中隋，大運河の起工
607	○**法隆寺を建つ**（法隆寺金堂薬師如来光背銘）			606〕印ハルシャ王，北インドを統一
610	③高句麗僧曇徴来朝，紙墨絵具の製法を伝える			610〕サこのころイスラム教成立
611	①聖徳太子「勝鬘経義疏」成る			
613	⑨太子「維摩経義疏」成る			
615	④太子「法華経義疏」成る			618〕中隋滅び，唐興る
620	⑫**「天皇記・国記・臣連伴造国造百八十部并公民等本記」を選録**			
622	○法輪寺建立			622〕サマホメット，メジナに移る(ヘジラ)
	○中宮寺天寿国曼荼羅繡帳成る			
623	③法隆寺金堂釈迦三尊像を作る			624〕中唐，均田制・租庸調制を定める
625	①高句麗僧恵灌，三論宗を伝える		唐	626〕中唐，太宗即位
632	⑩留学僧旻ら帰朝			629〕中玄奘インド旅行(〜645)
634	③豊浦寺塔建立　⑧彗星記録さる			
638	○法起寺建立			
640	⑤僧恵隠宮中に無量寿経を説く			
	⑩留学生高向玄理・南淵請安ら帰朝			641〕サアレクサンドリアの大図書館焼失
642	⑨百済大寺(大安寺)の造営			642〕断ササン朝滅ぶ





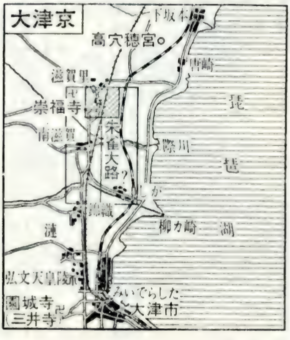
西暦	年号	政治・経済・社会	天皇
645	大化 1	⑥**蘇我氏滅亡**。孝徳天皇即位，皇太子中大兄皇子，左大臣阿倍内麻呂，右大臣蘇我倉山田石川麻呂，内臣中臣鎌足，国博士僧旻・高向玄理(たかむこのくろまろ)。年号の初め ⑫難波豊碕(とよさき)宮に遷都	孝徳
646	〃 2	①**大化改新の詔**　⑨高向玄理を新羅に派遣	
647	〃 3	○七色十三階の冠位制定　○渟足(ぬたり)柵を作る	
648	〃 4	○磐舟(いわふね)柵を修理し，柵戸を置く	
649	〃 5	②冠位十九階を制定，八省百官設置　③石川麻呂讒死	
650	白雉 1	②穴戸国司が白雉を献じた瑞祥により改元	
652	〃 3	①班田終わる(第1回)	
653	〃 4	⑤遣唐使を派遣　⑥僧旻死す ○皇太子，上皇・皇后らと飛鳥河辺行宮に移る	
654	〃 5	②遣唐押使高向玄理，唐で死ぬ　⑩天皇，豊碕宮に崩ず(59)	
655	斉明天皇 1	①皇極天皇重祚(ちょうそ)，皇太子中大兄皇子	斉明(女帝)
656	〃 2	○飛鳥岡本宮完成	
658	〃 4	④阿倍比羅夫(あべのひらふ)，蝦夷(えぞ)および粛慎(みしはせ)を討つ ⑪有馬皇子反して殺される	
659	〃 5	③阿倍比羅夫，蝦夷を平定。羊蹄(シリベシ)に郡領を置く	
660	〃 6	③阿倍比羅夫，再び粛慎を討つ ⑩百済，唐・新羅に攻められ，救援を日本に請う	
661	〃 7	①天皇・皇太子西征　⑦天皇，筑紫朝倉宮に崩ず(68)	
662	天智天皇 1	③高句麗救援を請う　⑤阿曇比羅夫(あずみのひらふ)百済王子豊璋を百済に送り，王位を継がせる	天智
663	〃 2	⑧**白村江(はくすきのえ)の戦い**。わが軍，唐の水軍に敗北	
664	〃 3	②冠位二十六階制定　⑤唐，劉仁軌(りゅうじんき)の使きたる ○防人・烽を対馬・壱岐・筑紫に置き，水城(みずき)を築く	
665	〃 4	②帰化の百済人を近江に置く　⑧長門筑紫に築城 ⑨唐使劉徳高ら来朝　⑫唐に遣使	
666	〃 5	⑩帰化の百済人を東国に置く	
667	〃 6	③近江大津宮に遷都	
668	〃 7	⑦越国(こしのくに)石油献上　○**近江令制定**	
669	〃 8	⑩中臣鎌足に藤原賜姓，鎌足死す(56)	
670	〃 9	②**庚午年籍**(こうごねんじゃく)を作る	
671	〃 10	⑩大海人皇子出家，吉野に入る　⑫天智天皇崩ず(46)	





西暦	文　化	朝鮮	中国	世　界　史
645	⑥天皇記・国記など焼失	百済 新羅 高句麗	唐	645〕 [中]玄奘(げんじょう)インド旅行から帰る
	⑧仏教興隆の詔			
646	○道登，山城宇治橋を造る			
648	②阿部倉梯麻呂(くらはしまろ)(内麻呂)，仏像4軀を四天王寺の塔に安置			
650	○山口直大口ら，法隆寺金堂四天王像を作る			650〕 [中]唐とサラセンの通商始まる
				651〕 [中]唐で永徽律令制定
653	○道昭，玄奘について法相(ほっそう)宗を伝える			
655	○川原寺(弘福寺)創建			
657	○中臣鎌足，山階(やましな)陶原(すえはら)に維摩会(ゆいまえ)を行なう			
658	○智踰(ちゆ)，指南車を作る			
659	⑦京内の諸寺に，盂蘭盆(うらぼん)経を講ぜしめる			
660	⑤中大兄皇子，漏刻(水時計)を作る　○道昭(どうしょう)帰朝			
	○額田女王(ぬかだのおおきみ)(万葉歌人)このころ活躍			661〕 [サ]ウマイヤ朝成立(〜750)
				663〕 [鮮]百済滅亡
666	◉丙寅年銘弥勒(みろく)菩薩半跏像(野中寺)			
668	①近江志賀に崇福寺創建　寺地から銅鐸出土　◉船首王後(ふなのおびとおうご)墓誌			668〕 [鮮]高句麗滅亡
669	○中臣鎌足，山階(やましな)寺(興福寺)創建			
670	④法隆寺火災　○水碓を作り冶鉄			
671	④漏刻により鐘鼓を打ち時刻報知			671〕 [中]義浄，インドに入る



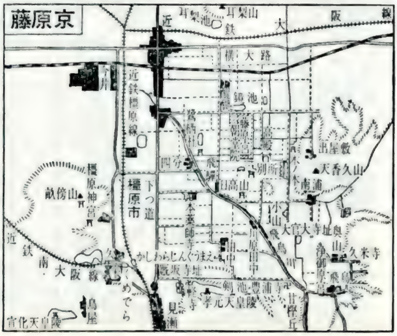


[中]—中国　[サ]—サラセン　[鮮]—朝鮮

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇
672	弘文天皇 1	⑥**壬申の乱**。大海人皇子，大友皇子(弘文天皇 25)を近江に滅ぼす	弘文
673	天武天皇 1	②大海人皇子(天武天皇)，飛鳥浄御原宮に即位	
674	〃 2	③対馬初めて白銀を献ずる	
675	〃 3	②諸氏の部曲廃止，親王以下の山林を収公　④殺生肉食を禁ずる	
676	〃 4	⑩新羅に遣使　⑪新羅と粛慎の使者来朝	天
677	〃 5	②多祢島人来朝	
678	〃 6		
679	〃 7		
680	〃 8	④官寺の制を定める	
681	〃 9	②草壁皇子を皇太子とする。**律令制定**　③帝紀旧事を記す　④親王から庶人に至る服色を定める	
682	〃 10	③食封整理　⑦隼人来朝　⑧儀礼言語の制を定める	武
683	〃 11	②大津皇子初めて政を聞く　③僧正・僧都・律師を任命　⑫諸国の境界を定める	
684	〃 12	⑩**八色の姓**を制定	
685	〃 13	①爵位六十階を制定　⑪新羅朝貢	
686	朱鳥 1	⑦建元　⑨天武天皇崩ず(65)　⑩大津皇子，謀反によって自決(24)	
687	持統天皇 1	③帰化の高麗・新羅人を関東に置く　⑨新羅王子来朝	
688	〃 2		
689	〃 3	④草壁皇子没す(28)　⑥撰善言司を置く。令22巻を諸司に分ける	持
690	〃 4	①皇后即位(持統天皇)　⑦高市皇子を太政大臣とす　⑪初めて元嘉暦と儀鳳暦を併用	
691	〃 5	④奴婢の制を定める　⑧18氏に纂記を上進させる	
692	〃 6		
693	〃 7	①百姓は黄衣，奴婢は黒衣着用を令す　③諸国に桑紵梨栗蕪菁などを植えさす	統
694	〃 8	⑫**藤原宮に遷都**	(女帝)
695	〃 9	③新羅王子来朝	
696	〃 10	⑦高市皇子没す(43)	
697	文武天皇 1	⑧持統天皇譲位(太上天皇の始め)，文武天皇軽皇子即位。藤原不比等の女宮子入内	文武

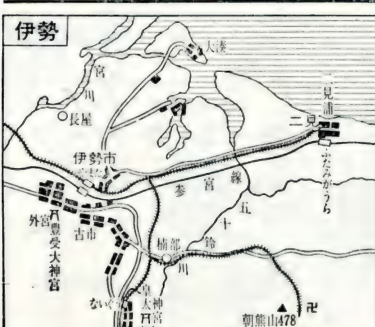


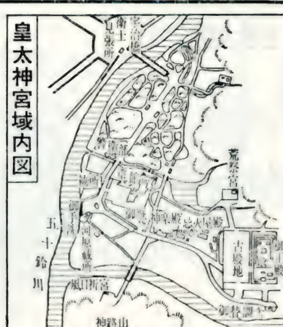
壬申の乱



藤原京

西暦	文　　化	朝鮮	中国	世　界　史
672				
673	⑫高市大寺（大官大寺・大安寺）建立			
674	⑧忍壁皇子に石上神宮の神宝を磨かす			674〕[サ]コンスタンチノープル攻撃
675	①占星台を造る			
676	**⑪諸国に金光明経・仁王経を講説**			676〕[鮮]唐，半島を放棄し，新羅が統一
680	⑪皇后の病気平癒のため，薬師寺建立を発願	新		
682	③新字44巻を選ばせる			
	④男女すべてに結髪，乗馬させる		唐	
683	⑦鏡女王（万葉歌人）没す			
685	③諸国の家ごとに仏舎を造らせ，経と仏像を置かせる。山田寺の丈六仏像開眼（興福寺仏頭）			
	⑨伊勢神宮の式年遷宮制を定める			
	◉法起寺三重塔			
686	◉長谷寺銅造千仏多宝塔			
	◉金剛場陀羅尼経（小川氏蔵）			
689	①越の蝦夷の沙門に仏像・仏具を与える	羅		690〕[中]唐の則天武后，国号を周と改める（～705）
692	⑤出雲鰐淵寺観音像成る（在銘）			
	⑨天下の諸寺545を数える		（周）	
				695～716〕[東羅]無政府状態
696	○柿本人麻呂高市皇子の挽歌を作る			
697	○続日本紀「宣命」の初め			697〕[サ]東ローマと戦う
	○このころ法隆寺壁画			

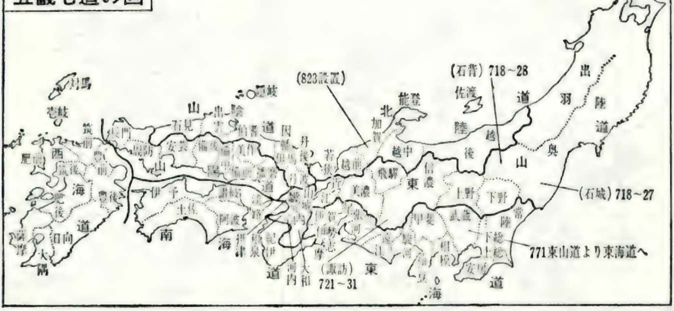




[サ]―サラセン　[中]―中国　[鮮]―朝鮮　[東羅]―東ローマ

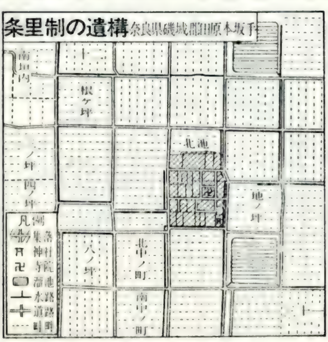
西暦	年号	政治・経済・社会	天皇
698	文武天皇 2		文武
699	〃 3	⑦多祢(たね)・夜久(やく)・菴美(あまみ)・度感(とかん)などの島人来貢	
700	〃 4	⑥刑部(おさかべ)親王・藤原不比等ら律令の選定にしたがう	
701	大宝 1	③対馬から金を献じ改元　⑧**大宝律令**完成	
702	〃 2	③度量をわかつ　⑥遣唐使粟田真人(あわたのまひと)出発　⑩律令をわかつ　⑫木曽路を開く。持統上皇崩ず(58)	
703	〃 3	⑦庚午年籍(こうごねんじゃく)を籍帳の定めとする	
704	慶雲 1	④諸国の印を鋳る　⑤改元　⑦粟田真人帰朝	
705	〃 2	④中納言を置く　⑤刑部親王没す	
706	〃 3	③王公諸臣の山沢占有を禁止	
707	〃 4	⑥文武天皇崩ず(25)　⑦天皇の母阿閇(あへ)皇女即位	
708	和銅 1	①武蔵国銅を献じ改元　⑤銀銭鋳造　⑧銅銭鋳造（和同開珎）　⑨出羽郡を設置	元明（女帝）
709	〃 2	③蝦夷を討つ　⑧銀銭廃止	
710	〃 3	③奈良(**平城京**)遷都	
711	〃 4	⑫蓄銭叙位(ちくせんじょい)の法を定める	
712	〃 5	⑨出羽国を置く　⑫調庸の銭納を認める	
713	〃 6	④丹後・美作(みまさか)・大隅(おおすみ)の3国を置く	
714	〃 7	⑥首(おびと)皇子立太子	
715	霊亀 1	⑦知太政官事(ちだじょうかんじ)穂積親王没す　⑨氷高(ひだか)内親王即位・改元	元正（女帝）
716	〃 2	④和泉監(いずみのげん)を置く　⑤駿河など7国の高麗人1799人を武蔵国に移し，高麗(こま)郡を置く	
717	養老 1	③遣唐使出発　押使多治比県守(たじひのあがたもり)　⑪改元	
718	〃 2	⑤能登(のと)・安房・石城(いわき)・石背(いわしろ)4国を置く　○この年，藤原不比等ら**養老律令**を選修	
719	〃 3	⑦初めて按察使(あぜち)を置く	
720	〃 4	③大伴旅人(おおとものたびと)隼人(はやと)を征討　⑧藤原不比等死す(62)	
721	〃 5	⑥諏方(すわ)国を置く　⑫元明上皇崩ず(61)	
722	〃 6	㈣良田100万町の開墾を計画　⑪女医博士を置く	
723	〃 7	④**三世一身の法**を定める　⑪奴婢の口分田を12歳以上に改める	
724	神亀 1	②即位・改元　④藤原宇合(うまかい)蝦夷征討　⑪五位以上の貴族および富者に瓦葺・丹塗を許す　○多賀城を造る	聖武
725	〃 2		

五畿七道の図

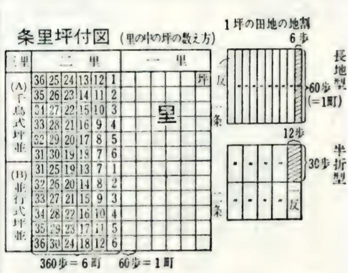


西暦	文　　化	朝鮮	中国	世　界　史
698	⑩薬師寺の造立終わる　◉妙心寺銅鐘	新羅	唐	698］㊥渤海の建国（～926）
699	⑤役小角（えんのおづぬ）を伊豆に流す			
700	③道昭死す(72)（火葬の始め）			
702	○大官大寺の九重塔・金堂を造る			
703	⑨僧法蓮の医術を賞する			
706	③法起寺三重塔の露盤を造る			
707	◉文禰麻呂墓誌骨壺　◉威奈大村墓誌骨壺　◉王勃詩序（正倉院）			
708	○このころ法隆寺を再建 ◉下道国勝母夫人墓誌骨壺			
710	③山階寺を奈良に移し，興福寺と改称			
711	◉法隆寺五重塔塑像・中門仁王像 ◉上野多胡郡碑　○春日神社創建か			711］㊚西ゴート王国を滅ぼす
712	①太安麻呂（おおのやすまろ）「古事記」を選上する ⑦21ケ国に綾錦を織らせる			712］㊥唐の玄宗即位（開元の治）（～756）
713	⑤諸国に「風土記」を選上させる。国郡郷名に好字を使用させる			
714	②紀清人（きのきよひと）国史を編修			714］㊪フランク宮宰チャールス＝マルテル実権をにぎる（～741）
715	○「播磨風土記」この年以前に成る			
716	⑤元興寺を奈良に移す			
718	○薬師寺を奈良に移す			
719	⑫婦女の衣服の様式を定める			
720	⑤舎人（とねり）親王ら「日本書紀」を選上			
721	⑧興福寺北円堂を造る　⑨薬師寺東院堂を造る　◉聖観音			722］㊥唐，傭兵制を採用
723	②僧満誓（まんせい）筑紫観世音寺を創建 ⑦太安麻呂死す ○興福寺に悲田・施薬両院を造る			
725	⑨3000人を出家入道させ，天下の災異を除かせる			

条里制の遺構　奈良県磯城郡田原本坂手

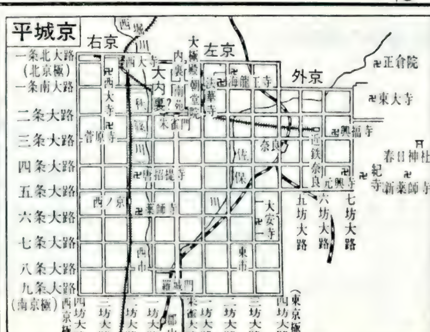


条里坪付図（里の中の坪の数え方）



西暦	年号	政治・経済・社会	天皇
726	神亀 3		聖武
727	〃 4	②国司の治績を査察する　⑨渤海使，出羽に来着　⑫渤海使入京	
728	〃 5	①渤海使高斉徳ら朝貢	
729	天平 1	②左大臣**長屋王**，謀反の密告で自決(54)　⑧改元。藤原光明子を皇后とする(**光明皇后**)	
730	〃 2	④皇后宮職に施薬院を置く　⑨諸国の防人を停止，殺生を禁断する	
731	〃 3	③諏方国を信濃に併合　⑧参議を置く　⑪畿内総管・諸道鎮撫使を置く	
732	〃 4	⑤新羅の入朝を3年に1度とする　⑧東海・東山・山陰・西海4道に節度使を置く	
733	〃 5	①橘三千代(光明皇后の母)死す　④遣唐使多治比広成出発	
734	〃 6	①藤原武智麻呂，右大臣となる	
735	〃 7	③遣唐使帰る　⑪知太政官事舎人親王没す(60)	
736	〃 8	⑪葛城王に橘の姓を賜う(**橘諸兄**)	
737	〃 9	①陸奥・出羽間の道路開通　○天然痘流行し，藤原不比等の4子相ついで死す（武智麻呂58・房前57・宇合44・麻呂43）　⑫大倭を大養徳と改める	
738	〃 10	①橘諸兄右大臣となる　⑩巡察使を諸国に派遣	
739	〃 11		
740	〃 12	①大伴犬養を遣渤海大使に任命　⑨～⑪大宰少弐**藤原広嗣の乱**，玄昉・吉備真備の排除を求め，挙兵して討たれる　⑫恭仁京遷都	
741	〃 13	⑧平城の2市を恭仁京に移す	
742	〃 14	⑧近江紫香楽に離宮を造る　⑩巡察使を諸国に派遣	
743	〃 15	②佐渡を越後に併合　⑤**墾田永代私有令**を定める	
744	〃 16	②難波京に遷都	
745	〃 17	⑤平城京に還都　⑪玄昉を筑紫に左遷	
746	〃 18	⑤諸寺の田園買収を禁止　⑥玄昉死す	
747	〃 19	③大養徳を大倭に改める	
748	〃 20	④元正上皇崩ず(69)，佐保山陵に火葬	
749	天平感宝 1	②陸奥国より黄金を献上　④改元　⑦即位，改元	孝謙(女帝)
	天平勝宝 1	⑨紫微中台の官位を定める	
750	〃 2	⑨藤原清河，遣唐大使に任ぜられる	



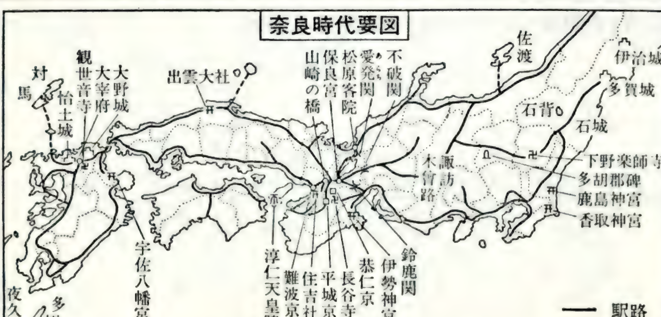


西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
726	○行基山崎の橋を造る			726〕 東羅 レオ3世，偶像崇拝を禁止
727	②長谷寺建立			
728	⑩義淵死す　⑫金光明経を諸国にわかつ　◉長屋王発願大般若経			
729	○道慈律師，大安寺を造営 ◉白銅柄香炉(正倉院南倉)			
730	③薬師寺東塔建立　④興福寺五重塔建立・美努岡萬墓誌			
731	⑨大伴旅人死す(67)　○海龍王寺建立　○皇后宮職で写経を始める	新		732〕 欧 フランク王国サラセンを破る（ツールポワチェーの戦い）
733	②「出雲風土記」成る　○良辨のため法華堂(三月堂)を建立 ⑥山上憶良死す(74)			
734	○興福寺の十大弟子・八部衆像成る			
735	④吉備真備・玄昉帰朝			
736	⑤天竺僧菩提僊那・唐僧道璿ら来朝，林邑僧仏哲ら林邑楽を伝える		唐	
737	③諸国に丈六の釈迦像を造らす			
738	⑧諸国に国郡の図を作らす			
739	○僧行信法隆寺東院(夢殿・伝法堂)を造る			
740	⑥諸国に法華経を書写し，七重塔を建てさす	羅		
741	③**国分寺・国分尼寺建立の詔**			741〕 教 ローマ法王，東ローマの管轄を離れる
743	⑩**大仏造立の詔**を出し，紫香楽宮に工事を始める			
745	①行基を大僧正とする ⑤法華寺を創建　⑧大仏造立を平城京に移す			
747	○新薬師寺・石山寺創建			
748	○法華堂の諸像なる◉不空羂索観音			
749	②行基死す(80)　⑩大仏鋳造終わる			750〕 サ アッバス朝成立(～1258)
750				



東羅—東ローマ　欧—ヨーロッパ　教—ローマ教会　サ—サラセン

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇
751	天平勝宝 3		孝謙（女帝）
752	〃 4	㊂遣唐使藤原清河(きよかわ)・大伴古麻呂・吉備真備ら出発	
753	〃 5	⑪僧行信を下野(しもつけ)薬師寺に配流	
754	〃 6	①大伴古麻呂ら帰朝　⑦皇太后宮子崩ず	
755	〃 7	①勅して年を歳と改める	
756	〃 8	⑤聖武上皇崩ず(56)　⑥吉備真備，筑前怡土(いと)城を築く	
757	天平宝字 1	①橘諸兄死す(74)　⑦**橘奈良麻呂の乱**　⑧改元	
758	〃 2	①問民苦使を派遣　⑧皇太子大炊(おおい)王即位，藤原仲麻呂を太保(たいほ)とし**恵美押勝**(えみのおしかつ)の姓名を賜う。官名を唐風に改める　⑫大宰府に命じ安禄山(あんろくざん)の乱に備う	
759	〃 3	⑤諸国に常平倉(じょうへいそう)を設ける　⑨新羅征討のため，諸国に船500を造らす	淳仁
760	〃 4	①恵美押勝太師(たいし)となる　③開基勝宝・万年通宝鋳造　⑥光明皇太后崩ず(60)　⑨新羅使礼なくこれを却ける	
761	〃 5	⑩近江保良宮に行幸，道鏡(どうきょう)，孝謙上皇に接近	
762	〃 6	⑤天皇上皇不和，平城京に還幸　⑥上皇大事親決を詔する　⑪新羅征討を準備する	
763	〃 7		
764	〃 8	⑨恵美押勝反して誅される(59)。官名復旧　⑩上皇天皇を廃して重祚，天皇を淡路に移す	
765	天平神護 1	①改元　③墾田私有禁止　⑨神功(じんぐう)開宝を鋳る　⑩淳仁廃帝崩ず(33)　㊉道鏡，太政大臣禅師となる	称徳（女帝）
766	〃 2	⑩**道鏡，法王となる**	
767	神護景雲 1	③法王宮職を置く　⑧改元　⑩陸奥伊治城を造る	
768	〃 2	②筑前怡土城成る	
769	〃 3	⑨和気清麻呂(わけのきよまろ)，宇佐八幡に使し神教を受ける。道鏡，清麻呂を大隅に流す	
770	宝亀 1	⑧称徳天皇崩ず(53)　道鏡を下野薬師寺別当におとす　⑨和気清麻呂召還　⑩白壁(しらかべ)王即位，改元	
771	〃 2	③右大臣吉備真備退官　⑩武蔵国を東海道に編入する	光仁
772	〃 3	④道鏡死す　⑩墾田の私有を許す	
773	〃 4	①山部親王立太子　藤原百川(ももかわ)ら活躍　③穀価高く，常平法を定める	
774	〃 5	③定員外の国司を廃止　⑨諸国に池溝を修造させる	
775	〃 6	⑩始めて天長節を行なう　吉備真備死す(81)	

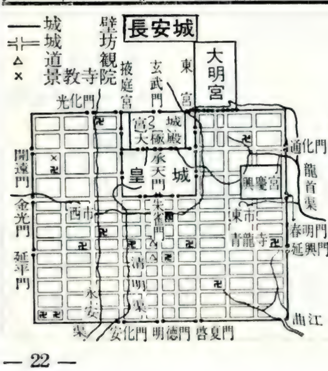


西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
751	⑪「懐風藻(かいふうそう)」成る			
752	④**東大寺大仏開眼供養会**　◉薬師寺仏足石歌碑			
754	①唐僧鑑真(がんじん)，律宗を伝える			
755	⑨東大寺講堂・戒壇院を建てる			755〕 中 唐で安禄山の乱
756	○このころ東大寺**正倉院**に聖武天皇の遺品を納める　◉鳥毛立女屏風			756〕 サ サラセン帝国，東西に分裂
757	④家ごとに孝経を置かせる ⑤養老律令施行			
759	⑧唐招提寺(とうしょうだいじ)建立 ○「万葉集」の歌，この年に終わる	新		758〕 中 唐で史思明の乱
760	㊃華厳宗の道璿(どうせん)死す(59) ○菩提僊那死す			
761	①下野薬師寺・筑紫観世音寺に戒壇設置			
762	◉石川年足墓誌		唐	762〕 サ 東カリフの首都バグダード建設 中 唐の李白死す(62)
763	⑧儀鳳(ぎほう)暦を止め，大衍(たいえん)暦を用う ⑤鑑真死す(77)　◉唐招提寺鑑真和上像			
764	⑨孝謙上皇，百万塔を作らす			
765	○西大寺創建			
766	⑦伊勢大神宮寺に丈六仏を置く ◉新薬師寺十二神将像	羅		
767	◉奈良頭塔(ずとう)の石仏			
768	⑪春日(かすが)神社の創建			
770	①阿倍仲麻呂，唐に客死(70) ④百万塔なる。陀羅尼(だらに)印刷（世界最古）			770〕 中 唐の杜甫死す(59)
772	○藤原浜成(はまなり)「歌経標式」			771〕 欧 チャールス大帝フランク統一
773	⑪良弁死す(85)			
775	◉淡海三船(おおみのみふね)作大安寺碑文			



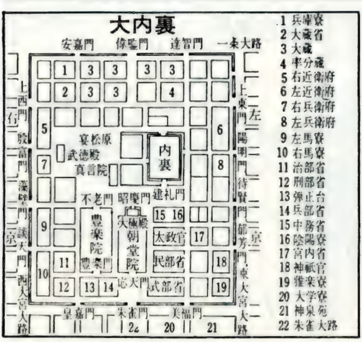
中—中国　サ—サラセン　欧—ヨーロッパ

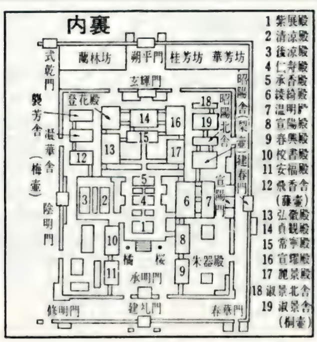
西暦	年　号	政　治・経　済・社　会	天皇
776	宝亀 7	①諸道に検税使派遣　⑤出羽の蝦夷討伐	光仁
777	〃 8	③陸奥の夷俘(いふ)の降伏多し　⑥遣唐使出発	
778	〃 9	⑩遣唐使帰る。小野石根(おののいわね)溺死　○藤原清河，唐に死す	
779	〃 10	⑦藤原百川死す(48)　⑧新旧両銭の同価併行を許す	
780	〃 11	③百姓の弓馬に耐える者のみを兵とする(兵農分離)。陸奥の蝦夷伊治呰麻呂反して多賀城を焼く	
781	天応 1	①改元　④皇太子即位，皇弟早良(さわら)親王立太子　⑧蝦夷平定　⑫光仁天皇崩ず(73)	桓武
782	延暦 1	㊀氷上川継(ひがみのかわつぐ)反し，伊豆に流される　⑥左大臣藤原魚名左遷　⑧改元　⑫国司交替の制を定める	
783	〃 2	⑦藤原魚名死す(63)	
784	〃 3	⑪**長岡京に遷都**　⑫王臣寺家の山沢兼併を禁止	
785	〃 4	⑨藤原種継暗殺される(49)。早良親王，太子を廃され淡路に移り，途中に没す　⑪安殿(あて)親王立太子	
786	〃 5	⑧蝦夷征討のため，東海・東山二道の兵士を簡閲	
787	〃 6	②皇弟に賜姓	
788	〃 7	③軍糧を多賀城に運ぶ　⑫征東大使紀古佐美出発	
789	〃 8	⑤良賤間の婚姻を認める　⑥蝦夷征伐軍敗れる	
790	〃 9	㊂征夷の武器・軍糧の準備を命ずる	
791	〃 10	③刪定律令(さくていりつりょう)を用いる　⑦大伴弟麻呂・坂上田村麻呂を征東大使・副使とする　⑧畿内班田使を任命	
792	〃 11	⑥要地のほか，諸国の兵士を廃止。**健児(こんでい)を徴集**	
793	〃 12	①新都を山背(やましろ)国葛野(かどの)郡宇太野(うだの)に相する　③摂津職(せっつしき)を国とする	
794	〃 13	⑩**平安京に遷都**　⑪山背を山城に改める	
795	〃 14	①大伴弟麻呂ら凱旋　④寺院の土地兼併を禁ずる	
796	〃 15	⑧諸国の地図を作る　⑪隆平永宝を鋳る	
797	〃 16	⑪坂上田村麻呂を**征夷大将軍**に任ずる	
798	〃 17	⑨畿内の銭欠乏，畿外の吏民の蓄銭を禁止	
799	〃 18	②私稲出挙の利率を十分の三とする。和気清麻呂死す(67)　⑦天竺(てんじく)(崑崙(こんろん))人三河に漂着，綿種を伝える	
800	〃 19	②銭を蓄え，爵位を求めるのを禁止　③富士山噴火　④王臣豪民の山沢独占を禁止　⑦前皇太子早良親王の霊を慰め，崇道(すどう)天皇を追号　⑫班田の範囲を薩摩・大隅両国まで及ぼす	





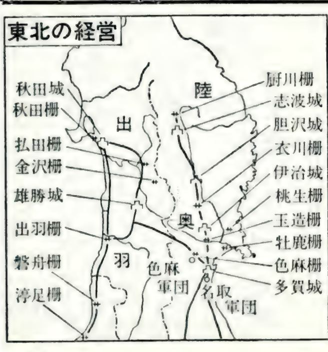
西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
776	④祭祀の怠慢を戒める	新羅	唐	
777	⑤田舞を行なう　○興福寺僧賢璟(けんけい)，室生寺を創建(～793)			
779	②淡海三船「唐大和上東征伝(とうだいわじょうとうせいでん)」を著わす			
780	○秋篠(あきしの)寺このころ創建			780］ 中唐，両税法施行
781	⑥石上宅嗣(いそのかみやかつぐ)死す(53)			781］ 中唐で大秦景教流行中国碑建立
783	⑥京畿内に私寺の造立を禁止			784］ 中唐，顔真卿死す
785	⑦淡海三船死す(64) ⑧大伴家持(やかもち)死す(68)			
786	①近江国志賀郡に梵釈寺建立			786］ サハルン＝アル＝ラシッド時代
787	③養老の詔			
788	**○最澄(さいちょう)比叡山寺(後の延暦寺一乗止観院)を創立**			
789	○「高橋氏文(たかはしうじぶみ)」を奉る			
790	○このころまでに「万葉集」完成			
791	◉興福寺北円堂四天王像 ◉このころ神護寺薬師如来像			
793	◉このころ新薬師寺薬師如来像 ○空海，槇尾寺の勤操(ごんそう)を師として出家する			
794	○越前の水田200町を勧学田とし，大学寮に授ける			794］ 中渤海，中京に遷都
795	⑧国師を講師と改め，毎国1人を置く			
796	○東寺・西寺・鞍馬寺創立			
797	**②「続日本紀」選修終わる(794～)** ④善珠(ぜんじゅ)死す(75) ○空海「三教指帰(さんごうしいき)」成る			
798	⑦坂上田村麻呂，清水寺を建立			800］ 欧チャールス，西ローマ皇帝となる
800	○このころ和気弘世(わけのひろよ)弘文院を創建(大学別曹の初め)			





中—中国　サ—サラセン　欧—ヨーロッパ

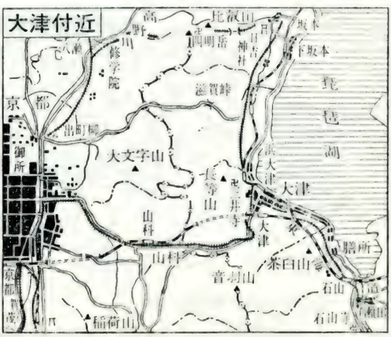
西暦	年号	政治・経済・社会	天皇
801	延暦20	⑥班田を12年1班と改める　⑨坂上田村麻呂蝦夷平定	桓武
802	〃 21	①田村麻呂胆沢城を築く。鎮守府を移し，東国の俘囚4000人を配置　⑤富士山噴火。足柄路を廃し，箱根(筥荷)路を開く	
803	〃 22	③志波城を築く　⑤足柄路復旧	
804	〃 23	①田村麻呂，征夷大将軍に再任　③遣唐使藤原葛野麻呂ら出発	
805	〃 24	⑦遣唐使帰る　⑫藤原緒嗣の議で征夷と造宮を停止	
806	大同 1	③天皇崩ず(70)　⑤安殿太子即位，改元　皇弟神野親王皇太弟となる　㈥王臣寺家の山沢占有を禁ずる	平城
807	〃 2	④参議を止め，観察使を置く。	
808	〃 3		
809	〃 4	④皇太弟即位，高岳親王(平城天皇皇子)立太子	
810	弘仁 1	③**蔵人所設置**，藤原冬嗣らを頭に任命　⑨**薬子の乱**。平城上皇剃髪，藤原仲成射殺，薬子自殺，高岳太子廃止，皇弟大伴親王立太子	嵯峨
811	〃 2	④文室綿麻呂を征夷将軍に任命　⑤坂上田村麻呂死す(54)　⑪**六衛府の制定まる**	
812	〃 3	⑤国司の墾田経営を禁ずる　⑫右大臣藤原内麿死す(57)	
813	〃 4		
814	〃 5	⑤皇族に源朝臣の姓を賜う　⑥万多親王ら「**新撰姓氏録**」を選上	
815	〃 6	⑦橘嘉智子を皇后とする(檀林皇后)	
816	〃 7	○検非違使を置く	
817	〃 8		
818	〃 9	⑪富寿神宝を鋳る	
819	〃 10	②畿内の富豪の貯財を，貧民に貸借させる	
820	〃 11	④**弘仁格式完成**	
821	〃 12	⑤空海，讃岐万農池を築く	
822	〃 13	○高岳親王出家(真如)	
823	〃 14	③加賀国を設置　④譲位により皇太弟即位，正良親王(嵯峨天皇皇子)立太子。文室綿麻呂死す(58)	
824	天長 1	①改元　⑦平城上皇崩ず(51)　⑧勘解由使を復活する	淳和
825	〃 2	④**藤原冬嗣左大臣となる**　㈦高棟王に平朝臣を賜う	
826	〃 3	⑦藤原冬嗣死す(52)　⑨上総・上野・常陸を親王任国とす	





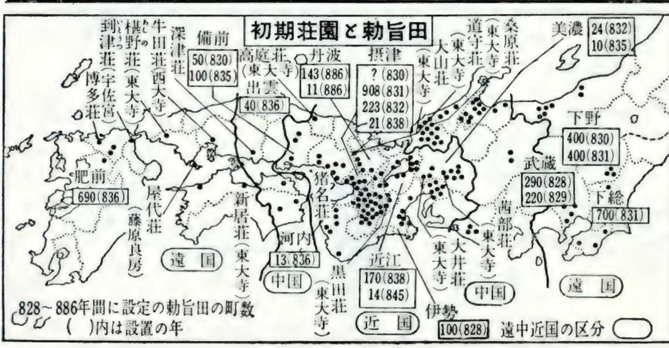
西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
802	○和気弘世，高雄山寺に最澄を請じ，法華会を行なう			
804	③最澄・空海・橘逸勢(たちばなのはやなり)ら入唐			
805	⑧最澄帰朝し，天台宗を伝える			
806	⑧空海帰朝し，真言宗を伝える			
	◉東寺真言王祖像将来			
807	②斎部広成(いんべのひろなり)「古語拾遺(こごしゅうい)」を奉る	新		
808	②紀伝博士を設置			808〕中吐蕃，唐と和す
810	○初めて賀茂斎院を置く		唐	
812	⑥紀広浜ら「日本書紀」を講書			
	◉空海筆「灌頂(かんちょう)歴名」			
813	○藤原冬嗣，興福寺南円堂を建立			813〕サアッバス朝マムーンの治世(～30)
814	○小野岑守(みねもり)ら「凌雲(りょううん)集」を選ぶ			
816	⑤空海高野山を賜わり，金剛峯(こんごうぶ)寺を開く　◉南円堂銅灯台	羅		○ノルマン活動開始
818	○「文華秀麗(ぶんかしゅうれい)集」成る　○最澄「山家学生式(さんげがくしょうしき)」			819〕中唐の柳宗元死す
820	○最澄「顕戒論」，空海「文鏡秘府論」			
821	○藤原冬嗣，勧学院を創立			
822	⑥最澄死す(56)。比叡山戒壇を勅許			
823	①空海に東寺を賜わり，教王護国寺と号す　②延暦寺号を下賜			
824	⑥義真(ぎしん)初代天台座主となる			824〕中唐の韓愈死す
	⑨神願寺を高雄に移し，神護寺と号する			





中—中国　サ—サラセン

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇
827	天長 4	①畿内校田使を任命　⑥阿保(あぼ)親王を上総太守とする	淳和
828	〃 5	①畿内班田使を任命	
829	〃 6	⑤諸国に灌漑用の水車を作らす	
830	〃 7	②武蔵国空閑地220町を**勅旨田**とする	
831	〃 8	⑤下野の田地400町余を勅旨田とする	
832	〃 9	⑤播磨魚住泊を築く　⑪藤原緒嗣(おつぐ)を左大臣，清原夏野を右大臣とする	
833	〃 10	②**清原夏野ら「令義解(りょうのぎげ)」を選上**，譲位により仁明天皇即位，恒貞(つねさだ)親王(淳和天皇皇子)立太子	仁明
834	承和 1	①改元，検非違使別当を置く　⑫令義解施行	
835	〃 2	①承和昌宝を鋳る　⑥東海・東山の要津に船を増置	
836	〃 3	⑦遣唐使藤原常嗣(つねつぐ)・小野篁(おののたかむら)暴風に会い任を果さず	
837	〃 4	④出羽・陸奥の百姓騒ぐ　⑩清原夏野死す(56)	
838	〃 5	⑦遣唐使再び出発　⑫小野篁，隠岐に流される	
839	〃 6	㊀勧農の詔をだす　⑨遣唐使帰る	
840	〃 7	②小野篁召還　⑤淳和上皇崩ず(55)	
841	〃 8	②出羽に飢饉　⑧太宰府防人，対馬(つしま)を守る	
842	〃 9	⑦嵯峨上皇崩ず(57)　**承和の変**。伴健岑(とものこわみね)・橘逸勢(はやなり)流され，恒貞太子を廃する　⑧道康(みちやす)親王立太子	
843	〃 10	⑦藤原緒嗣死す(70)　⑪畿内校田使を任命	
844	〃 11		
845	〃 12	⑧淡路・播磨間に連絡船を設ける	
846	〃 13	⑫畿内班田使を任命	
847	〃 14	⑦唐の商人張友信ら47人きたる	
848	嘉祥 1	①藤原良房右大臣となる　⑥改元　⑨長年大宝を鋳る	
849	〃 2	⑧唐の商人53人きたる	
850	〃 3	③仁明天皇崩ず(41)　④即位，惟仁(これひと)親王立太子	文徳
851	仁寿 1	④改元	
852	〃 2		
853	〃 3	②天皇良房の第に行幸し観桜　○疱瘡流行	
854	斉衡 1	⑥左大臣源常死す(43)　⑪改元　○石見・陸奥に飢饉	
855	〃 2	①陸奥に俘囚警備の出兵	
856	〃 3		
857	天安 1	②改元。**藤原良房太政大臣**，源信(みなもとのまこと)左大臣となる	



初期荘園と勅旨田

西暦	文　化	朝鮮	中国	世界史
827	⑤延暦寺戒壇院建つ　良岑安世ら「**経国集**」を選上	新羅	唐	
828	⑫**空海，綜芸種智院を創立**			828〕英エグバート，イングランドを統一
830	○空海「十住心論」を奉る			
831	○滋野貞主ら「秘府略」1000巻を奉る			831〕欧フランス北岸にバイキング（ノルマン）活躍
833	⑦義真死す(53)　◉神護寺両界曼荼羅　◉伊都内親王願文(御物)			
835	③空海死す(63)　○真済ら「**遍照発揮性霊集**」を編む			
836	○観心寺成る　◉観心寺如意輪観音このころか　◉神護寺五大虚空蔵			
838	⑦円仁，**遣唐使に随行**　◉園城寺黄不動絵像このころか			
840	○百済河成に百済朝臣を与える			
841	⑫藤原緒嗣ら「**日本後紀**」を選上			
842	⑧橘逸勢死す　⑩菅原清公死す(73)　○恵運入唐			
843	⑥菅野高年により日本紀講書			843〕欧フランク王国三分（ベルダン条約）
844	⑦在唐の円仁らに賜金　㊆林邑楽を御前演奏			
846	◉円珍伝燈法師位位記(園城寺)			846〕中唐の白居易死す
847	⑩円仁帰朝　⑫円仁「入唐求法巡礼行記」成る			
848	⑧恵運，山科の安祥寺を建立			
850	③良岑宗貞出家(遍昭)			
851	②清涼殿を移し，嘉祥寺の堂とする			
852	②滋野貞主死す(68)　⑫小野篁死す(51)			
853	⑦**円珍入唐**　⑧百済河成死す(72)			
855	⑤東大寺大仏の頭落ち修理　○泉涌寺創建			
856	○檀林寺創建			
857	①大衍暦を止め，五紀暦を用いる			



西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	摂関
858	天安 2	⑧文徳天皇崩ず(32)　⑪惟仁親王9歳で即位。**藤原良房摂政となる**(人臣摂政の初め)	清和	良房
859	貞観 1	④改元。饒益神宝を鋳る		
860	〃 2			
861	〃 3	⑪武蔵国郡ごとに検非違使を置く		
862	〃 4	⑤山陽南海の海賊追捕　⑦唐商李延孝ら43人きたる		
863	〃 5			
864	〃 6	①天皇元服，正税の出挙を許す　⑦富士山噴火		
865	〃 7	③貢賦の期に違う国司の罰則を定める　⑦唐商来着		
866	〃 8	㊂**応天門の変**　⑧**良房に摂政の勅を賜う**　⑨伴善男・紀夏井配流		
867	〃 9	④東西京に常平倉を置く　⑤畿外吏民の貯銭禁止　⑪山陽南海の海賊追捕		
868	〃 10	(十二)貞観交替式を天下にわかつ		
869	〃 11	②貞明親王立太子　④**貞観格を選上**		
870	〃 12	①貞観永宝を鋳る　⑪太宰少弐，新羅に内通し露見		
871	〃 13	⑧**貞観式を選上**		
872	〃 14	⑨藤原良房死す(69)　⑪藤原基経摂政となる		基経
873	〃 15	④皇子皇女に源姓を賜う(清和源氏)		
874	〃 16	⑥唐商，肥前松浦にきたる　⑦薩摩開聞岳噴火		
875	〃 17	⑤下総の俘囚反乱　⑪出羽・渡島の蝦夷反乱		
876	〃 18	④大極殿火災　⑪天皇譲位		
877	元慶 1	①貞明親王10歳で即位　④改元　⑦唐商来着	陽成	
878	〃 2	③出羽の蝦夷反し，藤原保則小野春風これを平定		
879	〃 3	⑩大極殿完成　⑫畿内に班田を実施		
880	〃 4	⑪基経関白の実を行なう　⑫清和上皇崩ず(31)		
881	〃 5	⑤山陽南海の海賊追捕		
882	〃 6			
883	〃 7	②上総の俘囚反乱　⑪備前の海賊の防備を厳にす		
884	〃 8	②藤原基経天皇を廃立。時康親王(仁明天皇皇子)即位　⑥百事基経に諮稟し，のち奏聞せしめる	光孝	
885	仁和 1	②改元　⑩太宰府に命じ唐物私買を禁止		
886	〃 2			
887	〃 3	⑧光孝天皇崩ず(58)　⑪宇多天皇即位，**関白の詔**		

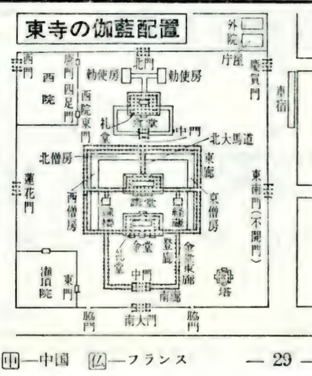
平安時代の国の等級と官稲出挙額

(正税・公廨・雑稲の合計，単位千束，延喜式による)



西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
858	⑥円珍帰朝，両部曼荼羅などを多数将来	新羅	唐	
859	○円珍「行歴抄」成る			860〕 欧ノルマン，アイスランド発見
860	○このころ石清水八幡宮創建			
861	⑥長慶宣明暦を採用			
862	⑦真如法親王(高岳親王)入唐			862〕 露ノブゴロド公国成立
863				
864	①円仁死す(72) ②僧綱の位階を改める			
865	○真如法親王羅越国に没す(67)			
866	⑦最澄に**伝教大師**の諡号を賜う			
867	◉安祥寺資財帳(安祥寺)			
868	㊤左大臣源信死す(59)			
869	⑧藤原良房ら「**続日本後紀**」を選上			870〕 欧フランク，メルセン条約
871	◉安倍小水麻呂願経(埼玉慈光寺)			871〕 英アルフレッド大王即位(〜901)
872	⑤都良香，彩色画扇20枚を渤海の使に贈る ○巨勢金岡神泉苑を監す			
873	◉広隆寺資財帳(広隆寺)			
875	⑧神護寺銅鐘(銘藤原敏行筆)			875〕 中唐で黄巣の乱(〜884)
876	②嵯峨院を大覚寺とする			
877	○聖宝このころ醍醐寺を創建			
879	②都良香死す(46)　⑪**文徳実録**を選上			
880	⑤在原業平死す(56)。菅原是善死す(69)			
881	○在原行平，奨学院を創立			
882	⑧日本紀竟宴			
883	◉観心寺資財帳(観心寺)			
885	○巨勢金岡，藤原基経五十賀の屛風をえがき，藤原敏行・菅原道真の詩を書く			887〕 仏ノルマン，パリを包囲
887	○高野山の真言堂・多宝塔完成			



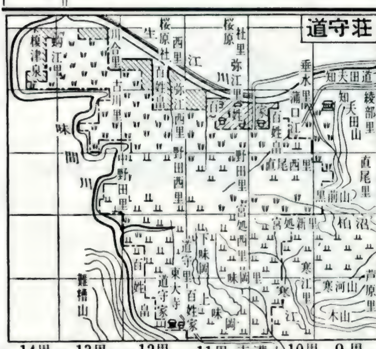


西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	摂関
888	仁和 4	⑤**阿衡(あこう)の紛議**	宇多	基経
889	寛平 1	④改元　⑤高望(たかもち)王らに平朝臣の賜姓（桓武平氏）		
890	〃 2	①初めて四方拝を行なう　④寛平大宝を鋳る ⑤橘広相(たちばなのひろみ)死す(53)　⑫藤原基経，関白を辞す		
891	〃 3	①藤原基経死す(56)　②菅原道真(みちざね)，蔵人頭となる		
892	〃 4			
893	〃 5	③僧中瓘(ちゅうかん)，唐の乱世を報ずる ④敦仁(あつひと)親王立太子　⑤新羅人，肥前に来寇		
894	〃 6	⑨菅原道真らの建議で**遣唐使の派遣中止**		
895	〃 7	③王臣家の私出挙を禁止　⑧左大臣源融(とおる)死す(74)		
896	〃 8	④5位以上の私田経営を禁止		
897	〃 9	⑦譲位，敦仁親王即位，新帝に御遺誡あり（**寛平御遺誡**）	醍醐	
898	昌泰 1	④改元 ○京畿に群盗起こる		
899	〃 2	②藤原時平(ときひら)左大臣，菅原道真右大臣となる ⑨足柄・碓氷両関設置　⑩上皇出家，法皇の初例		
900	〃 3	⑪三善清行(きよゆき)，道真に辞職を勧める。辛酉(しんゆう)革命の議を上申		
901	延喜 1	①**菅原道真を大宰権帥に左遷**　⑦改元		
902	〃 2	③**荘園整理令**　勅旨開田・荒田占有を禁ずる。班田を12年1回とする		
903	〃 3	②菅原道真死す(59)　⑧唐物私買を禁止		
904	〃 4	③宇多法皇，仁和寺に御室を造営して移る		
905	〃 5			
906	〃 6	⑨鈴鹿山の群盗を誅する		
907	〃 7	⑪「**延喜格**」**を選上**，延喜通宝を鋳る		
908	〃 8	⑫「延喜格」を施行		
909	〃 9	④藤原時平死す(39)		
910	〃 10			
911	〃 11	⑤勘解由使，交替式を編修		
912	〃 12			
914	〃 14	④三善清行「**意見封事十二箇条**」を奉る ⑧藤原忠平右大臣となる		

平安時代の各国田数
（和名類聚抄による）



西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
888	⑧仁和寺金堂落成　○巨勢金岡，御所の障子に，弘仁以後の詩人をえがく			888〕鮮新羅大乱
890	①遍昭死す(75)			
891	⑩円珍死す(78)　○このころ「日本国見在(げんざい)書目録」成る（藤原佐世(すけよ)）			
892	⑦在原行平死す(79)			
	⑤菅原道真「**類聚国史**」選上			
893	○昌住「新撰字鏡」			893〕欧マジャール人，ハンガリーに侵入
894	○大江千里「句題和歌」	新		
896	⑥勧修寺建立			
897	○藤原佐世死す			
	◉鞍馬寺毘沙門天像，薬師寺八幡宮・僧形八幡三神像（一木彫）		唐	
898	②紀長谷雄(きのはせお)「群書治要」を天皇に進講			
899	○伝真言院両界曼荼羅図（東寺）			
900	⑧菅原道真「菅家文草」			900〕鮮後百済興る（〜936）
	○このころ「竹取物語」「伊勢物語」			
901	⑧藤原時平ら「**三代実録**」選上			○このころカンボジア全盛，アンコールートム創建
902	⑪延暦寺衆徒「円珍伝」を進む			
903	⑪唐人，羊を献上			
904	⑧日本紀進講（藤原春海）	羅		
905	④紀貫之(きのつらゆき)ら「**古今和歌集**」を選上（勅撰和歌集の初め）			
906	⑫日本紀竟宴			
907	⑩法皇熊野に幸する			907〕中唐滅び，後梁興る。宋全忠皇帝を称する
	○醍醐寺を御願寺とする			
909	⑦聖宝死す(78)　◉醍醐寺薬師像		五	909〕埃ファチマ朝成立
910	⑨法皇延暦寺で灌頂			
911	①七種菜初例			911〕仏ノルマンジー公国興る
912	②紀長谷雄死す(68)		代	



○越前国道守荘

越前国足羽郡にある東大寺の荘園で，今の福井市の西方の日野川と足羽川の合流点付近。

766年成立で周辺の百姓の墾田を買収したり，口分田と寺田を交換したりして，境界の正確化を図った。―・―・―内が荘園である。条里制の実情や，集落・畠地の状況に注意。原図は正倉院蔵。

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	摂関
915	延喜15	⑩疱瘡流行により大赦を行なう	醍醐	
916	〃 16	⑧藤原秀郷(ひでさと)を配流する		
917	〃 17			
918	〃 18	⑫三善清行死す(73)		
919	〃 19	⑦唐商孔雀を献上する		
920	〃 20	⑤渤海使朝貢　⑫皇子高明(たかあきら)らに源姓を賜う		
921	〃 21	①「延喜交替式(えんぎこうたいしき)」を選上		
922	〃 22			
923	延長 1	④菅原道真の本官を復す　㊃改元		
924	〃 2	①藤原忠平左大臣となる		
925	〃 3	⑩寛明親王立太子		
926	〃 4			
927	〃 5	⑫**藤原忠平ら「延喜式」を選上**		
928	〃 6			
929	〃 7	⑫東丹(とうたん)国（渤海の後）の使丹後に来着		
930	〃 8	④東丹使を斥ける　⑨寛明(ひろあきら)親王に譲位。**藤原忠平，摂政となる。**醍醐上皇崩ず(46)　⑪即位		
931	承平 1	②京都に群盗多し　④改元　⑦宇多法皇崩ず(65) ⑫諸国の荒田の開発を奨励	朱雀	忠平
932	〃 2	④追捕海賊使を定める		
933	〃 3	①京都に群盗多し　⑫南海道に海賊横行		
934	〃 4	⑤海賊平定祈願　⑩追捕海賊使を定める		
935	〃 5	②平将門(まさかど)，伯父常陸大掾(だいじょう)平国香(くにか)を殺す（**承平天慶(しょうへいてんぎょう)の乱始まる**）　⑨呉越国の商人来朝		
936	〃 6	⑥伊予守紀淑人(きのよしと)，海賊を平定　⑧左大臣藤原忠平呉越王へ返書，忠平太政大臣となる		
937	〃 7	④将門上京　⑧高麗(こうらい)朝貢を請うが許さず		
938	天慶 1	②将門，平貞盛を破る　⑤改元		
939	〃 2	③高麗使を斥ける　⑪将門反して新皇を称する ⑫藤原純友(すみとも)南海に反乱を起こす		
940	〃 3	①藤原忠文を征東大将軍に任命　②平貞盛・藤原秀郷ら，将門の乱を平定		
941	〃 4	⑤忠文を征西大将軍に任命，小野好古(よしふる)純友を破る ⑥橘遠保純友を誅す　⑪忠平関白となる		



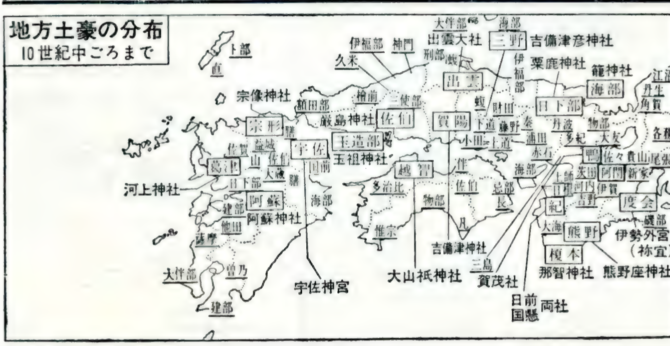
西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
917	⑪道澄寺（栄山寺）銅鐘を鋳る			916〕[中]契丹の耶律阿保機，帝を称す
	⑨藤原兼輔「聖徳太子伝暦」を選す			
919	◉三十帖冊子蒔絵筥（仁和寺）			918〕[鮮]王建，高麗を建国
921	⑩空海に弘法大師号の諡号賜う			
	⑪近江崇福寺焼ける			
922	○延喜年中，命蓮（みょうれん）信貴山（しぎさん）寺を創建	新	五	
923	○筑前筥崎（はこざき）宮を造営			923〕[中]後唐，後梁を滅す
924	②新羅明神祠を比叡山に建立			
	○藤原忠平，法性寺建立			
925	⑫諸国に風土記を作らす		代	926〕[中]契丹，渤海を滅す
927	⑫円珍に智証（ちしょう）大師号を賜う			
	◉伝小野道風筆智証大師諡号官符			
928	◉道風筆内裏屏風色紙形土代（御物）	羅		
932	⑪道風大嘗会（だいじょうえ）屏風の色紙形に書く		十	
934	⑩東大寺西塔，雷火で焼失		国	
935	○このころ紀貫之「土佐日記」を作る			935〕[鮮]高麗，新羅を滅す
936	⑫日本紀講書（矢田部公望）			936〕[中]後唐滅び，後晋立つ
				[独]オットー大帝即位（～973）
937	○承平年中，源順「倭名類聚抄」を作る	高		
938	④空也（こうや），都で念仏をすすめる			
939				
940	⑥「将門記」成る	麗		



土佐日記の旅路
(935·12·21～936·2·16)

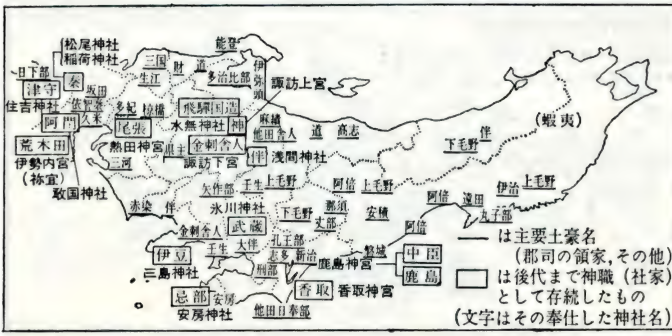
[中]—中国　[鮮]—朝鮮　[独]—ドイツ

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	摂関
942	天慶 5	④石清水(いわしみず)八幡臨時祭初例	朱雀	忠平
943	〃 6			
944	〃 7	②美濃介橘遠保賊に殺される　④成明親王皇太弟となる　⑨京都大暴風雨		
945	〃 8	⑦呉越船肥前に来着　⑨前左大臣藤原仲平死す(71)		
946	〃 9	④譲位によって成明親王即位		
947	天暦 1	④改元　⑥疱瘡流行　⑦左大臣藤原実頼(さねより)呉越王に返書，交易を謝絶	村上	
948	〃 2	③強盗横行のため四府馬寮に夜警を命ずる		
949	〃 3	⑧藤原忠平死す(70)　⑨陽成法皇崩ず(82)		
950	〃 4	⑦憲平親王立太子		
951	〃 5			
952	〃 6	⑧朱雀法皇崩ず(30)　⑪越前追捕・押領使を廃止		
953	〃 7	⑦右大臣藤原師輔(もろすけ)呉越王に返書，交易を謝絶		
954	〃 8	⑦詔して封事を奉らす		
955	〃 9			
956	〃 10	⑨諸臣の封禄を減らす　○この年，かんばつ饉飢		
957	天徳 1	⑦呉越使来朝　⑩改元　⑫菅原文時(ふみとき)意見封事三か条を奉る　○この年，穀価高く常平所を置く		
958	〃 2	③乾元大宝を鋳る（皇朝十二銭の最後）		
959	〃 3	①呉越使来朝　⑫紫宸殿の前に橘を植える		
960	〃 4	⑤右大臣藤原師輔(もろすけ)死す(53)　⑨内裏(だいり)焼亡		
961	応和 1	②改元　⑪源経基(つねもと)死す		
962	〃 2	⑤～⑧京都および近畿各地に風水害		
963	〃 3			
964	康保 1	⑦改元　⑪紫宸殿の前に桜を植える		
965	〃 2			
966	〃 3	①源高明(たかあきら)，右大臣となる		
967	〃 4	⑤村上天皇崩ず(42)。憲平親王践祚　⑥藤原実頼関白となる（摂関常置の始め）　⑦「延喜式」施行　⑨守平親王皇太弟となる　⑩即位　⑫実頼太政大臣，高明左大臣，藤原師尹(もろただ)右大臣となる	冷泉	実頼
968	安和 1	②小野好古死す(85)　⑦東大寺・興福寺争斗　⑧改元		



地方土豪の分布
10世紀中ごろまで

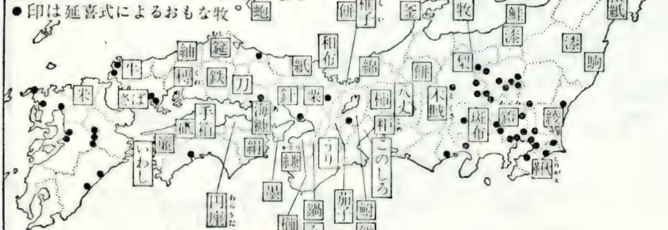
西暦	文　化	朝鮮	中国	世　界　史
943	⑫日本紀竟宴	高麗	五代十国	
944	①長谷寺焼亡			
945	◉京都棲霞寺阿彌陀如来像			
946	○紀貫之死す　◉岩船寺阿彌陀像			946〕中契丹，国号を遼と改める
947	⑥菅原道真の祠を北野に建立（北野天満宮の始め）			947〕中後晋滅び，後漢となる
949	⑪大江朝綱(あさつな)「坤元録」			
950	◉菅原文時筆仁和寺御室御物実録（前田家）			
951	⑩和歌所を梨壺に置き，源順ら「後撰和歌集」の選修を始める ○醍醐寺五重塔落成，両界曼荼羅真言八祖像を心柱，四壁にえがく			951〕中後漢滅び，後周となる
956	○「大和物語」			
957	⑫大江朝綱死す(72)			
958	③法性寺焼亡			
960	③四天王寺焼亡。天徳内裏歌合行なわれる		宋	960〕中趙匡胤帝を称し宋（北宋）成立
961	○このころ空也，西光寺（後の六波羅蜜寺）を創建			962〕独神聖ローマ帝国成立。オットー皇帝となる
963	⑥大江維時死す(76) ⑧空也，万灯会(まんどうえ)を設ける			
964	○慶滋保胤(よししげのやすたね)ら勧学会を結成			
965	⑧日本紀講書（橘仲遠）			
966	⑧良源(りょうげん)天台座主となる ⑫小野道風死す(71)			



西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	摂関
969	安和 2	③安和の変，源高明を大宰府に左遷　⑧守平親王に譲位，実頼摂政となる　⑨即位	冷泉	実頼
970	天禄 1	③改元　⑤藤原実頼死す(71)。　右大臣藤原伊尹(これただ)摂政となる		
971	〃 2	⑩源高明を召還　⑪伊尹太政大臣となる	円	伊尹
972	〃 3	⑨高麗使，対馬に来着　⑪藤原伊尹死す(49)。藤原兼通関白となる		
973	天延 1	④強盗源満仲(みつなか)の宅に放火　⑫改元		兼
974	〃 2	②兼通太政大臣となる　⑤尾張国百姓の訴により国守藤原連貞を罷免　○この年疱瘡流行		
975	〃 3	②検牧使を甲斐信濃に派遣		
976	貞元 1	⑤内裏焼亡　⑥京都大地震　⑦改元		
977	〃 2	④左大臣源兼明を親王とし，藤原頼忠(よりただ)左大臣となる　⑩**兼通弟兼家をおき，頼忠を関白に推す**　⑪藤原兼通死す(53)		通
978	天元 1	③備前介橘時望，海賊に殺される　⑩頼忠太政大臣兼家右大臣となる　⑪改元		
979	〃 2	③石清水行幸の始め	融	頼
980	〃 3	㊂近江俘囚入京して愁訴　⑪内裏焼亡，宋人来着		
981	〃 4			
982	〃 5	②海賊追討　⑫源高明死す(69)		
983	永観 1	②京畿内のみだりに武器を持つ者を捕える　④改元		
984	〃 2	⑧師貞(もろさだ)親王に譲位，藤原義懐(よしちか)外戚として執政　⑩即位　⑪荘園整理令を出す。破銭法を定め破銭を良貨とともに通用さす	花	忠
985	寛和 1	④改元	山	
986	〃 2	③沽価(こか)法を定める　⑥天皇花山寺に入り出家，懐仁親王に譲位，藤原兼家摂政となる　⑦即位		
987	永延 1	①武器私帯を禁止　④改元　⑩宋商きたる	一	兼
988	〃 2	⑥僧の従者の武器私帯禁止。盗賊藤原保輔（袴垂(はかまだれ)）を捕える　⑪**尾張国郡司・百姓ら国守藤原元命(もとなが)の非法を訴える**		
989	永祚 1	③藤原元命罷免　⑥藤原頼忠死す(66)　⑧改元　⑫兼家，太政大臣となる	条	家
990	正暦 1	⑤藤原道隆(みちたか)，摂政となる　⑦兼家死す(62)　⑪改元		

平安時代の諸国物産

新猿楽記（藤原明衡 989～1066）による
●印は延喜式によるおもな牧



<table>
<tr><th>西暦</th><th>文　化</th><th>朝鮮</th><th>中国</th><th>世界史</th></tr>
<tr><td>969</td><td>◉詩懐紙(藤原佐理(すけまさ))このころか</td><td rowspan="23">高麗</td><td rowspan="10">十国</td><td></td></tr>
<tr><td>970</td><td>⑦良源26箇条起請　⑫源為兼「口遊」
◉新薬師寺准胝(じゅんてい)観音像</td><td></td></tr>
<tr><td>972</td><td>⑨空也死す(70)
○このころから雑芸盛んとなる</td><td></td></tr>
<tr><td>973</td><td>②薬師寺講堂焼失　③北野社焼失</td><td>973〕 印第二カルキヤ王朝（~1101)</td></tr>
<tr><td>974</td><td>○このころ，藤原道綱母「蜻蛉(かげろう)日記」</td><td></td></tr>
<tr><td>977</td><td>⑦藤原佐理，内裏の額を書く</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>979〕 中宋，中国を統一</td></tr>
<tr><td>980</td><td>⑨良源，延暦寺根本中堂を供養
○このころ「宇津保(うつぼ)物語」</td><td></td></tr>
<tr><td>981</td><td>⑨菅原文時死す(83)</td><td></td></tr>
<tr><td>982</td><td>⑩慶滋保胤(よししげのやすたね)「池亭記(ちていのき)」成る
○源高明「西宮記(さいきゅうき)」</td><td></td></tr>
<tr><td>983</td><td>③円融寺成る
⑧僧奝然(ちょうねん)入宋</td><td rowspan="13">宋</td><td></td></tr>
<tr><td>984</td><td>⑪源為憲(ためのり)「三宝絵詞(さんぼうえことば)」成る
○丹波康頼(たんばのやすより)「医心方(いしんぼう)」</td><td></td></tr>
<tr><td>985</td><td>④源信(げんしん)「往生要集」成る
①良源死す(74)</td><td></td></tr>
<tr><td>986</td><td>①往生要集を宋に送る　⑧奝然帰朝。嵯峨清涼寺釈迦像を将来
○慶滋保胤「日本往生極楽記」</td><td>987〕 仏カペー朝興る（~1328)</td></tr>
<tr><td>988</td><td>③藤原為光，法住寺供養</td><td>989〕 露キリスト教に改宗</td></tr>
<tr><td>990</td><td>②西寺焼失　⑥清原元輔死す(83)
◉法隆寺講堂・鐘楼・薬師三尊像</td><td></td></tr>
</table>

平安時代の建築の遺構



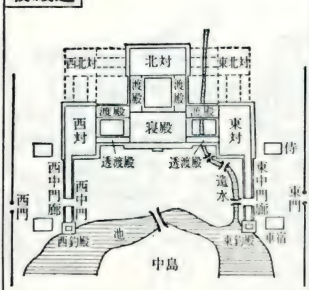
西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	摂関
991	正暦 2	②円融法皇崩ず(33)	一条	道隆
992	〃 3	⑤花山法皇，熊野御幸　⑪源忠良，阿波の海賊を討つ		
993	〃 4	④道隆関白となる　⑧疱瘡流行　⑩菅原道真に太政大臣を追贈		
994	〃 5	⑧藤原道兼，右大臣となる　○この年疫病流行		
995	長徳 1	②改元，藤原伊周内覧　④道隆死す(43)。道兼関白となる　⑤道兼死す(35)。**道長内覧となる**		道兼
996	〃 2	④藤原伊周・隆家左遷される		道長
997	〃 3	④伊周・隆家召還　⑧源満仲死す ⑩南蛮人（または高麗人），壱岐・対馬に来寇		
998	〃 4	○この年疱瘡流行		
999	長保 1	①改元　⑦百姓の訴えで淡路国守を罷免　⑫新制11条をわかつ		
1000	〃 2	②定子，皇后となり，彰子，中宮となる　⑤興福寺僧徒の乱行を禁止　⑫皇后定子崩ず(25)		
1001	〃 3			
1002	〃 4			
1003	〃 5	⑪宇佐八幡神人ら，太宰権帥平惟仲を訴える		
1004	寛弘 1	②住吉神人ら摂津守を訴える　⑦改元		
1005	〃 2	⑧宋商太宰府にきたり，交易を請う		
1006	〃 3	⑦興福寺衆徒入京し強訴		
1007	〃 4			
1008	〃 5	①伊周を大臣に準ずる　②花山法皇崩ず(41)		
1009	〃 6	⑨宋商きたる		
1010	〃 7	①藤原伊周死す(37)		
1011	〃 8	⑥居貞親王に譲位，一条法皇崩ず(32)　⑩即位 冷泉上皇崩ず(62)	三条	
1012	長和 1	②妍子中宮になる　⑫改元		
1013	〃 2	①道長の東三条院焼く		
1014	〃 3	③内蔵寮焼け，累代の宝器焼失		
1015	〃 4	⑩道長を摂政に准ずる　○この年天皇失明される		
1016	〃 5	①敦成親王に譲位，**道長摂政となる**　②即位 ⑦京都に大火あり，道長の土御門邸焼く	後一条	
1017	寛仁 1	③**藤原頼通摂政となる**　④改元　⑤三条法皇崩ず(42)　⑧敦明親王皇太子を辞す（小一条院）		頼通

日宋交通



西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
991	◉藤原佐理筆消息「離洛状(りらくじょう)」			
993	⑧智証大師の門徒園城寺に移り，山門・寺門分裂			992〕 中亜 カラハン朝
995	⑤道綱母死す			
996	○このころ「拾遺和歌集」「扶桑(ふそう)集」成る			977〕 中宋の真宗即位。北宋の全盛時代
998	⑦藤原佐理死す(55)	高	北	
1000	○このころ清少納言(せいしょうなごん)「枕草子」成る			1000〕 教キリスト教徒のローマ・エルサレム巡礼盛ん
1001	②藤原行成世尊寺供養 ◉金鼓・蝶形磬(けい)（国立博物館）			
1002	⑩慶滋保胤（寂心）死す			
1003	⑧寂照(じゃくしょう)入宋			1003〕 英ノルマン侵入
1004	○このころ「和泉式部日記」成る			
1005	⑨安倍晴明死す			
1007	◉道長埋納経・経筒(奈良金峯神社)			
1008	⑦道長，寂照に書を送る			
1009	⑪内裏焼亡，延喜天暦御記焼失	麗	宋	
1010	○このころ「紫式部日記」成る			
1011	○このころ「源氏物語」成る			1011〕 中契丹，高麗に侵入
1012	⑦大江匡衡(まさひら)死す(61) ◉広隆寺千手観音像			
1013	◉興福寺薬師如来像			
1016	③奝然死す　○このころ紫式部死す			
1017	⑥源信（恵心僧都(えしんそうず)）死す(76)			1016〕 英デーン朝(～1042)

寝殿造



東三条殿復原図



西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	摂関
1018	寛仁 2	②道長太政大臣を辞退　③威子(いし)女御(にょうご)となる　○土御門邸再建に源頼光が家具調度一切を献ずる	後一条	頼通
1019	〃 3	③道長出家。刀伊(とい)の賊（女真族）来寇　④藤原隆家ら刀伊を撃退　⑫頼通，関白となる		
1020	〃 4	㊂南蛮の賊，薩摩を侵す		
1021	治安 1	②改元　⑦源頼光死す(74)。藤原公季太政大臣，頼通左大臣，実資(さねすけ)右大臣となる		
1022	〃 2			
1023	〃 3	⑩道長，高野山に参詣		
1024	万寿 1	②京都大火　⑦改元　⑪近江の瀬田橋焼失		
1025	〃 2	②渡辺綱(わたなべのつな)死す　○この年赤斑瘡大流行		
1026	〃 3	①藤原公任(きんとう)出家		
1027	〃 4	①京都大火　②盗賊禁中に入る　⑫道長死す(62)		
1028	長元 1	⑥平忠常(ただつね)下総で反乱。平直方(なおかた)これを討つ　⑦改元		
1029	〃 2	②平直方敗れる		
1030	〃 3	⑨源頼信(よりのぶ)，直方にかわり忠常を討つ		
1031	〃 4	④忠常降伏　⑥平忠常死す(56)		
1032	〃 5	②源頼信美濃守に，菅原孝標(たかすえ)常陸介に任ず		
1033	〃 6			
1034	〃 7	③高麗人，大隅に漂着　⑦禎子(ていし)内親王，皇子尊仁(たかひと)（のちの後三条天皇）を生む		
1035	〃 8	③延暦・園城両寺の僧徒争う		
1036	〃 9	④後一条天皇崩ず(29)。敦良(あつなが)親王践祚　⑦即位		
1037	長暦 1	②東大・興福両寺の僧徒争う　④改元	後朱雀	
1038	〃 2			
1039	〃 3	②延暦寺僧徒，関白頼通邸に強訴		
1040	長久 1	⑥荘園停止令を出す　⑪改元		
1041	〃 2	①藤原公任死す(76)		
1042	〃 3	③延暦寺僧徒，園城寺の円満院を焼く		
1043	〃 4			
1044	寛徳 1	①藤原隆家死す(66)　⑧宋商，但馬に漂着		
1045	〃 2	①親仁親王に譲位。尊仁親王立太子，後朱雀法皇崩ず(37)　④即位　○この年新立の荘園を停止	後冷泉	

平安時代の荘園

○皇室領
□藤原家領
△東大寺領
●その他

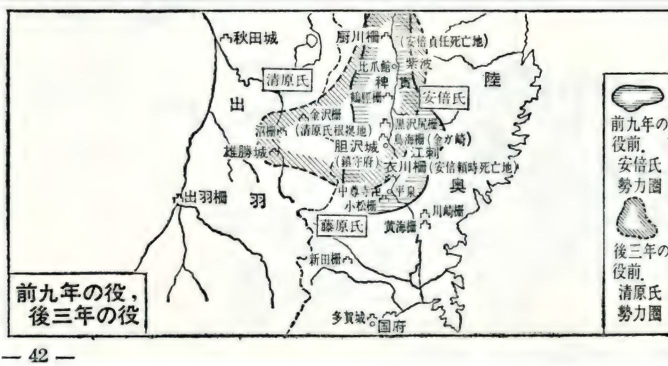


西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1018	◉藤原行成筆白氏詩巻（高松宮家）			
1020	③藤原道長，法成寺無量寿院（阿弥陀堂）を供養。康尚・定朝ら丈六の阿弥陀像を作る			
1021	◉藤原道長「御堂(みどう)関白記」成る			
1022	⑦法成寺金堂・五大堂供養。大仏師定朝を法橋に叙す			
1023	⑤上東門院田楽(でんがく)御覧			
1024	⑥法成寺薬師堂供養	高	北	1024〕独フランケン朝（～1125）
1025	⑪小式部内侍死す			
1026				
1027	⑧法成寺釈迦堂供養 ⑫藤原行成死す(56・世尊寺流の祖) ○このころ「和泉式部集」成る			
1030	④六位以下に檜皮葺・築垣を禁止			
1031	◉このころ宇治上神社拝殿 ◉延暦寺鍍金銀経箱			
1034	○寂照，宋に死す(73) ○このころ「栄華物語」上巻成る			
1036	○このころ「日本紀略」成る	麗	宋	
				1037〕土セルジュク=トルコ起こる
1040	○このころ藤原公任「和漢朗詠集」「新撰髄脳(ずいのう)」成る			1038〕中西夏起こる（～1227）
1042	◉このころ奈良手向山(たむけやま)神社舞楽面			
1045	○このころ藤原明衡(あきひら)「本朝文粋」を編む			



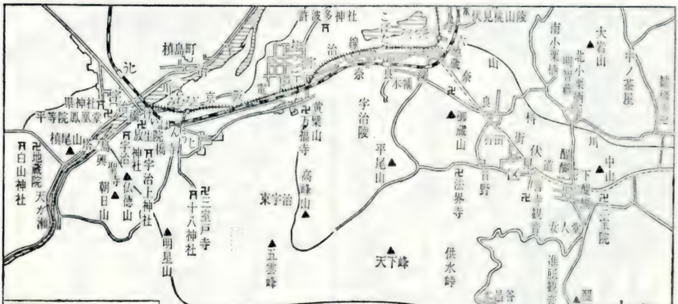
独—ドイツ　土—トルコ　中—中国

西暦	年　号	政　治・経　済・社　会	天皇	摂関
1046	永承 1	①右大臣藤原実資死す(90)　④改元	後冷泉	頼通
1047	〃 2	⑫清原守武，宋と私貿易して流される		
1048	〃 3	④源頼信死す(81)　⑪太宰府から宋暦を献上		
1049	〃 4	⑫興福寺大和守源頼親と合戦		
1050	〃 5	①源頼親父子を流す		
1051	〃 6	○**前九年の役**(～62)。この年安倍頼時陸奥に反乱，源頼義(よりよし)を陸奥守に任じて追討		
1052	〃 7			
1053	天喜 1	①改元　○この年源頼義に鎮守府将軍を兼ねさす		
1054	〃 2			
1055	〃 3	③寛徳2年以後の新立荘園を停止		
1056	〃 4	⑧源頼義陸奥守に再任，安倍頼時を討つ		
1057	〃 5	⑦安倍頼時を誅する ⑪頼時の子貞任(さだとう)頼義を破る。義家奮戦する		
1058	康平 1	②皇居炎上，大極殿・内裏焼亡　⑧改元		
1059	〃 2			
1060	〃 3	⑦藤原教通(のりみち)，左大臣となる		
1061	〃 4	⑫頼通，太政大臣となり，翌年やめる		
1062	〃 5	⑧源頼義・清原武則(たけのり)とともに安倍貞任を討つ ⑨頼義厨川(くりやがわ)に貞任を滅ぼし，宗任(むねとう)を降す		
1063	〃 6	②頼義・義家らの軍功を賞する		
1064	〃 7	㊂頼義ら京に帰還，宗任を伊予に流す		
1065	治暦 1	⑥源師房(もろふさ)内大臣となる（源氏内大臣の始め） ⑧改元　⑨越中荘園停止令		
1066	〃 2	①春日社，神木(しんぼく)入京		
1067	〃 3	⑫頼通関白をやめる		
1068	〃 4	④教通関白となる。後冷泉天皇崩御(44)により尊仁親王践祚　⑦即位	後三条	教通
1069	延久 1	②寛徳以後新置の荘園を停止　④改元 ㊉**記録荘園券契所を設置**		
1070	〃 2	②絹布の制を定める　③教通，太政大臣となる		
1071	〃 3	⑧教通，太政大臣をやめる		
1072	〃 4	⑧物価を定める　⑨量衡を定める（**延久宣旨升**） ⑫貞仁親王に譲位，白河天皇即位		



前九年の役，後三年の役

西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1047	○浄瑠璃寺創建			
1048	③興福寺再興供養，定朝法眼となる			
1051	○藤原資業が日野法界寺を創建			
1052	○この年末法に入る			
	③頼通が宇治殿を平等院とする			
1053	③平等院鳳凰堂落成 ◉阿弥陀如来像(定朝)・九品来迎図扉絵	高	北	1054〕[教]ギリシア・ローマ両教会分立
	○このころ「浜松中納言物語」			1055〕[土]セルジュク軍バグダード入城
1057	⑧定朝死す			
1058	②法成寺全焼			
1060	○このころ菅原孝標女「更級日記」藤原明衡「明衡往来」成る			
1062	○このころ「陸奥話記」			
1063	○源頼義，八幡宮を由井郷に建つ			
1064	◉広隆寺十二神将像（長勢）			
1065	⑩法成寺再建供養，長勢功により法橋に叙せらる	麗	宋	1066〕[英]ノルマン朝(～1154)
1066	○藤原明衡死す			
1067	○興福寺再建供養，覚助功により法橋に叙せらる			
1069	◉法隆寺絵殿聖徳太子像（円快）			1069〕[中]宋，王安石の新法を行なう
1071	⑥円宗寺供養			
1072	③成尋（じょうじん）入宋			1072〕[中]宋の欧陽修死す



醍醐・宇治付近

西暦	年　号	政　治・経　済・社　会	院政	天皇	摂関
1073	延久 5	①院蔵人所を置く　⑤後三条法皇崩ず(40)		白河	教通
1074	承保 1	②藤原頼通死す(83)			
1075	〃 2	②延暦寺・園城寺の僧徒争う　⑦源頼義死す(88)　⑨藤原教通死す(80)　⑩藤原師実，関白となる			師実
1076	〃 3				
1077	承暦 1	②源師房死す(70)　⑪改元			
1078	〃 2	⑫宋商孫忠，宋国の書状を太宰府にもたらす			
1079	〃 3	⑥延暦寺僧徒強訴　⑧源義家，源重宗を美濃に討つ			
1080	〃 4	③高麗使きたり医を求める　㊇宋商，敦賀に来着			
1081	永保 1	②改元　③興福寺僧徒多武峯を襲う　⑥延暦寺の僧徒，園城寺を焼く			
1082	〃 2	⑩熊野衆徒強訴			
1083	〃 3	①源俊房左大臣，源顕房右大臣，藤原師通内大臣となる　⑨**後三年の役**(～87)。源義家，陸奥の清原真衡を助け清原家衡を討つ			
1084	応徳 1	②改元　〇この年筑前の商人高麗へ行く			
1085	〃 2	㊤興福寺僧徒大和十市郡の民家を焼く　⑦京都の福徳神などの淫祠を破壊す　〇清原武衡そむく			
1086	〃 3	⑪善仁親王に譲位。**白河上皇の院政始まる。**師実，摂政となる　⑫即位	白河	堀河	
1087	寛治 1	④改元　⑫源義家，清原武衡の伏誅を奏す			
1088	〃 2	②上皇，高野山に御幸			
1089	〃 3				
1090	〃 4	①上皇，熊野に御幸　⑫師実，関白となる			
1091	〃 5	②上皇，高野山に御幸　⑥**諸国百姓の源義家に土地寄進を禁ずる**			
1092	〃 6	⑤源義家の新立荘園を禁ずる			
1093	〃 7	⑧興福寺僧徒強訴　⑪南都僧徒，金峰山を襲う			
1094	嘉保 1	③藤原師通，関白となる　⑤藤原伊房ら契丹と私貿易して処罰される　⑫改元			師通
1095	〃 2	⑩延暦寺僧徒，美濃守源義綱について強訴　〇この年院に**北面の武士**を置く			
1096	永長 1	⑧上皇出家　⑫改元			
1097	承徳 1	⑪改元			
1098	〃 2	⑩源義家に院の昇殿を許す			



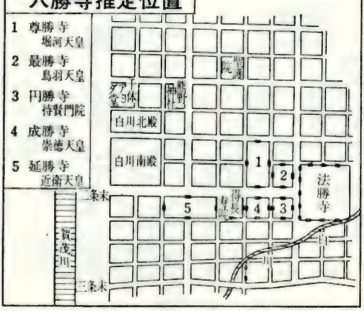
熊野参詣行路



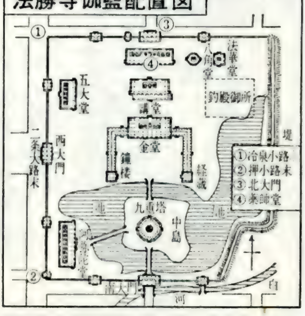
平安時代の近畿主要社寺

西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1073	⑩在宋の成尋新訳経三百巻を贈進			
1075	①宋の神宗成尋を通じて貨物を贈る			
1076	⑫法勝寺阿弥陀堂供養			1076〕中宋の王安石失脚
1077	②香椎(かしい)宮焼失　⑦源隆国死す(74) ⑫白河天皇法勝寺を供養			1077〕独カノッサの屈辱
1078	①石山寺焼失　④清涼殿歌合(うたあわせ)			
1079	⑩法成寺塔供養			
1081	○成尋宋で死す(71)	高	北	
1082	⑧宋商鸚鵡(おうむ)を献上			1082〕伊ベネチア，東ローマから商業権を獲得
1083	⑩法勝寺九重塔・薬師堂供養			
1084	④園城寺金堂供養 ◉福井意足寺千手観音像			
1085	◉金剛峯寺涅槃(ねはん)図			1085〕中宋の程明道死す
1086	⑨藤原通俊「後拾遺集」を選上			1086〕中宋の王安石・司馬光死す
1088	③春日版唯識論を刊行			1088〕伊ボロニア大学創立
1090	⑥大江匡房(まさふさ)，漢書を進講	麗	宋	
				1095〕教クレルモン宗教会議
1096	⑥田楽(でんがく)流行　⑦田楽天覧 ⑫石山寺本堂再建供養			1096〕欧第１回十字軍(～99)
1097	○このころ皇円(こうえん)「扶桑略記(ふそうりゃくき)」なる			

六勝寺推定位置



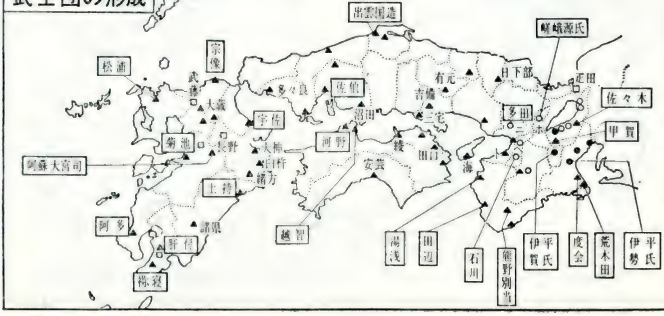
法勝寺伽藍配置図



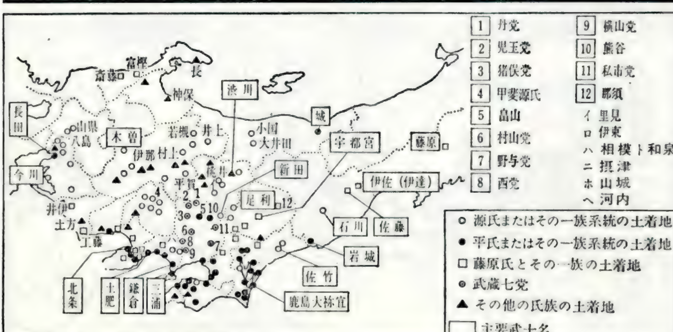
中—中国　独—ドイツ　伊—イタリア　教—ローマ教会　欧—ヨーロッパ

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	院政	摂関
1099	康和 1	①仁和寺覚行を親王とする（法親王の始め） ⑤新立荘園を停止　⑥関白師通死す(38) ⑧改元。藤原忠実内覧	堀河	白河	忠実
1100	〃 2				
1101	〃 3	②前関白師実死す(60)　⑦対馬守源義親の九州劫掠を追討　⑫延暦寺僧徒，互いに争う			
1102	〃 4	⑨東大・興福両寺の僧徒争う ⑫源義親を捕え，隠岐に流す			
1103	〃 5	③興福寺強訴　⑩延暦寺強訴			
1104	長治 1	②改元　○**このころ諸寺僧徒の横暴はなはだし**			
1105	〃 2	①延暦寺強訴　⑫忠実関白となる			
1106	嘉承 1	②清水寺強訴　④改元　⑦源義家死す(68)			
1107	〃 2	⑦堀河天皇崩ず(29)。宗仁親王践祚　⑫即位	鳥羽		
1108	天仁 1	①平正盛出雲にのがれた源義親を誅する ③延暦寺僧徒の強訴を源平両氏で防ぐ ⑧改元　⑪新立荘園を停止			
1109	〃 2	②源為義源義綱を捕え，義綱，佐渡に配流			
1110	天永 1	⑦改元			
1111	〃 2	⑨興福・東大両寺の僧徒争う。延久にならい記録荘園券契所を置く　⑪大江匡房死す(71)			
1112	〃 3	⑫摂政忠実，太政大臣となる			
1113	永久 1	④興福・延暦両寺僧徒争い，源平両氏で防ぐ ⑦改元			
1114	〃 2	⑦院宣により延暦寺僧徒の武器携帯を禁止			
1115	〃 3				
1116	〃 4	⑤宋の書状きたる　⑦新制七条を定める ⑩検非違使により園城寺の強訴を防ぐ			
1117	〃 5	⑨宋に返書する　⑩法皇，熊野に御幸			
1118	元永 1	③宋の書状きたる　④改元			
1119	〃 2	③法皇，上野国の荘園5000町を停止 ⑤京都に盗賊横行し平正盛に取り締まりを命ず			
1120	保安 1	④改元　⑧興福寺僧徒の強訴で和泉守罷免			
1121	〃 2	③藤原忠通関白となる　⑪源俊房死す(87)			忠通
1122	〃 3				

武士団の形成



西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1099				1099〕[教]イエルサレム王国建設（〜1187）
1100				
1101	⑧太宰権帥大江匡房，菅公を祭る			
	○このころ「栄華物語」下巻			
1102	⑦白河法皇，尊勝寺供養			
1103	⑪高野山大塔供養	高	北	
	○康和中に「堀河院百首」成る			
1105	②藤原清衡(きよひら)中尊寺建立発願			
1107	⑦浄瑠璃寺本堂上棟を行なう			1107〕[鮮]高麗，女真と戦う
	○このころ「江談抄」「今昔物語」成る			
				1109〕[教]アンセルムス死す
1111	○このころ「讃岐典侍日記」「打聞集」			1111〕[独]ヘンリー五世法王を捕え，帝冠を受ける
1112	○鶴林寺太子堂成る			
		麗	宋	
1115	○白拍子(しらびょうし)始まる			1115〕[中]女真の阿骨打，金を建国（〜1234）
1116	○三善為康(みよしためやす)「朝野群載」			
1118	⑫最勝寺供養			1118〕[教]宗教騎士団創設
	◉岩手毛越(もおつ)寺庭園・清衡発願金銀交書一切経			1119〕[中]金で女真文字を作る
1120	◉鞍馬寺経筒・元永本古今集			
1121	○このころ「大鏡」成る			1122〕[教]ウォルムス協約
1122	④法勝寺三十万塔供養			

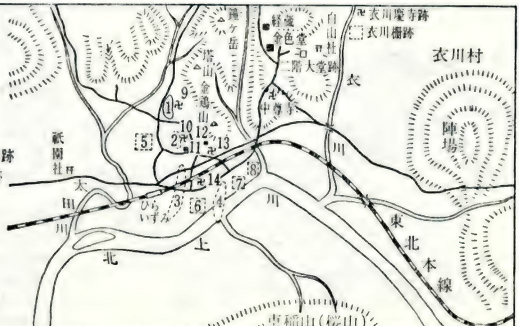


[教]—ローマ教会　[鮮]—朝鮮　[独]—ドイツ　[中]—中国

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	院政
1123	保安 4	①顕仁親王に譲位，忠通，摂政となる　②即位 ⑦延暦寺の強訴を平忠盛・源為義ら撃退	崇	白
1124	天治 1	④改元　⑩鳥羽上皇，高野山に御幸		
1125	〃 2	⑪法皇上皇，熊野に御幸　○諸国に殺生禁断を命ず		
1126	大治 1	①改元　⑥魚網放棄，殺生禁止令をしく		
1127	〃 2	⑩源義光死す(83)。法皇・上皇，高野に御幸		河
1128	〃 3	⑦鎮守府将軍藤原清衡死す(73)		
1129	〃 4	③**備前守平忠盛，瀬戸内海の海賊を追捕** ⑦白河法皇崩ず(77)。鳥羽上皇の院政となる		
1130	〃 5	⑤源為義の郎等人を辱しめて勅勘をこうむる		
1131	天承 1	①改元		
1132	長承 1	③平忠盛に内昇殿を許す　⑧改元		
1133	〃 2	⑧宋商きたる。平忠盛院宣と称し，その貨物を収める		
1134	〃 3	③京都の条里を修める　⑩上皇，熊野に御幸		
1135	保延 1	④改元　⑥平忠盛，海賊の首領を捕える	徳	鳥
1136	〃 2			
1137	〃 3	②興福寺僧徒強訴　⑪伊勢神人の訴えで，平季盛配流		
1138	〃 4	④延暦寺僧徒強訴		
1139	〃 5	③平忠盛，興福寺僧徒の入京を防ぐ		
1140	〃 6	㊄延暦寺僧徒，園城寺を焼く		
1141	永治 1	③上皇出家　⑫譲位により体仁親王即位		
1142	康治 1	③園城寺僧徒，延暦寺を焼く　④改元　⑧興福寺の悪僧15人を陸奥に流す		
1143	〃 2	⑥源為義，藤原頼長に臣属する		
1144	天養 1	②改元　⑪白河離宮なる	近	羽
1145	久安 1	③東大・興福両寺争う　⑦改元		
1146	〃 2	②**平清盛**，安芸守となる　③京都大火		
1147	〃 3	⑥清盛の郎党祇園神人と戦い，延暦寺僧徒強訴		
1148	〃 4	⑥興福寺僧徒強訴		
1149	〃 5	⑦藤原頼長左大臣となる		
1150	〃 6	⑨**頼長忠通と争い，頼長が氏長者となる**	衛	
1151	仁平 1	①改元　②興福寺僧徒の武装を禁ずる		
1152	〃 2			
1153	〃 3	①平忠盛死す(58)		

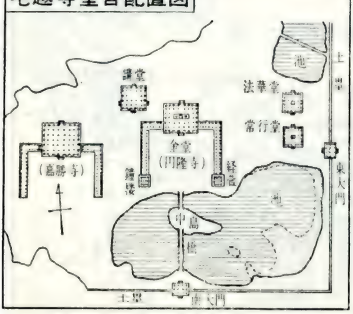
平泉付近図

1. 大泉池
2. 観自在王院の池の跡
3. 鈴沢池
4. 猫間ノ淵跡
5. 国衙・陸奥館
6. 伽羅の御所（秀衡館）跡
7. 柳の御所（平泉館）跡
8. 高館（義経館）跡
9. 毛越寺跡
10. 観自在王院跡
11. 常行堂
12. 千手堂
13. 蔵王堂（花館廃寺跡）
14. 無量光院跡

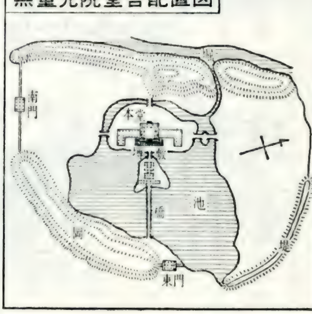


西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1123				
1124	⑥**良忍(りょうにん)融通念仏宗を始める**		北	1124〕 中金，遼を滅ぼす
	◉**醍醐寺薬師堂・中尊寺金色堂**			
	天治本万葉集		宋	
1125	◉御物本催馬楽(さいばら)			
1127	○源俊頼「金葉和歌集」を選上			1127〕 中靖康(せいこう)の変，宋室南遷
	◉東寺五大尊・十二天像			
1128	③円勝寺供養			
1129	⑪源俊頼死す(70)			
1130	⑩法金剛院落成供養	高		
1131	⑦鳥羽阿弥陀堂供養			
1132	②良忍死す(61)		南	1132〕 中西遼興る(～1211)
	③得長寿院（千体観音堂）供養			
1136	③鳥羽勝光明院供養			
1137	⑩安楽寿院供養			
				1138〕 中宋，臨安（杭州）に都する
1139	⑩崇徳天皇，成勝寺供養			
1140	⑩佐藤義清（西行）出家			
1141	◉久能寺経・春日神社藤花松喰鶴文鏡			1141〕 中秦檜(しんかい)，岳飛(がくひ)を殺す
1142	◉藤原教長筆理趣経（久原文庫）	麗		
1143	○覚鑁(かくばん)死す(49)		宋	
				1147〕 欧第2回十字軍(～49)
1148	⑥大原往生極楽院供養　◉本堂・阿弥陀三尊像			
	⑦忠通，法性寺を建立			
1149	③延勝寺供養			1150〕 仏パリ大学創立
1151	○藤原顕輔(あきすけ)「詞花和歌集」選上			
1153	④大江氏の江家文庫焼失			

毛越寺堂舎配置図



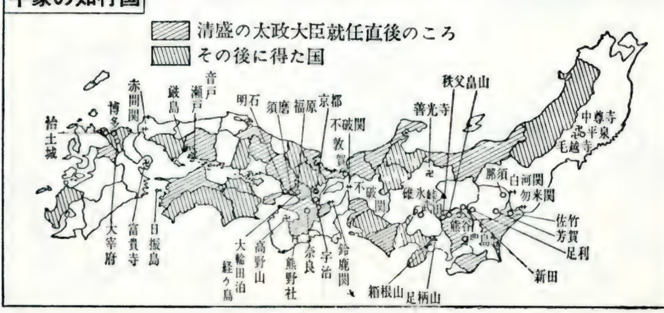
無量光院堂舎配置図



中―中国　欧―ヨーロッパ　仏―フランス

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	院政
1154	久寿 1	④延暦寺僧徒強訴　⑩改元 ⑪源為朝九州を荒し，父右衛門尉為義解官さる	近衛	鳥羽
1155	〃 2	④太宰府に命じ為朝に与力を禁止　⑦近衛天皇崩ず(17)。雅仁親王践祚，藤原忠通，関白となる ⑧源義平源義賢と武蔵大倉に戦い，これを殺す ⑩即位	後白河	
1156	保元 1	④改元　⑦鳥羽法皇崩ず(54)。**保元の乱起こる**。藤原頼長死す(37)。崇徳上皇讃岐に移され，為義(61)ら斬られる　⑧源為朝を捕え，伊豆大島に流す		
1157	〃 2	③陸奥出羽押領使藤原基衡死す ⑩新制35条を定める		
1158	〃 3	⑧守仁親王に譲位。藤原（近衛）基実関白となる。後白河上皇の院政始まる　⑫即位	二条	後白河
1159	平治 1	④改元　⑫**平治の乱**起こる。藤原通憲（信西）自殺，藤原信頼斬られる(27)		
1160	永暦 1	①改元。源義朝尾張に逃れ，長田忠致に殺さる(38)。③源頼朝を伊豆に流す		
1161	応保 1	⑨改元		
1162	〃 2	⑥藤原忠実死す(85)		
1163	長寛 1	③改元。延暦寺僧徒，園城寺を焼く		
1164	〃 2	②藤原忠通死す(68)　⑧崇徳法皇崩ず(46) ⑩延暦寺僧徒，座主を追放する		
1165	永万 1	⑥順仁親王に譲位，近衛基実摂政となる　⑦即位。二条上皇崩ず(23)	六条	
1166	仁安 1	⑦近衛基実死す(24)　⑧改元。藤原（松殿）基房，摂政となる　⑪平清盛，内大臣となる		
1167	〃 2	**②平清盛太政大臣となる**　⑤清盛太政大臣をやめる		
1168	〃 3	②清盛出家，憲仁親王に譲位，基房摂政となる ③即位	高倉	
1169	嘉応 1	④改元　⑥後白河上皇出家　⑫藤原成親を流す		
1170	〃 2	⑤**藤原秀衡**を鎮守府将軍とする　⑨法皇宋人謁見		
1171	承安 1	④改元　⑫清盛の女徳子女御となる		
1172	〃 2	②平徳子中宮となる　⑨宋の明州刺史，法皇清盛に物を贈る　⑫基房，関白となる		
1173	〃 3	③宋に返書　○この年，清盛，摂津兵庫島を築く		

平家の知行国



西暦	文　化	朝鮮	中国	世界史
1154	⑧鳥羽金剛心院供養	高麗	南宋	1154〕英プランタジネット朝成立(～1399)
1155	○藤原為経「後葉和歌集」成る ⑫藤原隆能(たかよし)を参河守に任ずる			
1156	○藤原頼長「台記」 ◉このころ，土佐豊楽寺薬師堂・豊後富貴寺阿弥陀堂			
1159	○藤原通憲「法曹類林(ほうそうるいりん)」			
1160	◉福島白水阿弥陀堂・阿弥陀三尊・二天像			
1161	◉中禅寺錫杖(しゃくじょう)			1161〕中金，汴京（開封)に遷都 1163〕仏ノートルダム寺院起工
1164	⑫平清盛，蓮華王院を造営。仏師康朝・康慶・運慶ら千手観音一千一体を作る ◉このころ，「平家納経」(厳島神社)			
1165	◉広隆寺講堂			
1167	○重源(ちょうげん)入宋			
1168	④栄西(ようさい)入宋　⑨栄西・重源帰朝			
1169	③後白河法皇「梁塵(りょうじん)秘抄」成る			1170〕英オックスホード大学創立
1170	○「今鏡(いまかがみ)」成る			
1171	○覚阿(かくあ)入宋			1171〕サファチマ朝滅ぶ
1173	⑤文覚(もんがく)流罪			1172〕中朱子の「通鑑綱目」成る

関東地方武士団分布

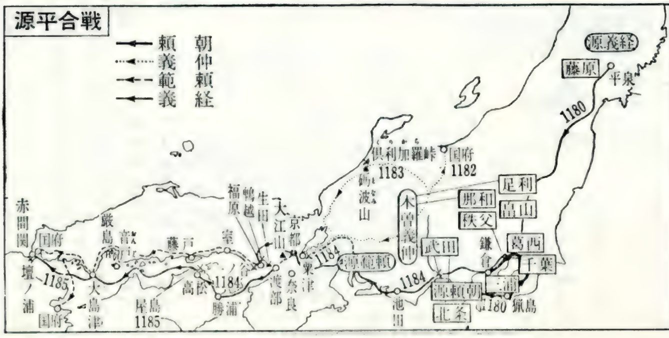
×頼朝挙兵の際，平氏側に立ったもの
●平　氏
◎源　氏
○藤原氏（秀郷流）
◌その他
→頼朝の進路



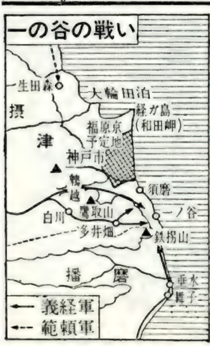
1. 小山朝光
2. 足利俊綱
3. 新田義重
4. 熊谷直実
5. 畠山重忠
6. 比企能員
7. 河越重頼
8. 豊島清元
9. 江戸重長
10. 葛西清重
11. 千葉介常胤
12. 上総介広忠
13. 梶原景時
14. 大庭景親
15. 和田義盛
16. 伊東祐親
17. 土肥実平
18. 北条時政
19. 山木兼隆
20. 安田義定
21. 一条忠頼
22. 武田信義

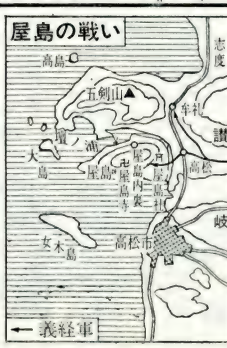
英—イギリス　中—中国　仏—フランス　サ—サラセン

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	院政
1174	承安 4	③法皇，福原・厳島に御幸　○源義経奥州に下る	高倉	後白河
1175	安元 1	⑦改元		
1176	〃 2	⑦六条上皇崩ず(13)　⑩工藤祐経河津祐泰を殺す		
1177	治承 1	③平重盛内大臣となる。源為朝自殺　④延暦寺僧徒強訴　⑦鹿谷(ししがたに)の陰謀発覚　⑧改元		
1178	〃 2	⑦流人藤原成経・平康頼召還　⑪中宮徳子（建礼門院）言仁親王を生む　⑫源頼政従三位に昇る		
1179	〃 3	⑦平重盛死す(42)　⑨俊寛，鬼界島に死す(37) ⑪清盛の奏請により，関白を近衛基通にかえる。院の近臣を処分し，法皇を鳥羽殿に幽閉		
1180	〃 4	②言仁親王に譲位，基通摂政となる　④即位 ⑤源頼政以仁(もちひと)王を奉じて挙兵，宇治川に敗死(76) ⑥福原遷都　⑧頼朝伊豆に挙兵，石橋山に敗れる ⑨源義仲信濃に挙兵　⑩頼朝鎌倉に入る。富士川の対陣に平維盛(これもり)ら敗走　⑪頼朝侍所を設け和田義盛を別当に補す。福原より還都　⑫平重衡(しげひら)南都を攻め，興福・東大両寺を焼く	安徳	高倉
1181	養和 1 (治承 5)	①高倉上皇崩ず(21)　後白河法皇院政再開　㊀平清盛死す(64)　⑦改元　⑧藤原秀衡陸奥守に任ず		後白河
1182	寿永 1 (治承 6)	⑤改元　⑨諸国の追討使を停止　⑩平宗盛(むねもり)内大臣となる。木曽義仲城長茂(じょうのながしげ)の軍を破る		
1183	〃 2 (治承 7)	⑤砺波(となみ)山合戦　⑦平家西国に逃れ，義仲入京 ⑧法皇後鳥羽天皇を立てる　⑪義仲法皇を幽閉	後鳥羽	
1184	〃 3 (元暦 1)	①義仲征夷大将軍となり，のち敗死(31)　②一谷の戦い　④京都改元　⑩頼朝公文所問注所設置		
1185	文治 1 (元暦 2)	②屋島の戦い　③壇の浦の戦い　安徳天皇入水(8)　平家滅亡　⑤義経鎌倉にはいれず腰越状を書く ⑧改元　⑩義経の奏請で頼朝追討の宣旨を下す ⑪頼朝の奏請で守護地頭設置。兵粮米徴収を許す		
1186	〃 2	③九条兼実(かねざね)摂政となる　⑤源行家和泉に敗死		
1187	〃 3	②義経，藤原秀衡を頼る　⑩藤原秀衡死す(65)		
1188	〃 4	②藤原泰衡に義経捕進を命ずる		
1189	〃 5	㊃藤原泰衡，義経を殺す(31)　⑨頼朝奥州を平定		
1190	建久 1	④改元　⑩頼朝入京　⑪頼朝，右近衛大将となる		
1191	〃 2	①頼朝，公文所を政所と改める		



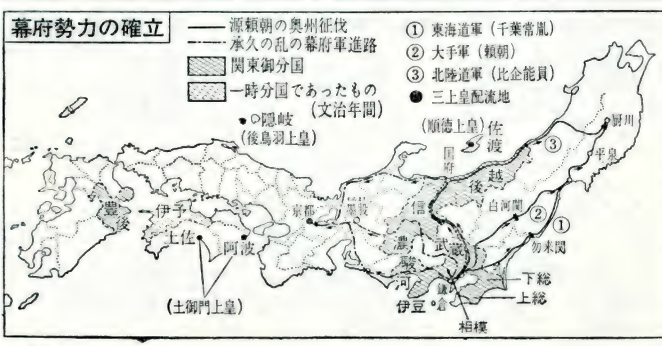
西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1174	◉播磨一乗寺三重塔	高麗	南宋	
1175	○源空専修念仏を唱える(浄土宗)			
1176	○藤原俊成出家 ◉奈良円成寺大日如来像（運慶） ◉藤原秀衡発願金字一切経(中尊寺)			1176〕㊥朱子，白鹿洞書院復建を請う
1177	○藤原清輔「続詞花集」成る ④京中大火で大極殿焼失し廃絶			
1178	⑪京都一条大宮の三重塔を浄瑠璃寺に移す　○平康頼「宝物集」 ◉宮城高蔵寺阿弥陀堂 ◉栄西筆「誓願寺盂蘭盆縁起」			
1179	⑫平清盛，宋版太平御覧を東宮に献ずる			
1180	○藤原教長死す(72) ○このころ，橘忠兼「伊呂波字類抄」「粉河寺縁起」「病草紙」			
1181	④重源東大寺再建勧進に当たる ○「鴨長明集」			
1183	○宋の陳和卿大仏補修 ○顕昭「古今集序註」			1183〕㊞コンスタンツの和約。皇帝ロンバルジア諸市の自由を認める
1184	○「元暦校本万葉集」 ②平忠度死す(41)			
1185	⑧東大寺大仏開眼供養 ⑩鎌倉勝長寿院供養 ○このころ，「保元物語」「平治物語」			
1186	④大原御幸　⑧頼朝，西行を引見			
1187	③栄西再び宋にわたる ⑨藤原俊成「千載集」を選上			1189〕㊇第３回十字軍(～92)
1188	◉四天王寺扇面写経			
1189	◉興福寺南円堂不空羂索観音像			1190〕㊞ドイツ騎士団起こる
1190	②西行死す(73)　「山家集」			
1191	⑦栄西帰朝，臨済禅を広める			





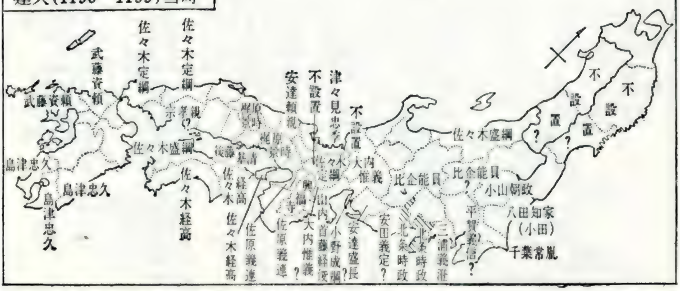


西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	院政	将軍	執権
1192	建久 3	③後白河法皇崩ず(66) **⑦源頼朝，征夷大将軍となる** ⑫銭貨を停止	後鳥羽		源頼朝(1)	
1193	〃 4	⑤曾我兄弟仇討 ⑦宋銭の通用を停止 ⑧頼朝，弟範頼を修善寺に殺す				
1194	〃 5	③頼朝，砂金を京に献じ東大寺再建を援ける				
1195	〃 6	③頼朝入京 ⑦帰府 ⑨奥州惣奉行を置く				
1196	〃 7	**⑪関白兼実をやめ近衛基通にかえる。**土御門通親権勢をふるう ○幕府武蔵を国検				
1197	〃 8	⑩一条能保死す(51)				
1198	〃 9	①為仁親王に譲位。後鳥羽上皇の院政となる。摂政近衛基通 ③即位	土御門	後鳥羽		
1199	正治 1	①頼朝死す(53) 頼家，家督を相続 ④改元 **北条時政ら13人の訴訟合議制きまる**				
1200	〃 2	①梶原景時敗死。三浦義澄死す(74)				
1201	建仁 1	②改元。城長茂敗死 ③千葉常胤死す(84)				
1202	〃 2	⑦源頼家征夷大将軍となる ⑩土御門通親死す(54) ⑫九条良経摂政となる			頼家(2)	
1203	〃 3	⑧頼家病み全国を子一幡，弟千幡（実朝）に分与 ⑨北条時政ら比企能員，一幡を殺す。**源実朝征夷大将軍，時政執権となる。**頼家を修善寺に幽閉			実朝(3)	北条時政
1204	元久 1	②改元 ⑤幕府諸国地頭の乱行を戒める ⑦時政ら頼家を殺す(23)				
1205	〃 2	⑥畠山重忠殺される(42) ㊆時政の妻牧氏女婿平賀朝政の陰謀露顕し，時政失脚，北条義時執権となる				義時
1206	建永 1	③摂政九条良径，急死す(38) 近衛家実，摂政となる ④改元				
1207	承元 1	④九条兼実死す(59) ⑩改元				
1208	〃 2	⑨熊谷直実死す(68) ⑫中原親能死す(66)				
1209	〃 3	⑤和田義盛，上総国司を請い許されず				
1210	〃 4	⑪守成親王に譲位 ⑫即位	順徳			
1211	建暦 1	③改元 ⑥幕府，東海道に新駅を設ける ⑨頼家の次子出家して公暁と名のる				
1212	〃 2	③新制21条を定む ⑩幕府庶民の訴えを聞く				

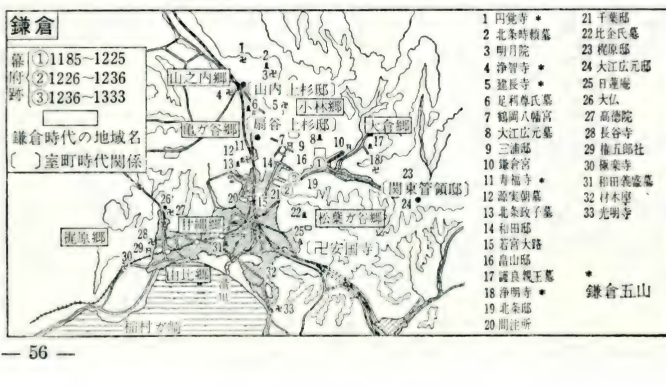


西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1192	⑨重源，尾道の浄土寺浄土堂を建立			1192〕 中宋の陸象山死す（1139～）
1193	④重源・文覚に東大寺・東寺造営料国を与える　「◉石山寺多宝塔			1193〕 印ゴール朝北インド統一（～1206）
1194	⑦延暦寺強訴し栄西の禅宗禁止			
1195	③**東大寺再建供養**　○「水鏡」			
1196	○「とりかへばや物語」「餓鬼草紙」 ◉東大寺南大門石獅子（陳和卿）			
1197	◉高野山不動堂・八大童子像			
1198	○栄西「興禅護国論」，源空「選択本願念仏集」	高	南	1198〕 教インノセント3世法王となる。法王権隆盛
1199	○俊芿(しゅんじょう)入宋し戒律を学ぶ ◉東大寺南大門・三月堂			
1200	㊀平政子，鎌倉に寿福寺を建立 ○九条兼実「玉葉(ぎょくよう)」(1162～)			
1201	◉東大寺僧形(そうぎょう)八幡像（快慶）			
1202	⑦寂蓮死す　○栄西，建仁寺創建			1202〕 欧第4回十字軍（～04）
1203	○後鳥羽上皇「世俗浅深秘抄」 ◉東大寺南大門二王（運慶・快慶） ◉神護寺源頼朝・平重盛画像(隆信)			
1204	⑪藤原俊成死す(91)			
1205	②藤原隆信死す(64) ③定家ら「新古今和歌集」を選上			
1206	⑥重源死す(86)　⑪高弁（明恵）栂尾(とがのお)を賜わり高山寺を創建	麗	宋	1206〕 中蒙古チンギス汗即位
1207	②源空を土佐に流し，専修念仏禁止 ○藤原定家，小倉山荘を営む			
1208	⑫興福寺北円堂再建供養，同堂の無著・世親像（運慶）成る			
1209	③大野寺（奈良県）の石仏完成 ○藤原定家「近代秀歌」			1209〕 教フランチェスコ教団創立
1210	◉東大寺鐘楼			
1211	④俊芿帰朝し，建仁寺に入る			
1212	①源空(法然)死す(80)　⑪高弁「摧邪輪(さいじゃりん)」　○鴨長明「方丈記」			

守護配置図
建久(1190～1199)当時



西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	院政	将軍	執権
1213	建保 1	⑤和田義盛挙兵，敗死(67)。義時，侍所別当を兼任　⑫改元	順徳	後鳥羽	実朝(3)	義時
1214	〃 2	④延暦寺僧徒，園城寺を焼く				
1215	〃 3	①北条時政死す(78) ⑦鎌倉に住む商人の数を定める。僧徒の武力を禁止				
1216	〃 4	⑥実朝宋人陳和卿を引見　⑪陳和卿に渡宋の大船を造らす				
1217	〃 5	④大船浮かばず，実朝渡宋の企てを止める ⑥公暁，鶴岡八幡宮別当となる				
1218	〃 6	②平政子熊野に詣り入京　⑩実朝内大臣となる　⑫実朝右大臣となる				
1219	承久 1	①**公暁実朝を殺し**(28)**源氏滅亡**　③上皇，幕府に摂津長江倉橋両荘の地頭改補を要求 ④改元　⑥九条道家の子頼経を鎌倉に迎える ⑦平政子（尼将軍）政を聞く				
1220	〃 2					
1221	〃 3	④懐成親王に譲位。九条道家，摂政となる ⑤**承久の変**　⑥北条泰時入京。六波羅探題を置く　⑦茂仁親王に譲位。守貞親王(後高倉院)聴政。近衛家実摂政となる。後鳥羽法皇を隠岐，順徳上皇を佐渡に移す ⑧幕府官軍の所領を没収し，戦功将士に与える。三善康信死す(82)　⊕土御門上皇を土佐に移す　⑫即位	仲恭 後堀河	後高倉		
1222	貞応 1	④改元　守護・地頭の所務を定める ⑧西園寺公経太政大臣となる				
1223	〃 2	⑤後高倉院崩ず(45)　土御門上皇阿波に移る ⑥幕府，新補地頭の得分をきめる				
1224	元仁 1	⑥北条義時死す(62)　執権北条泰時，連署北条時房となる　㊀義時後室伊賀氏の陰謀露顕　⑪改元				泰時
1225	嘉禄 1	④改元　⑥大江広元死す(78)　⑦平政子死す(69)　⑩新制36条を定める　⑫**幕府，評定衆を置き大番の制を定める**				
1226	〃 2	①頼経将軍となる　○この年肥前松浦党のもの高麗沿岸を侵す			頼経	



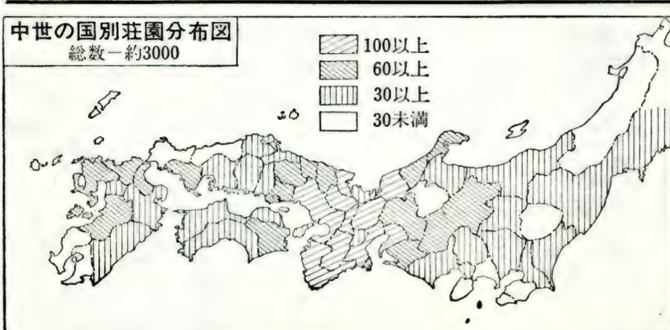
西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1213	②貞慶(じょうけい)死す(59)　⑩鴨長明死す(63) ○源実朝「金槐(きんかい)和歌集」	高麗	南宋	
1214	②栄西「喫茶養生記」を著わす			
1215	⑦栄西死す(75)　○源顕兼(あきかね)「古事談」 ◉興福寺天灯鬼・竜灯鬼（康弁(こうべん)）			1215〕英マグナカルタ（大憲章）
1216	②後鳥羽上皇「百首御和歌」			
1217	◉当麻(たいま)寺新曼荼羅(しんまんだら)			
1219	◉「北野天神縁起絵巻」・俊芿筆「泉涌(せんにゅう)寺勧縁疏」			1219〕中チンギス汗西域に出征
1220	○慈円「愚管抄」			
1221	⑦後鳥羽上皇，出家の宸影を藤原信実(のぶざね)にえがかせ七条院に奉る（大阪水無瀬(みなせ)神宮） ○順徳天皇「禁秘抄(きんぴしょう)」 ○このころ「宇治拾遺(うじしゅうい)物語」			1221〕中蒙古，インドに侵入
1222	②清涼寺供養			
1223	②道元(どうげん)入宋し，加藤景正(かげまさ)これに従う　⑫運慶死す ○源行光？　「海道記」 ◉高野山金剛三昧院多宝塔・経蔵			
1224	○親鸞(しんらん)の浄土真宗広まる。「教行信証(きょうぎょうしんしょう)」			1224〕中蒙古，南ロシアに侵入
1225	⑨慈円死す(71)			
1226	○平泉の毛越寺焼失			





英—イギリス　中—中国

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	院政	将軍	執権
1227	安貞 1	⑤大宰少弐武藤資頼，高麗を侵した辺民を処刑し高麗に返書　⑫改元	後堀河		藤原頼経（摂家1）	泰時
1228	〃 2	⑫九条道家，関白となる				
1229	寛喜 1	③改元　④寛徳以後の新立荘園を停止				
1230	〃 2	⑥泰時窮民を救恤，米価一石銭一貫文とす ⑨諸国新立の荘園を停止　○この年大飢饉				
1231	〃 3	⑦九条教実(のりざね)関白となる　⑩土御門上皇，阿波に崩ず(37)　○この年諸国餓死者多し				
1232	貞永 1	④改元　⑧**「関東御成敗（貞永）式目」制定** ⑩秀仁(みつひと)親王に譲位　⑫即位	四条	後堀河		
1233	天福 1	④改元　⑤近衛基通死す(74)				
1234	文暦 1	⑤仲恭上皇崩ず(17)　⑧後堀河上皇崩ず(23) ⑪改元				
1235	嘉禎 1	③九条教実死す(26)　道家摂政となる　⑨改元				
1236	〃 2	⑩幕府，興福寺僧徒の荘園を収め，大和国に守護地頭を置き翌月廃止				
1237	〃 3	③近衛兼経，摂政となる ⑥社寺国司領家の訴訟は式目によらずとす				
1238	暦仁 1	②将軍頼経上洛　⑨本・新補地頭の違令改易法を制定　⑪改元				
1239	延応 1	②改元。後鳥羽法皇，隠岐に崩ず(60) ⑤幕府，人身売買を禁止　⑫三浦義村死す				
1240	仁治 1	①北条時房死す(66)　③幕府，倹約令を下す。家人郎等の任官を禁止　⑤幕府再び人身売買を禁ず　⑦改元				
1241	〃 2	⑩幕府，武蔵野の開墾をはかる				
1242	〃 3	①四条天皇崩じ(12)，邦仁親王践祚。**皇嗣に関する幕使入京**　③即位。関白二条良実 ⑥北条泰時死す(60)　北条経時執権となる ⑨順徳上皇，佐渡に崩ず(46)	後嵯峨			経時
1243	寛元 1	②改元　㊆承久の変没収地を京都篝屋造営所とする　⑫奴婢雑人所生の所属を定む				
1244	〃 2	④頼経を廃し頼嗣(よりつぐ)を将軍とする ⑧西園寺公経死す(74)			頼嗣(2)	
1245	〃 3	⑦前将軍頼経出家				



中世の国別荘園分布図
総数ー約3000

西暦	文　　化	朝鮮	中国	世　界　史
1227	㊂俊芿死す(62)　⑥源空の墓を破壊 ⑦専修念仏を停止 ○道元帰朝，**曹洞宗**を伝える。加藤景正帰朝，**瀬戸焼**を始める	高麗	南宋	1227〕㊥西夏滅亡 1228〕㊇第5回十字軍(～29)
1229	◉「高山寺明恵上人樹上坐禅図」(成忍)			
1232	①高弁死す(60) ⑩藤原定家「新勅撰和歌集」選上			1231〕㊥蒙古，高麗を討つ
1233	①京都に猿楽流行 ◉三十六歌仙絵巻（藤原信実）			
1234	⑥専修念仏禁止			1234〕㊥金滅亡
1235	○弁円（円爾）入宋 ○藤原定家「小倉百人一首」 ◉藤原定家筆「土佐日記」(前田家)			
1236	○叡尊西大寺に住す　○九条道家，**東福寺**を創建。 ○道元，宇治に興聖寺を創建			1236〕㊥バツの西征(～42)
1237	④藤原家隆死す(80)			
1238	③浄光，鎌倉深沢に木造大仏起工			
1240	◉唐招提寺鼓楼 ＊　このころ，諸学世襲化す。紀伝道＝日野・菅原　明経道＝清原・中原　明法道＝中原・坂上　医道＝和気・丹波			1240〕㊥このころキプチャック汗国成立
1241	⑦弁円帰朝，筑前崇福寺に住す ⑧藤原定家死す(80)			1241〕㊇ワールシュタットの戦い。 ハンザ同盟成立
1243	⑥鎌倉深沢大仏供養 ○弁円東福寺に住持 ○源親行「東関紀行」			
1244	⑦道元，越前永平寺を創建 ○このころ「**平家物語**」成る			



○紀伊国桛田荘

中世の荘園の絵図で12世紀中ごろのものである。この荘園は825年(天長2)日根氏によって開発され，1183年（寿永2)神護寺に寄進されたところの寄進地系荘園である。その区域は紀伊川・静川にかこまれ，南は志富田荘，西は静川荘・名手荘に接している。八幡宮がみえるし，農民の聚落は山の麓と大道にそうところに発達した。
図の●印は荘の四隅を示す。

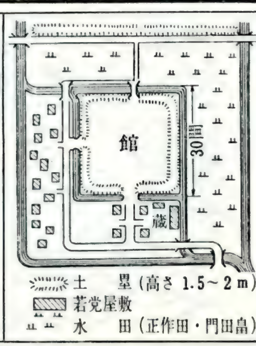
㊥―中国　㊇―ヨーロッパ

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	院政	将軍	執権
1246	寛元 4	①久仁親王に譲位，摂政一条実経　③即位 ③北条時頼執権となる　⑤北条光時，前将軍と時頼討伐をはかる　⑦頼経，京都に送還	後深草	後嵯峨	頼嗣(2)	時頼
1247	宝治 1	①摂政，近衛兼経となる　②改元 ⑥時頼，三浦泰村一族を滅ぼす				
1248	〃 2	⑫幕府，百姓と地頭との訴訟の法を定める				
1249	建長 1	③改元。　幕府，**引付衆を置く**				
1250	〃 2	④幕府，卑賤のものの帯刀を禁止				
1251	〃 3	⑨幕府，出挙利銭の争訟法を定める				
1252	〃 4	②九条道家死す(60)　④**宗尊親王将軍となる**⑨幕府売酒を禁じ一家一壺のみ醸造を許す ⑩鷹司兼平，摂政となる　○**五摂家分立**			宗尊親王（宮1）	
1253	〃 5	⑦新制18条を下す				
1254	〃 6	④宋船入泊の数を5隻に定める				
1255	〃 7	⑧幕府，鎌倉商人の贓物入質を禁ずる				
1256	康元 1	⑧藤原頼経死す(39)　⑨頼嗣死す(18)　⑩改元 ⑪時頼最明寺に出家，長時執権となる				長時
1257	正嘉 1	③改元　⑧鎌倉大地震				
1258	〃 2					
1259	正元 1	③改元　⑪恒仁親王に譲位　⑫即位	亀山			
1260	文応 1	④改元				
1261	弘長 1	②改元　④二条良実摂政となる　⑤徳政および新制21条を下す　⑪北条重時死す(64)				
1262	〃 2	⑫幕府，物価法・年紀銭負債利子法を制定				
1263	〃 3	④高麗わが辺民の侵寇禁止を要求 ⑪北条時頼死す(37)				
1264	文永 1	②改元　⑧執権北条政村，連署時宗となる。北条長時死す(35)				政村
1265	〃 2	③幕府，鎌倉市店の区域を定める　④延暦寺僧徒の武装禁止　⑭一条実経，関白となる				
1266	〃 3	③幕府，引付衆を廃す　⑦惟康親王将軍となる　⑪蒙古の使高麗に至る			惟康親王(2)	
1267	〃 4	⑨高麗の使忽必烈の詔書を奉じて来朝 ⑫近衛基平関白となる ○幕府，養子法・遺産管理法を定める				

下地中分図（伯耆東郷荘　一二五八年のもの）



地頭の館

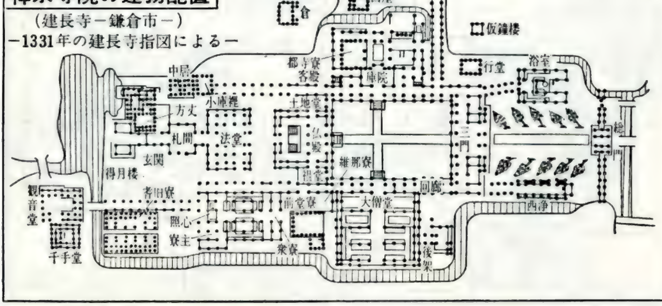


欧—ヨーロッパ　独—ドイツ

西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1246	○宋僧蘭溪道隆来朝 ○仙覚「万葉集新点」	高麗	南宋	
1247	⑧時頼，道元を鎌倉に招く ◉随身庭騎図（大倉家）			
1249	○このころ，道元「正法眼蔵」			1248〕 国第6回十字軍 (～54)
1250	◉中尊寺孔雀文銅磬			
1251	⑩藤原為家「続後撰和歌集」選上 ◉吉野水分神社女神（玉依姫）像			
1252	⑧鎌倉高徳院阿弥陀（大仏）鋳造 ⑩「十訓抄」			1254〕 ライン同盟成立
1253	④日蓮，鎌倉に入り法華経を唱う ⑪建長寺成り道隆住持 ⑧道元死す(54)			1256〕 独大空位時代 (～73)
1254	⑩橘成季「古今著聞集」			1257〕 仏ソルボンヌ大学創立
1255	○このころ「源平盛衰記」 ◉「伴大納言絵詞」(土佐光長)			1258〕 サアッバス朝滅亡
1256	⑦時頼，最明寺建立　○湛慶死す(84)			
1259	○「百錬抄」　◉北条時頼・上杉重房像			1260〕 中フビライ即位
1260	⑦日蓮「立正安国論」　○普寧来朝			
1261	⑤日蓮伊豆流罪			1261〕 鮮高麗，蒙古に降伏
1262	⑪親鸞死す(90)　◉清滝権現像(原家)			
1263	⑤日蓮を許す ○宗尊親王「初心愚草」			
1264	○宗尊親王「瓊玉和歌集」			1265〕 英シモン=ド=モンフォールの議会召集
1265	⑫藤原信実死す(89)　藤原基家・為家ら「続古今和歌集」を選上 ○兀菴普寧宋に帰る			
1266	④蓮華王院再建供養 ○「吾妻鏡」の記事終わる ◉鶴岡八幡宮裸形弁才天像			
1267	○南浦紹明帰朝 ◉馬医絵巻（国立博物館）			

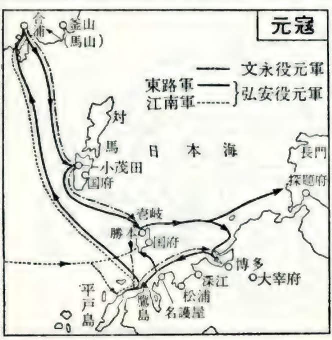
禅宗寺院の建物配置

（建長寺－鎌倉市－）
－1331年の建長寺指図による－



仏—フランス　サ—サラセン　中—中国　鮮—朝鮮　英—イギリス

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	院政	将軍	執権
1268	文永 5	①蒙古の使大宰府に至る　②蒙古使を拒む　③北条時宗執権，政村連署となる　④幕府引付衆を復活　⑪近衛基平死す(23)	亀山	後嵯峨	惟康親王(2)	時宗
1269	〃 6	③蒙古使返書を求める　④幕府，問注所廃止				
1270	〃 7	⑤幕府，所領の入質・売買和与を禁ずる				
1271	〃 8	⑩蒙古使趙良弼(ちょうりょうひつ)きたる。鎮西に所領をもつ家人を下し警備を固める　⑫勅使伊勢におもむき，敵国降伏を祈願する				
1272	〃 9	②後嵯峨法皇崩ず(53)　④元使再びきたる　⑩幕府，諸国に田文(たぶみ)を調進させる				
1273	〃 10	③元使またきたる　⑤北条政村死す(69)				
1274	〃 11	①世仁(よひと)親王に譲位　③即位　**⑩文永の役**　元・高麗の兵船博多(はかた)に上陸，大風起こり敵船覆滅	後宇多	亀山		
1275	建治 1	④元使杜世忠(とせいちゅう)きたる。改元　⑨幕府元使を鎌倉龍ノ口に斬る　⑪九州探題を置く				
1276	〃 2	③幕府高麗征伐を計画。筑前海岸に石築地(いしついじ)を構築し，異国襲来に備える				
1277	〃 3	⑩阿仏尼(あぶつに)鎌倉に訴訟				
1278	弘安 1	②改元				
1279	〃 2	⑦元使を博多に斬る　⑩兵を筑紫に派遣				
1280	〃 3	⑥北条兼時を長門国守護職とする　⑫鎮西守護人に異国警固を強化さす				
1281	〃 4	⑤～㊆**弘安の役**　東路・江南両軍と博多湾に交戦，大風起こり敵軍潰滅				
1282	〃 5					
1283	〃 6	⑤幕府，異国警固を厳重にする				
1284	〃 7	④北条時宗死す(34)　貞時執権となる。安達泰盛(あだちやすもり)権をふるう　⑩幕府倹約令を出す				貞時
1285	〃 8	⑪貞時，泰盛(55)父子を誅し，金沢顕時(かねざわあきとき)を上総に流す（霜月(しもつき)騒動）				
1286	〃 9	⑦鎮西御家人の関東参訴を禁止　⑩幕府，鎮西将士の軍功を賞する　○このころ，大覚寺・持明院両皇統迭立(てつりつ)の議起きる				





西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1268	⑩日蓮書を時宗に呈し，諸宗を排斥，外寇を戒める		南	
1269	○大休正念(だいきゅうしょうねん)宋から来朝 ○仙覚「万葉集抄」		宋	1270〕 欧第7回十字軍
1270	○東巌慧安(とうがんえあん)石清水八幡に祈願			
1271	⑨日蓮を龍ノ口に刑せんとし，ついで佐渡に流す			1271〕 中元朝の成立(〜1368) 伊マルコ＝ポーロ東方旅行に出発(〜95)
1272	⑫覚信尼，父親鸞の墳墓を京都大谷に移し廟を建立（**本願寺の草創**）	高		
1274	②日蓮を許す　⑤日蓮身延(みのぶ)山久遠(くおん)寺を建立 ○卜部兼方(うらべかねかた)「釈(しゃく)日本紀」 ◉「備前長船(おさふね)長光太刀」(上杉家)			1274〕 伊トマス＝アクィナス死す
1275	○**一遍(いっぺん)時宗(じしゅう)を開く**			
1276	⑩北条実時(さねとき)死す(53)　これ以前に**金沢文庫**を開設			
1278	⑦蘭渓道隆（大覚禅師）死す(66)			
1279	⑥無学祖元(むがくそげん)宋より来朝 ⑫藤原為氏(ためうじ)「続拾遺集」選上			1279〕 中南宋滅亡
1280	⑦懐弉(えじょう)死(83)　⑩円尓弁円死(79) ○阿仏尼「十六夜(いざよい)日記」成る	麗		
1282	⑩日蓮(立正大師)，池上(いけがみ)に死す(61) ⑫時宗，円覚寺を供養			1282〕 中文天祥死す 伊フィレンツェ市の自由国家樹立
1283	⑦無住(むじゅう)「沙石集」 ○阿仏尼死す		元	
1284	○惟宗(これむね)具俊「本草色葉集」			1284〕 英ウェールズ併合
1285	◉円覚寺舎利(しゃり)殿・甲斐大善寺本堂			
1286	⑨祖元（仏光(ぶっこう)国師）死す(61) ⑪宇治十三重石塔供養 ⑨藤原為氏死す(65) ◉「吉田本日本書紀神代巻」成る			



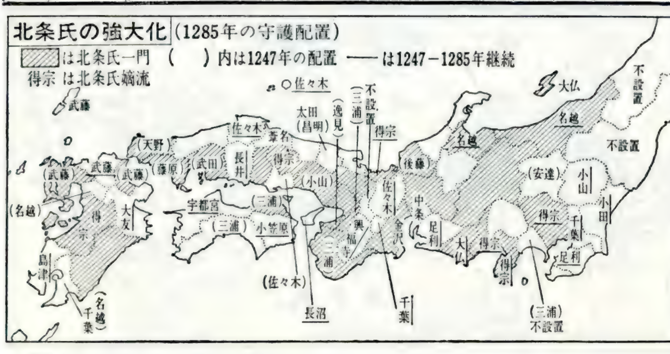
鎌倉時代の東海道
(東関紀行と十六夜日記関係)

◎は十六夜日記の宿泊地　●は東関紀行の宿泊地

欧—ヨーロッパ　中—中国　伊—イタリア　英—イギリス

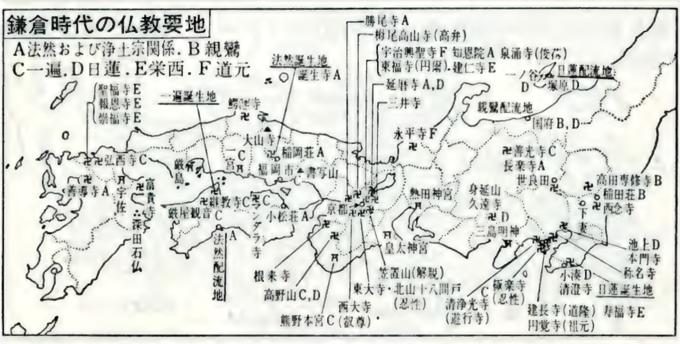
西暦	年　号	政　治・経　済・社　会	天皇	院政	将軍	執権
1287	弘安10	⑩煕仁(ひろひと)親王に譲位，後深草上皇政を聞く	伏見	後深草	惟康親王(2)	貞時
1288	正応 1	③即位　④改元				
1289	〃 2	③弘安の役の恩賞を行なう　⑨亀山上皇出家，惟康親王将軍職を去り上洛　⑩久明(ひさあきら)親王将軍となる			久明親王(3)	
1290	〃 3	②後深草上皇出家　③盗人浅原為頼禁中に乱入，自殺　⑦弘安の役の恩賞を行なう				
1291	〃 4	○この年，元，征東行省を止める				
1292	〃 5	⑩高麗使きたる　⑪幕府，異国征伐準備				
1293	永仁 1	③北条兼時，鎮西警固指揮に下る ④鎌倉大地震，死者2万余　⑧改元				
1294	〃 2	⑥越訴の期限を定め，**弘安役恩賞を打切る**				
1295	〃 3	⑨天皇内侍所に持明院流皇位継承を祈願				
1296	〃 4					
1297	〃 5	③**幕府，徳政令を出す**（永仁の徳政令）				
1298	〃 6	②徳政令を廃止　⑦胤仁(たねひと)親王に譲位，伏見上皇院政，邦治(くにはる)親王立太子　⑩即位	後伏見	伏見		
1299	正安 1	①鎮西評定衆を置く　④鎮西引付衆を置く。改元　⑩一寧鎌倉に元の国書を呈す				
1300	〃 2	⑦幕府また徳政を行なう				
1301	〃 3	①邦治親王に譲位，後宇多上皇院政　③即位。金沢顕時死す　⑧師時(もろとき)執権となる	後二条	後宇多		師時
1302	乾元 1	⑪改元				
1303	嘉元 1	⑧改元				
1304	〃 2	⑦後深草法皇崩ず(62)　⑨大和の地頭を停止				
1305	〃 3	②京都の売酒を禁止　⑨亀山法皇崩ず(57) ○このころ，馬借・無尽銭・質屋現われる				
1306	徳治 1	④わが商船，元に至り貿易　⑫改元				
1307	〃 2	⑦後宇多上皇出家　○この年疹病流行				
1308	延慶 1	⑧将軍守邦親王に変わる。富仁(とみひと)親王に譲位，伏見上皇院政，尊治(たかはる)親王立太子 ⑩改元　⑪即位	花園	伏見	守邦親王(4)	
1309	〃 2	②東大寺強訴　③大宰府元寇の警報を伝える ⑦延暦寺強訴				
1310	〃 3	⑪鎌倉大火				

北条氏の強大化（1285年の守護配置）



西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1287	⑫円覚寺焼亡			
1288	◉「日蓮上人像」（池上本門寺）			1288〕[教]モンテコルビノ，元に遣使
1289	⑧一遍智真（円照）死す(51)			
	⑪大休正念死す(74)			
1290	⑧叡尊（えいそん）（興正菩薩）死す(90)			
1291	⑫無関普門（むかんふもん）死す(80)			1291〕スイス三州独立
	○亀山法皇，南禅寺を創建			
1293	◉御物「**蒙古襲来絵詞（えことば）**」	高		1292〕[中]元，ジャワを征服
1294	○日像（にちぞう）入京，法華宗を広める			
	○忍性（にんしょう）（良観）悲田・敬田両院を建立			1295〕[英]イングランド模範議会開く
1295	⑨六条有房「野守鏡」			
1296	○北条貞時鎌倉覚円寺を建立			
	◉「**天狗草紙絵巻**」（国立博物館など）			
1298	◉「**鑑真和上東征伝絵巻**」（蓮行）		元	
1299	◉歓喜光寺「**一遍上人絵伝**」（円伊）			1299〕[伊]マルコ＝ポーロ「東方見聞録」
	○一山一寧（いっさんいちねい）来朝			
1300	◉「法然上人行状絵図」（土佐吉光）			
1301	◉鎌倉円覚寺銅鐘			
1302	○幕府一向宗僧徒の横行を禁ずる			1302〕[仏]三部会召集
1303	⑦忍性死す(87)	麗		[伊]羅針盤の発明
	⑫御子左為世（みこひだりためよ）「新後撰和歌集」			
1304				
1305	⑦無住（むじゅう）「雑談集」成る			
	○度会（わたらい）行忠（伊勢神道の祖）死す			
1306	◉「伊豆山権現像」（熱海般若院）			
1307	○雪村友梅，元に渡る（～29）			
	◉知恩院「**法然上人行状絵図**」			
1308	⑫南浦紹明（大応）死す(74)			
1309	◉御物「**春日権現霊験記絵巻**」（高階隆兼（たかしなたかかね））			1309〕[教]法王のアビニヨン幽囚（～76）
1310	⑪鎌倉の勝長寿院・法華堂・荏柄（えがら）天神社など焼失			

鎌倉時代の仏教要地



[教]―ローマ教会　[中]―中国　[英]―イギリス　[伊]―イタリア　[仏]―フランス

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	院政	将軍	執権
1311	応長 1	④改元　⑩北条（大仏）宗宣執権となる。北条貞時死す(41)	花園	伏見	守邦親王	宗宣
1312	正和 1	③改元　⑥熙時執権となる。宗宣死す(54)				熙時
1313	〃 2	⑩後伏見上皇院政，伏見上皇出家		後伏見		
1314	〃 3	⑦幕府，大和に地頭を置く				
1315	〃 4	⑦執権北条（名越）基時，連署金沢貞顕となる。熙時死す(37)				基時
1316	〃 5	⑦北条高時，執権となる				高時
1317	文保 1	②改元　④幕府，両統迭立の議を定める（文保の和談）　⑨伏見法皇崩ず(53)				
1318	〃 2	②尊治親王に譲位，後宇多法皇院政 ③邦良親王立太子。即位	後醍醐	後宇多		
1319	元応 1	①東大寺強訴，八幡宮神輿入京　④改元				
1320	〃 2	○北条高時，田楽・斗犬にふけり内管領長崎高資威をほしいままにする				
1321	元亨 1	②改元　⑫**院政を止め後醍醐天皇親政，記録所設置，新関廃止**				
1322	〃 2	○この春陸奥の安藤氏に内訌あり幕府派兵				
1323	〃 3	⑪日野資朝を鎌倉につかわす				
1324	正中 1	⑥後宇多法皇崩ず(58)　⑨**正中の変**　討幕の計もれ，土岐頼兼・多治見国長殺さる ⑩日野資朝・俊基を捕える　⑫改元				
1325	〃 2	㊀皇太子，即位を計画　⑦建長寺船を派遣 ⑧幕府，資朝を佐渡に流し，俊基を許す				
1326	嘉暦 1	③高時出家，金沢貞顕執権，邦良親王没す(27) ④貞顕出家，赤橋守時執権。改元　⑦量仁親王立太子　⑩惟康親王没す(63)				貞顕 守時
1327	〃 2	⑫尊雲法親王（護良親王）天台座主となる				
1328	〃 3	⑩久明親王没す(53)				
1329	元徳 1	⑧改元				
1330	〃 2	③南都北嶺に行幸　⑥米価高く価法を定む				
1331	元弘 1 (元徳 3)	⑤幕府日野俊基，僧文観・円観らを捕える ⑧**元弘の変**　改元，笠置遷幸　⑨幕府光厳院（量仁親王）擁立，楠木正成挙兵 ⑩天皇六波羅遷幸。赤坂城陥る	(北朝)光厳	(北朝)後伏見		

鎌倉幕府末期の守護配置（1330年代）



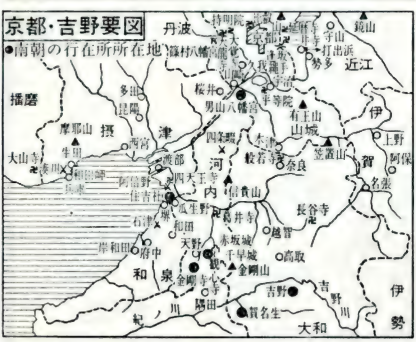
西暦	文　化	朝鮮	中国	世　界　史
1311	⑫弁円に聖一国師の号を賜う（国師号の始め） ◉「松崎天神縁起」（山口松崎神社）	高	元	
1312	③京極為兼「玉葉和歌集」を選上 ⑩無住死す(87)			
1313	◉「東北院職人尽歌合絵巻」成る			1313〕伊ダンテ「神曲」 独このころ，鉄砲用火薬発明される
1315	⑫幕府，京極為兼を土佐に流す			
1316	⑩建長寺の高峰顕日(こうほうけんにち)死す(76)			
1317	⑩一山一寧死す(71)			
1318	○**この年，元にはいる僧多数**			
1319	⑫「荏柄天神縁起」（藤原行長）成る			
1320	④後宇多法皇徳政・文学を評定 ⑧藤原為世「続千載和歌集」選上			
1321	④後宇多法皇，大覚(だいかく)寺金堂を建立			1321〕中チャガタイ汗国，東西に分裂
1322	⑧**虎関師錬(こかんしれん)「元亨釈書(げんこうしゃくしょ)」** ○このころ，唐津(からつ)の陶器始まる			
1323	◉「遊行縁起絵巻」（神戸真光寺） ◉「拾遺古徳絵伝」（茨城常福寺）			1323〕伊マルコ＝ポーロ死す
1324	○このころ，宗峰妙超(しゅうほうみょうちょう)**大徳寺を創建** ○卜部（吉田）兼好(うらべかねよし)出家			
1325	⑧夢窓疎石(むそうそせき)南禅寺住持となる ⑫藤原為藤「続後拾遺集」選上 ○刀匠，郷義弘(ごうのよしひろ)死す	麗		
1326	○**このころ，玄恵(げんえ)朱子学を講ずる**			
1327	②疎石，鎌倉瑞泉寺創建			
1329	⑧疎石，鎌倉円覚寺住持となる ◉「大覚禅師画像」（建長寺）			1328〕仏バロア王朝興る
1330	◉「大燈国師画像」（妙心寺）			
1331	○このころ，兼好**「徒然草(つれづれぐさ)」**成る			

鎌倉建築の遺構　A. 天竺様（大仏様）　B. 唐　様（禅宗様）　C. 和様　D. 折衷様（観心寺様）



伊―イタリア　中―中国　仏―フランス

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇 南朝	天皇 北朝	将軍
1332	元弘 2 (正慶 1)	③天皇，隠岐に遷幸。光厳院即位　④北朝改元　⑥資朝・俊基ら殺される　⑪護良親王吉野に挙兵。楠木正成，千早城にこもる	後醍醐	光厳	守邦親王(4)
1333	元弘 3 (〃 2)	①赤松則村播磨に挙兵　㊂吉野落城。千早幕軍の攻囲を受ける。天皇隠岐脱出。名和長年船上山に奉ず　③菊池武時鎮西探題を討ち戦死(42)　⑤足利高氏帰順。新田義貞挙兵。六波羅・鎌倉・博多陥り北条氏滅ぶ。**鎌倉幕府滅亡**　⑥京都還幸。護良親王を征夷大将軍に任命　⑧論功行賞　⑩記録所・雑訴決断所設置			
1334	建武 1	①**建武の中興**　改元　内裏造営のため紙幣発行。雑訴決断所条規を定める　⑥護良親王，足利尊氏と不和　⑩万里小路藤房官を去る　⑪護良親王を鎌倉に幽閉			
1335	〃 2	⑥西園寺公宗ら謀反　⑦中先代の乱。北条時行鎌倉を襲う。足利直義護良親王を暗殺(28)　⑧尊氏鎌倉に入る　⑩尊氏反す　⑫新田義貞ら官軍箱根竹の下に敗る。赤松則村反す			
1336	延元 1 (建武 3)	①尊氏入京，官軍に敗れて西走　②改元　尊氏光厳院の院宣を受ける　③菊池武敏尊氏と多々良浜に戦って敗る　④尊氏東上。後伏見法皇崩ず(49)　⑤湊川の戦い，楠木正成戦死　⑥尊氏入京。名和長年戦死　⑧尊氏，光明院を擁立　⑩尊氏，後醍醐天皇を花山院に幽閉　⑪**建武式目**を制定　⑫**後醍醐天皇，吉野に潜幸**		光明	
1337	〃 2 (建武 4)	③越前金崎城陥り尊良親王戦死　⑧北畠顕家義良親王を奉じ西上　⑫顕家鎌倉に入る			
1338	〃 3 (暦応 1)	⑤顕家石津に戦死(21)　⑦新田義貞藤島に戦死(38)　⑧**尊氏，北朝より征夷大将軍に任ぜられる**。北朝改元　⑨懐良親王征西大将軍となり西下。宗良親王遠江に，北畠親房常陸につく			足利尊氏(1)
1339	〃 4 (〃 2)	⑧義良親王に譲位，後醍醐天皇吉野に崩ず(52)　⑩即位	後村上		
1340	興国 1	④改元			
1341	〃 2 (暦応 4)	⑪親房，小田城から関城に移る　⑫足利直義，天龍寺船を元につかわす			



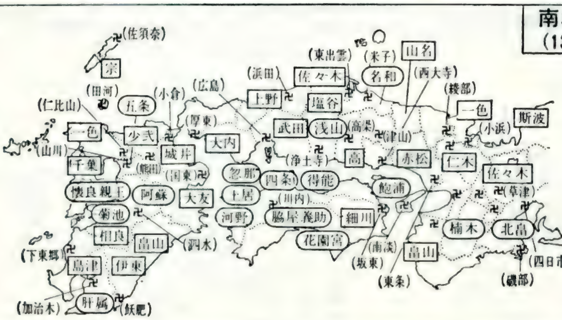


西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1332	③京極為兼死す(79) ⑧後醍醐天皇宸筆の願文を出雲鰐淵寺に納め，皇道復興を祈る ○中巌円月(ちゅうがんえんげつ)元より帰る	高麗	元	1332〕伊人文主義の隆盛。商業都市勃興
1333	⑦摂津住吉社造営料船，元より帰る ⑩大徳寺を五山に列する ⑪円月，「原民」「原僧」二編を選上し，時世を批判 ◉長野大法寺三重塔			
1334	①南禅寺を五山第一とする ⑧二条河原に落書，時事を風刺 ○このころ，後醍醐天皇「建武年中行事」「建武日中行事」 ◉「備前長船長光短刀」(本阿弥家) ◉「大燈国師画像」(大徳寺)			
1335	⑩南山士雲(なんざんしうん)死す(82) ◉「法華経曼荼羅」(遠江本興寺)			1335〕西アルハムブラの建築最盛期(〜91)
1336	◉「五祖六祖図」(可翁(かおう)) ◉「蔵王(ざおう)権現像」(吉野如意輪寺)			
1337	⑫宗峰妙超(大燈)死す(56) ○中尊寺焼失			
1338	⑧御子左為世死す(89) ○花園上皇，離宮を妙心寺とする			1339〕英仏百年戦争始まる(〜1453)
1339	⑦等持院創建 ⑩天龍寺創建　◉西芳寺庭園なる ○北畠親房「神皇正統記」初稿なる			
1340	②北畠親房「職原抄」 ◉「夢窓国師像」(天龍寺)			
1341	○円月，日本書を作る			1341〕英議会上下両院に分離



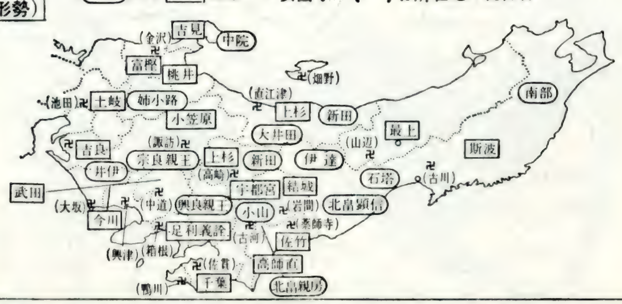
西暦	年号	政治・経済・社会	天皇 南朝	天皇 北朝	将軍
1342	興国 3 (康永 1)	④北朝改元 ⑤脇屋義助伊予に死す(36) ⑥懐良親王，薩摩に入る	後村上	光明	尊氏 (1)
1343	〃 4	⑪関・大宝両城陥り，北畠親房，吉野に帰る			
1344	〃 5				
1345	〃 6 (貞和 1)	②尊氏，国ごとに安国寺・利生塔を設置 ⑦延暦寺僧徒，天龍寺に関して強訴 ⑩北朝改元			
1346	正平 1	②幕府，新関・津料を停止 ⑫改元			
1347	〃 2 (貞和 3)	⑧楠木正行山名時氏・細川顕氏を破る ⑫懐良親王肥後に入る			
1348	〃 3 (〃 4)	①正行四条畷に戦死(24) 後村上天皇賀名生に移る。高師直吉野行宮を焼く ⑩崇光院に譲位 ⑪花園法皇崩ず(52)		崇光	
1349	〃 4 (〃 5)	④足利直冬長門探題となる ⑧直義，高師直と不和 ⑨足利基氏関東管領となる			
1350	〃 5 (観応 1)	①赤松則村死す(72) ②北朝改元 ⑩直冬九州に挙兵，尊氏・直義不和 ⑫直義吉野に下る ○この年，わが辺民高麗を侵す（倭寇）			
1351	〃 6 (〃 2)	②尊氏直義和す，師直殺さる ⑦直義義詮不和 ⑩尊氏吉野に下る ⑪尊氏，崇光院を廃す			
1352	〃 7 (文和 1)	②尊氏直義を鎌倉に殺す(47) ㊂後村上天皇山城男山に遷幸 ⑤男山陥り賀名生還幸 ⑧義詮，後光厳院を擁立 ⑨北朝改元 ⑪直冬吉野に下る **○尊氏，近江・美濃・尾張に半済法を行なう**		後光厳	
1353	〃 8 (〃 2)	③直冬，九州に勢をふるう ⑥楠木正儀京都を回復，後光厳院美濃小島に移る ⑨尊氏，後光厳院を奉じて入京			
1354	〃 9 (〃 3)	④北畠親房死す(62) ⑫直冬京都を攻め，尊氏近江に走る。**近江に土一揆起こる** ○倭寇盛ん			
1355	〃 10 (〃 4)	①直冬入京 ③尊氏・義詮京都を回復 ⑧宗良親王，信濃に挙兵 ○倭寇，高麗を侵す			
1356	〃 11 (延文 1)	①斯波高経尊氏に下る ③北朝改元 ⑦東大寺僧徒強訴，八幡宮神輿入京			
1357	〃 12 (延文 2)	②光厳・崇光両院，河内金剛寺から帰京 ⑤後村上天皇，観心寺に行幸			
1358	〃 13 (〃 3)	④足利尊氏死す(54) ⑩新田義興武蔵矢口に死す ⑫足利義詮将軍となる ○倭寇，高麗を侵す			

南北朝の
(1340年代



西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1342	④幕府，**五山十刹**を設定	高麗	元	
1343	◉「親鸞上人絵伝」（宗舜・円寂）成る			
1344	⑥楠木正行，観心寺を再建 ○五山版「夢中問答」刊行			
1345	④可翁(かおう)死す ⑧足利尊氏，天龍寺を供養			
1346	⑦虎関師錬死す(69) ⑪「風雅和歌集」成る ⑫雪村友梅死す(57)			1346〕中 イブン=バツータ，元に至る
1347	◉「後三年合戦絵巻」（飛騨守惟久）			1347〕欧 黒死病（ペスト）流行（～50）
1348	⑦竺仙梵僊死す(57)			
1349	⑥四条河原の勧進田楽 ○このころ「**梅松論**(ばいしょうろん)」成る			
1350	③玄恵死す　④吉田兼好死す(63)			1350〕シャムのアユチャ王朝興る（～1767）
1351	⑨夢窓疎石死す(77) ◉西本願寺「慕帰絵(ぼきえ)」（隆章・隆昌）			1351〕中 元で紅巾の賊
1352	○尊円(そんえん)法親王「門葉記」「入木抄(じゅぼくしょう)」（**青蓮院**(しょうれんいん)**流**） ◉岐阜永保(えいほ)寺開山堂（唐様）			1352〕伊 ボッカチオの「デカメロン」
1353	⑨足利基氏，大般若(はんにゃ)経六百巻開版			
1354	①尊氏，後醍醐天皇・戦死者冥福のため一切経を書写　⑫供養			
1355				
1356	③二条良基(よしもと)「**菟玖波**(つくば)**集**」成る ⑨尊円法親王没す(59) ⑥菊池武澄(たけすみ)広福寺を創建 ⑨「延文百首」			1356〕独 金印勅書公布
1357	⑪「菟玖波集」を勅選に準ずる ◉京都普済(ふさい)寺仏殿			
1358	○このころ「神道(しんとう)集」成る			1358〕仏 ジャックリーで農民一揆

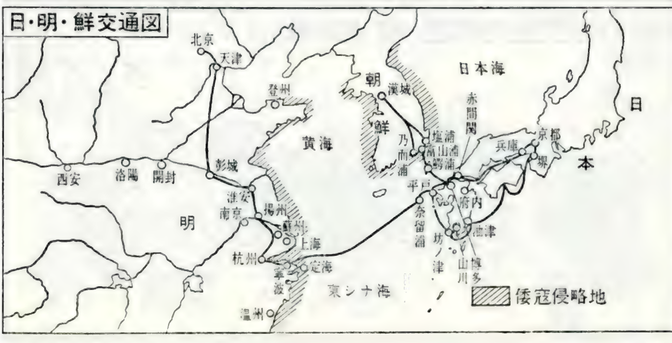
争乱の形勢）　（　）南方　□北方　卍安国寺　（　）は所在地の現在名



西暦	年号	政治・経済・社会	天皇 南朝	天皇 北朝	将軍
1359	正平14 (延文 4)	③懐良親王，菊池氏を率い豊後に入る ⑧菊池武光，少弐頼尚を筑後川の戦いに破る	後村上	後光厳	義詮(2)
1360	〃 15	③畠山国清河内金剛寺を焼く　⑨住吉社に行幸			
1361	〃 16 (康安 1)	③北朝改元　⑩細川清氏，吉野に帰順　⑫南朝京都回復。義詮，近江に逃れ，また京都奪回			
1362	〃 17 (貞治 1)	⑦細川清氏同頼之に敗死　⑨光厳院吉野に行幸改元。菊池武光筑前長者原に少弐・斯波を破る			
1363	〃 18	○懐良親王，大宰府に入り九州を統べる			
1364	〃 19	③住吉社に行幸　⑦光厳院崩ず(52) ○この年，大内弘世幕府に下る			
1365	〃 20	⑤河野通直，懐良親王に帰順　⑧吉野行宮焼失			
1366	〃 21	②河野通直，四国平定にあたる			
1367	〃 22 (貞治 6)	②高麗倭寇禁圧を求める　④関東管領足利基氏死す(28)　氏満，関東管領となる　⑪細川頼之，執事となる　⑫足利義詮死す(38)			
1368	〃 23 (応安 1)	②北朝改元　③後村上天皇崩ず(41)　寛成親王即位　⑫足利義満，将軍となる	長慶		義満(3)
1369	〃 24 (〃 2)	①楠木正儀義満に下る　②幕府俗人の僧装を禁止 **○この年，明主朱元璋倭寇禁圧を懐良親王に要求**			
1370	建徳 1 (〃 3)	⑦改元　⑨駿河以東大風飢饉 ⑩今川貞世，鎮西探題となる			
1371	〃 2 (〃 4)	②今川貞世鎮西におもむく　③北朝，後円融院に譲位。後光厳院院政		後円融	
1372	文中 1 (〃 5)	①菊池武光，豊後高崎城を攻撃　④改元 ⑦諸国に段銭を課す			
1373	〃 2	⑥明の使僧，幕府にきたる　⑪菊池武光死す			
1374	〃 3 (応安 7)	①後光厳院崩ず(37)　⑦幕府，使僧を明に派遣 ○この冬，宗良親王吉野に帰る			
1375	天授 1 (永和 1)	②北朝改元　⑤改元　○倭寇激しく，この年高麗使きたり，倭寇禁圧を請う			
1376	〃 2 (〃 2)	④義満，僧文珪を明につかわす ⑧今川貞世，大隅・薩摩両国守護を兼ねる			
1377	〃 3 (〃 3)	⑧菊池武朝懐良親王を奉じ，大内義弘らと肥後に戦って敗れる。菊池一族，戦死者多し ○高麗使鄭夢周きたり，倭寇禁圧を請う			



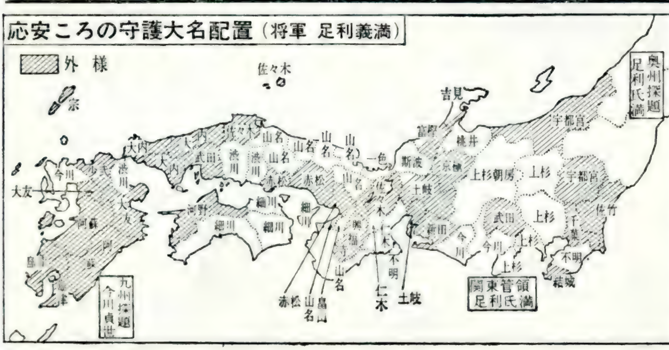
西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1359	④御子左為定「新千載集」選上			
1360	④洞院公賢(とういんきんかた)死す(70・「園太暦」) ⑫関山慧玄(かんざんえげん)死す(84・妙心寺開山)			
1361	⑫乾峰士曇(けんぽうしどん)死す(77)			
1363	③二条良基・頓阿「愚問賢註」 ◉「円覚寺仏日庵公物目録」			
1364	④御子左為明「新拾遺集」選上 ⑤**堺の人道祐(どうゆう)「論語集解（正平版）」を開版**　◉近江善水寺本堂 ○このころ，頓阿(とんあ)「**井蛙(せいあ)抄**」	高	元	1364〕 中朱元璋自立 1365〕 独ウィーン大学創立
1366	○由阿(ゆうあ)「詞林採葉集」「拾遺採葉抄」			
1367	③中殿和歌御会に足利義詮陪席 ○このころ，四辻善成(よつつじよしなり)「**河海抄**」			
1368	②絶海中津(ぜっかいちゅうしん)，明に渡る ⑦延暦寺，南禅寺と争う			1368〕 中元滅び，明興る（～1644）
1369	⑤徹翁義亨(てっおうぎこう)死す(75) ○竹田昌慶明に渡り，医術を学ぶ ○二条良基「筑波問答」			1369〕 チムール帝国建設（～1500）
1370	◉山口住吉神社本殿			
1371	○このころ，「**太平記**」成る			
1372	③頓阿死す(84)　「頓阿歌集」 ④幕府，禅院法則を制定 ⑫二条良基「連歌新式追加」 ◉真福寺本「古事記」(賢瑜(けんゆ)書写)	麗	明	
1373	⑥義満，今熊野に勧進猿楽を見物，観阿弥(かんあみ)を保護する			1373〕 中明で大明律を制定
1374	④小島法師死す			1374〕 伊ペトラルカ死す
1375	①中巌円月死す(76)「東海一漚(とうかいいちおう)集」			1375〕 伊ボッカチオ死す
1376	①絶海中津帰朝 ○義満，世阿弥の猿楽を見る ○このころまでに「**増鏡(ますかがみ)**」成る			
1377				1377〕 独南独の都市戦争（～89）



中—中国　独—ドイツ　伊—イタリア

西暦	年　号	政治・経済・社会	天皇 南朝	天皇 北朝	将軍
1378	天授 4	③義満，室町に花御所を造営	長慶	後円融	義満(3)
1379	〃 5	③上杉憲春氏満を諫死。北朝改元　㊃斯波義将管領となる。細川頼之，讃岐に帰国			
	(康暦 1)				
1380	〃 6	⑥光明院崩ず(60)　⑩北畠顕信死す			
1381	弘和 1	②改元　⑦義満，内大臣となる			
	(永徳 1)	○懐良親王明主に返書，無礼を責める			
1382	〃 2	①義満，左大臣となる　㊀楠木正儀，吉野に帰順			
	(〃 2)	④北朝，後小松院に譲位，二条良基摂政となる		後小松	
1383	〃 3	③懐良親王没す(55)　⑥義満を准三宮とする			
	(〃 3)	○この年，熙成親王に譲位	後亀山		
1384	元中 1	②北朝改元　③僧如瑤を明につかわす　④改元			
	(至徳 1)	⑦菊池武朝申状を上る			
1385	〃 2	⑧宗良親王没す(73)			
1386	〃 3				
1387	〃 4	⑦氏満，常陸小田城に小田孝朝を攻める。足利直冬死す　⑧北朝改元			
	(嘉慶 1)				
1388	〃 5	③楠木正秀挙兵　⑥二条良基死す(69)			
	(〃 2)	⑨義満，駿河に遊び富士を見る			
1389	〃 6	②北朝改元。高麗兵，対馬を侵す			
	(康応 1)				
1390	〃 7	③北朝改元　③楠木・和田両氏，山名・畠山両氏と河内に戦う　⑩義満，山名氏清・満幸に同族時熙・氏幸を討たす			
	(明徳 1)				
1391	〃 8	④細川頼元管領となる　⑨倭寇明の雷州を侵す			
	(〃 2)	⑫明徳の乱　山名氏清反し京都二条大宮・内野に戦い敗死			
1392	〃 9	①山名領国を諸将にわかつ　③細川頼之死す(64)			
	(〃 3)	⑩大内義弘吉野におもむく			
		㊉南北朝合一　後亀山天皇京都還幸，嵯峨大覚寺に入り，後小松院に神器を授ける			
		⑫高麗使きたり，義満返書を与える			
1393	明徳 4	④後円融院崩ず(36)　⑥斯波義将，管領に再任			
		⑪洛中の土倉酒屋役の制を定める			
1394	応永 1	⑦改元　⑧長慶法皇崩ず(52)　⑫義満，将軍職を義持にゆずり，太政大臣となる			

応安ころの守護大名配置（将軍 足利義満）



西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1378	◉紀伊道成寺本堂			1378〕教ローマ教会の大分裂（～1417）
1379	⑩春屋妙葩僧録司となる			
	○このころ，犬追物流行			
1380	○義満，十刹の次第を定める			
1381	⑫宗良親王「新葉和歌集」選上			1381〕英ワット＝タイラーの乱
	○長慶天皇「仙源抄」			伊ベニス，東方貿易に覇権確立
1382	③御子左為重「新後拾遺集」選上	高		
	⑪相国寺創建			
1383	①義満を源氏長者・淳和奨学両院別当とする			
1384	⑤観阿弥清次死す(52)			1384〕英ウィクリフ死す
1385	⑨長慶上皇願文を高野山に納める			
	○宗良親王「李花集」			
1386	⑦五山の座位を定め，南禅寺を五山の上に置く			1386〕独ハイデルベルヒ大学創立
	○このころ「異制庭訓往来」			
	◉東福寺「五百羅漢図」（明兆）		明	
1388	④義堂周信死す(64)　「空華集」	麗		
	⑥二条良基死す(69)　⑧春屋妙葩死す(78)　○このころ「曾我物語」			
1389	③義満，厳島社参詣			
	⑨義満，高野山参詣			
1390	○義満，気比宮参詣			
1391	◉「版画融通念仏縁起」（大念仏寺）			
	○このころ，大内氏周防に機業を起こす			
1392	⑧義満，相国寺供養	李		1392〕鮮高麗滅び，李氏朝鮮興る（～1910）
1393	⑨義満，伊勢参宮	氏		
1394	○上杉憲定，足利学校を修理	朝		1394〕葡航海王ヘンリーの時代（～1460）
	○今川貞世，朝鮮に大蔵経を求める	鮮		

応永7，8年ころの守護大名配置（将軍 足利義持）



西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1395	応永 2	④渋川満頼，九州探題となる　⑥義満出家（道有）		
		○この年，幕府倭寇を捕えて明に送る		
1396	〃 3			
1397	〃 4	⑤細川頼元死す(55)　⑧幕府，使を明につかわす		
1398	〃 5	①崇光院崩ず(65)　⑥畠山基国管領となる		
		⑪足利氏満死す(42)　満兼，関東管領をつぐ		
		○この年，三管領四職七頭の家を定める		
1399	〃 6	⑩～⑫応永の乱　大内義弘挙兵，堺に敗死		
1400	〃 7	①義満，上杉憲定に今川貞世を討たし貞世下る	後	
1401	〃 8	⑤義満，祖阿・肥富らを明に送り国交回復		義
1402	〃 9	⑧遣明使帰る。義満，倭寇を禁ずる		
		⑨明使きたり，国書に義満を日本国王と呼ぶ		
		○この年，山名時熙高野山領太田荘を守護請する		
1403	〃 10	②義満，圭密を明に送る　⑩義満，朝鮮使を引見		
1404	〃 11	○この年，明との勘合貿易始まる	小	
1405	〃 12	⑤幕府，菊池武朝を討つ　⑦斯波義重管領となる		
		⑩上杉憲定，関東執事となる		
1406	〃 13	①畠山基国死す(55)		
1407	〃 14	③菊池武朝死す(45)。義満の夫人日野康子を北山院と称する　⑨京都に地口銭を課す		
1408	〃 15	③天皇北山第に行幸　⑤足利義満死す(51)　義満に太上天皇の尊号を賜い，義持これを辞退する	松	持
		⑫再び土倉および酒屋役を定める		
1409	〃 16	⑦足利満兼死す(22)　⑧斯波義淳，管領となる		
		⑨足利持氏，関東管領をつぐ		
1410	〃 17	⑤斯波義将死す(61)　⑥畠山満家，管領となる		(4)
		⑪後亀山法皇，吉野に還幸		
1411	〃 18	②上杉氏憲，関東執事となる		
		⑨明との国交一時中絶		
1412	〃 19	④細川満元，管領となる　⑧躬(実)仁親王に譲位　後小松上皇院政　⑫山内上杉憲定死す(38)		
1413	〃 20	⑧関東管領，陸奥・出羽を兼ね管す	称	
		⑨諸国に段銭・棟別銭を課す		
1414	〃 21	⑫即位のため，諸国に段銭・棟別銭を課す		
1415	〃 22	④足利持氏と上杉氏憲不和。憲基，関東執事となる	光	

守護大名の反乱

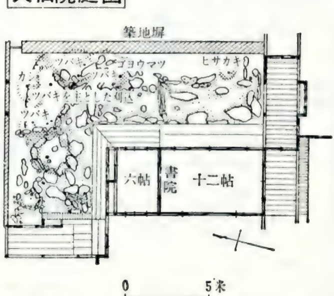


西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1395	○義満の出家に公家・武家のならう者多し			1395〕チムール，西アジアを統一
1396	○大内義弘（よしひろ），朝鮮に大蔵経を求める			
1397	④義満，北山第を造営　○渋川満頼，朝鮮に大蔵経を求める　◉鶴林寺本堂			
1398	○「大山寺縁起絵巻」(1928 焼失)			
	○鹿苑（ろくおん）寺金閣完成（1950 焼失）			
1399	⑥洞院公定（とういんきんさだ）死す(60・「尊卑分脈」)			1400〕英チョーサー死す
1401	③相国寺を五山第一刹とする	李		
1402	②今川貞世「難太平記」成る			1402〕中アンゴラの戦い
	⑨四辻善成死す(77)			
1403	⑥相国寺七重塔焼失			明の永楽帝即位（～24）
	○岐陽方秀（ぎようほうしゅう）四書の新註を将来			
1404	◉大徳寺山門釈迦三尊像（印慶）	氏		1403〕鮮銅活字板を始める
1405	④絶海中津死す(70)「蕉堅藁（しょうけんこう）」			
	⑧藤田美術館「柴門（さいもん）新月図」(伝周文)		明	1405〕中明の鄭和南海遠征（～33）
1406	○このころ，世阿弥「花伝書」成る			
1407	◉鶴林寺鐘楼	朝		
1408	⑥南蛮船若狭小浜に漂着，象・孔雀（くじゃく）・鸚鵡（おうむ）・山馬を伝える			1408〕中明の永楽大典完成
	◉妙心寺退蔵院「瓢鮎（ひょうねん）図」（如拙）			
	◉東福寺「涅槃図」（明兆）成る			
1409	⑥斯波義将，朝鮮に大蔵経を求める	鮮		
	○このころ，「義経記（ぎけいき）」			
1410	⑧大内盛見，朝鮮に「清凉疏鈔」を求める			
1411	⑩興福寺東金堂・五重塔焼失			
1412	⑤猿楽を内裏で行なう			
1413	◉「渓陰小築図」（金地院）			
	◉「能面癋見（べしみ）」（奈良豆比古神社）			
1414	◉「足利義持画像」（神護寺）			
1415	◉興福寺東金堂			1415〕独フス焚刑

西芳寺庭園



大仙院庭園



英―イギリス　中―中国　鮮―朝鮮　独―ドイツ

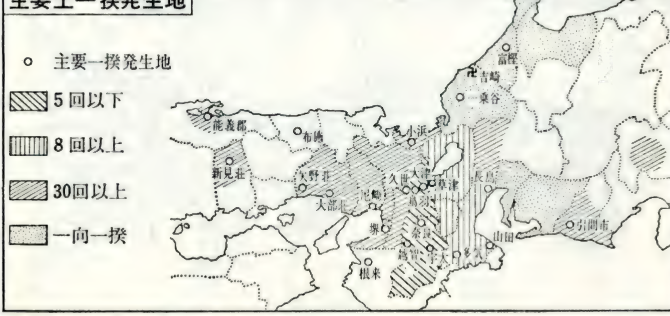
西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1416	応永23	⑨吉野の後亀山法皇を迎える ⑩**上杉禅秀（氏憲）の乱**　持氏，鎌倉を出奔	称光	義持(4)
1417	〃 24	①氏憲敗れて鎌倉雪の下に自殺，持氏鎌倉に帰る		
1418	〃 25	①上杉憲基死す(27)　④明使来朝，義持引見せず		
1419	〃 26	①上杉憲実，関東執事となる ⑥**応永の外寇**　朝鮮兵対馬を侵し，探題ら撃退		
1420	〃 27	○この年，大飢饉		
1421	〃 28	⑧畠山満家管領となる　○この年，飢饉疫病		
1422	〃 29	⑦建武式目に聴訟十か条を増補する		
1423	〃 30	③義持，将軍職を義量に譲る ⑤東大寺兵庫関を管理する　⑧幕府，持氏を討つ		義量(5)
1424	〃 31	②幕府，持氏と和す　④後亀山法皇崩ず(75)		
1425	〃 32	②足利義量死す(19) ⑧島津忠国，薩摩・大隅・日向三国守護職となる		
1426	〃 33	③義持明に遣使　⑥近江坂本の馬借一揆，京に乱入 ⑩細川満元死す(49)		
1427	〃 34	⑩幕府，播磨の赤松満祐を討つ　⑪満祐下る		
1428	正長 1	①足利義持死す(43)　弟僧義円還俗して義宣を後嗣とする　④改元　⑤持氏，将軍と不和，執事上杉憲実これを諫止　⑦称光天皇崩ず(28)　彦仁親王践祚　⑨**正長の土一揆**　京畿の土民，幕府に徳政を求める	後花園	
1429	永享 1	①播磨に土一揆　②丹波に土一揆　③義宣将軍となり，名を義教と改める　⑨改元　⑫即位		義教(6)
1430	〃 2	②義教，持氏討伐を企て諸臣諫止する ⑧訴訟および酒屋土倉制を定める ⑪負債償却法を定める		
1431	〃 3	⑩土倉質物の期限を定める		
1432	〃 4	⑧義教，明に使をつかわし勘合貿易を復活する ⑨義教，富士遊覧　⑩細川持之管領となる ○この年，伊勢に土一揆		
1433	〃 5	⑩後小松法皇崩ず(57)　土倉の質物盗難弁償の制を定める　⑫斯波義淳死す		
1434	〃 6	⑥義教，明使を引見，硫黄の輸出を禁止する ⑧貞成親王の「椿葉記」成る		

中世の土一揆



西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1416	⑤藤原満季「本朝皇胤紹運録」を選上	李氏朝鮮	明	
1417	○今川貞世「落書露顕」			
1418	○このころ，世阿弥「花伝書」成る			
1419	◉根津美術館「江天暮意図」(伝周文)			1419〕 独フス戦争(～36)
1420	⑥世阿弥「至花道書」成る ⑧今川貞世（了俊）死す(96)			
				1421〕 中明，北京に遷都
1422	①一条兼良「公事根源」 ⑤足利義持，朝鮮に大蔵経を求める			
1423	⑤朝鮮，幕府に大蔵経を贈る ⑦義持，朝鮮に大蔵経板を求める			1423〕 鮮高麗史を編修
1424	○世阿弥「花鏡」 ○周文，朝鮮に渡る			
1425	◉岡山吉備津神社本殿・拝殿			
1426	○大内盛見，大般若経理趣分千巻を刊行 ◉興福寺五重塔			
1427	◉東福寺四十祖像（明兆） ○このころから，日親(にっしん)京都で日蓮宗を広める			
1428	③幕府，朝鮮に仏経典を求める			
1429	◉広島西国寺三重塔			1429〕 仏ジャンヌ＝ダルク，オルレアンの包囲を解く
1430	○世阿弥「申楽(さるがく)談義」 ◉山口洞春寺観音堂 ◉「能面阿古父尉」（天川社） ◉奈良達磨寺「達磨像」（周文彩色）			
1431	⑧明兆死す(80・兆殿司(ちょうでんす))			1431〕 仏ジャンヌ＝ダルク処刑される
1432	◉「足利義教画像」（愛知妙興寺）			
1433	④義教，糺(ただす)河原に勧進能を見る			
1434	⑤世阿弥，佐渡に流される ⑨外宮式年遷宮，以後1563年まで中絶			

主要土一揆発生地



西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1435	永享 7	⑥三宝院満済(まんさい)死す(58)	後花園	義教(6)
1436	〃 8	⑤貸借弁償法を定める　⑨義教，書を琉球に贈る		
1437	〃 9	⑥持氏，上杉憲実と不和 ⑩20年以上の貸借関係の破棄を命ずる		
1438	〃 10	⑧**永享の乱**　持氏憲実を討ち，幕府持氏を討つ		
1439	〃 11	②持氏自殺(42)　⑥憲実出家。弟清方，執事になる		
1440	〃 12	③持氏の遺児春王丸・安王丸，結城氏朝に頼る		
1441	嘉吉 1	②改元　④琉球を島津氏に付属する ⑥**嘉吉の乱**　赤松満祐(みつすけ)将軍義教を殺す(48)　義勝(よしかつ)継ぐ　⑨山名持豊(もちとよ)ら満祐を討つ ㈨京都土一揆。幕府，徳政条目を制定		義勝(7)
1442	〃 2	⑥畠山持国(もちくに)管領となる。京都の酒屋に課税する ⑧細川持之死す(43)　⑪義勝，将軍となる		
1443	〃 3	②徳政一揆の張本人を切る　⑦義勝死す(10)　義政つぐ　○宗貞盛，朝鮮と貿易協定（嘉吉条約）		義政(8)
1444	文安 1	②改元　④京都土民蜂起　⑦後村上天皇の孫円満院円胤(えんいん)紀伊で挙兵		
1445	〃 2	③細川勝元管領となる　④山名持豊ら，赤松満政を滅ぼす　○上杉憲忠(のりただ)，関東執事となる		
1446	〃 3	⑨幕府，六角氏を討つ　○この年，倭寇盛ん		
1447	〃 4	⑥一条兼良(かねら)，関白となる　⑦山城西岡徳政一揆		
1448	〃 5	⑤土民の集会を禁止する		
1449	宝徳 1	①足利成氏(しげうじ)関東管領となる　④義政，将軍となる ⑦改元　⑩畠山持国管領となる		
1450	〃 2	⑩成氏，上杉憲忠らと和す		
1451	〃 3	⑦琉球船，兵庫に至る。細川勝元，貨物を抑留 ⑩奈良徳政一揆		
1452	享徳 1	⑦改元　⑧兵庫新関廃止　⑪勝元，管領となる		
1453	〃 2	③天龍寺・長谷寺など遣明船を出す ⑤大神宮造営の段銭を諸国に課す		
1454	〃 3	④畠山義就(よしなり)・政長(まさなが)家督を争う　⑩山城徳政一揆 ⑫成氏，憲忠を殺し(22)，関東大乱		
1455	康正 1	①上杉房顕(ふさあき)成氏と戦う。成氏古河(こが)による(**古河公方**(こがくぼう))　⑦改元　⑩諸寺祠堂銭の制を定む		
1456	〃 2	④皇居造営の段銭・棟別銭を諸国に課す		

永享・嘉吉ころの守護の配置

大内4　山名7　細川9　赤松3　畠山3　数字は国数
斯波3　一色3　京極4　島津3　上杉3



西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1435	◉愛知長光寺六角堂	李氏朝鮮	明	
1436	⑤相国寺で法華経を新刻する			
1437	◉原家蔵「江山夕陽図」(伝周文)			
1438	◉法隆寺南大門			1438〕 独ハプスブルグ家の皇帝（～1780）
1439	㊀上杉憲実，足利学校を修造 ○日親「立正治国論」			
1440	◉京都法観寺五重塔（八坂の塔）			
1441	○慧鳳翱之（えほうこうし）「徳政論」を著わす			
1442	◉山口瑠璃光寺五重塔			
1443	○世阿弥元清死す(81)			1443〕 鮮諺文なる
1444	⑥「下学集（かがくしゅう）」成る			
1445	◉藤原家蔵「水色巒光図」(伝周文)			1445〕 独グーテンベルグ活版印刷術を発明
1446	①東大寺戒壇院焼失 ○上杉憲忠，足利学校々規を制定			葡ベルデ岬発見
1447				
1448	○周文死す ○岩橋元祐，陸奥奥川の通路を開く			
1449	◉紀三井寺多宝塔			1449〕 中土木の変
1450	⑥細川勝元，京都龍安寺を創建			
1451	○足利義政，北小路第に学問所を造る			
1452	◉近江，園城寺大門			
1453	◉「一休和尚像」(京都大徳寺真珠庵)			1453〕 東ローマ滅亡。百年戦争終わる
1454	◉「十二神将像」（栄山寺金堂）			
1455	①高山宗砌（たかやまそうぜい）死す			1445〕 英ばら戦争（～85）
1456	◉真珠庵「苦行釈迦像」(伝蛇足) ○金春禅竹（こんぱるぜんちく）「歌舞髄脳記」 ○天隠龍沢「錦繍段」			





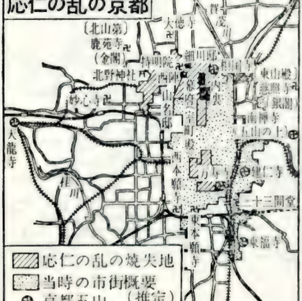
西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1457	長禄 1	④太田道灌(どうかん)江戸城を築く　⑨改元 ⑫足利政知(まさとも)伊豆堀越(ほりこし)による（**堀越公方**）	後花園	義政(8)
1458	〃 2	⑧赤松氏の遺臣神璽(しんじ)をえて献上。赤松氏復活		
1459	〃 3	⑧京都七口に新関を置く　⑪京都徳政一揆		
1460	寛正 1	⑨闕所・連坐・縁坐の法を定める　㊈義就政長戦う		
1461	〃 2	②後花園天皇，義政の奢侈を戒める ○全国飢饉，天皇般若心経を書写，除禍を祈願		
1462	〃 3	⑩京都土一揆，赤松政則(まさのり)これを鎮定		
1463	〃 4	⑧畠山義就，高野山・吉野に走る　⑨京都土一揆		
1464	〃 5	⑦成仁(ふさひと)親王に譲位，後花園上皇院政　⑨畠山政長管領となる　⑪義政養子義尋(ぎじん)還俗（義視(よしみ)）	後土御門	
1465	〃 6	⑪義政夫人日野富子(とみこ)義尚(よしひさ)を生む。山城西岡に徳政一揆　⑫後土御門天皇・即位		
1466	文正 1	②改元。上杉房顕死す(32)　㊁上杉憲実死す(57) ⑥関東執事上杉顕定，成氏を討つ ⑦斯波義廉(よしかど)義敏(よしとし)と家督を争う		
1467	応仁 1	①義廉管領となる。政長・義就戦う　③改元 ⑤**応仁の乱**（～77）　細川勝元ら山名持豊と対立		
1468	〃 2	⑦細川勝元管領となる　⑧一条兼良，奈良に避難 ⑨一条教房土佐に避難　⑪義視，西軍に頼る		
1469	文明 1	④改元　⑤大友・少弐東軍に参加		
1470	〃 2	③南朝遺臣小倉宮を奉じて挙兵 ⑫後花園天皇崩ず(52)		
1471	〃 3	⑥成氏政知に敗れ，千葉に走る		
1472	〃 4	②成氏古河を回復　○京都に群盗蜂起		
1473	〃 5	①伊勢貞親死す(75)　③山名持豊（宗全）死す(70) ⑤細川勝元死す(44)　⑫足利義尚，将軍となる		義尚(9)
1474	〃 6	④山名政豊，細川政元と和す　⑪加賀に一向一揆		
1475	〃 7	⑧幕府，明に銅銭・書籍・勘合符を求める		
1476	〃 8	⑥日野勝光死す(48)　⑨義政，東西両軍の和を図る		
1477	〃 9	⑪**大内政弘ら帰国し応仁の乱ほぼ終わる** ⑫畠山政長管領となる		
1478	〃 10	⑦義政，義視と和す		
1479	〃 11	③近畿に皇居修理の棟別銭を課す		
1480	〃 12	⑨京都・奈良に徳政一揆起こる		

応仁の乱の両軍

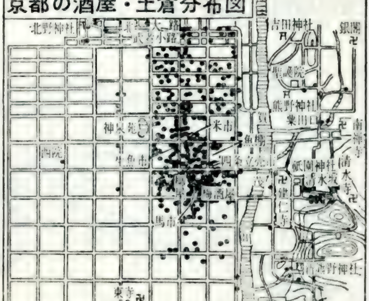


西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1457	◉原家蔵「維摩図」(文清)	李氏朝鮮	明	
1458	③幕府，尼寺の制を制定			
1459	⑤正徹死す(79)			1456〕中「大明一統志」成る
	◉法隆寺宝珠院五髻文珠像（春慶）			
1460	○このころ，立花(りっか)流行			
1461	⑪天龍寺の堂宇造営費を朝鮮に求める			
1462	⑥小栗宗湛(そうたん)高倉第の障子に描く			1462〕露モスクワ大公イワン3世即位
	⑫内宮式年遷宮，1585年まで中絶			
1463	○心敬(しんけい)「さざめごと」			
	○「融通念仏縁起」(土佐光信)			
1464	④義政，糺河原勧進猿楽を見る			1462〕伊コシモ=デ=メジチ死す
1465	①延暦寺衆徒，東山大谷を襲い蓮如(れんにょ)（兼寿(けんじゅ)）近江に避難			
	○このころ，池坊(いけのぼう)専慶死す			
1466	○周鳳(しゅうほう)「善隣国宝記(ぜんりんこくほうき)」			
1467	○遣明使天与清啓に等楊雪舟・桂菴玄樹ら随行			
1468	○金春禅竹死す(64)			1468〕独グーテンベルグ死す
	◉国立博物館「四季山水図」(雪舟)			
1469	⑩土佐光信(みつのぶ)を絵所預とする			
	○雪舟帰朝			
1470	⑤桃井幸若丸(こうわかまる)（直詮）死す(78)			
1471	①東常縁(とうのつねより)宗祇(そうぎ)に古今伝授			
	⑧蓮如，越前に吉崎道場を創建			
	能阿弥死す(75)			
1472	⑫一条兼良「花鳥余情」			
1473	○桂菴玄樹(けいあんげんじゅ)帰朝			
1474	②一休宗純，大徳寺住持となる			
1475	④心敬死す(70)			
1476	⑤宗祇「竹林抄」			
1477	②菊池重朝(しげとも)，釈奠(せきてん)を行なう			
1478	○玄樹，肥後より薩摩におもむく			
1479	④蓮如，山科(やましな)に本願寺を創立			1479〕西カスチラ・アラゴン合併
1480	⑦一条兼良「樵談治要(しょうだんちよう)」			

応仁の乱の京都

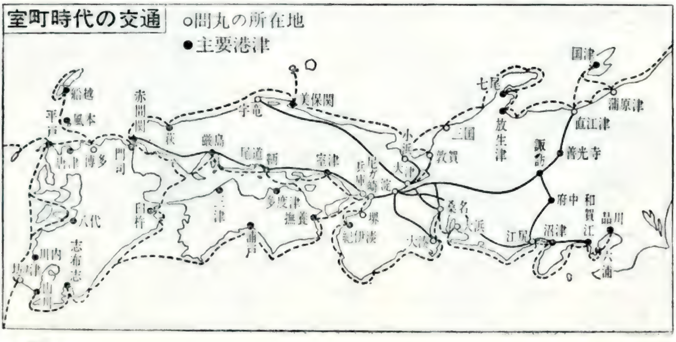


京都の酒屋・土倉分布図

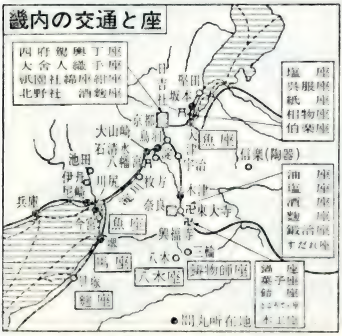


西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1481	文明13	①義尚出家　④一条兼良死す(80)	後土御門	義尚(9)
1482	〃 14	⑪成氏，義政と和し，政知に伊豆を譲る		
1483	〃 15	③義政，明に銅銭を求める　⑥義政，銀閣に移る		
1484	〃 16	⑪京都に土一揆起こる		
1485	〃 17	⑥義政出家　⑧**山城国一揆**(～92)　両畠山軍を国外に追放し，自治制を敷く		
1486	〃 18	⑦扇谷上杉定正，相模槽屋(かすや)に太田道灌を殺す(55)　⑧京都に徳政一揆起こる		
1487	長享 1	⑦改元　⑨義尚，近江の六角高頼を討つ		
1488	〃 2	⑥**加賀の一向一揆，守護富樫(とがし)政親を滅ぼす**　○扇谷上杉定正，山内上杉顕定と戦う		
1489	延徳 1	③将軍義尚，近江の陣中に死す(25)　④義視・義材(よしき)入京　⑥関東両上杉合戦　⑧改元		義稙(10)
1490	〃 2	○足利義政死す(56)　③京都土一揆　⑦義材(義稙)将軍となる　㊇大和土一揆		
1491	〃 3	①義視死す(53)　④堀越公方政知死す(57)　茶々丸つぐ　○この年，伊勢長氏（早雲庵宗瑞(そうずい)）茶々丸を殺し，伊豆北条に自立（**戦国時代始まる**）		
1492	明応 1	⑦改元　⑫六角氏平定。義材，京都に帰る		
1493	〃 2	④細川政元，義澄をたてる　⑥義稙，越中に走る		義澄(11)
1494	〃 3	⑩扇谷上杉定正死す(51)　⑫義澄，将軍となる		
1495	〃 4	②北条早雲，小田原城を奪う　⑩京都土一揆		
1496	〃 5	⑤日野富子死す(57)　⑫宇治に土一揆		
1497	〃 6	③大内義興(よしおき)，少弐政資(まさすけ)を破る　⑨足利成氏死す(64)		
1498	〃 7	①奈良に土一揆　⑧参遠大地震。浜名湖，海に通ず　⑨義稙，越前の朝倉貞景に頼る		
1499	〃 8	⑥延暦寺僧徒義稙に応ず　⑦細川軍，延暦寺を焼く　⑪義稙，入京に失敗し周防に走る		
1500	〃 9	⑤大和に徳政一揆　⑨天皇崩ず(59)　⑩勝仁(かつひと)親王践祚，幕府撰銭を禁止　⑪先帝奉葬		
1501	文亀 1	②改元　③朝廷，幕府に即位の費用を求める　⑧幕府大内義興を討つ　⑪即位費用を諸国に課す	後柏原	
1502	〃 2	②管領政元，将軍と不和		
1503	〃 3	⑧奈良の諸寺，徳政を行なう		
1504	永正 1	②改元　⑨京都に土一揆起こり，幕府徳政を行なう		

室町時代の交通



西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1481	④一条兼良死す(80)　一休宗純死す(88) ○**桂菴玄樹，伊地知重貞と大学章句を刊行**（薩摩版・伊地知版）	李氏朝鮮	明	
1482	②義政，東山山荘を造営			
1483	⑦狩野正信，東山殿に描く ⑪曾我蛇足(だそく)死す			
1484	⑪吉田兼倶(かねとも)，小倉岡斎場を設立			
1485	③真如堂本堂建立　⑪芸阿弥死す(55)			1485〕英チューダー朝成立（〜1603）
1486	◉慈照寺東求堂(とうぐどう)・同仁斎(どうじんさい) ◉毛利家蔵「山水長巻」（雪舟）			1486〕葡ジアズ喜望峰に到達
1487	○宗祇，三条西実隆に古今伝授			
1488	①宗祇ら「水無瀬(みなせ)三吟百韻」 ⑥希世霊彦死す(86)　⑨日親死す(82)			
1489	◉**慈照寺銀閣**			
1492	⑨**鹿児島桂樹院で大学章句再刊**			1492〕西コロンブスのアメリカ大陸発見
1493	⑪**横川景三死す(65)**			
1494	④東常縁死す(94)			
1495	⑥宗祇「**新撰菟玖波集**」 ◉東京国立博物館「破墨山水」（雪舟）			
1496	◉愛知斎年寺「慧可断臂図」（雪舟）			1496〕伊サボナロラ，フィレンツェ支配
1497	⑨蓮如，大坂石山坊を創建			
1499	③蓮如死す(85)　「御文章(おふみ)」 ⑥龍安寺方丈建立，庭園なるか ○大内義興(よしおき)正平版論語を復刻			1498〕葡ガマ，インド航路発見
1500	◉京都知恩寺多宝塔 ◉建長寺「喜江禅師像」（伝祥啓(しょうけい)）			1500〕チムール帝国滅亡
1501	⑤日蓮・浄土両宗宗論 ◉山内家蔵「天の橋立図」（雪舟）			
1502	⑤村田珠光(じゅこう)死す(81・茶道の祖) ⑦飯尾宗祇死す(82・連歌師)			
1504				

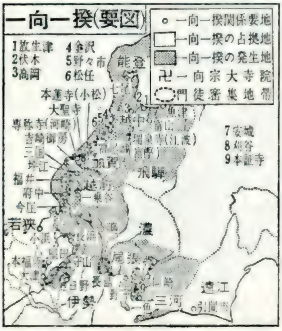


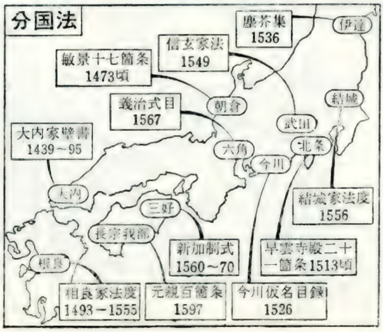
畿内の交通と座



堺の今昔

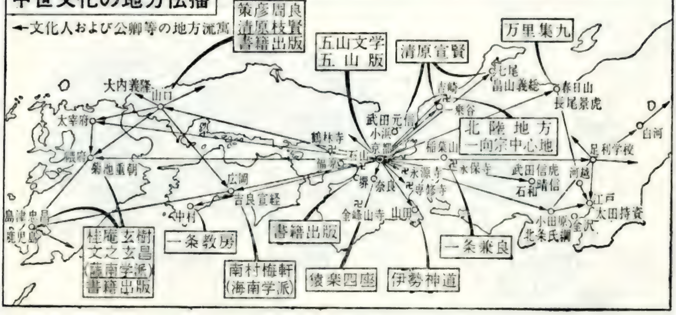
西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1505	永正 2	③山内上杉顕定，扇谷上杉朝良と和す	後柏原	義澄(11)
1506	〃 3	②大内義興朝鮮に遣使　⑦加能越一向一揆。朝倉氏と戦う　⑪政元帰国。義澄，堺にゆき慰諭召還		
1507	〃 4	⑥細川澄之，その父政元を殺す(42)　⑧細川高国，澄之を殺す(19)　細川澄元，政元の嗣となる　⑫前将軍義稙，大内義興により安芸に入る		
1508	〃 5	④高国，義稙に通じ，義澄・澄元出奔　⑥義稙，大内義興入京　⑦義稙，将軍となる。管領細川高国，管領代大内義興　⑧撰銭令を出す		義稙(10)
1509	〃 6	②山城大和土一揆起こる　○この年，朝鮮三浦(サンポ)の居留民の送還を請求		
1510	〃 7	③徳政令を出す　④**三浦の乱　宗義盛，釜山浦を攻める**　⑦上杉顕定，長尾為景(ためかげ)に敗死(57)		
1511	〃 8	⑦高国・澄元，摂津河内に戦う　⑦義澄近江に死す(32)		
1512	〃 9	②宗氏，朝鮮と旧約を更定（永正条約）		
1513	〃 10	②義稙，義澄の子義晴と和す		
1514	〃 11	④幕府，私闘を禁止　③一条冬良死す(51)		
1515	〃 12	⑩武田信虎(のぶとら)，大井信達を甲斐上野城に破る		
1516	〃 13	④幕府，大内義興に遣明船を管理させる　⑦北条早雲，三浦道寸(どうすん)を相模新井城に滅ぼす		
1517	〃 14	③武田信虎，今川氏親と和す　⑧氏親遠江を合併　⑩足利義明，小弓御所による		
1518	〃 15	⑧大内義興帰国　⑩大内氏，領内に撰銭を禁止		
1519	〃 16	④加賀一向一揆平定　⑧北条早雲死す(88)		
1520	〃 17	①京都に土一揆。幕府徳政令を出す		
1521	大永 1	③後柏原天皇，践祚22年で即位式を行なう　⑧改元　⑫足利義晴，将軍となる		義晴(12)
1522	〃 2	③大内義興，尼子経久(つねひさ)と戦う		
1523	〃 3	③浅井氏，近江に自立　④足利義稙死す(58)　**大内義興，細川高国の各使者，明の寧波(ニンポウ)で争う**		
1524	〃 4	①北条氏綱(うじつな)江戸城を奪う　⑤大内尼子戦う		
1525	〃 5	⑤浅井亮政(すけまさ)六角定頼(さだより)戦う　⑦朝倉，浅井を助く		
1526	〃 6	④後柏原天皇崩ず(63)　知仁(ともひと)親王即位。今川氏親仮名目録を制定　⑥今川氏親死す(54)　⑦武田信虎，北条氏綱を破る　⑫里見氏，鎌倉を攻める		





西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1505	◉東福寺「東福寺伽藍図」(了庵賛)	李氏朝鮮	明	
1506	◉京都酬恩院本堂 ⑧等楊雪舟死す(87)			
1507	◉「細川澄元像」(前田家)			1507〕 中明の宦官の勢力強く，各地に流賊反乱
1508	⑤尋尊敗死す　「大乗院寺社雑事記」 ⑥桂菴玄樹死す(82) ◉「玉隠和尚像」(神奈川明月院)			
1509	◉大徳寺大仙院創建（枯山水の庭園およびその襖絵）			
1510	⑥猪苗代(いなわしろ)兼載死す（連歌師）			1510〕 葡ゴア占領
1511	②吉田兼倶死す(77・唯一神道)			
1512	⑤後藤祐乗(ゆうじょう)死す(73・金工) ⑥豊原統秋(すみあき)「体源抄」			1513〕 西バルボア，太平洋発見
1514	○山崎宗鑑(そうかん)「犬筑波(いぬつくば)集」			
1515	◉根来(ねごろ)寺多宝塔			
1516	③肖柏・宗長ら千句連歌を作る			1516〕 中ポルトガル人広東に来航
1517	◉東京国立博物館「清水寺縁起絵巻」(土佐光信)			1517〕 独ルター，宗教改革運動開始
1518	○「閑吟(かんぎん)集」			1518〕 瑞ツウィングリ宗教改革運動
1519	○宗長「雨夜記」			
1520	◉山口八坂神社本殿 ◉厳島神社「三十六歌仙額」(光信)			
1521	②越後守護代長尾為景一向宗を禁止			1521〕 独ウオルムス国会 西コルテス，メキシコ征服
1522	⑨大内氏の臣右田弘詮「吾妻鏡」を書写（吉川本）			1522〕 西マジェランの部下世界周航完成
1524	⑧豊原統秋死す(75) ◉京都真正極楽寺「真如堂縁起絵巻」(久国)			
1525	⑤土佐光信死す(92) ⑩相阿弥死す ◉京都東福寺仁王門			
1526				1526〕 印ムガール帝国建設

中世文化の地方伝播



西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1527	大永 7	②義晴・高国，近江に逃る　④坂本の徳政一揆 ⑧義晴ら帰京	後奈良	義晴 (12)
1528	享禄 1	⑤三好元長ら京都に迫り，義晴，近江に逃る ⑧改元　⑫大内義興死す(52)		
1529	〃 2	⑤松平清康尾張を経略　⑩延暦寺僧・日蓮宗徒争う		
1530	〃 3	③幕府，大内義隆(よしたか)の遣明船復活を許す ⑥北条氏綱，上杉朝興を破る		
1531	〃 4	⑥三好元長，細川晴元を助け高国を滅ぼす(48) ⑩加賀一向一揆。朝倉教景(のりかげ)を破る		
1532	天文 1	⑦改元　**⑧法華一揆，山科(やましな)本願寺を焼く**		
1533	〃 2	②本願寺光教，晴元を堺に攻め，晴元淡路に逃る ○この年，石見(いわみ)大森銀山を開発する		
1534	〃 3	④大内義隆・北条氏綱・今川氏輝・朝倉孝景・本願寺光教ら即位料を献ずる		
1535	〃 4	⑦氏綱・氏輝，武田信虎を破る ⑫松平清康死す(26)　織田信秀，三河に侵入		
1536	〃 5	②即位　④伊達稙宗(たねむね)家法「塵芥(じんかい)集」を制定		
1537	〃 6	⑦氏綱，扇谷朝定を河越(かわごえ)より追う		
1538	〃 7	⑦尼子晴久，赤松政村を破る ⑩氏綱，足利義明・里見義尭(よしたか)を国府台に破る		
1539	〃 8	⑦土倉の請いにより，幕府徳政令を停止		
1540	〃 9	⑥疫病流行し，後奈良天皇宸筆の心経を諸国一宮に納める　⑧尼子氏，石見銀山を奪う		
1541	〃 10	①毛利元就(もとなり)，尼子晴久を破る　⑥武田晴信(はるのぶ)，父信虎を追う　⑦北条氏綱死す(55)		
1542	〃 11	⑦晴信，諏訪(すわ)氏を滅ぼす　⑧信秀・義元と戦う 斎藤秀竜(ひでたつ)（道三）その主土岐氏を追う		
1543	〃 12	②織田信秀，皇居修理費を献上 **⑧ポルトガル船種子島(たねがしま)に漂着，鉄砲伝来**		
1544	〃 13	⑧織田信秀，斎藤秀竜と戦う ⑪ポルトガル船薩摩に至り，貿易を求める		
1545	〃 14	①竜造寺兼家，少弐冬尚と戦う　⑧今川義元，北条氏康(うじやす)と戦う　⑨織田信秀，松平広忠(ひろただ)を破る		
1546	〃 15	④氏康，河越に扇谷上杉朝定を滅ぼす　⑩京都に土一揆。徳政令　⑫足利義輝(よしてる)将軍となる		

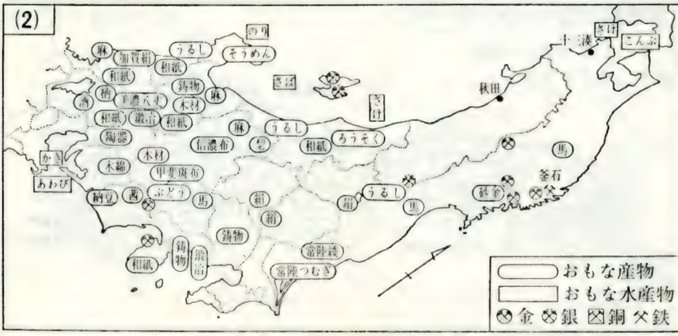
中世の産業 (1)



伊—イタリア　中—中国

西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1527	④牡丹花(ぼたんか)肖柏死す(85・連歌師)	李氏朝鮮	明	1527〕伊マキャベリ死す
1528	⑦堺の医**阿佐井野(あさいの)宗瑞「医書大全」を開版**　○薬師寺金堂講堂西塔焼失			
1529				1529〕中明の王守仁(陽明)死す
1530	○このころ，狩野正信死す			1530〕独アウグスブルグ国会
1532	○宗長死す(85・連歌師) ◉奈良談山神社十三重塔 ◉滋賀桑実寺「桑実寺縁起絵巻」(土佐光茂)			1531〕西ピサロ，ペルー征服
1534	◉栃木足利聖廟孔子像			1534〕英首長令発布
1536	⑦天文法華の乱―延暦寺の衆徒，京都の法華寺院を焼き信徒を追放			1536〕瑞カルビンの宗教政治
1537	⑩三条西実隆死す(83)			
1538	⑦大内義隆，朝鮮に大蔵経を求む ⑩義隆，朝鮮に朱子新註五経および漏刻器を求める			
1539	③義隆，「聚分韻略(しゅうぶんいんりゃく)」刊行 ⑩船橋宣賢(のりかた)「毛詩抄」			
1540	○荒木田守武(もりたけ)「俳諧独吟千句」			1540〕教ヤソ会公認
1541	⑨織田信秀，豊受大神宮造営料寄進			
1542	○雪村，常陸に住む ◉京都松尾神社本殿			
1543	◉京都妙心寺霊雲院襖絵(狩野元信)			1543〕独コペルニクス死す
1545	○曲直瀬(まなせ)道三，李朱医方を唱える			1545〕独トリエントの宗教会議
1546	○船橋宣賢，朝倉氏に招かれる ◉福岡筥崎(はこざき)宮本殿			

(2)



独―ドイツ　西―スペイン　英―イギリス　瑞―スイス　教―ローマ教会

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1547	天文16	②大内義隆，勘合船を明に派遣　⑥武田晴信，甲州法度（信玄家法）を制定	後奈良	義輝(13)
1548	〃 17	③朝倉孝景死す(56)　⑦晴信，信濃塩尻峠に小笠原長時を破る　⑫長尾景虎(かげとら)家督を相続		
1549	〃 18	③松平広忠死す(24)　⑥義晴・義輝，近江に走る　⑦三好長慶入京　⑪松平竹千代（家康）今川の人質となる　○六角氏石寺の新市を**楽市**とする		
1550	〃 19	⑤足利義晴死す(40)　○ポルトガル船，平戸に入港		
1551	〃 20	③織田信秀死す(42)⑨陶晴賢(すえはるかた)大内義隆を殺す(45)		
1552	〃 21	①上杉憲政(のりまさ)，北条氏康に追われ，越後の長尾景虎を頼る　⑫小笠原長時，長尾景虎に頼る		
1553	〃 22	㊀平手政秀，信長を諫死　⑧長慶，義輝と戦う　**川中島の戦い**　景虎信濃の諸将を助け晴信と戦う		
1554	〃 23	③武田晴信，今川義元を助け駿河に北条氏康と戦う		
1555	弘治 1	④信長，清洲(きよす)城に移る　⑦川中島の戦い　⑩厳島の戦い。毛利元就，陶晴賢を滅ぼす。改元		
1556	〃 2	④斎藤義竜，父道三を殺す　○結城家法度なる		
1557	〃 3	③毛利元就，周防長門平定　⑨後奈良天皇崩ず(62)　⑩方仁(みちひと)親王践祚　⑪元就，子隆元・元春・隆景をさとす　○大友義鎮，明に使をつかわす		
1558	永禄 1	②改元　⑥長慶，義輝と戦う　⑨木下藤吉郎，織田信長に仕える	正親町	
1559	〃 2	②信長入京　④長尾景虎入京　⑧義鎮，府内を開港		
1560	〃 3	①即位　⑤**桶狭間の戦い**　今川義元死す(42)　⑪松永久秀，天主閣を起こす　⑫尼子晴久死す(47)		
1561	〃 4	②松平元康（家康）信長に和す　③長尾景虎（謙信）小田原城に迫る　㊂景虎上杉氏をつぐ　⑤斎藤義竜死す(42)　⑨川中島の戦い。上杉政虎（謙信）のため武田晴信（信玄）負傷		
1562	〃 5	①家康，信長と盟約　⑫上杉政虎，輝虎(てるとら)と改む		
1563	〃 6	⑨三河に一向一揆起こり，家康と戦う		
1564	〃 7	①北条氏康，里見義弘と下総国府台に戦う　②三河の一向一揆家康に下る　⑦三好長慶死す(41)		
1565	〃 8	⑤**将軍義輝，三好義継・松永久秀らに殺さる**(30)　⑦足利義昭(よしあき)，近江に出奔		

群雄割拠図 永禄3年(1560)ころ



西暦	文　化	朝鮮	中国	世　界　史
1547	㋛京都神護寺・高山寺兵火にかかる			
1548	◉静岡清水寺薬師像（橘能貞）			
1549	**⑦宣教師フランシスコ＝ザビエル鹿児島上陸（キリスト教伝来）** ⑧荒木田守武死す(77)			
1550	⑧ザビエル，平戸に　⑨京都に　⑪山口に布教			1550〕㊥タタール明に侵入，北京に迫る
1551	⑩ザビエル，豊後よりインドに帰る 大友義鎮，インド総督に書を送る	李		
1552	⑧宣教師バルタザール＝ガゴ，豊後にきたり，大友義鎮に会う			1552〕㊥ザビエル，広東付近で病死
1553	⑩山崎宗鑑死す(89) ◉「武田信虎夫人画像」(山梨長禅寺)	氏		
1554	⑧本願寺光教（証如）死す			
1555	⑩武野紹鷗(たけのじょうおう)死す(53)			1555〕㊙アウグスブルグの宗教和議
1556	○宣教師トルレス，豊後府内に教会堂・病院・育児院をつくる		明	
1557		朝		1557〕㊥明の胡宗憲，海賊汪直を誘殺
1558	○西村宗印(そういん)死す（陶工・永楽初代） ○松浦隆信，領内の宣教使を追放			1558〕㊖エリザベス女王即位（〜1603）
1559	⑩狩野元信死す(84) ○このころからお伽草子流行			
1560	①幕府，ガスパル＝ビレラに布教を許す	鮮		1560〕㊞アクバル帝親政
1561	⑫足利学校火災			
1562	⑦肥前大村純忠(すみただ)横瀬浦を開港。ポルトガル船を誘致。天主堂を建立。洗礼を受ける			1562〕㊕宗教戦争（〜98）
1563	⑨伊勢正遷宮			1563〕㊥明の戚継光，福建に倭寇を破る
1564	○画師孫次郎死す ○平戸に教会堂天門寺を建立			
1565	⑦三好義継，ビレラ・フロイスを京都から追放			1565〕㊐フィリピン諸島を取る

キリスト教の伝来

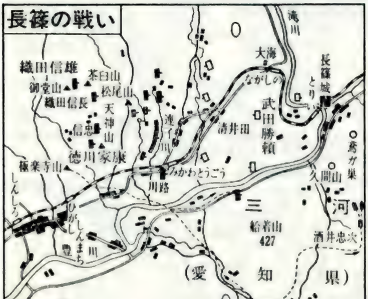


西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1566	永禄 9	⑪毛利元就尼子氏を滅ぼす　⑫松平家康徳川と改称	正親町	義栄(14)
1567	〃 10	⑧信長，斎藤竜興(たつおき)を討つ。ポルトガル船，長崎に来航　⑩松永久秀，三好三人衆を破る		
1568	〃 11	②足利義栄(よしひで)将軍となる　⑦信長，義昭を迎える　**⑨信長入京**　足利義栄死す(29)　⑩義昭将軍となる。信長諸国の関所を廃止。摂津和泉に矢銭を課す		
1569	〃 12	③信長撰銭令を出す　④信長皇居を修理，帰国　⑩信長，義昭と不和　⑫武田晴信，駿河に侵入		義昭(15)
1570	元亀 1	④改元　⑥姉川の戦い　⑨本願寺光佐，信長に対抗　⑫信長，勅を奉じて朝倉義景・浅井長政と和す		
1571	〃 2	③大村純忠(すみただ)，長崎をポルトガル人に開く　⑤信長，伊勢長島の一向一揆を討つ　⑥毛利元就死す(75)　⑨信長，延暦寺を焼打ち　⑩北条氏康死す(57)		
1572	〃 3	①光佐，信玄と結び信長を脅かす　⑨信長，将軍義昭をいさめる　⑫三方原(みかたがはら)の戦い		
1573	天正 1	②義昭，信長をはかる　④武田信玄死す(53)　**⑦信長，義昭を追放。足利幕府滅亡。**改元　⑧信長，朝倉義景(41)・浅井長政(29)を滅ぼす		
1574	〃 2	⑨信長，長島一揆を平定		
1575	〃 3	⑤長篠(ながしの)の戦い。信長・家康，武田勝頼を破る		
1576	〃 4	②信長，安土城に入る　④信長，本願寺光佐を大坂に討つ（石山合戦）　⑪信長，内大臣となる		
1577	〃 5	②信長，紀伊の雑賀(さいか)一揆を平定　⑧上杉謙信，能登七尾城を下す。松永久秀，大和信貴山(しぎさん)城による　⑩久秀死す(68)　羽柴秀吉，中国攻めに出発　⑪信長，右大臣となる		
1578	〃 6	③上杉謙信死す(49)　⑦明の商人きたり北条氏と交易。毛利氏，尼子氏を滅ぼす。山中幸盛死す(39)　⑪竜造寺隆信，筑後に侵入		
1579	〃 7	⑦明智(あけち)光秀，丹後を平定　⑩秀吉，宇喜田直家を下す　○大村純忠，長崎を教会に寄進		
1580	〃 8	㊂信長，光佐と講和　⑨大和検地		
1581	〃 9	②長宗（曾）我部元親，一条氏を追う　⑩秀吉，鳥取城を下す　⑫武田勝頼，新府（韮崎）に移る		

信長の統一（1580年ごろ）



西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1566	◉京都聚光院襖絵（狩野永徳）			
1567	⑩松永・三好の兵火で東大寺大仏殿焼失 ○アルメイダ，長崎に布教			
1568	○大村純忠，長崎・大村に教会堂を建立 ○京都に南蛮寺（永祿寺）建立			1568］[蘭]オランダ独立戦争（〜1648）
1569	④織田信長，フロイスの布教許可 ○永祿年中，三味線渡来			
1570	○このころ，芦屋釜・天明釜盛ん	李		1570］[鮮]李滉（退溪）死す
1571	◉広島厳島神社本殿 ◉滋賀総見寺楼門			1571］[西]レパント沖の海戦
1572	⑨信長，山城大和一円に道路を造らせる	氏		1572］[仏]聖バーソロミュー祭の虐殺
1573	○山田道庵（どうあん）死す（画家） ○このころ雪村死す		明	
1574	③信長，正倉院の香木蘭奢待（らんじゃたい）を切る ◉上杉家蔵「洛中洛外図屏風」（狩野永徳）　◉「獅子」（楽（らく）長次郎）	朝		
1575	○狩野之信死す(63)			
1576	○永徳，安土城の襖絵を描く ◉福井丸岡城天守 ◉京都山崎の妙喜庵数寄屋（茶室）	鮮		
1577	◉妙心寺春光院ヤソ教銅鐘			
1578	○大友義鎮（宗麟）洗礼を受ける			1578］[露]シベリア進出開始
1579	③山科言継（ときつぐ）死す(73)　「言継卿記」 ⑤安土宗論，法華・浄土両宗討論 ○信長，オルガンチノに安土に教会堂建立を許可 ○切支丹巡察使バリニアニ来朝			1579］[蘭]ユトレヒト同盟
1580	㊂光佐，紀伊雑賀（さいが）に移る			
1581	②バリニアニ，信長に謁見 ⑧信長，高野山の聖（ひじり）数百を殺す			1581］[露]イエルマク，シベリアを征服



長篠の戦い



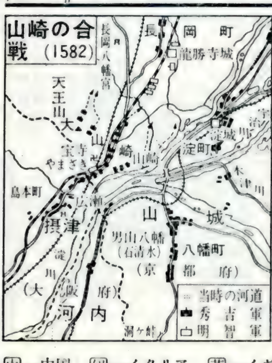
安土城

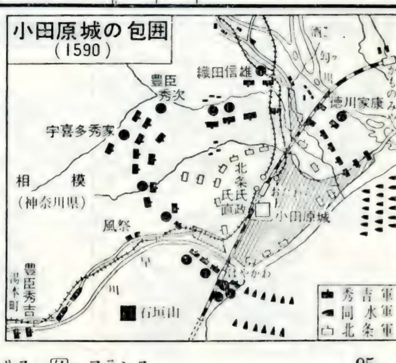
西暦	年号	政治・経済・社会	天皇
1582	天正10	③天目山の戦い。武田勝頼自殺(37)　⑤秀吉，備中高松城を囲む　⑥**本能寺の変**　信長(49)・信忠(26)死す。山崎の合戦。明智光秀死す(55)　清洲会議　⑦秀吉，山城検地（太閤検地）　⑩徳川家康，北条氏直と講和	正親町
1583	〃 11	④賤が嶽の戦い。秀吉，柴田勝家を破る。柴田勝家死す(62)　前田利家・佐々成政秀吉に下る　⑤織田信孝死す(26)　⑧滝川一益，秀吉に下る　⑨秀吉，大坂城を築く	
1584	〃 12	③織田信雄，秀吉と絶ち家康信雄を助ける。竜造寺隆信，肥前島原に死す(56)　小牧・長久手の戦い　⑥スペイン船，平戸にきたる　⑧筒井順慶死す	
1585	〃 13	⑥秀吉，長曾我部元親を下す（四国征伐）　⑦**秀吉，関白となる。五奉行を置く**	
1586	〃 14	①秀吉，家康和す　⑨滝川一益死す(62)　⑩秀吉・家康，大坂で会見　⑪譲位により和仁親王即位。吉川元春死す(57)　⑫大友義統府内を島津氏に奪われる。秀吉，太政大臣となり，豊臣の姓を賜わる	後陽成
1587	〃 15	③秀吉，大坂を発し九州に向かう　⑤島津義久下る。大村純忠(55)・大友宗麟死す(56)　⑥秀吉，博多町を復興　⑨秀吉，聚楽第に移る　○**この年，天正通宝を鋳る**	
1588	〃 16	④聚楽第行幸　㊄佐々成政自殺(50)　肥後を加藤清正・小西行長に分与　⑦**刀狩令**　○大判・小判を鋳造	
1589	〃 17	③秀吉，琉球に遣使　⑨島津義久，琉球使を伴い秀吉に謁す　⑩北条氏討伐の軍令を出す　○この年，宗義智をつかわし，朝鮮との国交	
1590	〃 18	④秀吉，小田原城を囲む　⑥伊達政宗秀吉に帰服　⑦北条氏滅ぶ　⑧徳川家康，江戸城に入る	
1591	〃 19	㊀宣教師バリニアニ秀吉に謁し，インド総督の書を進める　④毛利輝元，広島城を築く　⑦秀吉，インド総督に返書　⑧フィリピンの入貢を促す　⑫豊臣秀次，関白となる　○秀吉，全国の戸口を調査，士農工商の身分法を制定	
1592	文禄 1	③**文禄の役**　朝鮮に出兵　⑤漢城（京城）占領　⑥征明令　⑧沈惟敬和を議す　⑫改元　○この年秀吉，朱印船制度を設ける。長崎奉行を置く	
1593	〃 2	①碧蹄館の戦い。小早川隆景ら明軍を撃破，正親町上皇崩ず(77)　⑥秀吉，和議7条を明使に示す　⑧淀君，秀頼を生む　⑪高山国（台湾）に入貢を促す	

秀吉の統一 (1582～1598)



西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1582	①大友宗麟・大村純忠・有馬晴信，少年使節をローマに派遣 ○里村紹巴(じょうは)「連歌至宝抄」 ◉京都大徳寺三門	李氏朝鮮	明	1582〕 中マテオ＝リッチ，マカオに上陸
1583	③島津義久，宣教師を追放 ◉愛知長興寺「織田信長画像」(狩野元秀)			1583〕 伊ガリレー，振子の理を発見
1584	⑤秀吉，比叡山の再興を許可 ○松浦鎮信，ルソンに書を送る			1584〕 英ウオルター＝ローリ，バージニアを探検
1585	③千宗易・津田宗及ら京都総見寺に茶会を行なう ○秀吉，京都に聚楽第(じゅらくだい)を着工			
1586	④秀吉，京都東山に方広(ほうこう)寺を造営			
1587	⑥秀吉，**キリスト教禁止** ⑨聚楽第完成　⑩北野の大茶会 ○長次郎このころ楽焼を始める			
1588	⑤秀吉，長崎のキリスト教徒追放 ◉京都大徳寺黄梅院襖絵（雲谷）			1588〕 英無敵艦隊を撃破
1589	○方広寺大仏を鋳る（仏師貞宗） ◉滋賀西教寺客殿			1589〕 仏バロア朝滅亡
1590	⑥遣欧使節帰朝。バリニアニ西洋印刷術を伝う　⑨狩野永徳死す(48)			
1591	②千宗易（利休）自殺(71) ○石山本願寺を六条堀河に移建 ○キリシタン版始めて刊行 ◉智積院襖絵（長谷川等伯(とうはく)）			1591〕 中ヌルハチ，東満州統一
1592	⑪本願寺顕如（光佐）死す(50) ○楽長次郎・狩野松栄・津田宗及死す ◉京都清水寺絵馬（長谷川久蔵）			1542〕 中李如松，朝鮮救援
1593	○「天草版平家物語・伊曾保物語」刊 ○朝鮮から活字印刷伝わる。後陽成天皇「古文孝経」を開版（勅版）			1593〕 中李如松敗れる





中—中国　伊—イタリア　英—イギリス　仏—フランス

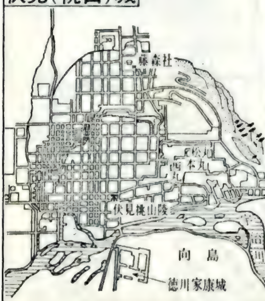
西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1594	文禄 3	②吉野の花見　③伏見城を築く　⑦堺の納屋助左衛門，ルソンより帰る	後陽成	
1595	〃 4	②蒲生氏郷死す(40)　⑦秀次，高野山に自殺(28) ⑧秀吉，諸大名公卿に法令15条を定める ○太閤検地終わり，租法定まる		
1596	慶長 1	⑤家康，内大臣となる　⑥明使沈惟敬，伏見にきたる ⑦京都大地震　⑨秀吉明使を引見，和議破れる。スペイン船サン＝フェリペ号土佐に漂着　⑩改元		
1597	〃 2	①**慶長の役**　⑥小早川隆景死す(65)　⑦ルソン入貢 ⑧太泥入貢　足利義昭死す(61)　⑫蔚山の戦い		
1598	〃 3	①上杉景勝，会津に転封 ⑦五奉行五大老制成立　⑧豊臣秀吉死す(63)　在鮮の諸将を召還　⑩泗川の戦い。島津義弘奮戦		
1599	〃 4	①秀頼，大坂城に移る　②家康，五奉行と誓う ㊂前田利家死す(62)　秀吉の部将間の対立激し ⑤長曾我部元親死す(61)　⑪前田利長，その母を家康に質とする（諸大名の証人の始め）		
1600	〃 5	③オランダ船リーフデ号，豊後に漂着 ⑥会津征伐。家康，景勝を討つ　⑦石田三成挙兵 ⑨**関が原の戦い**　⑩石田三成・小西行長ら切られる		
1601	〃 6	①東海道の伝馬制定　⑤伏見に銀座を設け，大小判金を鋳造　⑧板倉勝重を京都所司代とする ⑩安南・ルソンに返書修好。朱印船額を定める		
1602	〃 7	⑤前田玄以死す(64)　⑧家康，ルソンに書を贈る		
1603	〃 8	②**徳川家康，征夷大将軍となる。江戸幕府創立** ③長崎奉行を置く　⑦千姫，秀頼に嫁す		徳川家康(1)
1604	〃 9	②東海道などに一里塚を築く　③黒田孝高死す(55) ⑤京・堺・長崎に糸割符年寄を置く（糸割符制度） ⑦大久保長安，佐渡金山を管す　⑧内外貿易船に朱印状を与える　⑫長崎に唐通事を置く		
1605	〃 10	③家康，朝鮮使を伏見に引見。日鮮国交再開 ④徳川秀忠将軍となる　⑨山内一豊死す(61) ○この年，後藤光次，一分金を鋳る。煙草流行		秀忠(2)
1606	〃 11	③江戸城増築　④柳生宗巌死す(80) ○この年，銀座を駿府に置く		
1607	〃 12	③角倉了以富士川を改修　⑦家康，駿府に移る		





西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1594	③秀吉，伏見（桃山）城を築く ○徳川家康，藤原惺窩(せいか)を招く	李氏朝鮮	明	
1595	①曲直瀬道三死す(89・医道中興の祖) ⑧聚楽第をこわす ○オルガンチノ，京都・九州に布教			1595〕安南の統一
1596	⑫キリスト教徒26人を長崎で処刑 ○李参平帰化し，有田焼起こる ◉京都西芳寺湘南(しょうなん)亭			
1597	⑦勅版「錦繍段」開版　◉高野山金剛峯寺大塔　◉松本城天守　○志野焼			
1598	③秀吉，醍醐に花見を行なう ◉醍醐三宝院表書院・庭園 ○萩焼始まる			1598〕仏ナントの勅令
1599	㊂勅版「日本書紀」など刊行 ④秀吉に豊国大明神の号を下賜 ⑤家康，元佶(げんきつ)に「孔子家語」などを刊行させる（伏見版）			
1600	③英人ウイリアム＝アダムス，蘭人ヤン＝ヨーステンきたる　◉園城寺勧学院襖絵（光信）			1600〕英東インド会社設立
1601	⑨家康，伏見に学校（円光寺）を建つ ◉園城寺光浄院客殿・庭園 ◉奈良法華寺本堂			
1602	②家康，東本願寺を創建　◉京都二条城二の丸殿舎　◉東京国立博物館「山水図屏風」（海北(かいほう)友松）			1602〕蘭東インド会社設立
1603	④**出雲の阿国(おくに)京都で歌舞伎を上演**			1603〕英スチュアート朝（〜1649, 1714）
1604	◉豊国神社「豊国祭図屏風」(狩野内膳) ◉京都妙法院庫裡(くり)			1604〕仏東インド会社設立
1605	③家康，活字により「吾妻鏡」刊行 ○家康，林羅山を召見 ◉大徳寺竜光院弧蓬庵（小堀遠州）			
1606	⑥林羅山・バビヤン宗論 ◉京都東寺金堂			
1607	◉京都北野神社　◉仙台大崎八幡宮			

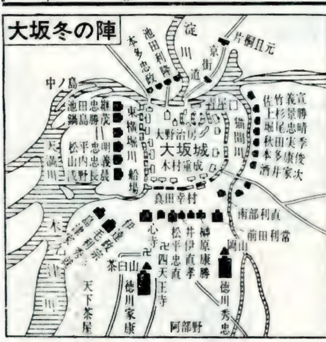
伏見(桃山)城



関ヶ原の合戦



西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1608	慶長13	⑫永楽銭の通用を禁ずる　○伏見銀座を京都に移転	後陽成	秀忠(2)
1609	〃 14	②島津家久，琉球征伐。有馬晴信，士卒を台湾に派遣　**⑧オランダ商館を平戸に置く。日蘭通商始まる**　⑨ロドリゴ＝ビベロ乗船のスペイン船，上総に坐礁　西国大名から500石積以上の大船を没収　⑫有馬晴信，長崎でポルトガル船を撃沈		
1610	〃 15	**⑤スペインに通商を許す**　⑥田中勝介，ノビスパン（メキシコ）に渡航　⑧琉球王秀忠に謁す。細川藤孝[ふじたか]（幽斎）死す(77)　⑩本多忠勝死す(63)		
1611	〃 16	①島津義久死す(79)　③政仁[ことひと]親王に譲位。家康，秀頼と二条城で会見　④浅野長政死す(65)　⑤スペイン探検船（司令官ビスカイノ）浦賀に入港　⑥加藤清正死す(50)　⑪明商に長崎貿易を許す	後水尾	
1612	〃 17	③幕府直轄領に禁教令　⑩オランダ国王，ポルトガルの密謀を告げる　○駿府銀座を江戸に移す		
1613	〃 18	①池田輝政死す(50)　④大久保長安死す(69)　⑥公家衆法度・勅許紫衣法度制定　**⑨イギリス人に通商を許す。**伊達政宗の遣使支倉[はせくら]常長ローマに出発　⑫全国に禁教令を敷く		
1614	〃 19	③高山右近[うこん]を海外追放　④方広寺鐘銘事件　⑤前田利長死す(53)　⑦角倉了以死す(61)　**⑪大坂冬の陣**　⑫東西両軍和議成立		
1615	元和 1	**④大坂夏の陣**　⑤秀頼(23)・淀君(49)死し豊臣氏滅亡　**⑦武家諸法度・禁中并公家諸法度を制定。**改元		
1616	〃 2	③家康，太政大臣となる　④徳川家康死す(75)　⑥本多正信死す(79)　⑧禁教令。外国船寄港を平戸・長崎に限定　⑩煙草栽培・人身売買を禁止		
1617	〃 3	③江戸吉原遊廓を開く　⑦秀忠上洛　⑧後陽成上皇崩ず(47)　英人リチャード＝コックス，国書を呈上		
1618	〃 4	①幕府，大奥の法度を制定　②撰銭および金銀売買を禁止　⑧イギリス，平戸に商館を開き通商を始む。長崎・平戸を外国船貿易港とする　○この年，釜山に宗氏の日本館ができる		



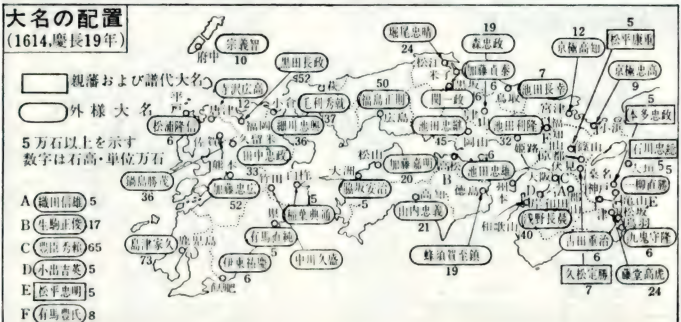


西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1608	⑥狩野光信死す(44)　⑩木食死す(73) ⑪日蓮・浄土両宗の江戸宗論 ○金地院崇伝，幕府の外交に関与			
1609	○秀頼，方広寺大仏殿着工 ◉姫路城　◉松島瑞巌寺			1609〕蘭アムステルダム銀行設立
1610	②長谷川等伯死す(72) ⑨名古屋城完成 ◉醍醐寺三宝院庭園	李		1610〕仏アンリ四世暗殺
1611	◉松江城　◉弘前城			1611〕中明で東林・非東林の党争激し
1612	⑤元信死す(65) ○狩野探幽，家康に謁する	氏		
1613	○土佐光吉死す(75)	朝	明	1613〕露ロマノフ朝開く
1614	○舟橋秀賢死す(40・博士家の儒学) ○近衛信尹(50・三藐院・能書) ◉名古屋城襖絵（狩野貞信ら）			
1615	⑥海北友松死す(83)　○古田織部死す(72) ○本阿弥光悦，鷹ケ峯に村を作る	鮮		
1616	④家康を久能山に葬る ⑤「駿河版群書治要」刊行			1616〕中ヌルハチ，後金を建国
1617	④家康を日光東照宮へ改葬 ○狩野探幽，幕府絵師となる ◉このころ，建仁寺如庵（織田有楽）		清	
1618	○狩野孝信死す(48)　○雲谷等顔死す(72) ○「元和航海記」（航海の本）		（後金）	1618〕独三十年戦争(～48)

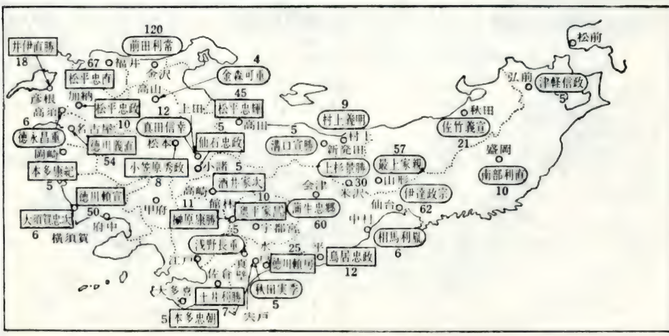


西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1619	元和 5	⑥福島正則の除封　⑦徳川頼宣を紀伊に封ず ○菱垣回船始まり，寛永初年から定期化する	後水尾	秀忠(2)
1620	〃 6	③浅草御米蔵ができる　④ウイリアム=アダムス(三浦按針)死す(56)　⑥秀忠の女和子(東福門院)入内　⑧支倉常長帰朝 ○このころ，シャム・ルソンに日本町成立		
1621	〃 7	⑦外人の日本人買い取りおよび武器輸出を禁止 ⑨秀忠シャム国使引見。山田長政，書を土井利勝に贈る		
1622	〃 8	⑦支倉常長死す(52)　⑧最上義俊除封 ⑩本多正純除封　⑪駅馬駄賃を定める ⑫根来同心を創設。川船奉行設置		
1623	〃 9	③上杉景勝死す(69)　⑦**徳川家光，将軍となる** ⑧黒田長政死す(56)　⑪英人，平戸商館を閉鎖		家光(3)
1624	寛永 1	②改元　③スペイン人の来航を禁止 ④板倉勝重死す(80)　⑦福島正則死す(64) ⑨秀吉夫人高台院死す(76)		
1625	〃 2	④二条城番を置く。毛利輝元死す(73) ⑧関所通行および駅馬駄馬の制を定める ○この年，明の福建都督倭寇の鎮撫を求める		
1626	〃 3	㈣人身売買を禁止　⑦大坂城定番制を定める ○この年，高砂徳兵衛東インドに交易。長崎奉行水野守信ら踏絵を考案		
1627	〃 4	①蒲生忠郷死す(25)除封　⑦五山出世法度制定 ⑧カンボジア（柬埔寨）人通商を求める ⑩オランダの国書を斥く		
1628	〃 5	②旗本従者の数を定める　⑥浜田弥兵衛ら台湾でオランダ人をこらす。大久保忠隣死す(76) ⑪諸侯に江戸城修築の石塁を課す		
1629	〃 6	③江戸府下に辻番所を置く　⑥**紫衣事件**　大徳寺の沢庵らを流す　⑨武家諸法度改定 ⑩家光の乳母斎藤氏参内。春日局の称を賜う ⑪皇女興子内親王に譲位	明正	
1630	〃 7	⑩藤堂高虎死す(75)　⑪松倉重政ルソン征伐を計画 ○山田長政毒殺され，シャム日本町衰退		

大名の配置
(1614,慶長19年)



西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1619	⑧京都のキリスト教徒を火刑 ⑨藤原惺窩死す(59)崇伝僧録司に任ず	李氏朝鮮	明 清（後金）	1619〕中サルホの戦い。後金，明を破る
1620	○桂離宮の普請始まる ◉京都知恩院山門 ○このころ，「源氏物語関屋・澪漂図屏風」（俵屋宗達）成る			1620〕英清教徒，新大陸に移住
1621	⑫織田有楽(うらく)（長益）死す(75) ○勅版「皇宋事宝類苑」			
1622	⑧元和の大殉教——キリスト教徒 55 人を長崎で処刑 ○毛利重能「割算書」（和算の本）			1622〕中白蓮教徒の乱
1623	○林羅山，家光の侍講となる ○安楽庵策伝「醒睡笑(せいすいしょう)」			
1624	②猿若勘三郎，芝居の創立 ③日光東照宮陽明門完成 ○初期桂離宮完成			1624〕蘭オランダ人台湾を占領(〜61)
1625	○天海，上野寛永寺を創建 ○このころ，**仮名草子**盛んとなる 烏丸光広「竹斎(ちくさい)」			
1626	○二条城完成。狩野探幽ら襖絵を描く			1626〕英フランシス＝ベーコン死す
1627	○吉田光由「**塵劫記**(じんこうき)」 ○上野東照宮完成			
1628	⑤長崎のキリスト教徒処刑 ◉京都南禅寺山門			1628〕英権利請願
1629	⑩遊女歌舞伎を禁止			
1630	⑫林羅山，忍岡に学問所を設立 ○**キリスト教関係書の輸入禁止**			



中—中国　英—イギリス　蘭—オランダ

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1631	寛永 8	⑤徳川忠長を甲斐に幽囚　⑥**奉書船の制を定む** ⑨加藤嘉明死す(69)	明正（女帝）	家光(3)
1632	〃 9	①秀忠死す(54)　⑤加藤忠広除封　⑦沢庵ら召還 ⑫大目付を置く		
1633	〃 10	②**奉書船以外の海外渡航と在外邦人の帰国を禁止** ③黒田騒動を断じ栗山大膳を流す　⑫忠長自殺(28)		
1634	〃 11	③老中・若年寄の職制をきめる ⑧譜代大名の妻子を江戸に置かせる ⑪伊賀越の仇討		
1635	〃 12	④朝鮮国書書式を改め，日本大君と書かせる ⑤貿易を長崎に限り，海外渡航并帰国厳禁 ⑥武家諸法度改訂，参覲交代制を定める ⑪寺社奉行を置く　⑫評定所の条規を定める		
1636	〃 13	③酒井忠世死す(65)　⑤伊達政宗死す(70) ⑥寛永通宝を鋳る　⑧箱根関の法度を定める ○長崎出島成り，ポルトガル人を収容する		
1637	〃 14	⑧江戸城天主閣成る　⑩五人組制を厳重にする **島原の乱起こる**　⑫板倉重昌，原城址による		
1638	〃 15	①板倉重昌戦死す(51)　②原城陥落　⑤松平信綱の凱旋　⑨キリスト教厳禁　⑪**大老職を置く**　土井利勝・酒井忠勝，大老となる		
1639	〃 16	②大久保彦左衛門忠教死す(80) ⑤家光，オランダ甲比丹を引見　⑦ポルトガル人の来航を禁止（**鎖国の完成**）		
1640	〃 17	①旗本の奢侈を禁ずる　⑥長崎来航のポルトガル人61人を切る　⑨平戸蘭館破壊令を出す		
1641	〃 18	⑤平戸のオランダ商館を出島に移す		
1642	〃 19	⑤諸大名耶蘇教徒を検挙，譜代大名の江戸在勤期間を定める　⑩旗本の養子襲禄法を定める		
1643	〃 20	②耶蘇教および私鋳銭を禁止する ③**田畠永代売買禁止令**　⑨春日局死す(65) ⑩譲位により紹仁親王即位		
1644	正保 1	③白糸割符の制を定める　⑦土井利勝死す(72) ⑫諸国郷村高帳および国郡諸城の図を作らす。改元	後光明	
1645	〃 2	⑫細川忠興死す(82)　明人鄭芝龍求援		



日本人の南方発展



島原の乱

西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1631	④徳川義直，家臣阿部正室作の地球儀を幕府に献上	李	明	1631〕中李自成の乱
1632	○義直，忍岡に先聖殿を建立 ○伏見城遺構を西本願寺に移す			1632〕印タージ＝マハールの築造
1633	①崇伝死す(65)　⑫書物奉行設置 ◉名古屋城障壁画（狩野探幽）			
1634	④左甚五郎死す ○**中江藤樹**，近江で教化に従う ○このころ，貞門の俳諧盛ん			
1635	⑧狩野山楽死す(77)　「天球院襖絵」 ○神谷宗湛（そうたん）死す(85) ○「東照宮縁起絵巻」（狩野探幽）			
1636	④日光東照宮完成 ○**石川丈山**（じょうざん）詩仙堂を作る ○如儡子（じょらいし）「可笑記（かしょうき）」	氏		1636〕中後金，清と改む。朝鮮を服属
1637	②本阿弥光悦死す(80) ◉西本願寺大師堂		清	1637〕仏デカルト「方法叙説」
1638	⑦烏丸光広死す(60)　○土佐光則死す(56) ⑩品川・牛込（うしごめ）に薬園を設置	朝		1638〕米ハーバード大学創立
1639	⑦江戸城内紅葉山に書庫を作る ⑨松花堂昭乗死す(56) ◉寛永寺五重塔　◉知恩院本堂			
1640	◉川越喜多院「三十六歌仙図額」（岩佐又兵衛勝以（かつもち））	鮮		1640〕英短期議会・長期議会（〜60）
1641	⑧風流踊りを禁止			
1642	○有田の陶工酒井田柿右衛門が赤絵を完成　⑪**堀杏庵**死す(58)			1642〕英清教徒革命
1643	⑨林羅山ら「寛永諸家系図伝」 ⑩天海死す(108)　○寛永本「万葉集」刊			1643〕仏ルイ14世即位
1644	⑩羅山「本朝編年録」　◉東寺五重塔			1644〕中明滅亡
1645	⑤宮本武蔵（二天）死す(62)　「五輪書」 ⑫沢庵宗彭（たくあんそうほう）死す(73) ○**熊沢蕃山**，池田光政に仕える			

キリシタン分布図（黒い部分は特に盛ん）



中—中国　印—インド　仏—フランス　米—アメリカ　英—イギリス

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1646	正保 3	④日光例幣使始まる。伊勢神宮例幣使再興 ⑧鄭芝竜求援　⑩幕府応ぜず，海防を厳重にする ○江戸にキリシタン屋敷を造る	後光明	家光(3)
1647	〃 4	⑥ポルトガル船，長崎にきたり通商を請う。許さず ⑨皇弟守澄法親王，輪王寺門跡となり江戸に下る ○正保年中，樽回船始まり，寛文以後盛ん		
1648	慶安 1	②改元　⑫武蔵・上総の国絵図を作る。町人家督相続法を定める		
1649	〃 2	②勧農法度を出す（**慶安御触書**） ⑩鄭成功，救援を請う		
1650	〃 3	○このころ，旗本奴・町奴盛ん　⑤徳川義直死す		
1651	〃 4	④徳川家光死す(48)　⑦**慶安の変**　由井正雪の陰謀あらわれ自殺(47)　⑧家綱将軍宣下　⑩浪人抱置の禁止　⑫大名旗本50歳以内に末期養子を許す		家綱(4)
1652	承応 1	⑧回船法度を定める　⑨改元。浪人戸次庄左衛門ら乱をはかる　⑩江戸府内浪人改の令を敷く		
1653	〃 2	①玉川上水着工，翌年完成 ㈥秤座の制定（東33国は守随秤，西33国は神谷秤）		
1654	〃 3	⑨後光明天皇崩ず(22)　⑪良仁親王践祚		
1655	明暦 1	④改元。長崎白糸割符商法を改訂，相対貿易とす ⑧駅制および新銭の制を定める　⑪宇喜多秀家八丈島に死す(84)　○保科正之会津に社倉法を行なう	後西	
1656	〃 2	①即位　⑤シャム国使来朝。大老酒井忠勝辞任 ⑩浅草に鋳銭座を置く　⑫板倉重宗死す(70)		
1657	〃 3	①**明暦大火**（通称振袖火事）　災死10万8千 ⑥新吉原の遊廓をたてる　⑦水野十郎左衛門が幡随院長兵衛を殺す　⑨株仲間の独占を禁止		
1658	万治 1	①江戸大火　⑥鄭成功救援を請い，幕府許さず ⑦改元　⑧大村藩，耶蘇教徒を処刑　⑨定火消の設置 ⑪凶作により酒造を制限		
1659	〃 2	①京都大火　⑥井伊直孝死す(70)　⑧江戸城再興，天主閣を廃止　⑩長崎町人に貿易用新銭鋳造を許す ⑫江戸両国橋なり江戸を大川の東に拡げる		
1660	〃 3	⑧伊達騒動起こり綱宗隠居 ⑨堀田正信，松平信綱を誹謗の封事をだし除封		

江戸幕府直轄地



西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1646	③柳生宗矩(むねのり)死す(76) ◉長崎崇福寺本堂 ◉京都八坂神社石鳥居	李氏朝鮮	清	
1647	②小堀遠州死す(69)			
1648	①那波活所死す(54)　④天海版「一切経」 ⑧中江藤樹死す(41)			1648〕独ウエストハリア条約
1649	⑫谷時中(じちゅう)死す(52・南学)			1649〕英共和政治宣言
1650	⑥岩佐又兵衛死す(73)　○仁清(にんせい)作陶			
1651	②狩野山雪死す(63) ○松永貞徳「御傘」			1651〕英第一回航海条令
1652	⑥若衆歌舞伎の禁止 ○鈴木正三「因果物語」			1652〕英第一次蘭英戦争
1653	②日光大猷院（家光）霊廟成る ⑪松永貞徳死す(83)			1653〕英クロンウエル，護民官に就任
1654	⑦隠元(いんげん)来朝。小倉三省死す(51)			
1655	②歌舞伎者追捕　⑥鈴木正三死す(77) ○加賀の九谷焼興る ○このころ，湯女風呂流行する			
1656	⑫金森宗和死す(73) ○京都修学院離宮の造営なる			
1657	①林羅山死す(75)　⑥松永尺五(せきご)死す(66) ②徳川光圀「大日本史」編集に着手 ◉西本願寺黒書院			
1658	⑫千宗旦死す(81) ○浅井了意「東海道名所記」			
1659	⑥隠元，黄檗(おうばく)山万福寺創建 ○朱舜水の帰化			
1660	○江戸城濠堤に松を植える			1660〕英王政復古

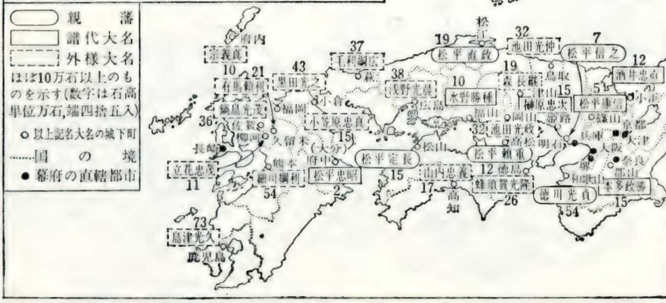




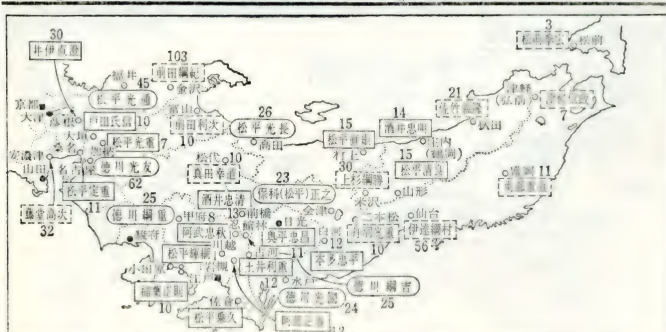
武断政治から文治政治へ

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1661	寛文 1	④改元　⑧関所女手形の制を定める ○福井藩で藩札を発行する	後西	家綱(4)
1662	〃 2	②若年寄を置く　③松平信綱死す(67)　方広寺大仏をこわし，文銭を作る　⑦酒井忠勝死す(76)		
1663	〃 3	①識仁(さとひと)親王に譲位　④即位　⑤武家諸法度を改訂，殉死を禁ずる	霊元	
1664	〃 4	③水野十郎左衛門を処罰　④老中連署の制を定む ○三都定飛脚このころから行なわれる		
1665	〃 5	③金銀の私売買禁止　⑦諸大名の人質制を廃止 ○この年，布1反を2丈6尺と定める		
1666	〃 6	②山川条例を定める　③**酒井忠清，大老となる** ⑥渡船・薬商の制を定める		
1667	〃 7	㊀五畿・近江・播磨の本田畑に煙草栽培を禁ずる ⑤遠江の今切・新居両関の制を定める		
1668	〃 8	②江戸大火　③外国輸出入品改定　⑤長崎貿易に銀支払いを止め金を用いる　⑥遺跡相続・養子制の改訂　⑦京都町奉行を創置 ⑪井伊直澄大老となる		
1669	〃 9	②淀川浚治費を西国大名に課す。升を京升に統一 ⑤17歳以下の養子不許可　⑥武蔵野などを開拓 ⑦松前藩で蝦夷反乱		
1670	〃 10	④長崎代官末次(すえつぐ)平蔵オランダ式の船を建造 ○この年，箱根用水完成する		
1671	〃 11	①徳川頼宣死す(70)　④伊達騒動を処断 ⑤老中阿部忠秋辞任　⑫油奉行を置く ○**河村瑞賢(軒)(ずいけん)東回り航路を開く**		
1672	〃 12	②江戸浄瑠璃坂の仇討　③京坂堺の商人に長崎外国貿易の期を令す　⑥有栖川(ありすがわ)宮家創立 ⑫保科正之(ほしなまさゆき)死す(62)　○**瑞賢，西回り航路開設**		
1673	延宝 1	⑤京都大火。英船レターン号長崎来航　⑨改元 ⑥**分地制限令を出す**　○三井高利，江戸・京都に越後屋呉服店を開く		
1674	〃 2	⑤江戸伝馬町と五街道宿駅に銭を貸す		
1675	〃 3	⑤阿部忠秋死す(74)　⑥伊奈忠易，小笠原島を探検 ③関八州で鉄砲の私蔵を禁ずる		

江戸時代の大名配置図(1664年―寛文4年)



西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1661	○操り芝居勃興 ○金平浄瑠璃，江戸に流行	李氏朝鮮	清	1661〕 中清の聖祖康熙帝（～1722） 鄭成功，台湾占領
1662	①若衆歌舞伎取締り ○伊藤仁斎，堀川に古義堂を開く			
1663	⑫野中兼山死す(49・南学) ○萩焼始まる			
1664	⑪忍岡に国史館設立			1664〕 仏東インド会社再建
1665	③保科正之，山崎闇斎を招く ○徳川光圀，朱舜水を招く ○山鹿素行「聖教要録」			
1666	⑤池田光政淫祠破壊　⑦光圀新寺破壊 ⑩山鹿素行を赤穂に流す			
1667	⑦吉川惟足，幕府の神道方となる			1667〕 仏ルイ14世オランダに侵入
1668	④足利学校再建 ○岡山に閑谷黌創立 ◉万福寺仏殿・釈迦三尊・羅漢像			
1669	○酒井忠直，渾天儀を献上 ○山鹿素行「中朝事実」 ◉東大寺二月堂			1669〕 英ニュートン微分法を発見
1670	⑥林鵞峰（春斎）「本朝通鑑」完成 ⑥住吉如慶死す(72)			
1671	⑩山崎闇斎，垂加神道を唱える ○このころ，菱川師宣浮世絵を始める			
1672	⑤光圀，彰考館を開く。石川丈山死す(90)　○松尾芭蕉「貝おほひ」 ◉国立博物館「遊里演劇図巻」(師宣)			
1673	④隠元死す(80) ○北村季吟「源氏物語湖月抄」 ○山鹿素行「武家事紀」			1673〕 英審査律を制定 中清で呉三桂の乱
1674	⑩狩野探幽死す　○関孝和「発微算法」			
1675	⑥山鹿素行赦免 ○西山宗因，談林風俳諧を樹立			



中—中国　仏—フランス　英—イギリス

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1676	延宝 4	①井伊直澄死す(52)　④末次平蔵父子，密貿易で隠岐に流罪	霊元	家綱(4)
1677	〃 5	②江戸城三丸で金貨鋳造		
1678	〃 6	①失火者は斬罪，名主・五人組は入牢と定める ⑥東福門院和子崩ず(72)　⑨徳川綱重死す(35)		
1679	〃 7	⑦堀田正俊老中となる　⑩越後騒動起こる ⑪平井権八を磔刑にする		
1680	〃 8	⑤徳川家綱死す(40)　⑦綱吉，将軍となる　⑧後水尾法皇崩ず(85)		綱吉(5)
1681	天和 1	①評定所の制を定める　⑤酒井忠清死す(58)　⑥綱吉自ら越後騒動を決する　⑨改元　⑪**堀田正俊，大老となる**　⑫大老酒井忠清辞職		
1682	〃 2	⑤諸国に高札を立て忠孝奨励。池田光政死す(74)		
1683	〃 3	②長崎奉行に命じ奢侈品・珍禽獣の輸入を禁ずる ⑥河村瑞賢に淀川の水路を巡察させる		
1684	貞享 1	②改元　⑧若年寄稲葉正休，殿中で大老堀田正俊を刺殺(51)		
1685	〃 2	②後西上皇崩ず(49)　⑥マカオ船漂流民を長崎にとどける　⑧**長崎貿易額を定める。唐船は銀6千貫，オランダ船は3千貫**		
1686	〃 3	⑧朝鮮貿易額を1万8千両と定める ⑫琉球貿易額を2千両と定める　○紀伊国屋文左衛門，紀州から江戸へ海路蜜柑を送る		
1687	〃 4	①**生類憐みの令を出す**　③朝仁親王に譲位 ④土地売買禁止。即位　⑪大嘗会を再興	東山	
1688	元禄 1	⑨改元　⑫**柳沢吉保(よしやす)側用人となる** ○清国商船の来航数を70隻に限定する 大坂堂島の市街を開き，諸穀のせり場とする		
1689	〃 2	②幕府始めて奥詰衆を置く　④長崎唐人屋敷なる ⑧前田綱紀(つなのり)を三家に準ずる		
1690	〃 3	⑧ケンプェル来朝　⑩徳川光圀(みつくに)隠居 ⑪小普請金上納の制を定める		
1691	〃 4	⑩延岡藩の領民騒擾 ○大坂の富商住友，別子銅山の採掘を始める		

江戸時代の陸上路



西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1676	○井原西鶴「俳諧手鑑」刊	李氏朝鮮	清	1676〕英グリニッチ天文台設置
1677	⑨海北友雪死す(80)　○長曾祢虎徹死す ○西山宗因「宗因七百韻」			
1678	⑦安井算哲（渋川春海）秋分点実測 ○坂田藤十郎，大坂で和事を確立			
1679	○東福門院奥対面所を修学院離宮中茶屋として移建			1679〕英人身保護律の制定
1680	⑤林鵞峯死す(63) ○井原西鶴「大矢数」興行，翌年刊			
1681	②亮賢，護国寺を創建 ○鉄眼，一切経を刊行			
1682	③西山宗因死す(78)　④朱舜水死す(83) ⑦木下順庵登用　⑨山崎闇斎死す(66) ○西鶴「好色一代男」刊			
1683	⑧光圀，地球儀を幕府に献ずる ○榎本其角「虚栗」			1683〕中台湾平定
1684	⑩渋川春海「貞享暦」を作り，天文方となる　○芭蕉「冬の日」			
1685	③住吉具慶，幕府絵師となる　⑨山鹿素行死す(64)　○芭蕉「野ざらし紀行」			1685〕仏ナント勅令廃止
1686	②井原西鶴「好色五人女」　⑥下河辺長流死す(63)　○近松，竹本義太夫のため「出世景清」を新作			
1687	○熊沢蕃山，古河に禁錮される「大学或問」 ○貝原益軒「家訓」			
1688	④公慶，東大寺大仏殿再興に着手 ○西鶴「日本永代蔵」 ○契沖「万葉集代匠記」初稿			1688〕英名誉革命
1689	⑪渋川春海，天文台を本所に置く ⑫北村季吟・湖春を歌道方とする			1689〕中ロシアとネルチンスク条約を結ぶ
1690	①度会延佳(わたらいのぶよし)死す(76) ⑦孔子廟を湯島に移す			英権利宣言
1691	①林信篤（鳳岡(ほうこう)）蓄髪し大学頭となる ⑧熊沢蕃山死す(73)　⑨土佐光起死す(75)			

東海道五十三次

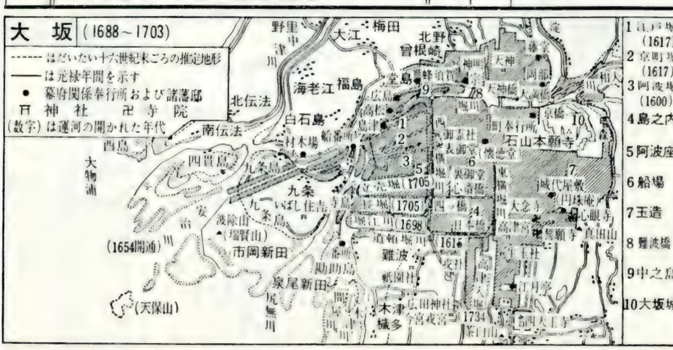


西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1692	元禄 5	⑤盲人杉山和一を総検校に任ずる　⑧徳川光圀，湊川に楠木正成の碑を建てる　⑫京都大火		
1693	〃 6	⑤朝鮮人の竹島にきたるを禁ずる。流言調査のため江戸で人別に口書を出させる（武士陰陽師山伏座頭などを除き人口 353,588）		
1694	〃 7	⑪光圀家臣藤井紋太夫徳昭を切る　⑫柳沢吉保老中格となる　○江戸十組問屋を結成する		
1695	〃 8	⑧**金銀貨の改鋳を行なう（元字金銀）**　⑨知足院を護持院といい，隆光を大僧正とする　⑩諸国鉱山の採掘を奨励　⑪江戸中野に犬小屋を設置	東	綱
1696	〃 9	①邦人の竹島出漁を禁ずる　②伏見・堺奉行廃止　④荻原(おぎわら)重秀，勘定奉行となる　⑪全国輿地図を校正，明正上皇崩ず(74)		
1697	〃 10	④新旧貨幣を等価交換させる　⑥井伊直該，大老となる　⑦重秀の建議で旗本500俵以上を知行取りとする　⑧幕府歴代御陵の修理を奏上　⑩関東大地震。江戸大火。酒屋運上を賦課する		
1698	〃 11	②金銀銅山の試掘を命ずる　③河村瑞賢を旗本とする　⑦**柳沢吉保を老中の上とする**　⑨江戸大火（勅額火事）　⑪伏見奉行を再び置く	山	吉
1699	〃 12	④御陵修理なる　⑥河村瑞賢死す(83)　㊈旗本 4,690 人を救済　⑩大奥に倹約令を出す		
1700	〃 13	⑧日光奉行を置く　⑫徳川光圀死す(73)		(5)
1701	〃 14	③浅野長矩(ながのり)，吉良義央(よしなか)を殿中に傷つける　⑪柳沢吉保を家門に准じ保明を吉保に改める		
1702	〃 15	⑦物価低減令を出す　⑪再び堺奉行を置く　⑫**赤穂浪士の仇討**　全国絵図なる		
1703	〃 16	②大石良雄ら切腹。時事の謡曲・小歌を禁ずる　⑪関東地方大地震。江戸大火		
1704	宝永 1	③改元　⑦閉門・逼塞・遠慮・預・差控の制定　⑫甲府の綱豊を嗣とする家宣と改名。		
1705	〃 2	②供御料1万石増献　③吉保を甲府に封ず　⑥桂昌院死す(79)　⑧諸藩の藩札を調査する		

江戸時代の海上交通
（河川・湖水の水運）

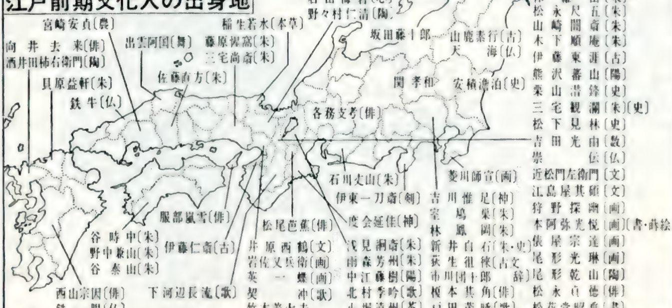


西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1692	③東大寺大仏開眼 ○西鶴「世間胸算用」刊	李氏朝鮮	清	
1693	⑧井原西鶴死す(52) ○新井白石，徳川綱豊（家宣）に仕える ⑩松尾芭蕉死す(51)「奥の細道」 ⑪吉川惟足死す(79) ○西鶴「西鶴織留」刊			
1694	○菱川師宣死す(77)？ ○松下見林「異称日本伝」刊			1694〕英イングランド銀行創立
1695	◉江戸目黒 羅漢寺「五百羅漢像」（松雲元慶） ○西川如見「華夷通商考」			
1696	○契沖，円珠庵で万葉集を講ずる ○宮崎安貞「農業全書」刊 ○江戸永代橋をかける			1696〕露ロシア人カムチャッカに到達
1697	④東大寺大仏殿上棟 ⑦護国寺上棟 ⑦宮崎安貞死す(76) ○法然に円光大師号を賜わる			
1698	⑥佐々(さっさ)宗淳死す ⑫木下順庵死す(78) 多賀朝湖（英(はなぶさ)一蝶）遠島 ○このころ，宮崎友禅(ゆうぜん)，友禅染めを始め流行する			1699〕中清，広東貿易をイギリスに許す
1699	○北村季吟，法印となる ○八文字屋自笑，江島屋其磧と提携			
1700	○高松の栗林(りつりん)園なる ◉「娼妓画牒」（鳥居清信）			1700〕欧北方戦争(～21)
1701	①契沖死す(62) ○尾形光琳(こうりん)法橋となる ○新井白石「藩翰譜(はんかんぷ)」			1701〕欧スペイン継承戦争(～13)
1702	○江戸駒込六義(りくぎ)園（柳沢邸）なる			
1703	⑫松下見林死す(67) ○貝原益軒「君子訓」 ○近松門左衛門「曾根崎心中」，竹本座で上演 ○室鳩巣「赤穂義人録」			
1704	②市川団十郎死す(45) ⑨向井去来死す(54) ○稲生(いのう)若水「庶物類纂(しょぶつるいさん)」			
1705	③伊藤仁斎死す(79) ⑥北村季吟死す(82) ○お陰参りで伊勢に諸国民群参			



西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1706	宝永 3	①柳沢吉保，大老格となる。上皇御料3000石増献 ②近衛基熙(もとひろ)を江戸に招く　⑥宝字銀を鋳る	東山	綱吉(5)
1707	〃 4	②流言・雑説・落書などを禁ずる ⑩諸国大地震。貨幣改鋳令。田畑質入禁止令でる ⑪富士山噴火し，宝永山うまる		
1708	〃 5	㊀京都銭座で大銭（十文銭）を鋳る　③京都大火 ⑧イタリア宣教師ヨハン＝シドッチ，屋久島に潜入		
1709	〃 6	①徳川綱吉死す(64)　生類憐みの令廃止。大銭廃止 ⑤徳川家宣(いえのぶ)将軍となる　⑥吉保辞職，譲位により慶仁親王践祚　⑫東山上皇崩ず(35)　○間部詮房(まなべあきふさ)・新井白石，幕政に参与（**正徳の治**）	中御門	家宣(6)
1710	〃 7	④武家諸法度をわかつ。金銀改鋳（乾字金） ⑧閑院(かんいん)宮家創立		
1711	正徳 1	②朝鮮使接待法を改める　④改元 ⑩新井白石，筑後守に叙爵　⑪江戸大火		
1712	〃 2	②大名火消制を定める　③道中人馬の制を定める ⑨荻原重秀罷免　⑩家宣死す(51)　家継継ぐ		
1713	〃 3	③新金改鋳　④家継，将軍となる　⑥諸国の銅を大坂に集め，長崎に回送して外国貿易に当てる ⑨荻原重秀死す(59)		家継(7)
1714	〃 4	②海上密貿易を禁ずる　③大奥女中絵島を流罪 ④貨幣改鋳令　⑨浅草に鋳銭座を置き，新銭鋳造 ⑪柳沢吉保死す(57)		
1715	〃 5	①**長崎貿易新令**（正徳新令・海舶互市新令—唐船は銀6000貫30隻，オランダ船は3000貫2隻） ④新金銀引替の令を下す　⑨八十宮降嫁勅許		
1716	享保 1	④徳川家継死す(8)　⑤吉宗，紀伊より宗家を継ぐ。間部詮房・新井白石ら退けられる　⑥改元 ⑧吉宗将軍となる（**享保の改革**）　⑪大奥を戒飾		吉宗(8)
1717	〃 2	②大岡忠相(ただすけ)町奉行となる　③武家諸法度を天和の旧制にもどす　⑦朝鮮使の待遇を旧に復する		
1718	〃 3	㊉新金銀引換の制を定める　⑫町火消の制を定む		
1719	〃 4	①蝦夷松前氏を万石の列に準ずる　⑪相対済し令		
1720	〃 5	⑧江戸町火消いろは組始まる ⑤元禄銀・宝永銀などの通用期限を定める		

江戸前期文化人の出身地



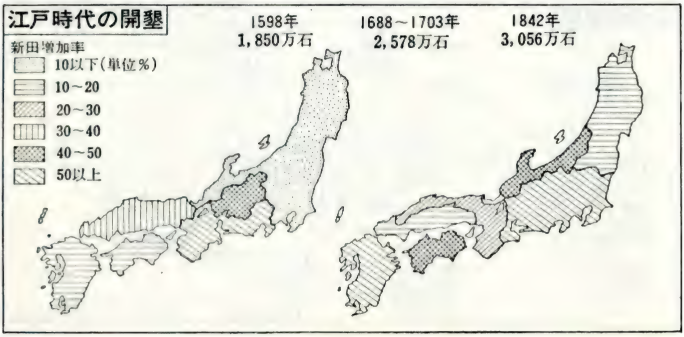
西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1706	④栗山潜鋒(せんぽう)死す(36)　戸田茂睡(もすい)死す(78) ○森川許六「風俗文選」　○近松「碁盤太平記」に赤穂浪士一件を脚色			
1707	②宝井其角死す(47)　服部嵐雪死す(54)			1707〕英大ブリテン国成立
1708	⑫関孝和死す(67) ○貝原益軒「大和俗訓」			
1709	○新井白石「西洋紀聞」　○益軒「大和本草」○芭蕉「笈の小文」刊 ○坂田藤十郎死す(65)	李		
1710	○徳川綱条「礼儀類典」を幕府に献上 ○河合曾良死す(62)　○益軒「楽訓」 ◉長野善光寺本堂			
1711	③三宅観瀾(かんらん)・室鳩巣(むろきゅうそう)を幕府の儒官とする　⑫浅見絅斎(けいさい)死す(60)	氏		
1712	○新井白石「采覧異言(さいらんいげん)」「読史余論」 ○近松「夕霧阿波鳴戸」初演		清	
1713	○狩野常信死す(78)　○益軒「養生訓」 ○荻生徂徠(おぎゅうそらい)「蘐園(けんえん)随筆」	朝		1713〕欧ユトレヒト条約
1714	○貝原益軒死す(85) ○竹本義大夫（筑後掾(じょう)）死す(64) ○浮世絵師懐月堂安度，絵島事件に連坐 ○尾形乾山江戸に移る			1714〕英ハノーバー朝
1715	⑦稲生若水死す(61)　渋川春海死す(77) ⑪「大日本史」紀伝なる ○近松「国姓爺合戦」初演	鮮		
1716	④尾形光琳死す(62)　○新井白石「折たく柴の記」　○徂徠，古文辞学を唱える ○其磧「世間娘容気」			1716〕中康熙字典なる
1717	⑦昌平黌に庶民の聴講を許す ○近松「鑓の権三重帷子(やりのごんざかさねかたびら)」			
1718	⑧三宅観瀾死す(45)　○吉宗，測午儀製作			
1719	⑦西川如見，吉宗に洋書を講義			1719〕英ロビンソン＝クルーソー出版
1720	○キリスト教以外の漢訳洋書解禁 ○近松「心中天の網島」初演			

近世の窯業

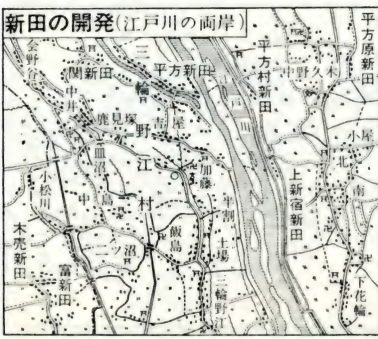


英―イギリス　欧―ヨーロッパ　中―中国

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1721	享保 6	③江戸大火　⑧目安箱を評定所門前に置く。小石川薬園を置く　⑪吉宗，山下幸内の上書を賞す ○江戸の商工業者，株仲間を設置	中御門	吉宗 (8)
1722	〃 7	⑦上米の制を行なう。参覲交代の制をゆるめる ⑫小石川薬園に養病所を置く。出版条例を定める		
1723	〃 8	②情死の罰則を定める　③諸国の戸口を調査 ⑥足高(あしだか)の制を行なう　⑦出羽長滝百姓一揆 ○この年，馬をオランダ人に注文する		
1724	〃 9	⑤前田綱紀(つなのり)死す(82)　⑥倹約令を出す ⑦甲府勤番を置く。浅草蔵前札差を109人に限る		
1725	〃 10	③大判金改鋳　⑩元禄大判金廃止令		
1726	〃 11	③吉宗，オランダ人の馬術を見る　⑥諸国戸口調査 ⑧新田検地条令を出す		
1727	〃 12	④吉宗，荻生徂徠を引見する　⑨大坂町奉行所外に目安箱を置く　○浜御殿に甘蔗を植える		
1728	〃 13	②瓦屋葺をすすめ，恩貸金を定める ③消防45組を定める　⑫唐胡麻栽培を命ずる		
1729	〃 14	④天一坊を処刑　㊈陸奥信夫(しのぶ)伊達二郡百姓一揆 ○朝鮮人参を下野今市に植える		
1730	〃 15	④上米を止め，参覲の期限を復旧する ⑥再び藩札発行を許す　⑪田安家を創立（宗武）		
1731	〃 16	②３年間の倹約を命ずる　④江戸大火 ⑤有司に時政の得失をきく　⑥浪人を取締る ⑦加賀藩前田侯に15万両を借りる		
1732	〃 17	⑤尾張侯徳川宗春の奢侈を譴責する ○この夏，諸国にいなごの害　⑧霊元法皇崩ず(79) ○関西以西大飢饉，薩摩藩甘藷あり飢民なし		
1733	〃 18	①米価騰貴し，江戸に打ちこわし起こる ③紀伊侯徳川宗直を戒飾　⑤大坂に幕府の米蔵を造る　⑨オランダ貿易額を銀1100貫に減額		
1734	〃 19	④紀伊国屋文左衛門死す(66) **○この年，小石川薬園・吹上御苑に甘藷を試植**		
1735	〃 20	③唐人参座を江戸に設ける。昭仁(あきひと)親王に譲位 ⑧大名の遊里出入を禁ずる　⑩米価下落防止のため米の最低価格を定める　⑪即位	桜町	



西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1721	㊆室鳩巣に「六諭衍義」を訳させる ○このころ，清の伊孚九，長崎にきたり南画を伝える	李氏朝鮮	清	
1722	⑥「六諭衍義大意」を江戸の手習師匠に配布			
1723	②心中物の出版・上演を禁ずる			1723〕中キリスト教厳禁
1724	①英一蝶死す(73)　⑨西川如見死す(77) ⑪近松門左衛門死す(72)			
1725	⑤新井白石死す(69)　○このころ，紀海音・竹田出雲の作品を上演			1725〕露ピョートル大帝死す
1726	**⑥三宅石庵に懐徳堂の建設を許す** ○荻生徂徠「政談」			
1727				1727〕中ロシアとキャフタ条約
1728	①荻生徂徠死す(63)　○荷田春満(かだのあずままろ)「創学校啓(そうがくこうのけい)」を幕府に提出			
1729	⑦鳥居清信死す(66) ○石田梅巌，京都で**心学**を提唱			
1730	○富突きを江戸護国寺に許す ○松本幸四郎死す(57・俳優)			
1731	②各務(かがみ)支考死す(67・俳人) ⑫清の沈南蘋(しんなんぴん)画法を伝える			
1732	⑥林鳳岡（信篤）死す(89) ○室鳩巣「駿台雑話」			
1733	⑧横谷宗珉(そうみん)死す(83・金工) ○建部賢弘・中根玄圭「暦算全書」を翻訳　○生島新五郎死す(俳優)			1733〕英北米13植民地成立。ケイ飛梭を発明
1734	③丹羽正伯「庶物類纂」を続修 ⑨室鳩巣死す(77)			
1735	②青木昆陽「蕃藷考」 ⑫細井広沢死す(78・書家) ○常磐津(ときわず)始まる			



新田の開発(江戸川の両岸)



干拓の進展（熊本県玉名郡菊池川地先横島新田）

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1736	元文 1	④改元　⑤文字金銀を鋳造　⑥清の貿易船数を減じ25隻とする　⑧大岡忠相を大名に列する	桜町	吉宗(8)
1737	〃 2	②田畠質入売買証文の制を定める ○この年西陣の職人桐生にきたる。関東織物業発展		
1738	〃 3	④大坂に銅座を設立 ○このころ，近江長浜で浜縮緬を織り出す		
1739	〃 4	①但馬生野の百姓一揆　③青木昆陽(こんよう)幕府に登用 ⑥ロシア船，陸奥・安房の海上に出没		
1740	〃 5	⑪一橋家を創立（宗尹(むねただ)），新嘗(にいなめ)祭再興 ○元文年間，薩摩絣木綿・伊勢万古焼始まる		
1741	寛保 1	②改元　⑪蠟専売の制定まる ⑫寺院訴訟の制を定める　○長崎で鉄銭を鋳造		
1742	〃 2	⑥徒党・強訴の禁を強化　⑪銅輸出額を制限する ○**公事方定書（御定書百箇条）を定める**		
1743	〃 3	⑥諸大名留守居役の奢侈を戒める ○幕府，利根川改修工事を長州など7藩に課す		
1744	延享 1	②戸口調査。改元　⑥老中若年寄の支配を定める ⑩男女衣服調度の奢侈禁止		
1745	〃 2	⑨吉宗隠退　⑩家重(いえしげ)将軍となる。老中松平乗邑(のりさと)罷免　⑪豊後伯耆に百姓一揆		家重(9)
1746	〃 3	③貿易額を制限し，オランダ船2，清船10とする ⑨田安宗武，一橋宗尹に10万石の祿を与える		
1747	〃 4	⑤遐仁(とおひと)親王に譲位　⑨即位	桃園	
1748	寛延 1			
1749	〃 2	○熊本藩主細川重賢(しげかた)の改革始まる		
1750	〃 3	①百姓の強訴を禁ずる　③諸国戸口調査 ④桜町上皇崩ず(31)		
1751	宝暦 1	⑥徳川吉宗死す(68)　⑪改元　⑫大岡忠相死す(75)　土佐伯耆に百姓一揆		
1752	〃 2	○この年，加賀前田家騒動あり大槻伝蔵刑死す(34) ○江戸よりの定期飛脚を創設		
1753	〃 3	④諸大名に備荒米を貯蔵させる ⑦長崎奉行に命じ，抜荷を厳禁する ⑨訴状箱を長崎奉行所に置く		

江戸時代の産業



西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1736	⑦荷田春満死す(69・国学)　伊藤東涯死す(67・古学) ○江島屋其磧死す(70・浮世草子作者)			
1737	⑫安積澹泊死す(82・史家) ○北島見信「紅毛天地二図贅説」			
1738	⑧上島鬼貫死す(78・俳人)			
1739	○豊後節を禁ずる ○建部賢弘死す(76)			
1740	○**青木昆陽・野呂元丈**(のろげんじょう)**オランダ語の学習を始める**	李		1740〕欧オーストリア継承戦争（～48）
1741	①三宅尚斎死す(80) ○野呂元丈「和蘭本草和解」			1741〕仏ジュプレックス，インド総督となる
1742	⑩紀海音(きのかいおん)死す(80・浄瑠璃作者)			
1743	⑥尾形乾山(けんざん)死す(81・陶工)	氏		
1744	⑨石田梅巌死す(60)　「都鄙問答」 ○天文台を神田佐久間町に設立		清	1744〕英クライブ来印
1745	⑪八文字屋自笑死す(87)	朝		
1746	○**富永仲基**(なかもと)死す(32)　「出定後語」 ○竹田出雲「菅原伝授手習鑑」			
1747	⑤太宰春台死す(68)　「経済録」			1743〕米フランクリン電気を発見
1748	○竹田出雲「仮名手本忠臣蔵」	鮮		
1749	○富本節始まる			1748〕仏モンテスキュー「法の精神」
1750	○池大雅(いけのたいが)紀州の祇園南海を訪れる			
1751	⑧荷田在満(ありまろ)死す(46) ⑨西川祐信(すけのぶ)死す(74・浮世絵師)			1751〕仏百科全書刊行（～75）
1752	⑧山県周南死す(66)　⑪宮川長春死す(71) ○静観坊好阿「当世下手談義」			
1753	○**安藤昌益**「自然真営道(しぜんしんえいどう)」 ○「京鹿子娘道成寺」初演			



欧—ヨーロッパ　仏—フランス　英—イギリス　米—アメリカ

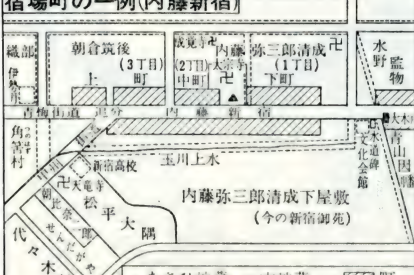
西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1754	宝暦 4	③筑前久留米に百姓一揆	桃園	家重 (9)
		⑫閑院宮直仁親王の女五十宮将軍に降嫁		
1755	〃 5	③宝暦の治水。木曾川大改修工事完成。総奉行薩摩藩士平田靱負ら引責自殺		
		⑦朝鮮の飢饉に救援		
1756	〃 6	②全国戸口調査。大坂川口浚渫(しゅんせつ)のため出入船舶に石銭を課す　④朝廷々臣の武技講習を禁ずる		
		⑤大岡忠光(ただみつ)側用人となる　⑥米価騰貴		
1757	〃 7	①竹内式部廷臣に講義		
		○この年関東洪水，東北飢饉		
1758	〃 8	⑦**宝暦事件**　竹内式部捕えられる。公卿17人処罰		
		⑨田沼意次(おきつぐ)大名となる　⑪美濃越前に一揆		
1759	〃 9	⑤竹内式部追放　⑦日向に一揆　⑧金銀札を禁止		
		⑪家重の子重好(しげよし)に清水邸を与える（清水家創立）		
1760	〃 10	②江戸大火　④宝暦事件関係公卿に出家を命ずる　大岡忠光死す(52)　⑤家重職を家治(いえはる)に譲る		
		⑨徳川家治，将軍となる　○清水焼始まる		家治 (10)
1761	〃 11	⑤諸大名に貯穀令を出す　⑥徳川家重死す(51)		
		⑫大坂米商の空米切手，両替商の印金売買を禁止		
1762	〃 12	②みだりに寺院に田畑寄進を禁ず　⑤清水重好に10万石給禄（三卿の成立）　⑦桃園天皇崩ず(22)		
		智子(とし)内親王践祚　⑫信濃に百姓一揆	後桜町（女帝）	
1763	〃 13	③諸国銅山調査　⑪即位		
1764	明和 1	②江戸大火　⑥改元　⑫江戸神田に人参座を設立		
		○この年，上野・武蔵の境に百姓一揆		
1765	〃 2	⑨五匁銀を鋳造　⑫検校勾頭座頭らの高利貸禁止		
		○オランダ船，初めて金銀銭を輸入		
1766	〃 3	②美濃・甲斐・伊勢の河川修理		
		⑥長崎銅会所を銅座とする		
1767	〃 4	①関東の河川修理　⑦**田沼意次，側用人となる**		
		⑧**明和事件**　山県大弐(43)　藤井右門(48)死刑。竹内式部八丈島遠島　⑫竹内式部三宅島に死す(56)		
1768	〃 5	①大坂に打ちこわし起こる　④真鍮銭(四文銭)鋳造		
		⑧佐渡に一揆起こる		

諸藩の専売品

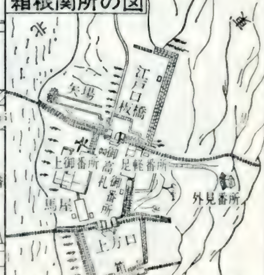


西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1754	㊁山脇東洋ら京都で死体解剖 ⑩貞享暦廃止，宝暦暦をわかつ			
1755	①雨森芳洲死す(88) ○熊本（細川）藩，時習館を設置			
1756	⑩竹田出雲死す(66)　○沢村宗十郎死す			1756〕㊇七年戦争(〜63)
1757	⑨神田天文台を廃止 ○杉田玄白，西洋外科医術を唱う ○賀茂真淵(まぶち)「冠辞考」	李		1757〕㊞プラッシーの戦い
1758	⑥中井甃庵(しゅうあん)死す(66)　⑨柳沢淇園死す			
1759	⑥服部南郭(なんかく)死す(77) ○山県大弐「柳子新論」 ○山脇東洋「蔵志」	氏		
1760	⑦賀茂真淵「万葉考」 ○平賀源内，湯島に物産会を開く		清	
1761	⑦野呂元丈死す(69) ◉高野山遍照光院襖絵（池大雅）	朝		
1762	⑧山脇東洋死す(58) ○平賀源内「物類品隲」 ○本居宣長「石上私淑言(いそのかみのささめごと)」			1762〕㊋ルソー「民約論」
1763	○平賀源内「風流志道軒伝」			
1764	②平賀源内，火浣布(かかんぷ)を発明 ○鈴木春信，錦絵を始める	鮮		
1765	④柄井川柳「誹風柳多留」初編 ○手島堵庵，五楽舎を京都に設立			1765〕㊉ワット，蒸気機関改良
1766	①近松半二「本朝二十四孝」初演 ◉雪松図（円山応挙）			
1767	○近松半二「関取千両幟(のぼり)」			
1768	②奥村政信死す(76)　⑫白隠死す(84) ○上田秋成「雨月物語」 ◉「七難七福図巻」（円山応挙）			1768〕㊔イルクーツクに日本語学校設立

宿場町の一例(内藤新宿)



箱根関所の図



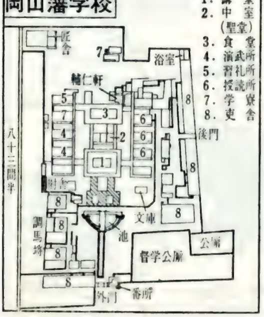
西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1769	明和 6	②農民の徒党強訴の取締り令 ⑧意次，老中格となる	後桜町	家治(10)
1770	〃 7	④農民の徒党などを懸賞で告訴させる　⑤大旱 ⑪英仁(ひでひと)親王に譲位		
1771	〃 8	④即位。旱損により5年間の節約を令する ⑤米沢藩主上杉治憲(はるのり)，細井平洲を招き藩政改革 ⑥田安宗武死す(57)	後桃園	
1772	安永 1	①**田沼意次，老中となる**　②江戸大火　④内藤新宿を甲州街道の宿駅とする　⑧東海道・奥羽大風雨 ⑨南鐐二朱銀を発行　⑪改元		
1773	〃 2	④諸国疫病流行　⑥伊勢尾張水害 ⑪大原騒動（飛驒の百姓一揆）		
1774	〃 3	①虚無僧(こむそう)取締り　⑥京坂大風雨　⑨江戸・伏見の鋳銭禁止　⑩吾妻橋を江戸隅田川にかける		
1775	〃 4	⑧石灰会所を設ける　⑪辻番所の制を厳重にする ○この年，米沢藩で国産所を創設		
1776	〃 5	③朝鮮貿易たえ，幕府宗氏に手当1万2千両を給する ⑫幕府，旗本の子弟の諸芸勉励を奨励		
1777	〃 6	②信濃高井・水内二郡に百姓一揆 ⑤農民の江戸奉公出稼ぎを禁止 ⑥私鋳銭を禁ずる		
1778	〃 7	④伊豆大島噴火 ⑥ロシア船国後(クナシリ)島にきたり松前氏に通商を求める		
1779	〃 8	⑧松前藩，露船を退ける　⑩桜島噴火 ⑪後桃園天皇崩ず(22)　閑院宮典仁(すけひと)親王の王子兼仁(ともひと)親王践祚		
1780	〃 9	④外船，安房海岸に漂着　⑦関東洪水 ⑧鉄座・真鍮座を大坂に置く	光格	
1781	天明 1	④改元　⑥武蔵・上野二国に織物貫目改所を設立 ⑧上野百姓一揆。貫目改所を廃止		
1782	〃 2	⑦印旛(いんば)沼開墾を開始　⑧明礬(みょうばん)会所を増設 ⑫伊勢船頭幸大夫，ロシア領に漂着		
1783	〃 3	⑦浅間山噴火，死者2万余 ○**奥羽飢饉，天明の大飢饉始まる**		

藩校と私塾　●私塾（　）内は創始者

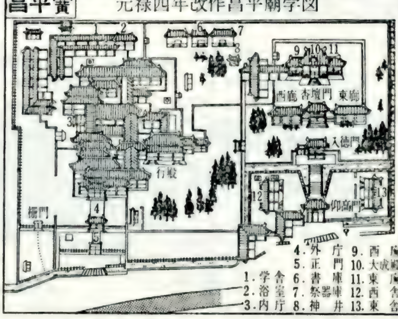


西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1769	⑩青木昆陽死す(72)　賀茂真淵死す(70) ○近松半二「近江源氏先陣館」			
1770	⑥鈴木春信死す(53) ○湯浅常山「常山紀談」			
1771	③杉田玄白・前野良沢ら小塚原に腑分けを見る　○お蔭参り流行 ◉「十便十宜図」（池大雅・与謝蕪村）			
1772	○このころ，新内「明烏夢泡雪」上演	李		1772〕欧ポーランド分割
1773	②並木正三死す(44)　○道学堂（新発田藩）・広徳館（富山藩）・造士館（薩摩藩）設立			
1774	○杉田玄白ら「解体新書」 ○本木良永訳「天地二球用法」	氏		
1775	○長久保赤水「日本輿地路程全図」 ○恋川春町「金々先生栄華夢」		清	1775〕米独立戦争(～83)
1776	④池大雅死す(54)　④上杉治憲，興譲館設立　⑪平賀源内，エレキテルを完成 ⑩谷川士清死す(70)	朝		1776〕米独立宣言 英スミス「国富論」
1777	○奈河亀輔「伽羅先代萩」 ○与謝蕪村「春風馬堤曲」			
1778	②高鍋明倫堂開校			1778〕仏ボルテール・ルソー死す
1779	⑪平戸維新館開校 ⑫平賀源内死す(52) ○塙保己一，「群書類従」編纂開始 ◉「奥の細道屛風」（与謝蕪村）	鮮		
1780	①高松講道館開校 ○中沢道二，心学を広める			
1781	④湯浅常山死す(74)　○佐賀弘道館開校 ○常盤津文字太夫死す			1781〕独カント「純粋理性批判」
1782	③片山兼山死す(53)　⑥浅草に天文台を設置　○尾張藩明倫堂設立			1782〕中「四庫全書」完成
1783	⑫蕪村死す(68)　○工藤平助「赤蝦夷風説考」　○大槻玄沢「蘭学階梯」			

岡山藩学校



昌平黌



西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1784	天明 4	③佐野政言(まさこと)，若年寄田沼意知(おきとも)を切る(36)　⑪仙台通宝（角銭）の鋳造を許す　○諸国飢饉	光格	家治(10)
1785	〃 5	⑨琉球の飢饉を救う　⑩細川重賢(しげかた)死す(68)　○俵物の管理を長崎俵物会所に移す　○奥州飢饉		
1786	〃 6	②手賀沼開拓　④ロシア船，蝦夷へきたる　⑥貸金会所の設立を図る　⑧**田沼意次罷免**　⑨徳川家治死す(51)　○最上徳内(もがみとくない)千島を探検		
1787	〃 7	③徳川家斉(いえなり)将軍となる　⑤大坂・江戸に打ちこわし起こる　⑥松平定信(さだのぶ)老中となる（**寛政の改革始まる**）　⑦幕政をすべて享保の制に復す　⑧3年間の倹約を令す　⑨鉄座・真鍮座を廃す		家斉(11)
1788	〃 8	①京都大火，御所を焼く　③皇居造営に着手　④二朱判銀を止め丁銀を鋳る　⑥田沼意次死す(70)　⑫長崎奉行に命じ，抜荷(ぬけに)を厳禁する		
1789	寛政 1	①改元　②尊号問題起こる　⑨万石以上の囲米の制を定める。秋田藩主佐竹義和の改革始まる。幕府旗本・御家人の浅草蔵宿の負債を棄捐(きえん)		
1790	〃 2	②人足寄場(にんそくよせば)を江戸鉄砲洲に置く。甲比丹の江戸参府を5年1参とする　⑩備荒貯穀令を出す　⑪皇居落成，綿実売買の問屋仲買を廃止		
1791	〃 3	①銭湯の男女混浴を禁止　⑨異国船渡来の際の処置を令す　⑫江戸町法を改め，七分積金を始め，町会所を浅草柳原に設ける		
1792	〃 4	⑦蝦夷地警備を議す。砲術練習場を徳丸原に設置　⑨**露使ラクスマン漂民を送り根室(ねむろ)にきたる**　⑪尊号問題終る　⑫定信に沿海の警備巡視を命ず		
1793	〃 5	③尊号問題に関し中山愛親(なるちか)らを処罰。定信伊豆相模海岸を巡視　⑥石川忠房らラクスマンと会見。高山彦九郎自殺(47)　⑦**松平定信，老中を辞職**　⑨将軍家斉，漂民幸太夫・磯吉を引見		
1794	〃 6	①江戸大火　⑦閑院宮典仁(すけひと)親王没す(62)　⑩倹約の期限を10年延長		
1795	〃 7	⑤ロシア人，蝦夷地の船貨を奪う　⑩女髪結を禁ずる		

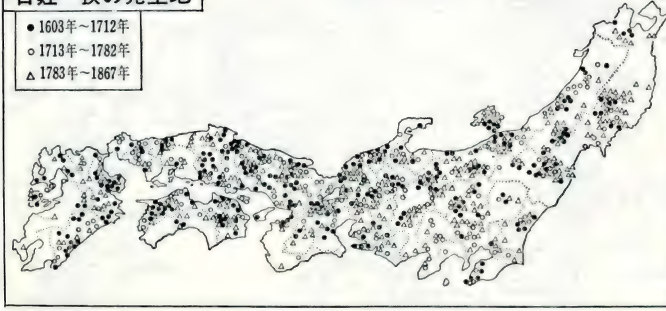
百姓一揆の国別分布



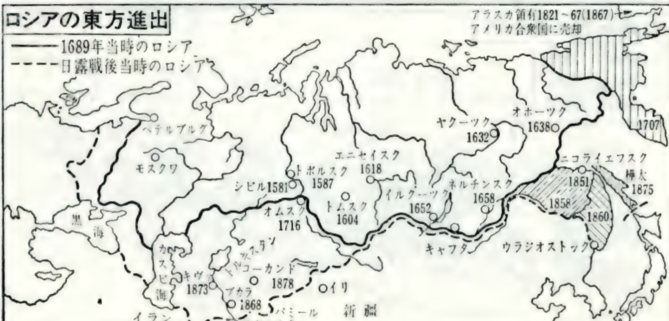
英—イギリス

西暦	文　化	朝鮮	中国	世界史
1784	③井上金峨死す(53)　○ツンベルク，スウェーデンで「日本植物誌」出版	李氏朝鮮	清	
1785	⑤石川豊信死す(75・浮世絵師) ○林子平「三国通覧図説」			1785〕英カートライト，力織機を発明
1786	②手島堵庵死す(69・心学者) ○林子平「海国兵談」			1786〕独ゲーテ，イタリア旅行
1787	⑨大島蓼太死す(70・俳人) ⑫本居宣長「秘本玉くしげ」 ○山東京伝「通言総籬」洒落本流行			1787〕米合衆国憲法制定
1788	①柴野栗山を儒官に登用 ②江村北海死す(76) ○会津藩，藩校日新館を創立			
1789	③三浦梅園死す(67) ⑨岡田寒泉登用　○大槻玄沢，芝蘭堂を開塾　○恋川春町死す ○中井竹山「草茅危言」			1789〕仏フランス革命（～94） 米ワシントン大統領に就任（～97）
1790	⑤寛政異学の禁　⑨柄井川柳死す(73) ○洒落本の著作を禁止			
1791	⑨尾藤二洲登用　⑩医学館を設立 ○山東京伝の洒落本を絶版し処刑			
1792	⑤「海国兵談」刊行のため林子平を処罰　⑥河村秀根死す(70) ⑫勝川春章死す(67・浮世絵師) ○宇田川玄随「西説内科撰要」			1792〕仏第一共和制（～1804）
1793	⑦塙保己一和学講談所を設立 ⑥林子平死す(56)　高山彦九郎自殺(47)　◉「公余勝探図巻」(谷文晁)			1793〕仏恐怖政治 中英使節マカトニー，北京に至る
1794	○本居宣長「玉勝間」成る ○桂川甫周「北槎聞略」			
1795	⑦円山応挙死す(63)「保津川図屏風」 ⑪高橋至時を天文方に登用 ○本多利明「経世秘策」 ◉「花鳥魚貝図」(伊藤若冲)			1795〕欧第三回ポーランド分割。ポーランド滅亡

百姓一揆の発生地

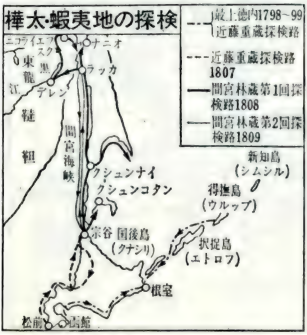


西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1796	寛政 8	⑧イギリス人ブロートン，室蘭に寄港 ○この年，幕府南海群島巡視を命ずる		
1797	〃 9	㊆漂着外船の処置を令す　⑧仙台領に一揆 ⑪エトロフ島にロシア人上陸		
1798	〃 10	③目付(めつけ)渡辺胤ら蝦夷地巡見　⑫諸藩の米札禁止 ○近藤重蔵エトロフに大日本恵土呂府の標柱建設		
1799	〃 11	①東蝦夷を幕府直轄とする　⑩南部・津軽両藩箱館を警備　○高田屋嘉兵衛，エトロフ航路を開く		
1800	〃 12	⑤伊能忠敬(いのうただたか)蝦夷地測量 ○この年，富士山に女人の参詣登山を許す	光	家
1801	享和 1	②改元　③伊能忠敬，関東諸国沿岸を測量 ⑥富山元十郎らウルップ島に標柱を立てる。出羽に百姓一揆		
1802	〃 2	②蝦夷奉行創設　⑤蝦夷奉行を箱館奉行と改称 ⑦諸国大洪水。松前氏の東蝦夷地を収公 ○この冬，近藤重蔵エトロフを調査		
1803	〃 3	⑦アメリカ船長崎に来航，貿易を求める 谷中(やなか)延明院日道死刑　⑫老中松平信明辞任		
1804	文化 1	③改元　⑥朝鮮の使節を対馬で応接に改める **⑨ロシア使節レザノフ長崎来航，貿易を要求**		
1805	〃 2	①海防を令す　④レザノフ退去 ○二宮尊徳の農村再興の活動始まる	格	斉
1806	〃 3	①ロシア船来着の取扱い法を令す（文化の撫恤令） ③江戸大火　⑨ロシア船樺太に来寇		
1807	〃 4	②西蝦夷を幕府直轄とする　④ロシア人エトロフ来寇。米船1隻長崎来航　⑤ロシア人利尻島に来寇。 ⑩箱館奉行を廃し松前奉行を置く		(11)
1808	〃 5	④下田・浦賀に砲台を築く。間宮林蔵，樺太を探検 ⑧イギリス船フェートン号長崎入港し乱暴。奉行松平康英(まつだいらやすひで)引責自刃（**フェートン号事件**）		
1809	〃 6	⑥樺太（唐太）を改めて北蝦夷と称する ⑦間宮林蔵（倫宗(ともむね)）黒竜江地方を探検し帰国 ○この年より文化14年まで蘭船の長崎入港中絶		
1810	〃 7	②白河・会津両藩に命じ，相模安房海岸に砲台を築く ⑤イギリス船，常陸に来航		



西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1796	①古賀精里を儒官に登用 ○稲村三伯蘭日辞典「波留麻和解」（江戸ハルマ）を完成	李氏朝鮮	清	1796〕中白蓮教徒の乱 英ジェンナー，種痘発見
1797	⑩宝暦暦を寛政暦に改める ⑫宇田川玄随死す(43)			
1798	③本居宣長「**古事記伝**」完成			1798〕英マルサス「人口論」
1799	⑥長沢芦雪死す(画家) ○本草家小野蘭山，将軍に謁する			1799〕欧第2回対仏大同盟
1800	③昌平坂学問所完成　⑨伊藤若冲死す(85)　○松平定信「集古十種」			1800〕欧ナポレオン戦争開始（〜14）
1801	⑥細井平洲死す(47)　⑦小沢芦庵死す(79・歌人)　⑨本居宣長死す(72) ○志筑忠雄「暦象新書」			1801〕英アイルランド併合
1802	○十返舎一九「**東海道中膝栗毛**」刊 このころ，**滑稽本**流行			
1803	⑥中沢道二死す(79・心学者)　⑩前野良沢死す(81) ○小野蘭山「本草綱目啓蒙」			
1804	②中井竹山死す(75)　⑫慈雲死す(87) ○喜多川歌麿，入牢50日の処罰			1804〕仏ナポレオン皇帝となる
1805	○広瀬淡窓，咸宜園を開塾 ○山東京伝「桜姫全伝曙草紙」			1805〕欧第3回対仏大同盟
1806	⑨喜多川歌麿死す(54) ○滝沢馬琴「椿説弓張月」 ○九谷焼再興			1806〕独神聖ローマ帝国滅亡 仏大陸封鎖令
1807	⑤皆川淇園死す(74)　⑫柴野栗山死す(74)　○杉田玄白「野叟独語」			1807〕米フルトン，蒸汽船航行に成功
1808	②初世並木五瓶死す(62) ④蒲生君平「山陵志」刊 ⑦「蕪村七部集」刊 ⑨加藤千蔭死す(72)「万葉集略解」			1808〕独ゲーテ「ファウスト」第1部
1809	①式亭三馬「浮世風呂」　⑥桂川甫周死す(59)　⑪上田秋成死す(78)			
1810	①小野蘭山死す(82) ○藤林普山「訳鍵」			

樺太・蝦夷地の探検



三国通覧図説の日本地図（林子平）



西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1811	文化 8	⑥ロシア軍艦々長ゴローニンを国後(クナシリ)に捕う ⑧幕府文身業を禁止　⑫倹約を令す	光格	家斉(11)
1812	〃 9	④松平定信隠居し，楽翁(らくおう)と称する ⑧高田屋嘉兵衛，国後海上でロシヤ船に捕わる		
1813	〃 10	④米会所設立　⑤幕府大坂町人に御用金百万両を課徴　⑥英船長崎入港，出島の和蘭商館を乗取ろうとし，甲比丹(カピタン)ヅーフ拒絶　⑨ゴローニンを放免 ㊤後桜町上皇崩ず(74)		
1814	〃 11	○箱館・松前以外の北地防備を撤兵 ○この夏，諸国大旱ばつ		
1815	〃 12	⑦畿内・東海道洪水		
1816	〃 13	②諸国戸口調査　④～⑧江戸に疫病流行 ㊇畿内・東海道洪水　⑩イギリス船，琉球に来航		
1817	〃 14	③恵仁(あやひと)親王に譲位　⑤諸国大旱　⑨即位。イギリス船，浦賀に来航　⑪甲比丹ヅーフ日本を去る	仁孝	
1818	文政 1	④改元。倹約を令す。真字二分判金を鋳る ⑤イギリス人ゴルドン浦賀に来航，貿易を求める		
1819	〃 2	⑥京都・美濃大地震。草字一分判金を鋳る ⑦物価下落を令する		
1820	〃 3	⑥新文字金鋳造　⑨島津重豪(しげひで)の治績を賞す ⑩倹約令　○姫路藩，国産会所を置く		
1821	〃 4	⑧諸国風水害　⑪真鍮四文銭を鋳造 ⑫蝦夷地を松前氏に返す		
1822	〃 5	②諸国戸口調査　③上杉治憲（鷹山）死す(72) ④イギリス船，浦賀来航　⑧相馬(そうま)大助処刑(34) ⑨西国にコレラ流行　⑫丹後宮津百姓一揆		
1823	〃 6	⑥紀伊に百姓一揆　○摂河泉1007村の農民，大坂三所問屋の実綿・繰綿の買占め行為の排除を陳情		
1824	〃 7	⑤イギリス船常陸大津浜に上陸，水戸藩これを捕える　⑦イギリス船，薩摩の宝島に上陸 ○一朱金鋳造		
1825	〃 8	**②異国船打払い令（文政の打払い令）**		
1826	〃 9	⑤近藤重蔵を近江大溝藩に禁固 ○この年，地震多し		

江戸後期の名君



西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1811	②村田春海死す(66)　⑤天文方に蕃書和解御用の局を設ける。「**厚生新編**」翻訳　⑦松村呉春死す(70)			
1812	⑤山本北山死す(61)　⑫「寛政重修諸家譜」成る　○式亭三馬「浮世床」			
1813	⑦蒲生君平死す(46)　⑫尾藤二洲死す(69)			
1814	③亀井南溟死す(72)　○馬琴「**南総里見八犬伝**」刊。読本(よみほん)の流行			1814〕欧ウィーン会議
1815	⑥鳥居清長死す(64・浮世絵師)　○杉田玄白「**蘭学事始**」	李		1815〕欧神聖同盟成立　中アヘン輸入禁止
1816	②頼春水死す(71)　⑨山東京伝死す(56)　⑧岡田寒泉死す(71)　「幼学指要」			
1817	②中井履軒(りけん)死す(86)　④杉田玄白死す(85)　⑤古賀精里死す(68)	氏		
1818	④伊能忠敬死す(74)　⑩司馬江漢死す(72)　「西洋画談」「春波楼筆記」　○平田篤胤(あつたね)「古史成文神代巻」		清	
1819	○塙保己一「**群書類従**」完成　○小林一茶「おらが春」	朝		1819〕英ラッフルズ，シンガポール占領
1820	○浦上玉堂死す(76・文人画)			
1821	⑨「**大日本沿海実測全図**」完成　⑨塙保己一死す(76)　○本多利明死す(78)　○山片蟠桃(ばんとう)死す(74)　「夢の代(ゆめのしろ)」	鮮		1821〕希独立戦争(～29)
1822	①式亭三馬死す(47)			
1823	④大田南畝死す(75)　⑦シーボルト長崎にきたる　○亜欧堂田善死す(76)			1823〕米モンロー宣言
1824	⑧清水浜臣(はまおみ)死す(49)　◉「富嶽三十六景」(葛飾北斎)　◉「兎道朝暾図」(青木木米)　○七宝焼起こる			
1825	①歌川豊国死す(57)　○会沢安「新論」　○鶴屋南北「東海道四谷怪談」			
1826	⑫藤田幽谷死す(53・水戸学)			

文化1年(1804)における各国人口密度 1平方キロメートル



西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1827	文政10	②一橋徳川治斉(はるなり)死す(77)　③徳川家斉，太政大臣となる。倹約令　④高田屋嘉兵衛死す(59) ○薩摩藩調所広郷(ずしょひろさと)の財政改革始まる	仁孝	家斉(11)
1828	〃 11	⑤陸奥半田銀山開発　⑩**シーボルト事件**　高橋景保，シーボルトに日本地図を贈り下獄 ○この年，人口2720万余（公家武家又者を除く）		
1829	〃 12	③江戸大火　⑤松平定信死す(72)　⑥近藤重蔵死す(59)　一朱銀鋳造　⑦二分判金改鋳		
1830	天保 1	③伊勢お蔭参り流行　⑦京都大地震　⑫改元 ○薩藩，三島砂糖惣買入開始。水戸藩主徳川斉昭(なりあき)藩政改革を始める		
1831	〃 2	③大坂安治川口に天保山を築く ⑪諸国の石高を調査		
1832	〃 3	⑦イギリス船，琉球漂着　⑧鼠小僧次郎吉処刑(36) ⑩二朱金鋳造　○**天保の飢饉始まる**(～36)		
1833	〃 4	①島津重豪(しげひで)死す(89)　④江戸に打ちこわし起こる ⑫倹約令　○この冬，奥羽飢饉		
1834	〃 5	②江戸大火。全国戸口調査　③水野忠邦(ただくに)老中となる　⑦江戸・大坂に打ちこわし起こる		
1835	〃 6	⑤美濃百姓一揆　⑥美濃・江戸地震 ⑨天保通宝鋳造・鉄銭増鋳　⑫仙石(せんごく)騒動裁断		
1836	〃 7	②江戸町会所改革　⑤徳川斉昭，常陸助川に砲台を築く　⑧甲斐・⑨三河・⑫盛岡に飢民蜂起 ⑨最上徳内死す(83)		
1837	〃 8	②**大塩平八郎の乱**　③江戸に救小屋を設ける ④家斉職を家慶に譲る　⑥生田万(いくたよろず)の乱。アメリカ船モリソン号，浦賀に入港　⑧将軍宣下		家慶(12)
1838	〃 9	㈣倹約令　⑥大判改鋳。甲比丹モリソン号渡来の始末を幕府に報告　⑧徳川斉昭，外交意見書を幕府に進める。佐渡の一揆 ○二宮尊徳，小田原藩の財政立直しに着手		
1839	〃 10	⑤**蛮社の獄**　渡辺崋山(かざん)高野長英ら逮捕 ⑩江戸の窮病者を小石川養生所に収容		
1840	〃 11	②全国戸口調査　⑥売薬看板に蘭字使用を禁ずる ○長州藩村田清風の改革始まる		

江戸時代後期の文化人①

(歌)―歌人　(俳)―俳人　(文)―文学
(国)―国学者　(朱)―朱子学　(史)―歴史
(古)―古文辞学派　(心)―心学　(折)―折衷学派

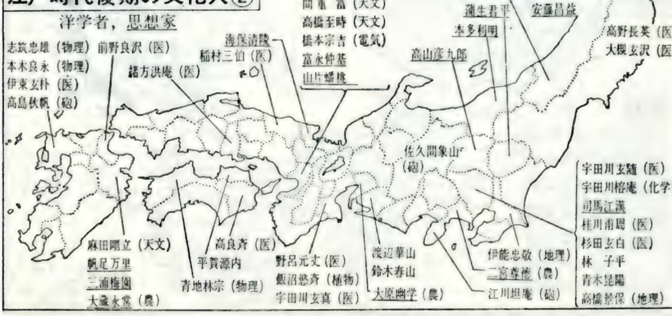


1 平田篤胤（国）
1 藤田幽谷（水戸学）
2 良　寛（歌）
　竹内式部（朱）
3 小林一茶（俳人）
　太宰春台（古）
4 加賀千代（俳）
　太田錦城（折）
5 橘曙覧（歌）
6 手島堵庵（心）
　中沢道二（心）
　柴田鳩翁（心）
　荷田春満（国）
　服部南郭（古）
7 香川景樹（歌）
8 伴信友（国）
9 山脇東洋（医）
10 大国隆正（国）
11 山県周南（古）
12 大隈言道（歌）
13 古賀精里（朱）
14 安井息軒（朱）
15 藤田東湖（水戸学）
　会沢　安（水戸学）
16 田安宗武（歌）
　塙保己一（国）
　岡田寒泉（朱）
　柄井川柳（川柳）
　朱楽菅江（狂）
　石川雅望（狂）
　大田南畝（狂）
　山東京伝（文）
　滝沢馬琴（文）
　柳亭種彦（文）
　為永春水（文）
17 山県大弐（朱）
18 十返舎一九（文）
19 生田　万（国）
20 賀茂真淵（国）
21 菅江真澄（国）
22 小沢芦庵（歌）
　横井也有（俳）
23 林　述斉（朱）
　佐藤一斉（朱）
24 本居宣長（国）
　谷川士清（朱）
25 祇園南海（古）
26 柴野栗山（朱）
27 尾藤二洲（朱）
28 平賀元義（歌）
　湯浅常山（古）
29 柳沢棋園
30 与謝蕪村（俳）
　中井竹山（朱）
　中井履軒（朱）
　上田秋成（文）
31 菅　茶山（朱）
　頼　山陽（史）
　吉益東洞（医）

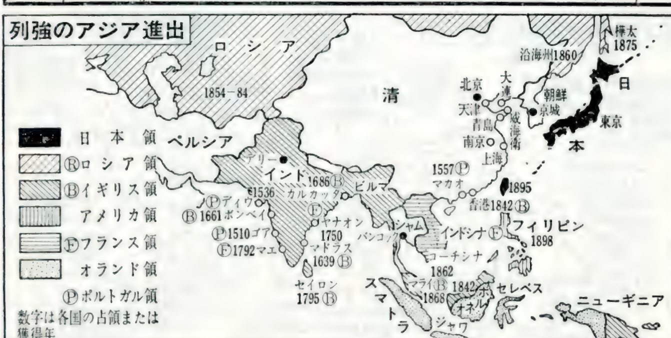
欧―ヨーロッパ　仏―フランス

西暦	文　化	朝鮮	中国	世　界　史
1827	③大槻玄沢死す(71)　⑤頼山陽「日本外史」を松平定信に呈する　⑪小林一茶死す(65)　○佐藤信淵「経済要録」　○青地林宗「気海観瀾」　○長崎鳴滝にシーボルト開塾			
1828	⑪酒井抱一(ほういつ)死す(68)　本居春庭死す(66)　◉「松崎慊堂像」(崋山)			1828〕国露土戦争(～29)
1829	⑨シーボルト追放　○香川景樹(かげき)「桂園一枝」　○柳亭種彦「諺紫(にせむらさき)田舎源氏」刊(～42)	李		
1830	㊇石川雅望死す(78)　○お蔭参り流行			1830〕仏七月革命
1831	①良寛死す(75)　⑧十返舎一九死す(57)　○寺門静軒「江戸繁昌記」刊			1831〕伊マッチニ，青年イタリア党組織
1832	⑨頼山陽死す(58)　「日本政記」　○為永(ためなが)春水「春色梅暦(うめごよみ)」	氏		
1833	②青地林宗死す(59)　○本居太平死す(78)　○「ヅーフ－ハルマ」なる		清	
1834	⑫宇田川玄真死す(66)　「遠西医範」　○大塩中斎「洗心洞箚記(さっき)」			1834〕独ドイツ関税同盟成立
1835	㊆狩谷棭斎(えきさい)死す(61)　⑧田能村(たのむら)竹田死す(59)　「山中人饒舌(じょうぜつ)」	朝		1835〕米モールス，電信機発明
1836	○帆足(ほあし)万里「窮理通」			
1837	○宇田川榕庵(ようあん)「舎密開宗(せいみかいそう)」　○為永春水「春告鳥」。人情本流行　◉「鷹見泉石像」(渡辺崋山)	鮮		1837〕英ビクトリア女王即位(～1901)
1838	○緒方洪庵，大坂に適々塾を開く　○中山みき，天理教を開く　○渡辺崋山「慎機論」　○高野長英「戊戌夢物語」　⑫岸駒(がんく)死す(90)			1838〕英チャーチスト運動
1839	⑤柴田鳩翁死す(57・心学者)			
1840	⑫谷文晁死す(78)　○高島秋帆，砲術改善を上申　○大原幽学，下総長部村に先祖株組合を結成			1840〕中アヘン戦争(～42)

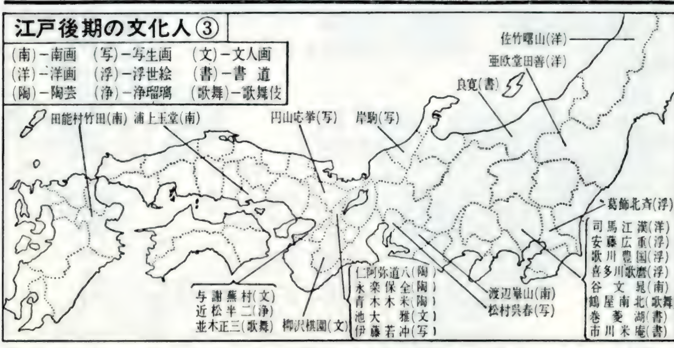
江戸時代後期の文化人②



西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1841	天保12	㊀徳川家斉死す(69)　③徳川斉昭大砲を鋳造 ⑤高島秋帆，武蔵徳丸原で西洋式砲術を行なう ○**水野忠邦，改革に着手**　⑫**株仲間の禁止**	仁	
1842	〃 13	②奢侈の禁止　⑥高島秋帆に砲術教授を許す ⑦**天保の薪水令**　異国船打払い令を緩和 ⑨天保暦をわかつ。農民の副業を禁止 ⑫下田・羽田両奉行を置く		
1843	〃 14	③人返しの令を発する　⑥印旛沼開墾 ⑨**上地令**　江戸・大坂十里四方を直轄地とする ㊈水野忠邦失脚，阿部正弘後任となる		家
1844	弘化 1	③フランス船，琉球来航　⑤徳川斉昭謹慎 ⑧オランダ国王，開国を勧告　⑫改元		
1845	〃 2	②間宮林蔵死す(70)　③米船浦賀来航　⑤英船琉球来航　⑥オランダの勧告謝絶　⑨水野忠邦処罰	孝	
1846	〃 3	①仁孝天皇崩ず　②孝明天皇践祚。江川太郎左衛門伊豆七島巡視　④英仏船琉球来航　㊄米国東インド艦隊長官ビッドル，浦賀来航　⑦仏艦，長崎来航 ⑧英艦来航。海防強化の勅語下る		
1847	〃 4	②関東沿岸の防備強化。天草百姓一揆 ⑨即位　○南部藩に一揆　○徳川慶喜一橋家を相続		慶
1848	嘉永 1	②改元　③外船，対馬に出現 ⑤米船，松前に漂着，幕府長崎に送る　○佐久間象山，大砲を鋳造	孝	
1849	〃 2	③米艦長崎来航。徳川斉昭の謹慎を解く　㊃英艦浦賀来航　⑤幕府，打払い令の可否を諸大名に諮問 ⑪幕府，洋式砲6門を鋳造　⑫海防強化令		(12)
1850	〃 3	④英船，蝦夷地漂着。七社七寺に勅して国防を祈る ⑥オランダ，米国の通商要求を内報　⑩佐賀藩で反射炉を築造　⑫博徒国定忠治処刑される	明	
1851	〃 4	①中浜万次郎ら米国から帰る　②水野忠邦死す(59) ③十組問屋・株仲間の再興を許す　⑧島津斉彬鹿児島製煉所を設立		
1852	〃 5	㊁外船，対馬に出没　⑥ロシア船，下田に来航 ⑧「オランダ風説書」で蘭館長，米艦来航を予報		



西暦	文　化	朝鮮	中国	世　界　史
1841	⑦林述斎死す(74)　⑧水戸弘道館開校 ⑩渡辺崋山自刃(49) ⑫谷文晁死す(78)	李氏朝鮮	清	
1842	①中村座・市村座などを浅草に移す ⑥柳亭種彦・為永春水処罰される ⑦柳亭種彦死す(60)　⑩幕府，二宮尊徳を徴する。高島秋帆下獄			1842〕 中イギリスと南京条約，香港割譲
1843	③香川景樹死す(76)　④巻菱湖死す(67・書家)　㊈平田篤胤死す(68) ⑫「徳川実紀」完成。為永春水死す(51)			
1844	④松崎慊堂死す(74)			1844〕 仏デューマ「モンテクリスト伯」を書く
1845	③高野長英脱獄 ⑫学習院開設			
1846	⑥宇田川榕庵(ようあん)死す ⑩伴信友死す(74) ○藤田東湖「弘道館記述義」			1846〕 英穀物法廃止 米メキシコと戦争
1847	⑦佐賀藩の蘭医楢林宗建，種痘の実施に成功			1847〕 露ムラビヨフ東シベリア総督
1848	⑪滝沢馬琴死す(82)　坪井信道死す(54・蘭医)　○本木昌造活字輸入			1848〕 仏二月革命 米カリフォルニア州金鉱発見 英共産党宣言
1849	④葛飾北斎死す(90)　⑤橘守部死す(70・国学者)　⑧佐賀藩，種痘を行なう　⑪萩藩，種痘を行なう			
1850	①佐藤信淵死す(83・農政学者) ⑨幕府，洋書の翻訳流布を制限 ⑩高野長英自殺(47)			1850〕 中太平天国の乱（〜64) 仏バルザック死す
1851	③和気清麻呂に正一位を贈り，護王大明神の号を賜う ○本木昌造，鉛活字を作る			1851〕 仏ルイ＝ナポレオンのクーデター成功
1852	②水戸藩，「大日本史」刊 ⑥帆足万里(ほあしばんり)死す (75)　「窮理通」・「東潜夫論」　⑩楢林宗建死す(51)			1852〕 仏ナポレオン3世即位 印第二次英緬戦争



西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1853	嘉永 6	⑤加賀藩，銭屋五兵衛を磔刑にする ⑥**米使ペリー浦賀来航**。徳川家慶死す(61)　家定，将軍となる　⑦開国の可否を諸大名に諮問。露使プーチャチン，長崎来航　⑨大船建造の禁を解く	孝明	家定(13)
1854	安政 1	①ペリー再来　③**日米和親条約**（神奈川条約）締結　⑦日章旗を船印とする　⑧日英和親条約　⑪改元 ⑫**日露和親条約**　下田・函館・長崎を開港。エトロフ・ウルップ間を国境，唐太を両国雑居地と定める		
1855	〃 2	②幕府，蝦夷地を再び直轄　⑦海軍伝習所開設 ⑩江戸大地震。堀田正睦老中就任。日仏和親条約・日蘭和親条約締結		
1856	〃 3	④江戸に講武所を設立　⑥二分金を新鋳 ⑦米総領事ハリス，下田に着任　⑩堀田正睦を外交専任とする　○長崎海上のキリスト教徒検挙		
1857	〃 4	⑤ハリスと下田条約調印　⑥阿部正弘死す(39) ⑧プーチャチン，長崎に再来 ⑩ハリス将軍に謁し，幕府に通商の急務を説く ⑫日米条約の可否を諸大名に諮問。踏絵廃止		
1858	〃 5	①堀田正睦上京，条約勅許を奏請　③朝廷却下 ④井伊直弼大老就任　⑥**日米修好通商条約調印**（安政仮条約）　⑦徳川家定死す(35)　徳川斉昭・松平慶永ら謹慎。日露・日蘭・日英条約調印 ⑨日仏条約調印　⑩家茂将軍となる　○**安政の大獄**		家茂(14)
1859	〃 6	②幕府，攘夷反幕府公卿を処分　⑤英公使オールコック着任　⑦安島帯刀死刑　⑨梅田雲浜獄死(44)　⑩橋本左内(26)・頼三樹三郎(34)・吉田松陰(30)ら死刑		
1860	万延元	①安藤信正老中就任。新見正興ら条約批准に渡米。勝海舟ら咸臨丸で太平洋横断　③桜田門外の変。井伊直弼死す　㊂五品江戸廻し令　⑥日葡仮条約締結　⑧徳川斉昭死す(61)　⑪和宮の降嫁公表 ⑫浪士，アメリカ公使館通弁官ヒュースケンを殺す		
1861	文久 1	②改元。露艦対馬占領　⑤東禅寺事件。長州藩主毛利敬親，公武合体を献議　⑩和宮親子内親王，家茂に降嫁　⑫遣欧使節竹内保徳ら出発		

外国艦船の来航

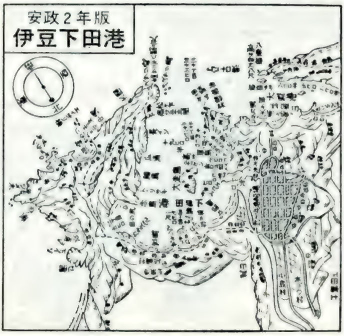


欧—ヨーロッパ

西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1853	③三世瀬川如皐(じょこう)作「与話情浮名横櫛(よわなさけうきなのよこぐし)」中村座に上演 ⑧高島秋帆の禁固を許す			1853〕欧クリミア戦争(〜56) 中曾国藩，郷勇を興す
1854	③吉田寅次郎(松陰)，アメリカ渡航失敗し捕われる　④松陰の事により佐久間象山下獄　⑪露船ディアナ号を戸田(へた)で修理			
1855	①江川坦庵(たんあん)死す(55)　⑧洋学所を九段下に置く　⑩藤田東湖災死す(50) ○川手文治郎，金光(こんこう)教を開く ◉紫宸殿	李		1855〕米ホイットマン「草の葉」成る
1856	②洋学所を蕃書調所と改称 ⑩二宮尊徳死す(70) ○吉田松陰，松下村塾を開く	氏		1856〕中アロー号事件
1857	⑦長崎に製鉄所を置く　○長崎の海軍伝習所を江戸築地に移し，海軍教授所と改める　○松本良順，長崎に西洋医学所を興す		清	1857〕印セポイの反乱 欧米最初の世界恐慌起こる
1858	⑧鹿持雅澄(かもちまさずみ)死す(68)　「万葉集古義」 ⑨梁川星巌(やながわせいがん)死す(70)　安藤広重死す(61)　○種痘所設置 ○福沢諭吉，江戸鉄砲洲に私塾を開く(慶応義塾の始め)	朝		1858〕中ロシアとアイグン条約。英仏と天津条約 印ムガール帝国滅亡
1859	⑨佐藤一斎死す(88)　「言志四録」 ○シーボルト再び長崎にきたる ○米宣教師ヘボン来朝 ○英人ワーグマン横浜に居住	鮮		1859〕英ダーウィン「種の起源」成る
1860	⑤遣米使節随行の中浜万次郎ら裁縫ミシン・写真機・ウエブスター辞書などを持ちかえる ⑦江戸の幼児に種痘を命ずる ○長崎で金属活字邦文印刷始まる			1860〕中英・仏と北京条約。ロシアに沿海州割譲
1861	⑪箕作秋坪・福地源一郎・福沢諭吉ら遣欧使節に随行 ○加藤弘之(ひろゆき)「隣草」			1861〕伊イタリア王国成立 米南北戦争(〜65)



江戸湾の防衛



安政2年版
伊豆下田港

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	将軍
1862	文久 2	①**坂下門の変** 安藤信正傷つく ③島津久光上京 ④寺田屋騒動。有馬新七(38)ら殺される ⑥勅使大原重徳東下 ⑦一橋慶喜を将軍後見。松平慶永を政事総裁に任命 ⑧**生麦事件** ㈧松平容保京都守護職就任。参覲交代を緩和 ⑨朝議，攘夷に決定 ⑪三条実美東下 ⑫英公使館焼打ち	孝明	家茂(14)
1863	〃 3	③家茂入京 ④石清水八幡行幸。幕府5月10日攘夷決行を奏す ⑤長州藩外船砲撃 ⑦**薩英戦争** ⑧攘夷親征布告。天誅組の変。**8月18日の政変** 七卿落 ⑩平野国臣生野に挙兵 ⑫遣英使節池田長発ら出発		
1864	元治 1	②改元 ③慶喜を禁裏総督とする。藤田小四郎ら筑波山に挙兵 ④仏公使ロッシュ着任 ⑥池田屋騒動。新撰組尊攘志士を襲う ⑦**蛤御門の変** 真木和泉自決(52) ⑧英米仏蘭連合艦隊の**下関砲撃**。第一回**長州征伐** ⑪長州藩謝罪 ⑫武田耕雲斎ら，金沢藩について下る		
1865	慶応 1	①長州藩高杉晋作挙兵 ②耕雲斎(63)ら処刑 ④第二回長州征伐。改元 ㈤英公使パークス着任 ⑨四国公使艦隊を大坂湾に回航。兵庫開港を強請 ⑩**条約勅許** 兵庫開港を止める。		
1866	〃 2	①坂本竜馬，**薩長連合**を周旋 ②自由貿易許可 ⑤改税約書を四国公使との間に調印。米価騰貴し全国に打ちこわし・一揆起こる ⑥長州再征開始。薩藩出兵を拒否⑦徳川家茂死す(21) ⑧征長中止 ⑩遣露使節小出秀実出発 ⑫慶喜将軍となる。孝明天皇崩ず(36)		
1867	〃 3	①明治天皇践祚。遣欧使節徳川昭武出発 ②慶喜四国公使を引見 ④高杉晋作死す(29) ⑤兵庫開港勅許 ⑥坂本竜馬「船中八策」 ⑨薩長芸3藩討幕を約す ⑩山内容堂（豊信）幕府に大政奉還を建白。討幕の密勅，薩長に下る。徳川慶喜**大政奉還** ⑪坂本竜馬(33)・中岡慎太郎(30)暗殺される。江戸鉄砲洲を外人居留地とする ⑫**王政復古の大号令** 摂関・将軍等を廃し総裁・議定・参与を置く ○この年，お蔭参り盛ん	明治	慶喜(15)

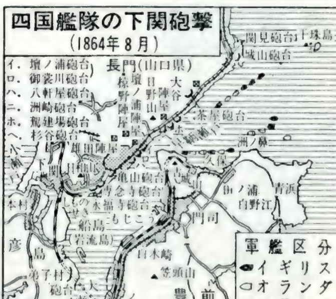
幕末の事件と人々



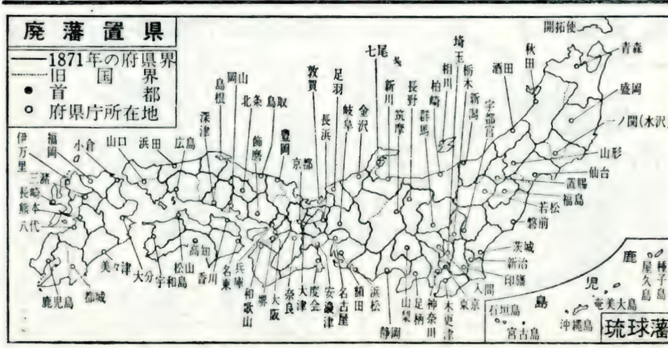
独—ドイツ　伊—イタリア

西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1862	⑤蕃書調所を洋書調所と改称　⑧官板バタビア新聞を翻訳刊行　⑨榎本釜次郎(武揚)・津田真道・西周(にしあまね)，オランダに留学 ○下岡蓮杖，横浜で写真屋開業 ○長崎大浦天主堂創建	李氏朝鮮	清	1862］独ビスマルク時代（～90） 伊ガリバルジ，ローマ進撃 中同治中興(～74)
1863	⑥緒方(おがた)洪庵死す(54)　⑦会沢正志斎(安)死す(82)　○箕作阮甫死す(66) ⑧洋書調所を開成所と改称　○伊藤博文・井上馨ら脱藩して英国に留学 ○大隈言道「草径集」			1863］米奴隷解放宣言
1864	⑦佐久間象山暗殺(54) ○冷泉為恭(れいぜいためちか)変死(42) ○岸田吟香(ぎんこう)横浜で新聞発行 ○大槻磐渓「近古史談」 ○幕臣関口鉄之助，長崎で洋式軍楽を伝習　◉長崎大浦天主堂			1864］鮮大院君摂政（～73） 英第1インターナショナル結成（～76）
1865	①横浜製鉄所・横須賀造船所起工 ④薩藩寺島宗則らイギリスに留学 ○飯沼慾斎死す(84)　「草木図説」 ○平賀元義死す(66)　「平賀元義歌集」			1865］米リンカーン暗殺 蘭メンデル，遺伝の法則を発見
1866	①高島秋帆死す(69)　④**海外留学生を許す**　⑧外山正一らイギリスに留学 ○石川島で軍艦千代田（138トン）建造 ○福沢諭吉「西洋事情」 ○津田真道「泰西国法論」 ○神田孝平訳「西洋経済小学」			1866］独普墺戦争
1867	①中村正直らイギリスに留学 ⑤榎本武揚らオランダから開陽丸回航 ⑨「ええじゃないか」の騒ぎ起こる ⑩「西洋雑誌」創刊 ○米宣教師ヘボン「和英語林集成」を完成（英和辞典の始め） ○鹿児島紡績所操業を開始 ○加藤弘之「立憲政体論」 ○福沢諭吉「西洋案内」			1867］米アラスカ購入 独マルクス「資本論」第1巻





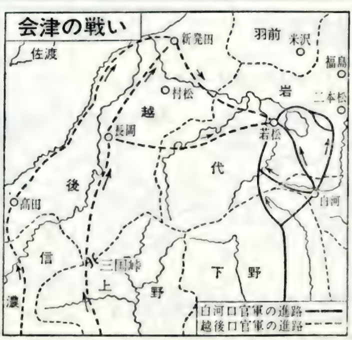
西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	政府首班
1868	明治元	①鳥羽伏見の戦い **王政復古を各国公使に布告**。国内に開国和親を布告。三職七科の制 ②東征大総督有栖川宮熾仁親王進発。各国公使，天皇に謁見 ③**五ヶ条の御誓文** 五榜の掲示 ④江戸開城 ㊃政体書公布。七官・府藩県を置く ⑤彰義隊の戦い。徳川家達に駿府70万石を与える。丁銀・豆板銀の廃止 ⑦江戸を東京と改称 ⑧即位 ⑨改元。一世一元の制。租税旧慣襲用を布告。会津藩降伏し東北平定 ⑩江戸城を皇居と定める ⑫奥羽を7国とする	明治	総裁 熾仁親王
1869	〃 2	①参与横井小楠刺殺(60) 関所の廃止。薩長土肥4藩主版籍奉還を上奏 ②造幣局設置 ③天皇再び東京に帰着 ④民部官を置き，府県事務を行なう ⑤議政官廃止。榎本武揚ら降伏。**戊辰の役終わる** ⑥**版籍奉還**を許し，知藩事を置く。公卿諸侯を華族，知藩事の家臣を士族とする ⑦二官六省に官制改革 ⑧蝦夷地を北海道と改称 ⑨大村益次郎の刺殺(47)		右大臣 三条実美
1870	〃 3	②樺太開拓使設置 ③集議院を開く ⑦大友・大炊・九条の三帝に弘文・淳仁・仲恭天皇と追謚 ⑨平民に苗字を許す ㊉工部省を設立 ⑫新律綱領を定める。庶民の帯刀を禁止。雲井竜雄(27)処刑される		
1871	〃 4	①社寺領収公。参議広沢真臣暗殺(39) 鍋島直正死す(58) ②薩長土より親兵を徴集。大阪造幣寮成る ③毛利敬親死す(53) ④戸籍法の公布 ⑤新貨幣制度実施。金本位制となる ⑦刑部省弾正台を廃し司法省設置。**廃藩置県** 3府72県とし府知事・県令を置く。太政官制を改革。正院・左院・右院を置き三条実美を太政大臣とする。日清修好通商条約締結（伊達宗城） ⑧斬髪・廃刀許可。穢多・非人の称廃止。神祇官を廃し神祇省とする ⑩右大臣岩倉具視らを欧米に派遣 ⑫**秩禄処分**を行なう。士族授産を始める		太政大臣 三条実美



英—イギリス　独—ドイツ　露—ロシア　米—アメリカ　埃—エジプト

西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1868	③**神仏分離令　廃仏毀釈**(きしゃく)運動起こる ④「太政官日誌」刊（のちの官報）。湊川神社を創建 ⑦浦上・五島のキリスト教徒処分 ⑧橘曙覧(あけみ)死す(57・歌人) ⑫沼津兵学校創立 ○「中外新聞」（柳川春三）「江湖新聞」（福地源一郎）「もしほ草」（岸田吟香）創刊	李氏朝鮮	清	2. [英]ジスレリー，保守党内閣成立 4. [独]全ドイツ関税会議 5. [露]ブハラ汗国を保護国とする 12. [英]グラッドストン自由党内閣成立 ―○シャム，ラーマ五世即位（～1910）
1869	①皇学所・漢学所を開講 ②新聞紙刊行を許可 ④修史局設置（総裁三条実美） ⑦昌平黌を大学校とする ⑫大学校を大学，開成所を大学南校，医学所を大学東校とする。京浜間 ○「電信開通」　○福沢諭吉「世界国尽」 ○人力車の発明			5. [米]大陸横断鉄道完成 11. [欧]スエズ運河開通 ―[露]メンデレフ，元素の周期律発見
1870	①京浜間電信開通　大教宣布の詔 ④種痘施行　⑥東京に小学校・中学校創設　⑫本木昌造「横浜毎日新聞」 ○加藤弘之「真政大意」　○仮名垣魯文「西洋膝栗毛」			7. [欧]普仏戦争(～71) 9. [仏]第三共和制始まる 10. [伊]イタリア統一
1871	③東京・京都および大阪間に郵便実施 ⑦大学を廃し**文部省**を置く ⑩津田梅子・山川捨松ら女子5名アメリカ留学 ⑪東京・長崎間に郵便開設 ○熊本洋学校設立。米宣教師ジェーンズ来朝 ○中村敬宇（正直）「西国立志篇」 ○横浜にガス灯点灯 ○工部省に工学寮設置 ○仮名垣魯文「安愚楽鍋(あぐら なべ)」			1. [独]ドイツ統一 3. [仏]パリコンミューンの乱 [鮮]大院君排外鎖国を声明 12. [中]台湾蕃民，琉球漂流民を虐殺

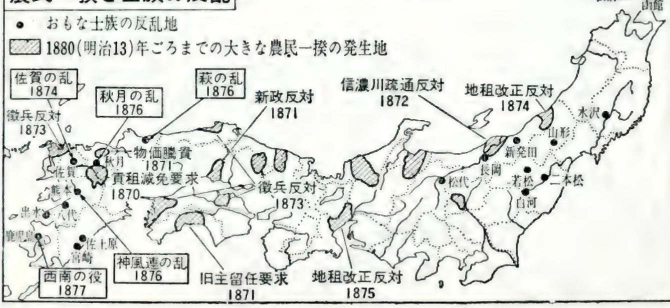






西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	太政大臣
1872	明治 5	②土地売買解禁。陸海軍両省設置　③近衛兵設置。神祇省を廃し教部省を置く　④僧侶の肉食妻帯蓄髪を許す　⑥富岡製糸所設立(官営工場)　山内容堂死す(46)　◉壬申戸籍編成　⑦マリアールーズ号事件。ペルー船の奴隷解放　⑧職業の自由を認める　⑨尚泰を琉球藩王とする　⑩教部文部二省を併合。遊女僕婢解放令　⑪**国立銀行条例**公布。日本紀元の制定，徴兵告諭	明治	三条実美
1873	〃 6	①六鎮台設置，**徴兵令**公布　②仇討を厳禁　④副島種臣を清国に遣わし清国との条約批准交換　⑥石高制を段別制に改正。**改定律例**公布。集議院廃止。征韓論起こる　⑦**地租改正**　地券を交付し地租を地価の百分の三とし土地所有者が金納　⑧第一国立銀行開業　⑨岩倉大使一行帰朝　⑩新聞紙発行条目制定。**征韓論**敗れ参議西郷・板垣・後藤・江藤・副島ら下野　⑪内務省設置		
1874	〃 7	①岩倉右大臣襲われる。東京警視庁設置。**民撰議院設立建白**。愛国公党結成　②佐賀の乱　④西郷従道ら台湾征討。板垣退助・片岡健吉ら立志社創立。江藤新平刑死(40)　⑤議院憲法発布　⑥北海道に屯田兵制実施　⑧大久保利通を清国に派遣，台湾問題を処理　⑩台湾問題解決		
1875	〃 8	①大阪会議　②平民に苗字を必ず称さす。板垣ら愛国社創立　④**立憲政体漸立の詔**　元老院・大審院設置　⑤**千島・樺太交換条約**　⑥地方官会議開く。**讒謗律**・新聞紙条例頒布　⑨江華島事件　○国有汽船13隻を下付され，三菱郵便汽船会社設立		
1876	〃 9	②日鮮修好条約締結　③廃刀令。三井銀行設立 ⑧家禄賞典禄を廃し金禄公債を下付 (313,000 人) ⑨地方裁判所の設置。元老院に憲法起草を命ずる ⑩神風連の乱，秋月の乱，萩の乱　⑫前原一誠ら刑死(39) ○三重・愛知・岐阜・奈良に地租改正反対一揆		

農民一揆と士族の反乱

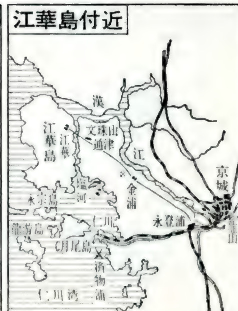


独—ドイツ

西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1872	②福沢諭吉「学問ノススメ」 ④東京書籍館設立。東京・大阪間電信開通　⑥「郵便報知新聞」創刊 ⑧**学制頒布** ⑨新橋・横浜間に**鉄道開通**。東京に師範学校創設 ⑫太陰暦を廃し太陽暦採用。12月3日を6年1月1日とする	李氏朝鮮	清	5. [独]ビスマルク，法王と文化斗争を開始 9. [欧]ベルリンで独墺露三帝会盟 —[英]スペンサー「社会学研究」
1873	②大教院設置。キリスト教禁止の高札を撤廃。森有礼ら**明六社**を結成 ③紀元節制定（2月11日） ⑤大学南校を開成学校と改称。外国語学校（のちの大学予備門）創立 ○並河靖之，七宝焼を創始 ○仏人法学者ボアソナード来朝			5. [英]リビングストン，アフリカで死去 10. [欧]独墺露の三帝同盟成立 —[独]ニーチェ「反時代知考察」
1874	③「明六雑誌」発刊　④「読売新聞」創刊　⑨電信条例制定 ○「朝野新聞」創刊　○西周(にしあまね)「百一新論」　○加藤弘之「国体新論」 ○東京女子師範学校・聖公会立教学院（のち立教大学）創立			2. [英]ジスレリー組閣 10. 万国郵便聯合条約締結 —○スタンレー，アフリカ探検
1875	①新島襄，**同志社**英学校を創立。伊人キヨソネ来朝　④福沢諭吉「文明論之概略」　⑥東京気象台開設 ⑪明六社解散，「明六雑誌」廃刊 ○守田座を新富座と改める			2. [仏]第三共和国憲法制定 11. [英]スエズ運河株券を買収
1876	②「大阪日報」（のち大阪毎日新聞）創刊　③官庁学校日曜全休，土曜半休制 ⑧札幌農学校設立（クラーク博士） ⑪工部寮付属美術学校開設 ○伊人ラグーザ・フオンタネージ，英人コンドル・独人ベルツ来朝			—[米]ベル，電話を発明。エジソン，蓄音機を発明 —[露]ツルゲーネフ「処女地」

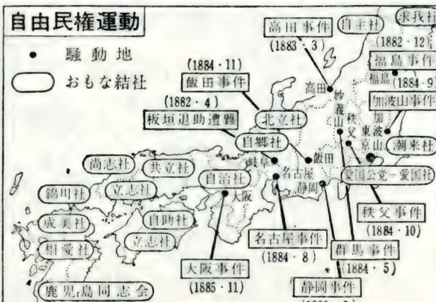






西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	太政大臣
1877	明治10	①地租軽減（百分の二・五）　②**西南の役**　西郷隆盛鹿児島に反乱。熊本城包囲　③西郷軍田原坂に敗れる　⑤木戸孝允死す(44)　⑥立志社。国会開設を建白　⑦官営新町紡績所開業　⑧第一回内国勧業博覧会開催　⑨城山陥り，西郷隆盛自殺(51) ○コレラ流行し死亡者 6,817 人		
1878	〃 11	④板垣，愛国社を再興　⑤大久保利通暗殺 (49) 東京株式取引所設置　⑦**三新法**（郡区市町村編成法・府県会規則・地方税規則）制定。寺島宗則外務卿アメリカと新条約調印（関税自主権回復，ただし列国の反対で無効）　⑧竹橋騒動（近衛兵の反乱）　⑫参謀本部設置	明	三
1879	〃 12	③東京府会開く(**府県会**の始め)　④琉球藩を廃し沖縄県を置く　⑦前アメリカ大統領グラント来朝 ⑧岩崎弥太郎ら，海上保険会社設立　⑨千住製絨所設立　⑩砲兵工廠を東京に置く　⑪愛国社第三回大会。国会開設請願書提出を決議　⑫山県ら諸参議立憲政体の意見書奉呈　○ボアソナードに民法起草を命ずる		条 実
1880	〃 13	①安田銀行開業　②横浜正金銀行開業　③会計検査院設置　④**集会条例制定**。愛国社，国会期成同盟会と改称。片岡健吉・河野広中ら請願　⑦刑法・治罪法制定　⑪官営工場払下概則を制定。東京市街馬車鉄道敷設許可 ○大隈の立憲政体意見書により政府部内に紛議	治	美
1881	〃 14	④農商務省設置。大日本農会設立 ⑦岩倉具視，憲法制定意見（大綱領）を上奏 ⑧北海道開拓使官有物払下げ事件起こる ⑩**明治 23 年に国会開設する旨の詔勅を発布** 大隈参議を免官，矢野文雄・犬養毅・尾崎行雄・島田三郎らも下野。自由党結成（総理板垣退助） ○松方正義，大蔵卿に就任。**紙幣整理**に着手 ⑪日本鉄道会社設立		





印―インド　欧―ヨーロッパ　英―イギリス　仏―フランス

西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1877	③ポンチ雑誌「団々珍聞」創刊　④東京大学設立　⑤佐野常民ら博愛社(のち日本赤十字社)創立　⑨田口卯吉「日本開化小史」　○中村正直訳「自由之理」　○服部徳訳「民約論」　○モース来朝大森貝塚発掘	李氏朝鮮	清	1. 印ビクトリア女王，インド皇帝宣言 4. 欧露土戦争（～78） 英トランスバール共和国併合
1878	①駒場農学校開設　③電信中央局開設。アーク灯初めてつく ⑧米人フェノロサ来朝 ○銀座通り煉瓦街完成 ○団十郎ら新富座で西南戦争劇上演 ◉「清原玉女像」(ラグーザ)			6. 欧ベルリン会議 —仏ファーブル「昆虫記」
1879	①東京学士会院設立。大阪朝日新聞創刊　⑥植木枝盛「民権自由論」 ⑨教育令制定 ⑩和仏法律学校（のち法政大学）創立。メソジスト派神学校（のち青山学院)，横浜に開校。文部省に音楽取調掛を置く			—米エジソン，電球発明 —諾イプセン「人形の家」
1880	①中外医事新報創刊　②「愛国志林」創刊　⑦京都府立画学校・専修学校（のち専修大学）創立 ⑪林広守「君が代」作曲，天長節に演奏　○コンドル設計の鹿鳴館着工　○新約聖書の邦訳成る			4. 英グラッドストン組閣 10. 英ブール戦争（～81） —仏ゾラ「ナナ」 —露ドストエフスキー「カラマーゾフの兄弟」
1881	①明治法律学校（のち明治大学）創立　②神仏教導職を置く　③西園寺公望，東洋自由新聞創刊　⑤小学校教則綱領決定　⑥川上冬崖死す(54) ◉「牙彫魚藍観音」(石川光明) ○加藤弘之，旧著の絶版を宣する			2. 中ロシアとイリ条約 3. 露アレクサンドル二世暗殺 —独ランケ「世界史」

明治前期の高官とその出身地
1871～1885年（明治4～18）



米—アメリカ　諾—ノルウェー　露—ロシア　中—中国　独—ドイツ

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	太政大臣
1882	明治15	①軍人勅諭頒布　②開拓使を止め函館・根室・札幌3県設置。伊藤博文ら憲法調査に渡欧　③**立憲改進党**結成（総理大隈重信）　**立憲帝政党**（総裁福地源一郎）　④板垣，岐阜で遭難。井上馨の条約改正交渉　⑥集会条例強化。**日本銀行条例**布告　⑦朝鮮に壬午の変　⑧朝鮮と済物浦条約　⑩日本銀行開業　⑪板垣退助・後藤象二郎外遊　⑫福島事件，河野広中ら捕われる		三
1883	〃 16	③高田事件　④新聞紙条例改正　⑥板垣ら帰朝　⑦岩倉具視死す(59)　大阪紡績会社創立　⑧伊藤博文帰朝　⑨立憲帝政党解散　⑪東京商工会創設　⑫徴兵令改正	明	条
1884	〃 17	③地租条例改正。制度取調局設置　⑤群馬事件。大阪商船会社創立　⑦華族令制定　⑨加波山事件　⑩自由党解散。名古屋事件。秩父事件　⑪飯田事件　⑫朝鮮に甲申の変。大隈重信，改進党脱党　○この年，不況甚し　○秀英舎に活版工組合結成		実 美
1885	〃 18	①朝鮮と京城条約　④小作慣行調査。清と天津条約締結　⑤府県制公布。九州改進党解体　⑨日本郵船会社設立。五代友厚死す　⑩東京ガス会社開業　⑪大阪事件，大井憲太郎ら捕われる　⑫太政官を廃し**内閣制度**実施。第一次伊藤博文内閣成立。内大臣・宮内省・宮中顧問官を設置	治	内閣
1886	〃 19	①不換紙幣兌換開始。北海道庁設置。6鎮台を6師団に改編　②各省官制々定　⑤**第一回条約改正会議**　⑦静岡事件　⑧条約改正準備に法律取調所開設　⑩ノルマントン号，紀州沖に沈没		伊 藤
1887	〃 20	①東京電灯会社始めて点灯　③所得税法公布　⑤鐘淵紡績会社創立　⑦条約改正無期限中止通告　井上馨外相辞職　⑪大同団結有志大懇親会を東京に開く　⑫**保安条例**公布。島津久光死す(71)		博 文 (1)

明治初期の官営事業

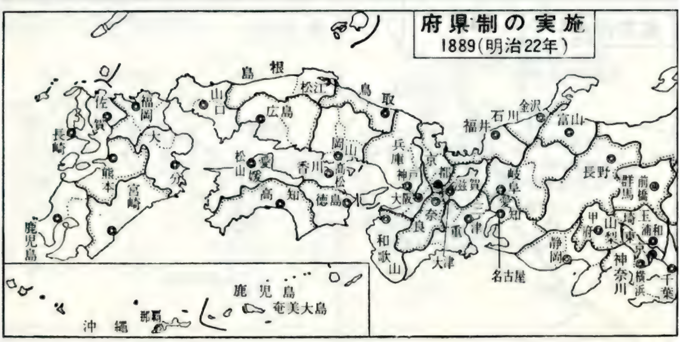


西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1882	③上野博物館開館 ⑤フェノロサ「美術真説」 ⑩東京専門学校（のち早稲田大学）創立。第一回内国絵画共進会 ○「幼学綱要」を頒布 ○外山正一ら「新体詩抄」 ○加藤弘之「人権新説」 ○中江兆民「民約訳解」	李氏朝鮮	清	5. 欧独墺伊三国同盟 6. 中李鴻章，朝鮮内乱処理に当たる 8. 中丁汝昌，大院君を天津に護送 —英ダーウィン死す
1883	①馬場辰猪「天賦人権論」 ③矢野竜渓「経国美談」 ⑦官報発行 ⑩医術開業試験規則・医師免許規則制定 ○鹿鳴館完成			—仏フランス，越南を保護国とする —仏モーパッサン「女の一生」
1884	②フェノロサ，鑑画会創立 ③東京一橋に東京高等商業学校（のち一橋大学）設立 ⑥鹿鳴館に西洋舞踏会。巌本善治「女学新誌」を発刊 ⑧神仏教導職廃止 ○有坂紹蔵，弥生式土器を発見			4. 独トーゴーランド占領。植民事業開始 6. 中清仏戦争(～85)
1885	②尾崎紅葉ら硯友社を結成。「我楽多文庫」創刊 ⑥坪内逍遙「小説神髄」「当世書生気質」刊 ⑪東海散士「佳人之奇遇」刊 ○英吉利法律学校(のち中央大)創立			7. 英ソールスベリ内閣成立 —独ベンツ自動車を製作 —印インド国民会議第一回総会
1886	③小学校令・帝国大学令公布 ④メートル条約加入 ⑥万国赤十字条約加入 ○言文一致運動起こる			1. 英ビルマ併合 8. 米A. F. L. 成立
1887	③西村茂樹「日本道徳論」 ⑥徳富蘇峯，「国民之友」を創刊 ⑦二葉亭四迷「浮雲」 ⑩東京音楽学校・美術学校設立			6. 欧独露再保障条約 10. 伊エチオピアに敗れる 仏インドシナ成立





西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	内閣
1888	明治21	④市制および町村制公布。**枢密院設置**　黒田清隆内閣成立　⑤枢密院で憲法制定会議開催　⑥高島炭坑事件　⑪最初の対等条約をメキシコと締結。大隈外相新条約案を各国に通告。鳥尾小弥太ら保守中正党を組織　⑫全国行政区画を3府43県とする　○「君が代」の制定を各国に通告	明治	黒田清隆
1889	〃 22	②**大日本帝国憲法**・皇室典範・議院法・衆議院議員選挙法・貴族院令公布。森有礼暗殺(42)　④条約改正案，ロンドンタイムズにのり世論沸騰　⑦東海道本線開通　⑨地租代米納廃止・地券廃止　⑩大隈外相襲われ負傷し，条約改正交渉中止　⑫第一次山県有朋内閣成立		
1890	〃 23	②金鵄勲章制定　④商法公布　⑤府県郡制公布　⑦第一回衆議院選挙　⑨立憲自由党結成　⑩元老院廃止，三宅雪嶺・片山潜ら社会問題研究会を組織　⑪**第一回帝国議会**　○この年，恐慌起こる　○民法典論争起こる		山県有朋(1)
1891	〃 24	①東京商業会議所設立　②三条実美死す(55)　③度量衡法公布。立憲自由党が自由党と改称　⑤第一次松方内閣成立。**大津事件**。青木周蔵外相辞職　⑩濃尾大地震　⑫品川弥二郎の選挙大干渉		松方正義(1)
1892	〃 25	④条約改正調査委員会設置　⑥鉄道敷設法の公布　品川弥二郎・西郷従道ら国民協会を組織　⑧第二次伊藤内閣成立　⑪大井憲太郎ら東洋自由党結成。民法・商法施行延期法公布。山田顕義死す(45)　⑫田中正造，議会で足尾銅山鉱毒問題を訴える		
1893	〃 26	②衆議院内閣弾劾上奏案を可決　③郡司成忠の千島探検出発　④集会・結社・出版・版権法公布　⑥福島安正中佐単騎でシベリアを横断して帰朝　⑦陸奥宗光の条約改正交渉開始。東北本線全通　⑨富岡製糸所を三井に払下げる　⑩東京・大阪米穀取引所開業　⑫三菱合資会社設立		伊藤博文(2)



独—ドイツ

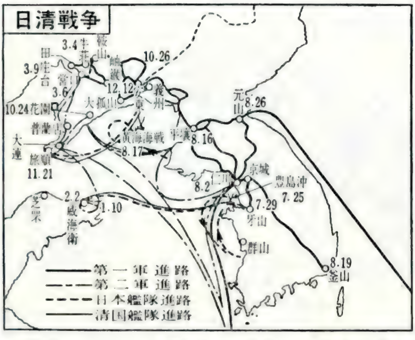
西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1888	⑥東京天文台設置 ④三宅雪嶺ら政教社を結成，雑誌「日本人」発行　⑦「めざまし新聞」「東京朝日新聞」と改称 ⑪狩野芳崖死す(61)　「悲母観音」 壮士芝居起こる。	李氏朝鮮	清	6. 独ウイルヘルム二世即位
1889	⑦坪内逍遙ら日本演芸協会結成 ⑪歌舞伎座落成 ○幸田露伴「風流仏」・山田美妙「胡蝶」・尾崎紅葉「二人比丘尼色懺悔」　○長岡半太郎，「磁気歪の研究」			―○第2インターナショナル結成 10. 米第一回汎米会議 ―仏エッフェル塔完成
1890	①新島襄死す(47) ②「国民新聞」発行　③東京女子高等師範学校創立　④日本法律学校(のち日大)創立　⑩教育勅語発布 ○北里柴三郎，破傷風血清療法発見 ○森鷗外「うたかたの記」			3. 独ビスマルク引退 ―独コッホ，ツベルクリンを発見 ―英マーシャル「経済原論」
1891	①元田永孚死す(73)　③川上音二郎，壮士劇初演。ニコライ堂開堂 ⑥中村正直死す(60)　⑪露伴「五重塔」　○下瀬雅充，下瀬火薬を発明			5. 露シベリア鉄道起工 8. 欧露仏協商
1892	②五姓田芳柳死す(66)　⑩北里柴三郎，伝染病研究所創立　⑪黒岩涙香，「万朝報」を創刊 ○ヘボン帰国（ローマ字） ○森鷗外「即興詩人」「美奈和集」			3. 仏アナキスト暴動 11. 仏クーベルタン，オリンピック復活提唱
1893	①河竹黙阿弥死す(78)　北村透谷ら「文学界」創刊　④碓氷峠にアプト式鉄道開通　○黒田清輝帰朝 ○落合直文，浅香社結成。和歌革新 ○正岡子規，俳句の革新 ◎「朝粧」(黒田清輝)			―米エジソン，活動写真を発明



米―アメリカ　仏―フランス　英―イギリス　露―ロシア　欧―ヨーロッパ

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	内閣
1894	明治27	①大阪天満紡績工場にストライキ発生　②神官の政治活動禁止　⑤朝鮮に東学党の乱 ⑦**日英改正通商航海条約調印**　豊島沖海戦 ⑧**日清戦争**宣戦布告。朝鮮と攻守同盟成る ⑨黄海海戦　⑩広島大本営における臨時議会で軍事費1億5000万円可決　⑪旅順占領	明治	伊藤博文(2)
1895	〃 28	②威海衛占領　③清の講和全権李鴻章狙撃される ③井上毅死す(52)　④**下関条約**調印　**三国干渉** ⑤遼東半島還付の詔　⑥台湾・澎湖島授受。台湾総督に樺山資紀就任　⑩朝鮮の閔妃殺害事件。三浦梧楼公使免職。北白川宮能久親王台湾に歿す(49)		
1896	〃 29	③**進歩党**結成　④棉花輸入税廃止。生糸検査法実施。民法・農工勧行銀行法公布　⑥日露協約なり朝鮮を共同保護下に置く　⑦日清通商航海条約調印　⑨第二次松方内閣成立(松隈内閣)　⑩航海奨励法実施　○この年，恐慌起こる		松方正義(2)
1897	〃 30	②八幡製鉄所設立　③足尾銅山被害民上京陳情 ⑦高野房太郎ら労働組合期成会を設立　⑧日本勧業銀行開業。後藤象二郎死す(60)　陸奥宗光死す(54)　⑩**金本位制の確立**		
1898	〃 31	①第三次伊藤内閣成立。元帥府設置　④韓国主権に関する日露新協約成立　⑥万国郵便条約調印　**憲政党**結成。保安条例廃止。**隈板内閣成立**　⑧尾崎文相辞職　⑩憲政党分裂し憲政党（旧自由党）・憲政本党（旧進歩党）なる　⑪第二次山県内閣成立　○幸徳秋水ら社会主義研究会を起こす		伊藤博文(3) 大隈重信(1)
1899	〃 32	①勝海舟死す(77)　関税定率法の実施。アイヌ人保護法の公布　②鉄道国有調査会設置　⑦**改正条約の実施**（治外法権撤廃）　⑨大木喬任死す(67) ⑩万国平和会議条約調印。普通選挙期成同盟会なる　普選運動始まる。高野房太郎ら消費組合として共栄社を経営		山県有朋(2)

日清戦争



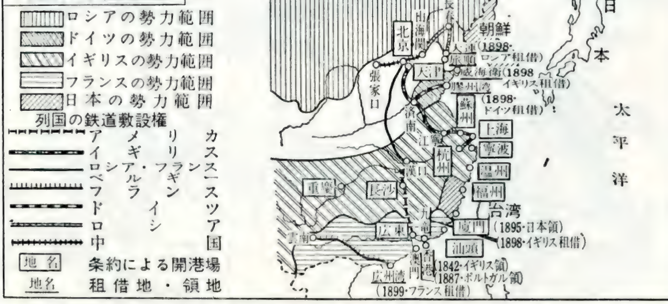
下関条約関係図



　鮮—朝鮮　仏—フランス　独—ドイツ　諾—ノルウェー　中—中国

西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1894	⑤北村透谷自殺(27)　⑦高橋由一死す(67・洋画家)　高等学校令公布　⑪仮名垣魯文死す(66)　坪内逍遙「桐一葉」　○堀井新次郎，謄写版発明　○二宮忠八，飛行機発明　○高山樗牛(ちょぎゅう)「滝口入道」			3. [鮮]金玉均，上海で暗殺される 10. [仏]ドレフュス事件
1895	①樋口一葉「たけくらべ」。雑誌「太陽」「帝国文学」創刊　④帝国大学文科大学に史料編纂掛を置く　⑨救世軍，東京神田に創立　○泉鏡花「夜行巡査」◉「竜虎図」(橋本雅邦)	李		—[独]海軍拡張すすむ —[諾]ナンセン北極探検 —[中]孫文，日本に亡命
1896	②末広鉄腸死す(49)　⑥黒田清輝ら白馬会設立　⑪樋口一葉死す(25)　○池野成一郎，イテフの精虫発見　○活動写真輸入される　◉日本銀行本店（辰野金吾設計）	氏	清	—[欧]第一回オリンピック大会（アテネ） 3. [伊]エチオピア戦争アドワの敗北 9. [中]露清密約
1897	①俳句雑誌「ホトトギス」創刊。西周死す(69)　⑥京都帝大創立　⑧島崎藤村「若菜集」　○尾崎紅葉「金色夜叉」　○志賀潔，赤痢菌発見	朝		4. [欧]希土戦争 6. [米]ハワイ併合 11. [中]独軍膠州湾占領 —[露]トルストイ「復活」
1898	⑦岡倉天心ら日本美術院を創立　②正岡子規「歌よみに与ふる書」　○徳富芦花「不如帰(ほととぎす)」　○高山樗牛，日本主義・国粋保存主義提唱　○東亜同文書院創立　○横山源之助「日本之下層社会」	鮮		4. [米]米西戦争 9. [英]ファショダ事件 —[中]列強要地を租借 9. [中]戊戌政変
1899	①雑誌「中央公論」創刊　②実業学校令高等女学校令公布　④土井晩翠「天地有情」　⑧私立学校令公布　○水沢緯度観測所設立　○泉鏡花「湯島詣」　○菊池幽芳「己が罪」　○原田直次郎死す(37・洋画家)			5. [中]義和団事件 10. [英]南阿戦争 9. [米]ジョン＝ヘイの中国門戸開放宣言

列強の中国圧迫



西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	内閣
1900	明治33	①耕地整理法実施　②社会主義研究会を社会主義協会に改組　②品川弥二郎死す(57)　③**治安警察法**公布　⑥義和団事件により出兵　⑧幸徳秋水「万朝報」に非戦論を発表　⑨伊藤博文，**政友会**結成　⑩第四次伊藤内閣成立　○この年恐慌	明治	山県有朋(2) 伊藤博文(4)
1901	〃 34	②八幡製鉄所操業開始　③奥村五百子ら愛国婦人会を結成　⑤安部磯雄ら社会民主党結成，即日禁止　⑥第一次桂内閣成立　⑫田中正造，足尾鉱毒事件で直訴。中江兆民死す(55)　星亨暗殺(52)		桂太郎(1)
1902	〃 35	①**日英同盟**締結　④日本興業銀行開業　⑦呉海軍工廠職工のストライキ。商業会議所法・漁業法の実施　⑫教科書疑獄事件		
1903	〃 36	④「万朝報」日露問題で反戦論を唱える　⑤海軍拡張案可決（六六艦隊）　⑥東京帝大七博士，対露強硬意見を提出　⑧対露同志会結成。ロシアに満韓問題協商提議。⑦西園寺公望，政友会総裁に就任　⑪幸徳ら平民社を設立，「平民新聞」創刊		
1904	〃 37	②**日露戦争**始まる　③旅順港口閉塞　⑥満洲軍総司令部設置，総司令官大山巌　⑨遼陽占領　⑩沙河会戦　⑫第三軍（乃木希典）203高地占領		
1905	〃 38	①旅順開城　③奉天会戦　⑤日本海々戦　⑥アメリカ大統領ルーズベルト日露に講和勧告。塩専売制実施　⑧日英同盟を攻守同盟に拡張　⑨**ポーツマス条約**調印。日比谷焼打ち事件　⑩平民社解散　⑪日韓協約調印　⑫伊藤博文，韓国統監に就任。満洲に関する日清条約に調印		
1906	〃 39	①第一次西園寺内閣成立。西川光二郎ら日本社会党を結成　③**鉄道国有法**公布　⑥南樺太受領　⑧関東都督府官制公布　⑩サンフランシスコで日本学童排斥起こる　⑪南満洲鉄道株式会社設立（総裁後藤新平）。韓国拓殖株式会社設立		西園寺公望(1)





㊥―中国

西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1900	②泉鏡花「高野聖」　③与謝野鉄幹ら新詩社結成。「明星」発行　⑤鉄道唱歌うたわれる　⑧三遊亭円朝死す(62)　○高峰譲吉アドレナリン創製　○徳冨芦花「自然と人生」	李氏朝鮮	清	6. [中]北清事変 —[独]プランク，作用量子仮説 —[露]パブロフ，条件反射の研究
1901	②福沢諭吉死す(68)　③国木田独歩「武蔵野」　④日本女子大創立　⑧与謝野晶子「みだれ髪」　○大森房吉，地震計を創案			2. [中]露清密約 —○ノーベル賞第一回授賞行なわれる
1902	⑧西村茂樹死す(75)　⑨正岡子規死す(36)　⑫高山樗牛死す(32)　○木村栄，緯度変化のZ項発見			1. [露]シベリア鉄道開通
1903	②五世尾上菊五郎死す(60)　④**小学校国定教科書令**公布　⑤藤村操華巌滝に投身(18)　⑨九世市川団十郎死す(66)　⑩尾崎紅葉死す(37)　○早慶野球戦始まる　○滝廉太郎死す(25)			11. [米]パナマより運河地帯永久租借 12. [米]ライト兄弟，飛行に成功 11. [露]奉天占領
1904	①木下尚江「火の柱」　⑨小泉八雲(ラフカジオ＝ハーン)死す(55) ⑫東京の三越本店開業			4. [欧]英仏協商
1905	④田口卯吉死す(51)　⑤平民社メーデー茶話会を行なう　⑨奥羽本線全通 ⑩夏目漱石「**吾輩は猫である**」　○浅井忠，関西美術院を創立　○上田敏「海潮音」 ○日本海々戦に無線電信を活用			3. [欧]第一次モロッコ事件 1. [露]血の日曜日 5. [露]第一次革命 8. [米]ハリマン，満鉄共管提議
1906	①坪内逍遙ら文芸協会設立。福地源一郎(桜痴)死す(66)　③島崎藤村「破戒」　④漱石「坊ちゃん」「草枕」 ○伊藤左千夫「野菊の墓」 ○戦艦薩摩進水。造艦技術の独立			2. [英]労働党成立 3. [欧]英独の建艦競争激化

鉄道の発達



西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	内閣
1907	明治40	②足尾銅山ストライキ。樺太庁設置　③日本社会党結社禁止　④改正刑法公布　⑤華族令改正　⑥**日仏協約・日露協約成立**　⑦韓国皇帝密使事件により皇帝譲位。日韓新協約成立 ○この年恐慌起こり，株式暴落	明治	西園寺公望(1)
1908	〃 41	②日米紳士協定により移民制限　⑤日米仲裁々判条約調印　⑥神田錦輝館で赤旗事件　⑦第二次桂内閣成立　⑩戊申詔書宣布。榎本武揚死す(73) ⑪日米協約（高平・ルート協約）		桂太郎(2)
1909	〃 42	④種痘法公布。日糖疑獄事件起こる　⑤新聞紙法公布　⑥韓国統監に曾祢荒助を任ずる　⑧近江美濃大地震　⑩伊藤博文，ハルピンで鮮人に暗殺される(69)　⑪三井合名会社設立		
1910	〃 43	①アメリカの満洲中立提議に不同意回答　③憲政本党解散。立憲国民党結成　⑥大逆事件。幸徳ら逮捕　⑦日露新協約　⑧**日韓併合条約**調印　⑨朝鮮総督府設置（総督　寺内正毅）　⑪帝国在郷軍人会発会。白瀬中尉ら南極探検に出発		
1911	〃 44	①幸徳伝次郎(41)ら刑死　②恩賜財団済生会設立。普選案衆議院通過　③工場法公布。関税法改正**（関税自主権確立）**　④修正日英通商航海条約調印　⑤特別高等警察設置　⑦日英同盟改訂。普選案貴族院で否決　⑧第二次西園寺内閣成立　⑩片山潜ら社会党を組織して禁止　⑫東京市電ストライキ ○小村寿太郎死す(57)		西園寺公望(2)
1912	〃 45 (大正 1)	①国際紛争平和的処理条約公布　③呉海軍工廠ストライキ　⑦鈴木文治ら友愛会創立。明治天皇崩ず(61)　嘉仁親王践祚　⑨陸軍大将乃木希典(64)・夫人静子(54)殉死。明治天皇を伏見桃山に葬る ⑪二個師団増設案否決により上原勇作陸相辞任 ⑫第三次桂内閣成立。**第一次護憲運動**始まる。憲政擁護聯合大会を開催	大正	桂(3)

近代の文化人

21　与謝野晶子(文)／(初)市川左団次(演)
22　下村観山(美)
19　与謝野鉄幹(文)／竹内栖鳳(美)／川端玉章(美)
20　岩野泡鳴(文)／加藤弘之(思)
16　大森房吉(地震)／岡倉覚三(美)
23　正宗白鳥(文)／岸田吟香(文)／薄田泣菫(文)／片山　潜(思)／津田真道(法)
31　久米邦武(史)／久米桂一郎(美)／辰野金吾(建)
32　長岡半太郎(理)／広津柳浪(文)
33　徳富蘇峰(思)／徳富蘆花(文)／北里柴三郎(医)／元田永孚(教)
34　若山牧水(文)
35　黒田清輝(美)／藤島武二(美)



30　海老名弾正(宗)／井上哲次郎(哲)／堺　利彦(思)／安部磯雄(思)／北原白秋(文)／青木　繁(美)
29　矢野竜渓(文)／福沢諭吉(思)
27　狩野芳崖(美)／橋本雅邦(美)／島地黙雷(宗)
28　正岡子規(文)／高浜虚子(文)
25　鈴木三重吉(文)／小山内薫(演)
26　森　鷗外(文)／島村抱月(演)／秦佐八郎(医)／西　周(思)
24　中江兆民(思)／植村枝盛(思)／幸徳秋水(思)／黒岩涙香(文)

欧—ヨーロッパ　米—アメリカ　土—トルコ　印—インド　仏—フランス

西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1907	①日刊「平民新聞」創刊　③義務教育6年となる　⑩文展開かれる　⑫浅井忠死す(53)　○鏡花「婦系図」　○田山花袋「蒲団」　○漱石「虞美人草」　◉「南風」(和田三造)	李氏朝鮮	清	8. [欧]英露仏三国協商 3. [米]日本人労働者閉出しの大統領令公布
1908	①橋本雅邦死す(74)　⑥国木田独歩死す(38)　川上眉山自殺(40)　⑩伊藤左千夫ら「アララギ」創刊　○池田菊苗「味の素」を発明	李氏朝鮮	清	7. [土]青年トルコ党の革命運動起こる
1909	①鷗外ら「スバル」創刊　⑤二葉亭四迷死す(48)　○永井荷風「ふらんす物語」　○自由劇場第一回公演	李氏朝鮮	清	12. [印]モーレ・ミントー改革を断行 —[仏]ジイド「狭き門」
1910	④武者小路実篤ら「白樺」創刊　⑤木下杢太郎ら「三田文学」創刊　○鈴木梅太郎，オリザニンを創製　○長塚節「土」　○石川啄木「一握の砂」　○谷崎潤一郎「刺青」	李氏朝鮮／日本領朝鮮	清	7. [英]南阿聯邦成立 —[独]フロイド「精神分析」 —[露]トルトスイ死す
1911	②南北朝正閏問題起こる　③帝国劇場開場。青木繁死す(30・洋画家)　⑤中央本線全通　⑨平塚雷鳥ら青鞜社を結成。菱田春草死す(38)　⑪川上音二郎死す(48)　○野口英世，黴毒スピロヘータ培養成功　○西田幾多郎「善の研究」	日本領朝鮮	清	7. [欧]第二次モロッコ事件 9. [欧]伊土戦争 [露]ストリピン暗殺 10. [中]辛亥革命 12. [諾]アムンゼン南極探検
1912	④石川啄木死す(28)「悲しき玩具」　⑨日本活動写真株式会社設立　⑩大杉栄ら「近代思想」発刊　○国際オリンピック初参加（金栗・三島両選手）　○藤村「千曲川のスケッチ」・漱石「彼岸過迄」　○岸田劉生らフューザン会を結成　○光風会（白馬会の後）結成	日本領朝鮮	中華民国	2. [中]清朝滅亡。中華民国成立 10. [欧]第一次バルカン戦争

11 九代目市川団十郎(演)　五代目尾上菊五郎(演)　二代目市川左団次(演)　河竹黙阿弥(演)　滝　廉太郎(音)　夏目漱石(文)　樋口一葉(文)　幸田露伴(文)　尾崎紅葉(文)　蒲原有明(文)　外山正一(文)　新島　襄(思)　田口卯吉(思)　石川光明(美)　浅井　忠(美)　高村光雲(美)　竹内久一(美)　岸田劉生(美)　植村正久(宗)　津田梅子(教)　中村正直(教)　菊地大麓(教)　大熊氏広(建)　内田銀蔵(史)

12 国木田独歩(文)　伊藤左千夫(文)

13 北村透谷(文)

14 宮原二郎(工)　豊田佐吉(工)　鈴木梅太郎(農)

15 高峰譲吉(化)　木村　栄(天)　徳田秋声(文)　泉　鏡花(文)

17 坪内逍遙(文)

18 二葉亭四迷(文)

1 陸　羯南(思)

2 田中館愛橘(理)　山田美妙(文)　石川啄木(文)　長沼守敬(美)

3 吉野作造(思)　落合直文(文)　土井晩翠(文)　志賀　潔(医)

4 高山樗牛(文)

5 井上円了(宗)

6 野口英世(医)

7 高橋由一(美)

8 長塚　節(文)

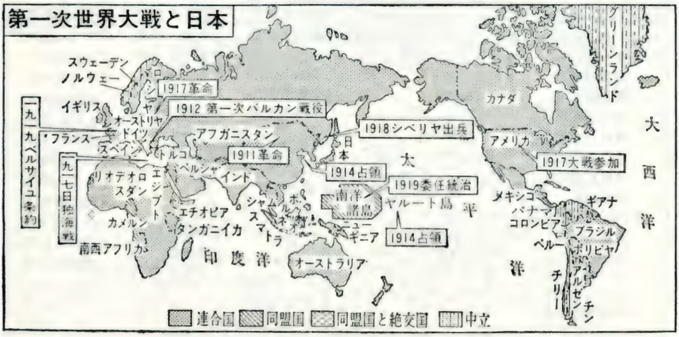
9 萩原朔太郎(文)　内村鑑三(宗)　田山花袋(文)

10 菱田春草(美)　荻原守衛(美)　島崎藤村(文)　木下尚江(文)

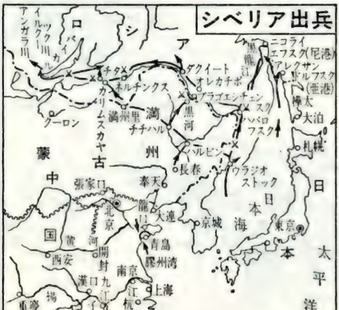


西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	内閣
1913	大正 2	①全国新聞記者，東京に護憲大会を開く　②議会停会。焼打ち事件発生。桂内閣倒れ第一次山本内閣成立。桂太郎立憲同志会を創設　⑤アメリカの排日土地法案に抗議　⑥軍部大臣現役制廃止　⑧文官任用令改正　⑩満蒙５鉄道敷設権獲得。中華民国を承認。桂太郎死す(68)　⑪徳川慶喜死す(77)　⑫立憲同志会，加藤高明たかあきを総理に結党	大正	桂(3) 山本権兵衛(1)
1914	〃 3	①桜島大噴火　海軍収賄シーメンス事件　②日比谷に国民大会を開く　④昭憲皇太后崩ず(65)　第二次大隈内閣成立　⑧**第一次世界大戦**に参加，ドイツに宣戦布告　⑨山東半島に上陸　⑩南洋諸島占領　⑪青島チンタオ占領 ○大戦勃発のため経済界混乱		大隈重信(2)
1915	〃 4	①**対華二十一か条要求**交渉開始。米価調節法公布　⑤最後通牒を発し日華新条約調印　⑦大浦事件で内閣改造　⑨井上馨死す(81)　⑩英仏露の単独不講和宣言に加入　○海運大好況で成金なりきん続出		
1916	〃 5	①大隈首相狙撃される　④経済調査会設置 ⑦日露新協約調印　⑨工場法施行令公布 ⑩寺内内閣成立。憲政会結成（総裁　加藤高明） ⑪裕仁ひろひと親王立太子　⑫大山巌死す(75)		寺内正毅
1917	〃 6	③室蘭製鉄所ストライキ　⑥三菱長崎造船所ストライキ。臨時外交調査委員会設置。日本海軍地中海で活躍　⑨**金輸出禁止**。輸出制限令・暴利取締令公布　⑪**石井・ランシング協定**。大国防計画（25師団八八艦隊)を発表　○対華西原借款行なわれる		
1918	〃 7	③戦時利得税法公布。市町村義務教育費国庫負担法公布　⑤日華軍事協定締結　⑧シベリア出兵。富山県下に米騒動起こり全国に波及　⑨政友会の原敬内閣成立（**本格的政党内閣**の最初）　⑪ドイツ降伏　⑫米英仏伊と中国に南北和平を勧告		原敬

第一次世界大戦と日本



西暦	文　化	中国	世界史
1913	②川端玉章死す(73・日本画)　⑦小林一三少女歌劇養成所設立。島村抱月，松井須磨子と芸術座創立。伊藤左千夫死す(50・歌人)　⑨岡倉天心死す(52)「茶の本」「東洋の理想」。中里介山「大菩薩峠」・鷗外「阿部一族」　○御木本幸吉の真珠質被着法成功	中華民国	7. [國]第二次バルカン戦争　[中]第二革命失敗，孫文亡命　10. [中]袁世凱，大総統に当選
1914	③芸術座で「復活」上演。東京駅竣工(設計辰野金吾)　⑨横山大観ら日本美術院を再興　⑩文展から分離して二科会創立　⑪北里研究所設立　○赤門派「新思想」刊　○猪苗代水力発電所竣工		7. [國]第一次世界大戦(～18)　8. [米]パナマ運河開通
1915	②寺田寅彦「地球物理学」　⑥漱石「道草」　⑧第一回全国中等野球大会　⑨芥川竜之介「羅生門」　○稲田竜吉，ワイル氏病病原体発見　◉「大原女」(土田麦僊)		4. [伊]三国同盟を脱退オーストリアに宣戦　—[中]袁世凱，皇帝宣言(翌年取消し)
1916	①吉野作造，中央公論に民本主義を説く　②芥川・菊池ら「新思潮」発刊(新現実派)　⑦上田敏死す(43)　⑧河上肇「貧乏物語」　⑫夏目漱石死す(50)◉「室君」(松岡映丘)		2. [國]ベルダンの戦い　10. [英]ロイド・ジョージ挙国一致内閣成立
1917	③理化学研究所設立　⑥沢田正二郎ら新国劇を始める　○本多光太郎，KS磁石鋼を発明　○海上ビル竣工　○浅草オペラ時代始まる　○萩原朔太郎「月に吠える」　○菊池寛「父帰る」		3. [露]三月革命　4. [米]対独宣戦　9. [中]孫文，広東政府樹立　11. [露]十一月革命
1918	⑦鈴木三重吉，子供の文学雑誌「赤い鳥」発刊　⑧吉野作造・大山郁夫ら黎明会を結成　⑪島村抱月死す(48)　大学令・高等学校令公布　⑫東大に「新人会」早大に「暁民会」結成　○菊池寛「忠直卿行状記」　○田辺元「科学概論」		11. [國]第一次大戦終わる　[独]十一月革命



シベリア出兵

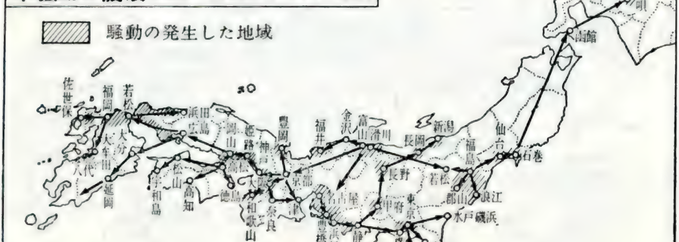


南洋委任統治区域

[米]—アメリカ　[伊]—イタリア　[英]—イギリス　[露]—ロシア　[独]—ドイツ

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	内閣
1919	大正 8	①西園寺公望・牧野伸顕ら講和全権委員任命　②普通選挙要求の大示威運動起こる　③南鮮に独立運動盛ん。万才事件発生　⑤中国の排日運動盛ん　⑥**ベルサイユ条約**調印　⑦板垣退助死す(83)　⑨シベリアから撤兵開始。友愛会，大日本労働総同盟友愛会と改称　⑪寺内正毅死す(68)　日本労働党結成　⑩第一回国際労働会議に政府代表参加	大正	原敬
1920	〃 9	①**国際連盟**に正式加入　②八幡製鉄所ストライキ　③尼港事件。戦後の大恐慌起こる　④沿海州守備のため出兵　⑤第一回メーデー。日英米仏四国の対華借款団に加入。戦艦陸奥進水　⑩第一回国勢調査（人口約 5,596 万人）　⑫南洋委任統治宣言発表。大杉栄ら社会主義者同盟を結成，即日解散		
1921	〃 10	①日華軍事協定廃棄　③皇太子外遊。奈良県に水平社創立　④足尾銅山ストライキ。山川菊栄ら赤瀾会を組織　⑦三菱，川崎造船所大ストライキ　⑨安田善次郎刺殺(84)　⑩友愛会が**日本労働総同盟**と改称。ワシントン会議全権加藤友三郎・徳川家達ら出発　⑪原敬東京駅頭で刺殺(66)　政友会高橋是清内閣成立。皇太子摂政となる　⑫**ワシントン会議**で日英米仏四国条約成立し，日英同盟を廃棄　○この年，小作争議頻発		高橋是清
1922	〃 11	①大隈重信死す(85)　②山県有朋死す(85)　ワシントン会議で軍縮条約・九か国条約調印　③山東撤兵条約調印。**全国水平社**京都に成立。未成年者禁酒法公布。過激社会運動取締法案否決　④杉山元治郎ら**日本農民組合結成**。健康保険法公布　⑤大日本青年団創立　⑥加藤友三郎内閣成立　⑦**日本共産党**，非合法政党として結成　⑨国民党解党　⑩シベリア撤兵完了　⑪革新倶楽部結成。山東還付協約成立　○全国に銀行の取付騒ぎ起こる		加藤友三郎

米騒動の波及 大正7(1918)年8月～12月



仏—フランス　露—ロシア

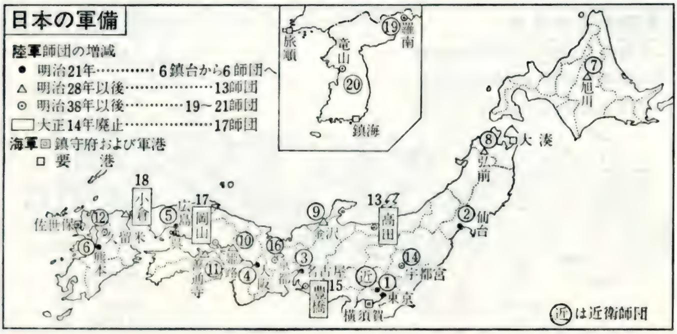
西暦	文化	中国	世界史
1919	①松井須磨子自殺(34) ②大原社会問題研究所設立 ③「日本労働者新聞」発刊。有島武郎「或る女」 ④雑誌「改造」創刊 ⑤雑誌「解放」創刊 ⑦小学校令・中学校令を改正 ⑨文展を廃し帝展開催 ○野口英世，黄熱病病原体を発見 ○津田左右吉「古事記及日本書紀の研究」	中華民国	1. 仏パリ平和会議 3. 露第三インターナショナル（コミンテルン）結成 8. 独ワイマール憲法 5. 中排日五四運動
1920	①森戸事件。「クロポトキンの社会思想の研究」で森戸辰男助教授起訴 ④平塚雷鳥ら新婦人協会を設立 ⑤岩野泡鳴死す(48)「耽溺」 ⑥高畠素之訳「資本論」刊行 ○賀川豊彦「死線を越えて」 ○高木貞治，アーベル体理論を完成 ○帝キネ，松竹キネマ創立		1. 欧国際連盟成立 8. 米婦人参政権承認 11. 米カリフォルニア州排日法通過
1921	①志賀直哉「暗夜行路」 ②大本教主，出口王仁三郎不敬罪で検挙 ④メートル法採用 ⑦航空研究所設立 ⑨東京芝に最初の労働学校を開く ⑩金子洋文・小牧近江ら雑誌「種蒔く人」創刊 ○倉田百三「愛と認識との出発」 ○美濃部達吉「日本憲法」・竹越与三郎「日本経済史」 ○倉敷労働科学研究所設立 ○デビスカップ庭球戦に初参加		3. 露新経済政策採用 — 独ナチス党結成 7. 中中国共産党結成 11. 米ワシントン会議
1922	①小杉未醒ら春陽会を結成。雑誌「前衛」創刊 ③平和博覧会を東京で開催 ④国語調査会，常用漢字2000字を発表 ⑦森鷗外死す(61) 高峰譲吉死す(69) ⑪アインシュタイン博士来朝 ○里見弴「多情仏心」・佐藤春夫「都会の憂鬱」 ○ライト設計の帝国ホテル竣工 ○「週刊朝日」「サンデー毎日」創刊 ○流行歌「籠の鳥」 ◉「天心先生」（横山大観）		10. 伊ムソリーニ，ローマ進軍。ファシスト政権樹立 12. 露ソビエト社会主義共和国連邦成立宣言

高等教育の充実



独—ドイツ　中—中国　欧—ヨーロッパ　米—アメリカ　伊—イタリア

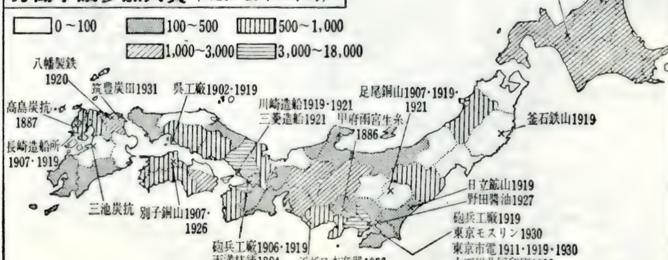
西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	内閣
1923	大正12	②普選即行国民大会開催　③普選案否決　④郡制廃止。石井・ランシング協定破棄。競馬法・恩給法・陪審法公布　⑤ソ連のヨッフェ後藤新平と会談。日ソ漁業条約調印　⑥第一次共産党大検挙　⑧加藤友三郎死す(63)　⑨**関東大震災**　第二次山本内閣成立　亀戸事件。甘粕事件，大杉栄暗殺(45)　帝都復興院設置（総裁　後藤新平）　⑪国民精神作興に関する詔書　⑫山川菊栄ら婦人参政権獲得同盟結成。虎の門事件	大正	加藤友三郎 / 山本権兵衛(2)
1924	〃 13	①清浦奎吾内閣成立。立憲政友会・憲政会・革新倶楽部で**第二次護憲運動**　②政友会分裂，床次竹二郎政友本党結成　④排日移民法アメリカ議会通過　⑥第一次加藤高明内閣（**護憲三派連立内閣**）成立　⑦松方正義死す(90)　小作調停法公布　⑧虎の門事件判決，難波大助死刑　⑩日本労働総同盟関東同盟会分裂		清浦奎吾 / 加藤高明(1)
1925	〃 14	①日ソ国交の回復，日ソ基本条約調印　②全国労働組合協議会成立。東京小石川の共同印刷争議　③陸軍四箇師団縮減。商工・農林両省設置　④田中義一大将，政友会総裁となる。**治安維持法**公布　⑤**普通選挙法**公布。総同盟第一次分裂。日本労働組合評議会成る　⑦青年訓練所設置　⑧第二次加藤内閣成立　⑫農民労働党結成，即日解散。京大学聯事件。日ソ北樺太石油利権協定成る		加藤高明(1) / 加藤高明(2)
1926	〃 15 (昭和 1)	①日本労働組合同盟成立。加藤高明死す(67)　若槻礼次郎内閣成立　③日本農民組合分裂し全日本農民組合同盟成立。労働農民党結成　④関税定率法の改正実施（保護貿易主義の強化）　⑦労働争議調停法公布　⑩長慶天皇を皇統に列する。正貨現送を再開　⑫日本農民組合分裂し，右派は日本農民党を結成。労働農民党分裂し，右派は社会民衆党を結成。大正天皇崩ず(48)　今上天皇践祚。改元	大正 / 今上	加藤高明(2) / 若槻礼次郎(1)



仏—フランス　独—ドイツ

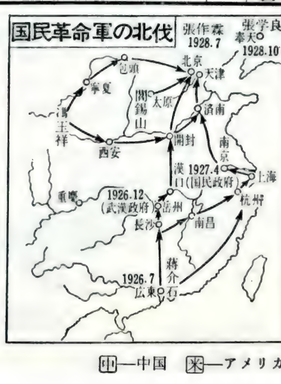
西暦	文化	中国	世界史
1923	①「文芸春秋」創刊　②丸ビル竣工　④「赤旗」創刊　⑥有島武郎自殺(46)　⑫東京帝大，本所柳島にセッツルメントを開く　○寺田寅彦「冬彦集」・横光利一「日輪」・山本有三「嬰児殺し」・宇野浩二「子を貸し屋」・長与善郎「青銅の基督」・井伏鱒二「山椒魚」・萩原朔太郎「青猫」　○日比谷音楽堂落成　◉「生々流転」(横山大観)	中華民国	1. [仏]ルール占領 6. [独]マルク暴落 10. [中]孫文，北伐を決定 [土]ケマル＝パシア大統領就任 11. [独]ミュンヘン暴動
1924	④日本フェビアン協会設立　⑥築地小劇場完成　⑦黒田清輝死す(59)　メートル法実施　⑩雑誌「文芸時代」創刊。横光利一・川端康成ら**新感覚派**文学を唱える　⑪東洋文庫創立　○東京三鷹天文台開設　○谷崎潤一郎「痴人の愛」		1. [露]レーニン死す [英]マクドナルド内閣成立 7. [欧]賠償ドーズ案決定 12. [中]孫文，北京に入る
1925	④軍事教育を中学校に実施　⑦東京放送局。**ラジオ放送開始**　⑩六大学野球リーグ結成　⑪地震研究所設置　⑫日本プロレタリア文芸聯盟結成　○鈴木梅太郎，理研酒を創製　○山田耕作，日本交響楽協会結成　○「キング」創刊　○細井和喜蔵「女工哀史」		1. [露]トロッキー失脚 3. [中]孫文死す 4. [独]ヒンデンブルグ大統領当選 5. [中]五・三〇事件 12. [欧]ロカルノ会議
1926	①京大学生事件　②第一回建国祭　③島木赤彦死す(51・歌人)　⑦全国に青年訓練所設置　⑧日本放送協会成立　⑩神宮野球場完成。東京に汎太平洋学術会議開催　⑫プロレタリア芸術聯盟結成　○明治神宮外苑絵画館・東京府美術館完成　○近衛秀麿，新交響楽団結成○葉山嘉樹「海に生くる人々」○川端康成「伊豆の踊子」○円本・円タク流行　◉「芳蕙」(藤島武二)○「荒磯」(平福百穂)		4. [欧]ソ独友好中立条約 7. [中]蔣介石，北伐開始 9. [独]国際連盟加入

おもな労働争議(名称と年)と労働争議参加人員（1925〜29年の平均）



西暦	年　号	政　治・経　済・社　会	天皇	内閣
1927	昭和 2	③金融恐慌起こる。全日本農民組合発会　④政友会の田中内閣成立。３週間のモラトリアム施行　⑤第一次山東出兵　⑥立憲民政党結成（総裁　浜口雄幸）東方会議を開く　⑦ジュネーブ軍縮会議（全権　斎藤実海軍大将）　⑧山東撤兵。軍縮会議決裂	今上	若槻(1)／田中義一
1928	〃 3	①日ソ漁業条約調印　②最初の普通選挙実施　③共産党大検挙（三・一五事件）　④労働農民党・無産者青年同盟・日本労働組合評議会を解散　⑤第二次山東出兵。済南事件　⑥張作霖爆死事件（満州某重大事件）治安維持法改正　⑦特別高等警察新設　⑧不戦条約調印　⑩陪審法実施　⑪即位の大礼を行なう　⑫日本大衆党結成		田中義一
1929	〃 4	③済南事件協定調印　④後藤新平死す(73)　共産党大検挙（四・一六事件）　⑤山東撤兵　⑥拓務省新設　⑦民政党浜口内閣成立　⑨田中義一死す(67)　犬養毅政友会総裁就任　⑪産業合理化運動起こる。金輸出解禁令公布　⑫清水トンネル開通　○世界恐慌起こり糸価暴落		田中義一／浜口雄幸
1930	〃 5	①金解禁　②第二回普通選挙。共産党検挙　③帝都復興祭　④ロンドン海軍軍縮条約調印。統帥権干犯問題起こる　⑥失業者増大　⑦全国大衆党結成　⑨米価大暴落。橋本欣五郎ら青年将校桜会結成　⑩第二回国勢調査施行。台湾霧社の蕃人蜂起　⑪浜口首相，東京駅頭で狙撃される　○この年，豊年飢饉で農村不況深刻化		浜口雄幸
1931	〃 6	①日本農民組合結成　③三月事件　④第二次若槻内閣成立，若槻民政党総裁となる　⑥全国労農大衆党・大日本生産党結成。官吏減俸　⑦朝鮮万宝山事件　⑧浜口雄幸死す(62)　⑨満州事変起こる　⑩十月事件　⑪渋沢栄一死す(92)　⑫政友会犬養内閣成立。金輸出再禁止　○井上日召の血盟団などファッショ団体多数設立		若槻礼次郎(2)／犬養毅

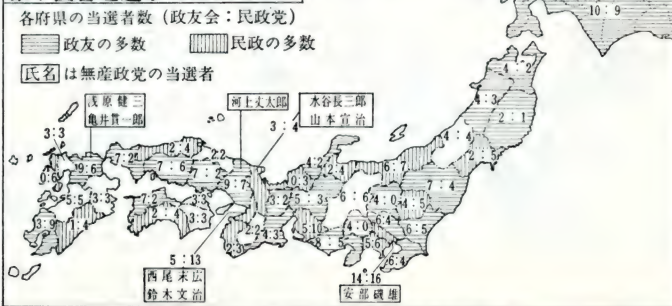




中—中国　米—アメリカ

西暦	文　　化	中国	世　界　史
1927	⑤景山(福田)英子死す(61)　⑦芥川竜之介自殺(36)　**岩波文庫**発刊　⑨徳富蘆花死す(60)　⑫東京上野・浅草間に地下鉄開通　○東西合体の日本角力協会成立　○藤森成吉「何が彼女をさうさせたか」　◉「築地明石町」(鏑木清方)	中華民国	4. [中]蔣介石クーデター，国民政府樹立 5. [米]リンドバーグ大西洋横断飛行成功 7. [欧]ジュネーブ軍縮会議
1928	③全日本無産者芸術聯盟（ナップ）結成　④東大新人会等に解散命令。京大河上肇教授辞職　⑤野口英世死す(53)　⑦第九回オリンピックに織田幹雄，日章旗を掲げる　⑨若山牧水死す(44)　⑫小山内薫死す(48)　○高柳健次郎テレビジョン発明◉「鶴と七面鳥」(小林古径)		4. [中]蔣介石第二次北伐 6. [中]張作霖北京退却 8. [欧]パリ不戦条約 10. [露]第一次五か年計画
1929	③沢田正二郎死す(38)　④島崎藤村「夜明け前」　⑤小林多喜二「蟹工船」　⑥徳永直「太陽のない街」　⑦日本航空輸送会社旅客の輸送開始　⑧ドイツ飛行船ツエッペリン号訪日　⑨川端竜子，青竜社創立「鳴門」　⑫岸田劉生死す(39)		6. [英]第二次マクドナルド労働党内閣成立 10. [米]ニューヨーク株式大暴落。世界経済大恐慌
1930	③内村鑑三死す(69)　⑤田山花袋(かたい)死す(60)　下村観山死す(58)　⑥「プロレタリア文学」発刊　⑧東京・大阪間に電送写真開始　⑩東京・神戸間超特急列車つばめ運転開始　⑫市川猿之助，春秋座結成　○独立美術協会創立 ○カフェー全盛。エロ・グロ・ナンセンス時代現出		3. [印]ガンジー不服従運動展開で投獄 5. [中]間島事件 1. [欧]ロンドン軍縮会議
1931	⑤大阪帝国大学創立　⑤河原崎長十郎ら前進座結成　⑥北里柴三郎死す(80) ⑩東京上野に科学博物館落成。日本プロレタリア文化連盟（コップ）結成 ○谷崎潤一郎「吉野葛」「盲目物語」 ○トーキー映画「マダムと女房」製作 ○流行唄「酒は涙か溜息か」		4. [西]スペイン革命。共和国宣言 6. [米]フーバー，モラトリアム宣言 11. [中]瑞金に共産政権樹立

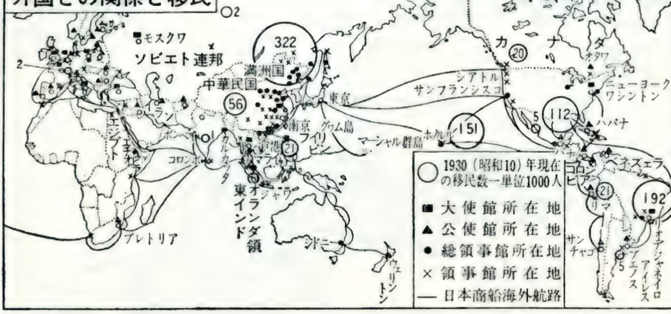
第1回普通選挙 1928年(昭和3)



[欧]—ヨーロッパ　[露]—ロシア　[英]—イギリス　[印]—インド　[西]—スペイン

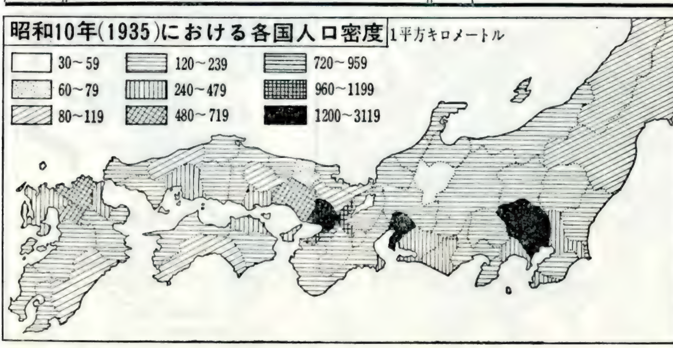
西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	内閣
1932	昭和 7	①桜田門事件。**上海事変起こる**　②前蔵相井上準之助暗殺(64)　国際連盟リットン調査団来日　③三井合名理事長団琢磨暗殺(75)　**満州国成立**　④社会民衆党分裂　⑤**五・一五事件**　犬養毅暗殺(78)　斎藤内閣成立（挙国一致内閣）　⑦社会大衆党結成　⑨日満議定書調印　⑩大東京市実施　⑪安達謙蔵ら国民同盟結成　○軍需工業好況	今上	犬養毅／斎藤実
1933	〃 8	①日華両軍山海関で衝突　③熱河占領。**国際連盟脱退**　三陸地方大津波　④イギリス，日印通商条約の廃棄通告　⑤塘沽停戦協定成立　⑥インド綿不買決議　⑦神兵隊事件　⑧関東地方に防空演習初行　⑩日本国家社会主義全国協議会結成　⑫山本権兵衛死す(82)		斎藤実
1934	〃 9	①日印新通商条約成立　②大鋼鉄トラスト日本製鉄会社設立　③満州国執政溥儀（宣統帝）皇帝となる　③武藤山治暗殺(48)　④帝国人絹疑獄事件　⑥文部省に思想局新設。日蘭会商　⑦岡田内閣成立　⑨室戸台風　⑤東郷平八郎死す(88)　⑪十一月事件　⑫**ワシントン軍縮条約廃棄**を通告		斎藤実／岡田啓介
1935	〃 10	①美濃部達吉の天皇機関説，貴族院で問題化す　③衆議院，国体明徴決議案を可決。北満鉄道譲渡交渉成立　⑦陸軍の皇道・統制両派の対立激化　⑧永田軍務局長刺殺される。政府，国体明徴声明　⑪全日本労働総同盟成立　⑫ロンドン軍縮会議に参加		岡田啓介
1936	〃 11	①ロンドン軍縮会議脱退　②**二・二六事件**　斎藤実(79)・高橋是清(83)暗殺　③広田内閣成立。寺内陸相自由主義排撃声明　⑤軍部大臣現役制を復活。中野正剛ら東方会を結成　⑥日蘭海運協定成立　⑩日ソ新漁業条約調印　⑪帝国議会新議事堂落成。**日独防共協定調印**　⑫エチオピア問題に関し日伊協定成立		岡田啓介／広田弘毅

外国との関係と移民

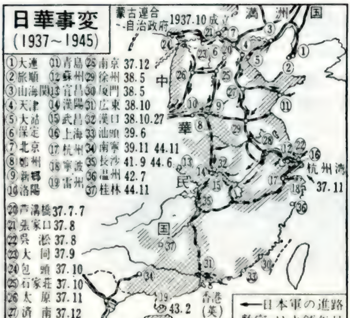


米—アメリカ　中—中国

西暦	文　化	中国	世界史
1932	⑤野呂栄太郎ら「日本資本主義発達史講座」 ⑧国民精神文化研究所開設 ⑨日本学術振興会設立 ⑦オリンピックロスアンゼルス大会に日本水上五種目優勝 ⑩大日本国防婦人会成立 ○大槻文彦「大言海」 ○山本有三「女の一生」 ○三島徳七，MK磁石鋼の発明	中華民国	1. [米]スチムソン宣言 3. [中]満州国建国宣言 7. [英]オタワ会議。関税ブロックの設定 [独]ナチス，第一党となる
1933	②小林多喜二死す(31) ④吉野作造死す(56) ⑤滝川事件，京大滝川幸辰教授，「刑法読本」で休職 ⑥東海道線丹那トンネル開通。佐野学・鍋山貞親・三田村四郎ら獄中転向 ⑪片山潜，ソ連で客死(75) ○尾崎士郎「人生劇場」 ○三原山自殺流行		1. [独]ヒトラー内閣 3. [米]ルーズベルト大統領就任 5. [露]第二次五か年計画 6. [米]ニューデール政策開始
1934	①堺利彦死す(64) ②中島久万吉商相，尊氏傾到論から辞職 ③左翼芸術団体の解散多し ⑨竹久夢二死す ⑩高村光雲死す(83) ○中谷宇吉郎，人工雪の研究 ○芥川賞・直木賞設定 ○横光利一「紋章」 ○法隆寺の大修理開始		3. [中]満州国帝政実施 8. [独]ヒトラー総統就任 9. [露]ソ連国連加入
1935	②坪内逍遙死す(77) ③美濃部達吉の「憲法撮要」発禁 ⑩青年学校開校 ⑪日本ペンクラブ成立（会長島崎藤村） ⑫寺田寅彦死す(58) 大本教検挙 ○湯川秀樹，中間子概念を導入 ○徳田秋声「勲章」・山本有三「真実一路」		3. [独]再軍備宣言 7. [露]コミンテルン，人民戦線方式を採用 8. [中]中共八一宣言，抗日統一戦線を提唱 11. [中]中共延安に移る
1936	①同盟通信社創立 ②三菱重工業で木炭自動車を製造 ⑧第十二回オリンピック東京に決定 ⑨ひとのみち教団検挙 ○理化学研究所に仁科芳雄らサイクロトロンを建設 ○新制作派協会・一水会創立 ○永井荷風「濹東綺譚」・堀辰雄「風たちぬ」・徳田秋声「縮図」・北条民雄「いのちの初夜」		5. [伊]エチオピア併合 [米]大海軍予算成立 7. [西]スペイン内乱起こる 8. [独]オリンピック大会ベルリンで開催 12. [中]西安事件



西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	内閣
1937	昭和12	②陸軍大将林銑十郎内閣成立（軍部主導）　③日印協商成立　④鈴木茂三郎ら日本無産党結成。選挙に反政府党絶対多数をとる　⑤企画院設置　⑥第一次近衛内閣成立　⑦**蘆溝橋事件**。**日華事変**始まる。通州事件　⑧第二次上海事変　⑩国民精神総動員中央連盟結成。全日本労働総同盟罷業絶滅を宣言　⑪**日独伊防共協定**調印。大本営設置　⑫南京入城。第一次人民戦線事件	今上	広田弘毅 林銑十郎 近衛文麿(1)
1938	〃 13	①国民政府を相手にせずと近衛声明。軍需工場動員法　②第二次人民戦線事件　③**国家総動員法**成立　④電力国家管理法公布　⑤メーデー禁止。重要産業統制法実施。ガソリン切符制　⑥綿製品の製造販売禁止　⑦張鼓峯事件，日ソ両軍衝突　⑧日ソ停戦協定成立　⑩広東・武漢占領　⑫東亜新秩序建設声明		
1939	〃 14	①平沼騏一郎内閣成立　②海南島占領。**産業報国運動**起こる　③賃銀統制令公布　⑤米穀配給統制法の実施。ノモンハン事件　⑦国民徴用令公布。日本労働総同盟分裂。日英会談開く。米国，日米通商条約廃棄を通告　⑧日英会談決裂。陸軍大将阿部信行内閣成立　⑨欧州戦不介入声明。日ソ停戦協定　⑩価格統制令の施行		平沼騏一郎 阿部信行
1940	〃 15	①海軍大将米内光政，内閣成立　③汪兆銘の南京政府成立　④生活必需品切符制採用　⑥近衛新党工作声明　⑦贅沢品禁止令。政友会両派解党。第二次近衛内閣成立　⑧民政党解党　⑨仏印進駐。**日独伊三国同盟**成立　⑩**大政翼賛会**発足　⑪大日本産業報国会成立。西園寺公望死す(92)		米内光政 近衛文麿(2)
1941	〃 16	①推薦制翼賛選挙法発表　②松岡洋右外相訪独　④**日ソ中立条約**成立　⑦第三次近衛内閣成立。米英加３国，日本資産を凍結。日仏印共同防衛協定成立　⑧日米会談開始。南仏印進駐　⑩ゾルゲ事件。東条内閣成立　⑫開戦，真珠湾攻撃		〃(3) 東条英機

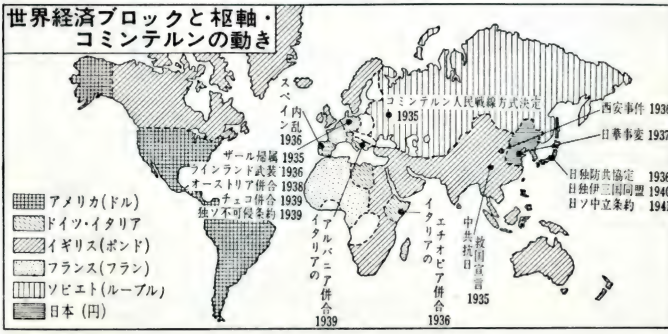




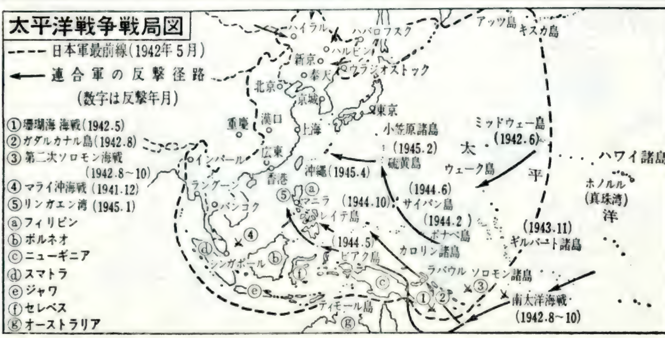
露—ロシア　中—中国　伊—イタリア

西暦	文化	中国	世界史
1937	②文化勲章制定　④文部省「国体の本義」を編纂配布　⑤朝日新聞社の訪欧飛行機神風(かみかぜ)ロンドン安着　⑥帝国芸術院創立　⑦仁科芳雄，中間子質量の測定　⑧日本式ローマ字採用を訓令　⑪瀬戸口藤吉「愛国行進曲」作曲　⑫東大矢内原忠雄教授，筆禍事件で退職　○横光利一「旅愁」・石坂洋次郎「若い人」		4. [露]第三次五か年計画 7. [中]中ソ不可侵条約 8. [中]国共合作宣言 11. [中]国民政府，重慶に移る 12. [伊]国連脱退
1938	④科学審議会創立　⑤航研機長距離飛行世界記録樹立　⑧東京オリンピック中止と決定。火野葦平「麦と兵隊」　⑨丹羽文雄らペン部隊として従軍　⑩東大河合栄治郎教授起訴　⑪日独文化協定調印　○小川正子「小島の春」・岡本かの子「老妓抄」　○東京帝室博物館落成	中華	3. [独]オーストリア併合 9. [欧]ミュンヘン会談 12. [中]汪兆銘，重慶脱出
1939	①東大経済学部粛正問題起こる。横綱双葉山69連勝。桜井錠二死す(82・化学者)　②国民精神発揚週間開始　③石川達三「生きてる兵隊」筆禍事件。日伊文化協定調印　④関門トンネル開通　⑥パーマネント廃止　⑧毎日新聞ニッポン号世界一周飛行　⑨泉鏡花死す(67)	民	3. [西]内乱終わり，フランコ政権独裁 [独]チェコ併合 5. [欧]独伊軍事同盟 9. [欧]第二次世界大戦 11. [露]フィンランドと開戦
1940	③津田左右吉の「神代史の研究」など筆禍事件　⑧救世軍を救世団と改め,英国本部と絶縁。キリスト教各派合同し純正日本キリスト教会結成　⑩ダンスホール閉鎖　⑪国民服の制定。皇紀二千六百年記念式典　○岡田三郎助死す(71)	国	5. [英]チャーチル内閣 ダンケルク総退却 6. [仏]ドイツに降伏 7. [露]バルト三国併合
1941	①大日本少年団発足　④国民学校令　③仏教各派十三宗二十七派に合同する　⑤大日本歌人会結成　⑫言論・出版・集会・結社等臨時取締法実施　○文部省「臣民の道」配布　○陸軍「戦陣訓」配布		6. [欧]独ソ開戦 8. [欧]大西洋憲章発表 11. ○ＡＢＣＤライン結成 12. ○太平洋戦争

世界経済ブロックと枢軸・コミンテルンの動き

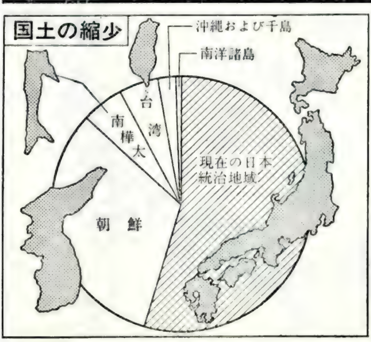


西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	内閣
1942	昭和17	①マニラ占領。大日本翼賛壮年団結成　②大日本婦人会創立。シンガポール占領　③蘭印降伏　④米機東京などに初空襲　⑤翼賛政治会発足。企業整備令施行　⑥ミッドウェー海戦　⑧米軍ガダルカナル島に上陸　⑪大東亜省設置	今上	東条英機
1943	〃 18	②ガダルカナル日本軍撤退　⑤アッツ島守備隊玉砕　⑥学生動員計画成る　⑦東京都制実施　⑨イタリア降伏に日独共同宣言　⑪大東亜会議　**大東亜宣言**。マキン・タラワ島守備隊全滅　⑫徴兵年齢を1年引下げ。学徒兵入営		
1944	〃 19	①防空法による疎開命令　③米軍マーシャル群島上陸。決戦非常措置要綱実施　⑤国民総蹶起運動始まる　⑦サイパン島陥落。小磯米内協力内閣成立　⑧一億総武装決議。学徒動員令施行　⑨ビルマ・雲南の日本軍全滅。17歳以上兵役編入　⑩米軍レイテ島上陸。比島沖海戦に神風特別攻撃隊出撃　⑪サイパンの米空軍日本本土爆撃を始める　⑫B29東京初空襲		小磯国昭
1945	〃 20	①米軍ルソン島上陸　③硫黄島の日本軍全滅　④米軍沖縄上陸。ソ連中立条約不延長通告。鈴木貫太郎内閣成立　⑦ソ連に和平斡旋要請　⑧広島に**原爆投下**。**ソ連参戦**。長崎に原爆投下。**ポツダム宣言受諾**。終戦の大詔。東久邇内閣成立　⑨降伏文書調印。日本管理方針発表。戦犯逮捕　⑩政治犯釈放。特別高等警察・治安維持法廃止。幣原(しではら)喜重郎内閣成立　⑪財閥解体指令。社会・自由・進歩各党結成　⑫改正選挙法公布		鈴木貫太郎 / 東久邇宮稔彦 / 幣原喜重郎
1946	〃 21	①天皇神格否定の詔書。軍国主義者公職追放　②金融緊急措置令公布(新円切換)　③**労働組合法施行**　④婦人参政権の初行使　⑤メーデー復活。極東軍事裁判開始。第一次吉田内閣成立　⑧総同盟・産別会議結成　⑨三井・三菱・安田財閥解散　⑩農地改革実施　⑪**日本国憲法公布**		吉田茂(1)



西暦	文化	中国	世界史
1942	⑤日本文学報国会創立。与謝野晶子死す(65)　⑥新聞を一県一紙に制限　⑦比叡山延暦寺横川中堂焼く　⑧学校行政簡素化実施要綱発表　⑪北原白秋死す(58)　文学報国会「愛国百人一首」選定		1. ○26か国対枢軸同盟条約成る 9. 欧スターリングラード戦
1943	①ジャズレコード禁止　③言論報国会発会。藤島武二死す(77)　⑧島崎藤村死す(72)　⑨学徒体育競技会一切廃止。鈴木梅太郎死す(70)　木村栄死す(74)　⑩日本育英会創設　○谷崎潤一郎「細雪」中止	中	2. 独スターリングラード独軍降伏 9. 伊無条件降伏 11. ○カイロ会談 12. 欧テヘラン会談
1944	①戦時僧侶勤労動員要綱決定　②学徒の軍事教育強化方策発表　③新聞夕刊廃止　⑦綜合雑誌「中央公論」「改造」廃刊。学童集団疎開実施要綱発表　⑨関門海底トンネル全線開通。映画報国団・大日本戦時宗教報国団結成　⑪新聞週14ページとなる　○このころ，竹槍訓練盛んに行なわれる	華 民	2. 欧ケベック会談 6. 欧米英軍ノルマンジー上陸 8. 欧連合軍パリ入城 —独東部戦線後退
1945	③熱田神宮空襲で炎上　⑥名古屋城空爆焼失。宮城炎上。○空襲により研究機能ほとんど停止。学校授業を一年停止　⑧戦時中の全教育令を廃止　⑨プレスコード指令　⑩二科会再建。「アカハタ」再刊　⑪芸能統制廃止。警察の事前検閲廃止。三宅雪嶺死す(86)　サイクロトロン破壊命令　⑫大学の男女共学決定。修身・日本歴史・地理の授業禁止	国	2. 欧ヤルタ会談 5. 欧独軍降伏 7. 欧ポツダム会談 8. 中中ソ同盟条約 ○第二次世界大戦終る 10. ○国際連合成立 11. 中内戦始まる
1946	①「中央公論」「改造」復刊，「世界」創刊　③文展を日展として開催。アメリカ教育使節団来日　⑨第一回芸術祭　⑩教育勅語奉読廃止。ＧＨＱ歴史教育再開許可　⑪当用漢字・新かなづかい制定　⑫文部省六・三・三制教育体制発表		1. ○国連総会，ロンドンで開催 3. 英チャーチル「鉄のカーテン」の反共演説 4. ○パリ平和会議

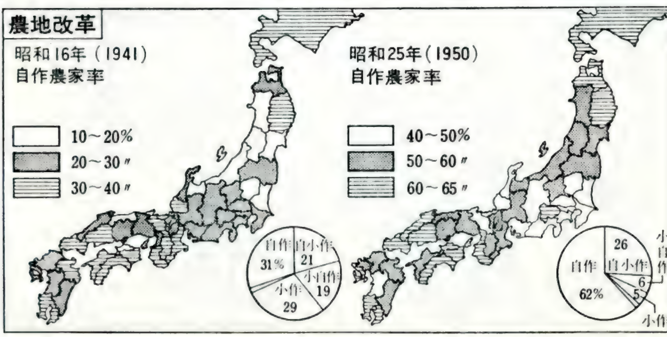
国土の縮少





欧—ヨーロッパ　独—ドイツ　伊—イタリア　中—中国　英—イギリス

西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	内閣
1947	昭和22	①全官公労組**二・ゼネスト**宣言。総司令部禁止　②ポーレ賠償三原則発表　③進歩党解散。日本民主党結成。全労連結成。**労働基準法**公布　④総選挙に社会党第一党　⑤日本国憲法実施。片山哲内閣成立　⑥第一回国会　⑦私的独占禁止法実施　⑧民間貿易再開　⑨労働省設置　⑫炭鉱国管案成立　○キャサリン台風で関東大水害	今上	吉田茂(1) 片山哲
1948	〃 23	①新民法実施。帝銀事件　②自治体警察発足　③芦田均内閣成立。民主自由党結成　④日経連創立　⑤海上保安庁設置　⑥日ソ貿易協定調印　⑨昭和電工事件起こる。第二次吉田内閣成立　⑪国家公務員法改正案成立。極東軍事裁判々決　⑫**経済安定九原則**実施。東条英機(65)ら刑死		芦田均 吉田茂(2)
1949	〃 24	①総選挙に共産党大量進出　②第三次吉田内閣成立　④団体等規正令実施。単一為替レート決定　⑤年齢を満年齢と改める。シャウプ使節団来朝　⑥平事件　⑦下山事件。三鷹事件　⑧松川事件。税制改革シャウプ勧告案発表　⑪若槻礼次郎死す(83)		吉田茂(3)
1950	〃 25	①日本共産党コミンフォルム批判承認　②金詰りで中小企業危機　③民自党，自由党と改称　④国民民主党結成　⑥共産党中央委員追放　⑧**警察予備隊**設置。全労連に解散命令。公務員レッドパージ行なわれる　⑩公職追放第一次解除。池田成彬死す　○**朝鮮戦争**始まる		
1951	〃 26	①ダレス特使来日　④国電，桜木町事件。マッカーサー解任。リッジウェー就任　⑥国際労働機構の日本復帰承認　⑦日本航空会社発足。財閥解体完了の発表　⑧第二次追放解除　⑨民間放送開始　サンフランシスコ対日講和会議（全権　吉田茂）**対日平和条約・日米安全保障条約調印**　⑩社会党左右両派に分裂		

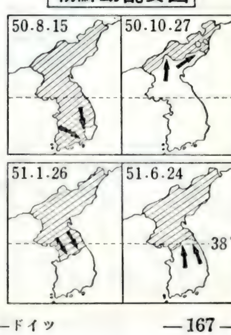


米—アメリカ　露—ロシア

西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1947	①学校給食始まる　②日本ペンクラブ再建　③**教育基本法・学校教育法公布**　④六三三四制実施　⑤レクリエーション運動起こる　⑦アメリカ学術顧問団訪日。幸田露伴死す(81)　⑨社会科授業発足　⑩教育漢字発表　⑫横光利一死す(50)		中華民国	6. 米マーシャルプラン発表 8. 印インド連邦・パキスタン独立 10. 露コミンフォルム結成
1948	①倉敷天文台の本田実，新彗星発見　②国会図書館法公布　③菊池寛死す(61)　④文部省国語研究所設置　⑥太宰治自殺　⑦教育委員会法公布。**日本学術会議法成立**。登呂遺跡の発掘	大韓民国 / 朝鮮民主主義人民共和国		1. 印ビルマ独立 8. 鮮大韓民国独立 9. 鮮人民共和国独立 12. ○世界人権宣言
1949	①日本学術会議第一回総会。法隆寺金堂炎上，壁画焼失　②安部磯雄死す(84)　松山城炎上　⑤ザビエル400年祭　⑦尾上菊五郎死す(65)　⑧全米水上に古橋優勝　⑪**湯川秀樹ノーベル賞受賞**		中華人民共和国	4. 欧北大西洋条約 10. 中中華人民共和国成立 独東独共和国成立 12. ○インドネシア共和国独立
1950	③中尊寺ミイラ調査　⑥「アカハタ」30日間発行停止　⑦金閣焼失　⑧文化財保護委員会発足　⑨「チャタレー夫人の恋人」訳者・発行者起訴　⑫長岡半太郎死す(86)　○獅子文六「自由学校」			2. 中中ソ同盟条約 6. 鮮朝鮮動乱始まる 9. 鮮国連軍朝鮮上陸 10. 中中共軍朝鮮出動
1951	①仁科芳雄死す(60)　③マチス展　⑤児童憲章制定　⑥ユネスコ加入。林芙美子死す(48)　⑧ピカソ展　⑨提琴家メニューヒン来朝。映画「羅生門」グランプリ受賞　⑪川端康成「千羽鶴」　⑫民間放送開始。白井義男フライ級世界選手権獲得　○大山郁夫スターリン賞受賞			3. ○イラン石油国有化宣言 7. 鮮休戦会談開始



朝鮮動乱要図



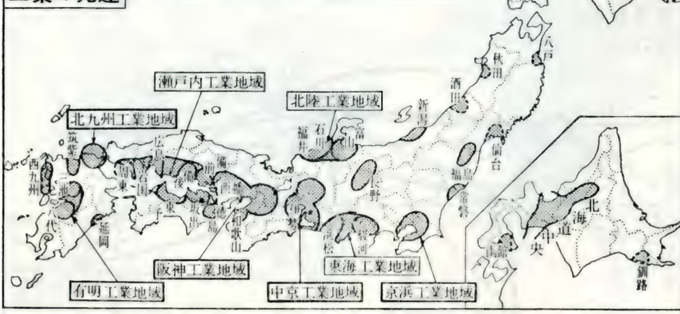
西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	内閣
1952	昭和27	①李承晩ライン発表　②改進党結成。日米行政協定成立　③輸出貿易管理権返還　④日米加漁業条約調印。日華平和条約調印。対日理事会・極東委員会消滅　⑤メーデー事件　⑥日中貿易協定。日印平和条約調印　⑦住民登録実施。破壊活動防止法成立　⑩第四次吉田内閣成立。保安隊創設　⑪明仁親王立太子	今上	吉田茂(3) 吉田茂(4)
1953	〃 28	③自由党分裂し分党派自由党結成。皇太子渡英。中共帰還第一船興安丸舞鶴入港　④日米通商航海条約調印　⑤第五次吉田内閣成立　⑦スト規制法成立。日米MSA会談　⑩日韓会談決裂。保全経済会休業　⑪分党派自由党解体　⑫在ソ同胞第一次帰還船興安丸舞鶴入港。奄美大島返還		吉田茂(5)
1954	〃 29	③日米MSA協定調印。ビキニ原爆実験第5福竜丸事件（死の灰問題）　⑤教育二法案・防衛秘密保持法案成立。近江絹糸争議　⑥自衛隊・防衛庁設置両法案成立。警察法案成立　⑨洞爺丸事件 ⑩尾崎行雄死す(94)　⑪ビルマと平和条約調印。日本民主党結成。第一次鳩山内閣成立		鳩山一郎(1)
1955	〃 30	②日本生産性本部発足　③第二次鳩山内閣成立 ④日中漁業協定調印　⑤日中貿易協定調印　⑥日ソ交渉開始　⑦徳田球一北京で死亡と日共発表 ⑧広島で原水爆禁止世界大会　⑨ガット加入発効 ⑩社会党統一。全国国勢調査（89,269,278人） ⑪日米原子力協定調印。保守合同で自由民主党結成。第三次鳩山内閣成立		鳩山一郎(2) 鳩山一郎(3)
1956	〃 31	①緒方竹虎死す(68)　③原子力産業会議発足　④原子力三法成立。新教育法案で衆議院紛糾　⑤日比賠償協定調印。憲法調査会法成立。売春防止法成立　⑦国防会議発足。三木武吉死す(72)。参院選挙で革新派が議席の1/3を突破　⑩砂川事件。日ソ共同宣言に調印，日ソ国交回復　⑫国連加盟決定。自民党総裁石橋湛山の内閣成立		石橋湛山



英—イギリス　欧—ヨーロッパ　埃—エジプト　米—アメリカ　ユゴ—ユーゴ

西暦	文化	朝鮮		中国		世界史
1952	③久米正雄死す(60)　⑤「アカハタ」復刊　⑦ヘルシンキ五輪大会レスリングに石井庄八優勝　⑨世界仏教徒会議開く　⑩土井晩翠死す(80)　⑫国立近代美術館開館。科研にサイクロトロン再建　○野間宏「真空地帯」	大韓民国	朝鮮民主主義人民共和国	中華民国	中華人民共和国	2. [英]エリザベス女王即位 5. [欧]欧州防衛共同体条約 7. [埃]クーデター成功 11. [米]アイゼンハウアー大統領当選
1953	②NHK，**テレビ放送開始**　⑤日仏文化協定調印　⑦坂東妻三郎死す(51)　⑧学校図書館法公布。民間初の日本テレビ放送開始　⑨東大で国際理論物理学会　○真知子巻流行。八頭身・洗脳などの語流行					1. [ユゴ]チトー大統領に当選 3. [露]スターリン死す 5. [英]エベレスト登頂 7. [鮮]朝鮮休戦協定 8. [露]水爆保有声明
1954	①平城宮址発掘　②本多光太郎死す(83)　③岸田国士死す(63)　④伊東忠太死す(87)　⑧京都小御所焼失　⑨中村吉右衛門死す(69)　⑪日米放射能会議　⑩フランスールーブル展開催					6. [中]周・ネール平和五原則声明 7. [仏]インドシナ休戦協定 10. [中]中ソ共同宣言
1955	①法隆寺修理完了落慶式　②無形文化財保持者指定　④東大の国産ロケット実験成功　⑤京大カラコルム探検　⑥セイロン日蝕観測参加　⑩辻善之助死す(79)　⑪大山郁夫死す(76)　⑫安井曾太郎死す(68)　⑫佐久間ダム完成					2. [露]ブルガーニン首相就任 4. [英]チャーチル引退イーデン首相に就任 ○アジア-アフリカ会議(バンドン)「談 7. ジュネーブ巨頭会
1956	①原子力委員会発足　④高村光太郎死す(74)　⑤マナスル登頂。梅蘭芳ら京劇代表団来日。科学技術庁発足　⑥原子力研究所発足。宮城道雄死す(62)　⑩新教育委員会発足　⑪南極観測船宗谷，東京港を出発　⑫谷崎潤一郎「鍵」					2. [露]スターリン批判 6. [埃]ナセル大統領に就任 7. [埃]スエズ国有化 10. [洪]ハンガリー暴動 [英]英仏軍，スエズ運河地帯に侵入

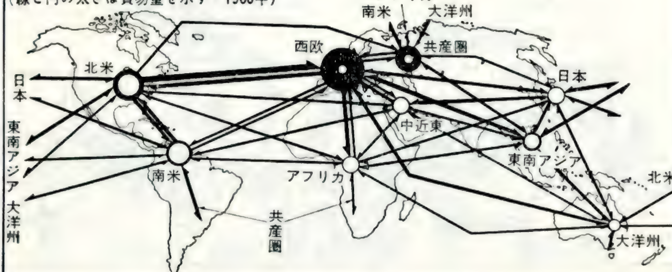
工業の発達



西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	内閣
1957	昭和32	②ポーランド・チェコと国交回復。第一次岸内閣成立 ③1千億減税を含む税法改正三法案成立 ⑤三悪追放声明 ⑥岸首相訪米 ⑧米国防総省日本駐留陸上部隊の撤兵開始発表。憲法調査会第一回総会開く，社会党不参加 ⑩国連安保非常任理事国に当選。ネール訪日 ⑪愛知用水工事着工		岸信介(1)
1958	〃 33	①日本インドネシア平和条約・賠償協定調印 ③第四次日中貿易協定 ⑤中共貿易取消しを通告。総選挙，自民287, 社会166, 共産1, 諸派1, 無所属12 ⑥第二次岸内閣成立 ⑦アラビア石油会社クェート政府と油田開発協定調印 ⑩安保改訂交渉開始 ⑪警職法審議未了 ⑫一万円札発行	今	岸信介(2)
1959	〃 34	①メートル法実施。岸自民党総裁再選 ③社会党訪中使節団出発，浅沼稲次郎「米帝国主義は日中共同の敵」と発言。鳩山一郎死す(77) ④皇太子，正田美智子と結婚 ⑤防衛二法案成立 ⑥芦田均死す(73) ⑨伊勢湾台風 死者1239 行方不明1173 ⑪社会党分裂，西尾派社会クラブ結成。安保反対のデモ隊国会構内に乱入 ⑫北朝鮮送還始まる		
1960	〃 35	①全学連羽田デモ事件。日米安保条約・行政協定調印。民主社会党結成（委員長西尾末広） 三井三池炭鉱争議始まる ②皇孫浩宮(ひろのみや)誕生 ⑤衆議院安保新条約を強行採決。安保反対斗争激化 ⑥米大統領の訪日中止。河上丈太郎刺傷 ⑦岸信介刺傷。第一次池田内閣成立 ⑩浅沼稲次郎刺殺「閣 ⑪総選挙自民296, 社会145, 民社17 ⑫第二次池田内	上	
1961	〃 36	②右翼少年嶋中中央公論社長邸を襲う ③河上丈太郎社会党委員長就任 ⑥防衛二法改正成立。農業基本法成立。ガリオア・エロア返済日米覚書に署名 ⑧ミコヤンソ連副首相来日 ⑨貿易・為替自由化促進計画を決定 ⑪日米貿易経済合同委員会開催。第二原水協発足 ⑫アメリカ，北方領土問題で日本支持声明。首相暗殺計画未遂(三無事件)		池田勇人(1)(2)

世界貿易における日本

(線と円の太さは貿易量を示す・1960年)

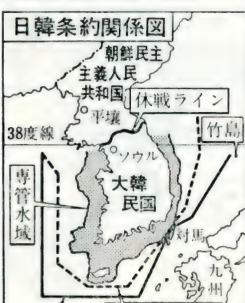


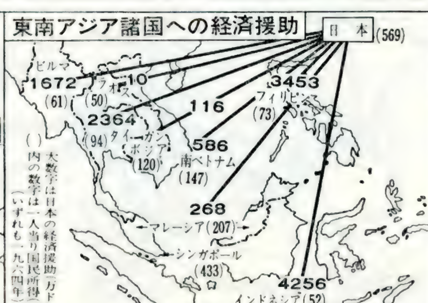
露—ロシア 米—アメリカ 埃—エジプト

西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1957	①牧野富太郎死す(96)　志賀潔死す(87)　南極観測隊昭和基地設定　④小林古径死す(75)　⑥川合玉堂死す(84)　⑧東海村に原子の火ともる　⑨国際ペンクラブ大会開催　⑪徳富蘇峯死す(95)。小河内ダム完成	大韓民国／朝鮮民主主義人民共和国	中華民国／中華人民共和国	3. ガーナ独立　7. [露]マレンコフ・モロトフ解任　8. ○マラヤ連邦独立　10. [露]人工衛星打上げに成功
1958	②横山大観死す(91)　③関門トンネル開通。文部省道徳教育実施要綱発表　⑤第三回アジア競技大会東京に開催　⑥原子力動力協定を米英と調印　⑫新笹子トンネル開通　東京タワー完成　○勤評反対斗争			1. [米]人工衛星打上げ　2. [埃]アラブ連合成立　3. [露]フルシチョフ首相就任　10. [仏]第五共和制発足
1959	①メートル法実施　③原子力燃料公社，わが国最初の金属ウラン完成　④永井荷風死す(81)　高浜虚子死す(86)　⑥松方コレクションを陳列する国立西洋美術館開館　⑦新送りがなのつけ方発表　⑩文部省初の教育白書発表　⑪東京で正倉院展			1. [仏]ドゴール大統領就任　3. [中]チベット暴動　4. [中]劉少奇新国家主席に決まる　8. [露]宇宙ロケット月に到着
1960	①火野葦平死す(54)　③日本科学技術振興財団発足　④賀川豊彦死す(73)　⑤中村勘三郎ら歌舞伎渡米　⑧ローマ五輪大会に参加，金4，銀7，銅7のメダル獲得　⑩東海村の原研第二号炉成る　⑪吉井勇死す(75)　⑫日英文化協定に調印			1. [露]太平洋へ長距離弾道ロケット発射　5. [鮮]李承晩亡命　6. ○コンゴ独立　11. [米]ケネディ大統領当選
1961	①日ソ民間文化協定調印。日本ブラジル文化協定調印　③国語審議会で表音反対派脱退　⑥市川猿之助ら歌舞伎訪ソ　⑦北陸トンネル貫通(13,869メートル)　⑫世界柔道選手権大会で日本選手敗退，オランダのヘーシング優勝			4. [露]人間衛星船成功　5. [鮮]軍部クーデター　7. [鮮]朴正熙，政権を把握　8. [独]東西ベルリン交通制限　12. [印]ゴアを回収

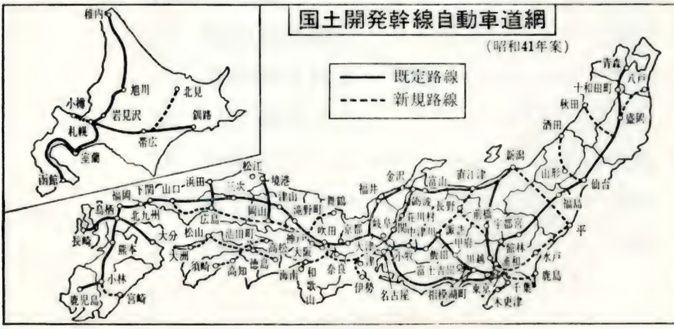


西暦	年号	政治・経済・社会	天皇	内閣
1962	昭和37	①ガリオア・エロア返済協定調印　②日タイ特別円問題の新協定調印。臨時行政調査会発足　⑦参議院選挙（自民69，社会37，民社4，同志会2，共産3，無所属12）　⑩貿易自由化88％となる　⑪社会党大会で江田ビジョン不採決　⑫朴議長対日請求権問題に原則的同意。日中民間貿易議定書調印	今上	池田勇人(2)
1963	〃 38	①裏日本一帯に豪雪　③ビルマ追加賠償協定調印　⑦経済協力開発機構（OECD）日本の加盟を承認　⑧部分核実験停止条約に調印。東京で世界連邦大会を開く　⑩北京で日本工業展を開く　⑪衆議院総選挙(自民283，社会144，民社23，共産5，無所属12)　⑫第三次池田内閣成立		
1964	〃 39	①日本共同証券発足　④国際通貨基金(IMF)八条国に移行。第一回生存者叙勲。OECD正式加盟　⑤日共，志賀義雄らを除名　⑥新潟大地震　⑦憲法調査会報告書なる　⑨常陸宮家創立　⑪池田首相病気退陣，佐藤栄作内閣成立。公政連解消し，公明党結成。米原子力潜水艦佐世保に入港		池田勇人(3) / 佐藤栄作
1965	〃 40	②衆院予算委で三矢研究を追及　③山陽特殊鋼倒産負債500億円で戦後最大　⑤佐々木更三社会党委員長となる。山一証券救済に日銀特別融資　⑥日韓基本条約調印　⑦参院選挙，自民140，社会73，公明20，民社7，共産4。河野一郎死す　⑧池田勇人死す。首相沖縄訪問　⑪日韓条約案件を強行採決		
1966	〃 41	②全日空機事故　死者133。日韓合同経済懇談会で協力強調を声明　③国土開発幹線自動車道建設法案まとまる　④東南ア開発閣僚会議を東京に開く		





西暦	文化	朝鮮	中国	世界史
1962	①歌会始をテレビ放送　②南極昭和基地一時閉鎖　③室生犀星死す　④市川海老蔵，十一世団十郎襲名　⑨吉川英治死す。原研の国産第一号原子炉点火　⑩正宗白鳥死す　⑪文部省，白書に教育寄与率を発表	大韓民国 / 朝鮮民主主義人民共和国	中華民国 / 中華人民共和国	2. [米]人間衛星船成功　3. [仏]アルジェリア停戦成る　10. [米]キューバ封鎖　12. [露]チトー・ユーゴ大統領モスクワ訪問
1963	③エジプト美術展　⑤久保田万太郎死す　⑩原研の動力試験炉，わが国初の原子力発電に成功　⑪国際電電茨城宇宙通信実験所開所　⑫米通信衛星による日米間テレビ中継に成功。南極観測再開決まる			1. [露][中]中ソ論争表面化する　8. [米][英][露]部分核実験停止条約調印　11. ケネディ大統領暗殺
1964	④ミロのビーナスを初の海外公開　⑤佐藤春夫死す　⑦鹿児島でラムダ３型１号ロケット打上げ成功　⑩東海道新幹線開業，オリンピック大会開催，金 16, 銀 5, 銅 8 のメダル獲得　⑪パラリンピック開催			1. [仏]中国を承認　5. ネール死す　10. [中]核実験実施　[露]フルシチョフ首相解任　11. [米]ジョンソン当選
1965	①花柳章太郎死す。三船久蔵死す。　④丹下健三，ロンドンで建築金メダル　⑤横浜に国立こどもの国開設　⑦谷崎潤一郎死す　⑧高見順死す　⑩朝永振一郎，ノーベル物理学賞を受ける　⑪市川団十郎死す			1. [英]チャーチル死す　2. [米]北ベトナムの爆撃を開始　8. シンガポール独立　12. ○ローマ法王・東方教会総主教と和す
1966	①早稲田大学紛争　②青少年育成国民会議発足			3. [米]ジェミニ８号ドッキングに成功



付　録

付録1.　時代順年号一覧 （末年は改元の年を含む。）

大化(たいか)	645–650	延喜(えんぎ)	901–923	康平(こうへい)	1058–1065	平治(へいじ)	1159–1160
白雉(はくち)(白鳳(はくほう))	650–654	延長(えんちょう)	923–931	治暦(じりゃく)	1065–1069	永暦(えいりゃく)	1160–1161
朱鳥(しゅちょう)(朱雀(すじゃく))	686	承平(じょうへい)	931–938	延久(えんきゅう)	1069–1074	応保(おうほう)	1161–1163
大宝(たいほう)	701–704	天慶(てんぎょう)	938–947	承保(しょうほう)	1074–1077	長寛(ちょうかん)	1163–1165
慶雲(けいうん)	704–708	天暦(てんりゃく)	947–957	承暦(しょうりゃく)	1077–1081	永万(えいまん)	1165–1166
和銅(わどう)	708–715	天徳(てんとく)	957–961	永保(えいほう)	1081–1084	仁安(にんなん)	1166–1169
霊亀(れいき)	715–717	応和(おうわ)	961–964	応徳(おうとく)	1084–1087	嘉応(かおう)	1169–1171
養老(ようろう)	717–724	康保(こうほう)	964–968	寛治(かんじ)	1087–1094	承安(しょうあん)	1171–1175
神亀(じんき)	724–729	安和(あんな)	968–970	嘉保(かほう)	1094–1096	安元(あんげん)	1175–1177
天平(てんぴょう)	729–749	天禄(てんろく)	970–973	永長(えいちょう)	1096–1097	治承(じしょう)	1177–1181 (83)
天平感宝(かんぽう)	749	天延(てんえん)	973–976	承徳(しょうとく)	1097–1099	養和(ようわ)	1181–1182
天平勝宝(しょうほう)	749–757	貞元(じょうげん)	976–978	康和(こうわ)	1099–1104	寿永(じゅえい)	1182–1185
天平宝字(ほうじ)	757–765	天元(てんげん)	978–983	長治(ちょうじ)	1104–1106	(元暦(げんりゃく)	1184–1185)
天平神護(じんご)	765–767	永観(えいかん)	983–985	嘉承(かしょう)	1106–1108	文治(ぶんじ)	1185–1190
神護景雲(じんごけいうん)	767–770	寛和(かんな)	985–987	天仁(てんにん)	1108–1110	建久(けんきゅう)	1190–1199
宝亀(ほうき)	770–781	永延(えいえん)	987–989	天永(てんえい)	1110–1113	正治(しょうじ)	1199–1201
天応(てんおう)	781–782	永祚(えいそ)	989–990	永久(えいきゅう)	1113–1118	建仁(けんにん)	1201–1204
延暦(えんりゃく)	782–806	正暦(しょうりゃく)	990–995	元永(げんえい)	1118–1120	元久(げんきゅう)	1204–1206
大同(だいどう)	806–810	長徳(ちょうとく)	995–999	保安(ほうあん)	1120–1124	建永(けんえい)	1206–1207
弘仁(こうにん)	810–824	長保(ちょうほう)	999–1004	天治(てんじ)	1124–1126	承元(じょうげん)	1207–1211
天長(てんちょう)	824–834	寛弘(かんこう)	1004–1012	大治(たいじ)	1126–1131	建暦(けんりゃく)	1211–1213
承和(じょうわ)	834–848	長和(ちょうわ)	1012–1017	天承(てんしょう)	1131–1132	建保(けんぽう)	1213–1219
嘉祥(かしょう)	848–851	寛仁(かんにん)	1017–1021	長承(ちょうしょう)	1132–1135	承久(じょうきゅう)	1219–1222
仁寿(にんじゅ)	851–854	治安(じあん)	1021–1024	保延(ほうえん)	1135–1141	貞応(じょうおう)	1222–1224
斉衡(さいこう)	854–857	万寿(まんじゅ)	1024–1028	永治(えいじ)	1141–1142	元仁(げんにん)	1224–1225
天安(てんなん)	857–859	長元(ちょうげん)	1028–1037	康治(こうじ)	1142–1144	嘉禄(かろく)	1225–1227
貞観(じょうがん)	859–877	長暦(ちょうりゃく)	1037–1040	天養(てんよう)	1144–1145	安貞(あんてい)	1227–1229
元慶(がんぎょう)	877–885	長久(ちょうきゅう)	1040–1044	久安(きゅうあん)	1145–1151	寛喜(かんぎ)	1229–1232
仁和(にんな)	885–889	寛徳(かんとく)	1044–1046	仁平(にんぺい)	1151–1154	貞永(じょうえい)	1232–1233
寛平(かんぴょう)	889–898	永承(えいしょう)	1046–1053	久寿(きゅうじゅ)	1154–1156	天福(てんぷく)	1233–1234
昌泰(しょうたい)	898–901	天喜(てんぎ)	1053–1058	保元(ほうげん)	1156–1159	文暦(ぶんりゃく)	1234–1235

嘉禎(かてい)	1235–1238
暦仁(りゃくにん)	1238–1239
延応(えんおう)	1239–1240
仁治(にんじ)	1240–1243
寛元(かんげん)	1243–1247
宝治(ほうじ)	1247–1249
建長(けんちょう)	1249–1256
康元(こうげん)	1256–1257
正嘉(しょうか)	1257–1259
正元(しょうげん)	1259–1260
文応(ぶんおう)	1260–1261
弘長(こうちょう)	1261–1264
文永(ぶんえい)	1264–1275
建治(けんじ)	1275–1278
弘安(こうあん)	1278–1288
正応(しょうおう)	1288–1293
永仁(えいにん)	1293–1299
正安(しょうあん)	1299–1302
乾元(けんげん)	1302–1303
嘉元(かげん)	1303–1306
徳治(とくじ)	1306–1308
延慶(えんぎょう)	1308–1311
応長(おうちょう)	1311–1312
正和(しょうわ)	1312–1317
文保(ぶんぽう)	1317–1319
元応(げんおう)	1319–1321
元亨(げんこう)	1321–1324
正中(しょうちゅう)	1324–1326
嘉暦(かりゃく)	1326–1329
元徳(げんとく)	1329–1331 (32)
元弘(げんこう)	1331–1334
(正慶(しょうきょう)	1332–1333)
建武(けんむ)	1334–1336 (38)
延元(えんげん)	1336–1340
興国(こうこく)	1340–1346
正平(しょうへい)	1346–1370
建徳(けんとく)	1370–1372
文中(ぶんちゅう)	1372–1375
天授(てんじゅ)	1375–1381
弘和(こうわ)	1381–1384
元中(げんちゅう)	1384–1392
(北朝)	
暦応(りゃくおう)	1338–1342
康永(こうえい)	1342–1345
貞和(じょうわ)	1345–1350
観応(かんおう)	1350–1352
文和(ぶんな)	1352–1356
延文(えんぶん)	1356–1361
康安(こうあん)	1361–1362
貞治(じょうじ)	1362–1368
応安(おうあん)	1368–1375
永和(えいわ)	1375–1379
康暦(こうりゃく)	1379–1381
永徳(えいとく)	1381–1384
至徳(しとく)	1384–1387
嘉慶(かけい)	1387–1389
康応(こうおう)	1389–1390
明徳(めいとく)	1390–1394
(1392 合一)	
応永(おうえい)	1394–1428
正長(しょうちょう)	1428–1429
永享(えいきょう)	1429–1441
嘉吉(かきつ)	1441–1444
文安(ぶんあん)	1444–1449
宝徳(ほうとく)	1449–1452
享徳(きょうとく)	1452–1455
康正(こうしょう)	1455–1457
長禄(ちょうろく)	1457–1460
寛正(かんしょう)	1460–1466
文正(ぶんしょう)	1466–1467
応仁(おうにん)	1467–1469
文明(ぶんめい)	1469–1487
長享(ちょうきょう)	1487–1489
延徳(えんとく)	1489–1492
明応(めいおう)	1492–1501
文亀(ぶんき)	1501–1504
永正(えいしょう)	1504–1521
大永(たいえい)	1521–1528
享禄(きょうろく)	1528–1532
天文(てんぶん)	1532–1555
弘治(こうじ)	1555–1558
永禄(えいろく)	1558–1570
元亀(げんき)	1570–1573
天正(てんしょう)	1573–1592
文禄(ぶんろく)	1592–1596
慶長(けいちょう)	1596–1615
元和(げんな)	1615–1624
寛永(かんえい)	1624–1644
正保(しょうほう)	1644–1648
慶安(けいあん)	1648–1652
承応(しょうおう)	1652–1655
明暦(めいれき)	1655–1658
万治(まんじ)	1658–1661
寛文(かんぶん)	1661–1673
延宝(えんぽう)	1673–1681
天和(てんな)	1681–1684
貞享(じょうきょう)	1684–1688
元禄(げんろく)	1688–1704
宝永(ほうえい)	1704–1711
正徳(しょうとく)	1711–1716
享保(きょうほう)	1716–1736
元文(げんぶん)	1736–1741
寛保(かんぽう)	1741–1744
延享(えんきょう)	1744–1748
寛延(かんえん)	1748–1751
宝暦(ほうれき)	1751–1764
明和(めいわ)	1764–1772
安永(あんえい)	1772–1781
天明(てんめい)	1781–1789
寛政(かんせい)	1789–1801
享和(きょうわ)	1801–1804
文化(ぶんか)	1804–1818
文政(ぶんせい)	1818–1830
天保(てんぽう)	1830–1844
弘化(こうか)	1844–1848
嘉永(かえい)	1848–1854
安政(あんせい)	1854–1860
万延(まんえん)	1860–1861
文久(ぶんきゅう)	1861–1864
元治(げんじ)	1864–1865
慶応(けいおう)	1865–1868
明治(めいじ)	1868–1912
大正(たいしょう)	1912–1926
昭和(しょうわ)	1926–

五十音順年号一覧 (•印は北朝)

安永	1772–1781
安元	1175–1177
安政	1854–1860
安貞	1227–1229
安和	968– 970
永延	987– 989
永観	983– 985
永久	1113–1118
永享	1429–1441
永正	1504–1521
永承	1046–1053
永祚	989– 990
永治	1141–1142
永長	1096–1097
永徳	1381–1384
永仁	1293–1299
永保	1081–1084
永万	1165–1166
永暦	1160–1161
永禄	1558–1570
永和•	1375–1379
延応	1239–1240
延喜	901– 923
延久	1069–1074
延享	1744–1748
延慶	1308–1311
延元	1336–1340
延長	923– 931
延徳	1489–1492
延文•	1356–1361
延宝	1673–1681
延暦	782– 806
応安•	1368–1375
応永	1394–1428
応長	1311–1312
応徳	1084–1087
応仁	1467–1469
応保	1161–1163
応和	961– 964
嘉永	1848–1854
嘉応	1169–1171
嘉吉	1441–1444
嘉慶•	1387–1389
嘉元	1303–1306
嘉承	1106–1108
嘉祥	848– 851
嘉禎	1235–1238
嘉保	1094–1096
嘉暦	1326–1329
嘉禄	1225–1227
寛永	1624–1644
寛延	1748–1751
寛喜	1229–1232
寛元	1243–1247
寛弘	1004–1012
寛正	1460–1466
寛政	1789–1801
寛治	1087–1094
寛徳	1044–1046
寛仁	1017–1021
寛文	1661–1673
寛平	889– 898
寛保	1741–1744
寛和	985– 987
観応•	1350–1351
久安	1145–1151
久寿	1154–1156
享徳	1452–1455
享保	1716–1736
享禄	1528–1532
享和	1801–1804
慶安	1648–1652
慶雲	704– 708
慶応	1865–1868
慶長	1596–1615
建永	1206–1207
建久	1190–1199
建治	1275–1278
建長	1249–1256
建徳	1370–1372
建仁	1201–1204
建保	1213–1219
建武	1334–1336
建暦	1211–1213
乾元	1302–1303
元永	1118–1120
元応	1319–1321
元亀	1570–1573
元久	1204–1206
元慶	877– 885
元亨	1321–1324
元弘	1331–1334
元治	1864–1865
元中	1384–1392
元徳	1329–1331
元仁	1224–1225
元文	1736–1741
元暦	1184–1185
元禄	1688–1704
元和	1615–1624
康安•	1361–1362
康永•	1342–1345
康応•	1389–1390
康元	1256–1257
康正	1455–1457
康治	1142–1144
康平	1058–1065
康保	964– 968
康暦•	1379–1381
康和	1099–1104
興国	1340–1346
弘安	1278–1288
弘化	1844–1848
弘治	1555–1558
弘長	1261–1264
弘仁	810– 824
弘和	1381–1384
斉衡	854– 857
至徳•	1384–1387
朱鳥	686–
寿永	1182–1185
正安	1299–1302
正応	1288–1293
正嘉	1257–1259
正慶•	1332–1333
正元	1259–1260
正治	1199–1201
正中	1324–1326
正長	1428–1429
正徳	1711–1716
正平	1346–1370
正保	1644–1648
正暦	990– 995
正和	1312–1317
昌泰	898– 901
承安	1171–1175
承応	1652–1655
承久	1219–1222
承元	1207–1211
承徳	1097–1099
承平	931– 938
承保	1074–1077
承暦	1077–1081
承和	834– 848
昭和	1926–
神亀	724– 729
神護景雲	767– 770
大永	1521–1528
大化	645– 650
大正	1912–1926
大治	1126–1131
大同	806– 810
大宝	701– 704
治安	1021–1024
治承	1177–1181
治暦	1065–1069
長久	1040–1044
長享	1487–1489
長寛	1163–1165
長元	1028–1037
長承	1132–1135
長治	1104–1106
長徳	995– 999
長保	999–1004
長暦	1037–1040
長禄	1457–1460
長和	1012–1017
貞永	1232–1233
貞観	859– 877
貞応	1222–1224
貞享	1684–1688
貞元	976– 978
貞治•	1362–1368
貞和•	1345–1350
天安	857– 859
天永	1110–1113
天延	973– 976
天応	781– 782
天喜	1053–1058
天慶	938– 947
天元	978– 983
天授	1375–1381
天正	1573–1592
天承	1131–1132
天治	1124–1126
天長	824– 834
天徳	957– 961
天仁	1108–1110
天平	729– 749
天平感宝	749
天平勝宝	749– 757
天平宝字	757– 765
天平神護	765– 767
天福	1233–1234
天保	1830–1844
天明	1781–1789
天文	1532–1555
天養	1144–1145
天暦	947– 957
天禄	970– 973
天和	1681–1684
徳治	1306–1308
仁安	1166–1169
仁寿	851– 854
仁治	1240–1243
仁和	885– 889
仁平	1151–1154
白雉	650– 654
文安	1444–1449
文永	1264–1275
文応	1260–1261
文亀	1501–1504
文久	1861–1864
文化	1804–1818
文正	1466–1467
文政	1818–1830
文治	1185–1190
文中	1372–1375
文保	1317–1319
文明	1469–1487
文暦	1234–1235
文禄	1592–1596
文和•	1352–1356
平治	1159–1160
保安	1120–1124
保延	1135–1141
保元	1156–1159
宝永	1704–1711
宝亀	770– 781
宝治	1247–1249
宝徳	1449–1452
宝暦	1751–1764
万延	1860–1861
万寿	1024–1028
万治	1658–1661
明応	1492–1501
明治	1868–1912
明徳•	1390–1394
明暦	1655–1658
明和	1764–1772
養老	717– 724
養和	1181–1182
暦応•	1338–1342
暦仁	1238–1239
霊亀	715– 717
和銅	708– 715

付録3.　歴代天皇（神武～推古は日本書紀による。○印は女帝　北は北朝）

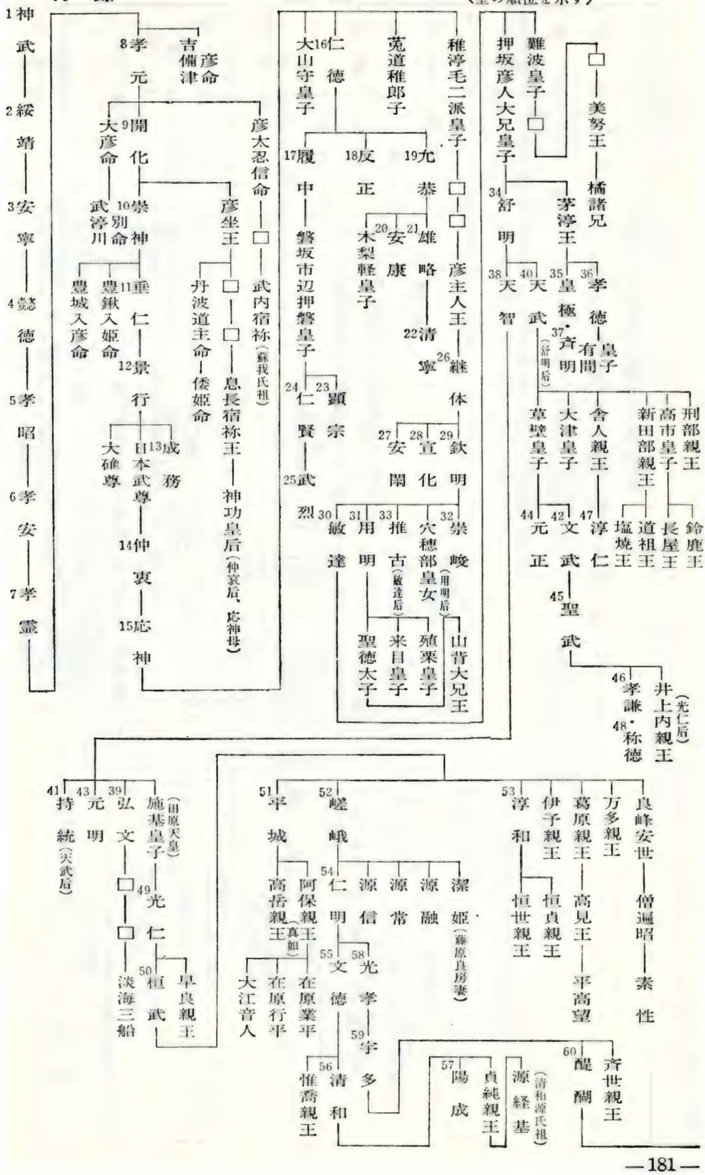
代	天皇名	尊称（諱）	在位
1	神武	神日本磐余彦尊	前660-585
2	綏靖	神渟名川耳尊	〃581-549
3	安寧	磯城津彦玉手看尊	〃549-511
4	懿徳	大日本彦耜友尊	〃510-477
5	孝昭	観松彦香殖稲尊	〃475-393
6	孝安	日本足彦国押人尊	〃392-291
7	孝霊	大日本根子彦太瓊尊	〃290-215
8	孝元	大日本根子彦国牽尊	〃214-158
9	開化	稚日本根子彦大日日尊	〃158-98
10	崇神	御間城入彦五十瓊殖尊	〃97-30
11	垂仁	活目入彦五十狭茅尊	〃29-後70
12	景行	大足彦忍代別尊	71-130
13	成務	稚足彦尊	131-190
14	仲哀	足仲彦尊	192-200
15	応神	誉田別尊	270-310
16	仁徳	大鷦鷯尊	313-399
17	履中	大兄去来穂別尊	400-405
18	反正	多遅比瑞歯別尊	406-410
19	允恭	雄朝津間稚子宿弥尊	412-453
20	安康	穴穂尊	453-456
21	雄略	大泊瀬幼武尊	456-479
22	清寧	白髪武広国押稚日本根子尊	480-484
23	顕宗	弘計尊	485-487
24	仁賢	億計尊	488-498
25	武烈	小泊瀬稚鷦鷯尊	498-506
26	継体	男大迹尊	507-531

代	天皇名	尊称（諱）	在位
27	安閑	勾大兄尊	531-535
28	宣化	檜隈高田尊	535-539
29	欽明	天国排開広庭尊	539-571
30	敏達	渟中倉太珠敷尊	572-585
31	用明	橘豊日尊	585-587
32	崇峻	長谷部若雀尊	587-592
33	○推古	豊御食炊屋姫	592-628
34	舒明	田村	629-641
35	○皇極	宝	642-645
36	孝徳	軽	645-654
37	○斉明	（皇極重祚）	655-661
38	天智	中大兄	661-671
39	弘文	大友	671-672
40	天武	大海人	673-686
41	○持統	讃良	686-697
42	文武	珂瑠	698-707
43	○元明	安閇	707-715
44	○元正	氷高	715-724
45	聖武	首	724-749
46	○孝謙	阿倍	749-758
47	淳仁	大炊	758-764
48	○称徳	（孝謙重祚）	764-770
49	光仁	白壁	770-781
50	桓武	山部	781-806
51	平城	安殿	806-809
52	嵯峨	神野	809-823
53	淳和	大伴	823-833
54	仁明	正良	833-850
55	文徳	道康	850-858
56	清和	惟仁	858-876
57	陽成	貞明	876-884
58	光孝	時康	884-887
59	宇多	定省	887-897
60	醍醐	敦仁	897-930
61	朱雀	寛明	930-946

代	天皇名	諱	在位
62	村上(むらかみ)	成明	946–967
63	冷泉(れいぜい)	憲平	967–969
64	円融(えんゆう)	守平	969–984
65	花山(かざん)	師貞	984–986
66	一条(いちじょう)	懐仁	986–1011
67	三条(さんじょう)	居貞	1011–1016
68	後一条(ごいちじょう)	敦成	1016–1036
69	後朱雀(ごすざく)	敦良	1036–1045
70	後冷泉(ごれいぜい)	親仁	1045–1068
71	後三条(ごさんじょう)	尊仁	1068–1072
72	白河(しらかわ)	貞仁	1072–1086
73	堀河(ほりかわ)	善仁	1086–1107
74	鳥羽(とば)	宗仁	1107–1123
75	崇徳(すとく)	顕仁	1123–1141
76	近衛(このえ)	体仁	1141–1155
77	後白河(ごしらかわ)	雅仁	1155–1158
78	二条(にじょう)	守仁	1158–1165
79	六条(ろくじょう)	順仁	1165–1168
80	高倉(たかくら)	憲仁	1168–1180
81	安徳(あんとく)	言仁	1180–1185
82	後鳥羽(ごとば)	尊成	1183–1198
83	土御門(つちみかど)	為仁	1198–1210
84	順徳(じゅんとく)	守成	1210–1221
85	仲恭(ちゅうきょう)	懐成	1221
86	後堀河(ごほりかわ)	茂仁	1221–1232
87	四条(しじょう)	秀仁	1232–1242
88	後嵯峨(ごさが)	邦仁	1242–1246
89	後深草(ごふかくさ)	久仁	1246–1259
90	亀山(かめやま)	恒仁	1259–1274
91	後宇多(ごうだ)	世仁	1274–1287
92	伏見(ふしみ)	熙仁	1287–1298
93	後伏見(ごふしみ)	胤仁	1298–1301
94	後二条(ごにじょう)	邦治	1301–1308
95	花園(はなぞの)	富仁	1308–1318
96	後醍醐(ごだいご)	尊治	1318–1339

代	天皇名	諱	在位
北	光厳(こうごん)	量仁	1331–1333
北	光明(こうみょう)	豊仁	1336–1348
97	後村上(ごむらかみ)	義良	1339–1368
北	崇光(すこう)	興仁	1348–1351
北	後光厳(ごこうごん)	弥仁	1352–1371
98	長慶(ちょうけい)	寛成	1368–1383
北	後円融(ごえんゆう)	緒仁	1371–1382
99	後亀山(ごかめやま)	熙成	1383–1392
100	後小松(ごこまつ)	幹仁	1392–1412 (82)
101	称光(しょうこう)	実仁	1412–1428
102	後花園(ごはなぞの)	彦仁	1428–1464
103	後土御門(ごつちみかど)	成仁	1464–1500
104	後柏原(ごかしわばら)	勝仁	1500–1526
105	後奈良(ごなら)	知仁	1526–1557
106	正親町(おおぎまち)	方仁	1557–1586
107	後陽成(ごようぜい)	和仁	1586–1611
108	後水尾(ごみずのお)	政仁	1611–1629
109	◦明正(めいしょう)	興子	1629–1643
110	後光明(ごこうみょう)	紹仁	1643–1654
111	後西(ごさい)	良仁	1654–1663
112	霊元(れいげん)	識仁	1663–1687
113	東山(ひがしやま)	朝仁	1687–1709
114	中御門(なかみかど)	慶仁	1709–1735
115	桜町(さくらまち)	昭仁	1735–1747
116	桃園(ももぞの)	遐仁	1747–1762
117	◦後桜町(ごさくらまち)	智子	1762–1770
118	後桃園(ごももぞの)	英仁	1770–1779
119	光格(こうかく)	兼仁	1779–1817
120	仁孝(にんこう)	恵仁	1817–1846
121	孝明(こうめい)	統仁	1846–1866
122	明治(めいじ)	睦仁	1867–1912
123	大正(たいしょう)	嘉仁	1912–1926
124	今上(きんじょう)	裕仁	1926–

付録 4.　皇室系図（○印は北朝の天皇の順位を示す）



94 後二条
尊円法親王
96 後醍醐
95 花園
93 後伏見
① 光厳院
② 光明院
③ 崇光院―栄仁親王―貞成親王
④ 後光厳院
⑤ 後円融院（伏見宮）
100 後小松（後崇光院）
101 称光
102 後花園
103 後土御門
104 後柏原
105 後奈良
106 正親町―誠仁親王（陽光院）
懐良親王
宗良親王
護良親王
97 後村上
成良親王
恒良親王
世良親王
尊良親王
98 長慶
99 後亀山―良泰親王（小倉宮）
107 後陽成
智仁親王（桂宮）
108 後水尾
近衛信尋
好仁親王（高松宮）

76 近衛
77 後白河
75 崇徳―重仁親王
78 二条―79 六条
以仁王
80 高倉
式子内親王
81 安徳
守貞親王（後高倉院）―86 後堀河
82 後鳥羽
83 土御門
84 順徳―85 仲恭
87 四条
88 後嵯峨
90 亀山―91 後宇多
89 後深草
92 伏見
宗尊親王（鎌倉将軍）―惟康親王（鎌倉将軍）
久明親王（鎌倉将軍）
守邦親王（鎌倉将軍）

源高明
兼明親王
62 村上
61 朱雀
63 冷泉
64 円融
具平親王―源師房（村上源氏祖）
65 花山
67 三条
66 一条
68 後一条
69 後朱雀
禎子内親王（後三条母）
敦康親王（小一条院）
70 後冷泉
71 後三条
72 白河―73 堀河
実仁親王
輔仁親王
74 鳥羽
媞子内親王（郁芳門院）

徳仁親王
123 大正
124 今上（裕仁）
雍仁親王（秩父宮）
宣仁親王（高松宮）
崇仁親王（三笠宮）
正仁親王
明仁親王

120 仁孝
121 孝明
親子内親王（将軍家茂夫人 和宮、静寛院）
122 明治

109 明正
110 後光明
111 後西―幸仁親王（有栖川宮）
112 霊元
113 東山
114 中御門
115 桜町
116 桃園
117 後桜町
118 後桃園
直仁親王（閑院宮）―典仁親王―119 光格

付録5. 諸氏系図

中臣氏

- 天児屋根命……賀麻—黒田—常磐—可多能古
  - 国子—国足—意美麿
    - 東人
    - 清麿（大中臣）
      - 諸魚（卜部氏）
      - 今麻呂
  - 御食子—鎌足（藤原氏）

蘇我氏

- 孝元天皇—○—○
  - 甘美内宿祢
  - 武内宿祢
    - （葛城）襲津彦
      - 磐之媛（反正、允恭母　仁徳后、履中、）
      - ○—円—韓姫（清寧母　雄略妃）
    - （紀）角……小弓—大磐
    - （平群）木菟—真鳥—鮪
    - （蘇我）石川—満智—韓子—高麗—稲目
      - 石寸名（用明嬪）
      - 小姉君（崇峻母　欽明妃）
      - 堅塩媛（推古母　欽明妃用明）
      - 境部摩理勢
      - 馬子
        - 倉麿
          - 連子—安麿—石足
          - 赤兄
            - 大蕤娘（天武夫人）
            - 常陸娘（天智嬪）
          - 倉山田石川麿
            - 遠智娘（持統母　天智嬪）
            - 姪娘（元明母　天智嬪）
            - 乳娘（孝徳妃）
        - 法提郎媛（夫人　欽明）
        - 女子（山背大兄母　聖徳妃）
        - 蝦夷—入鹿
    - （巨勢）雄柄—○—河上臣—○—徳陀古

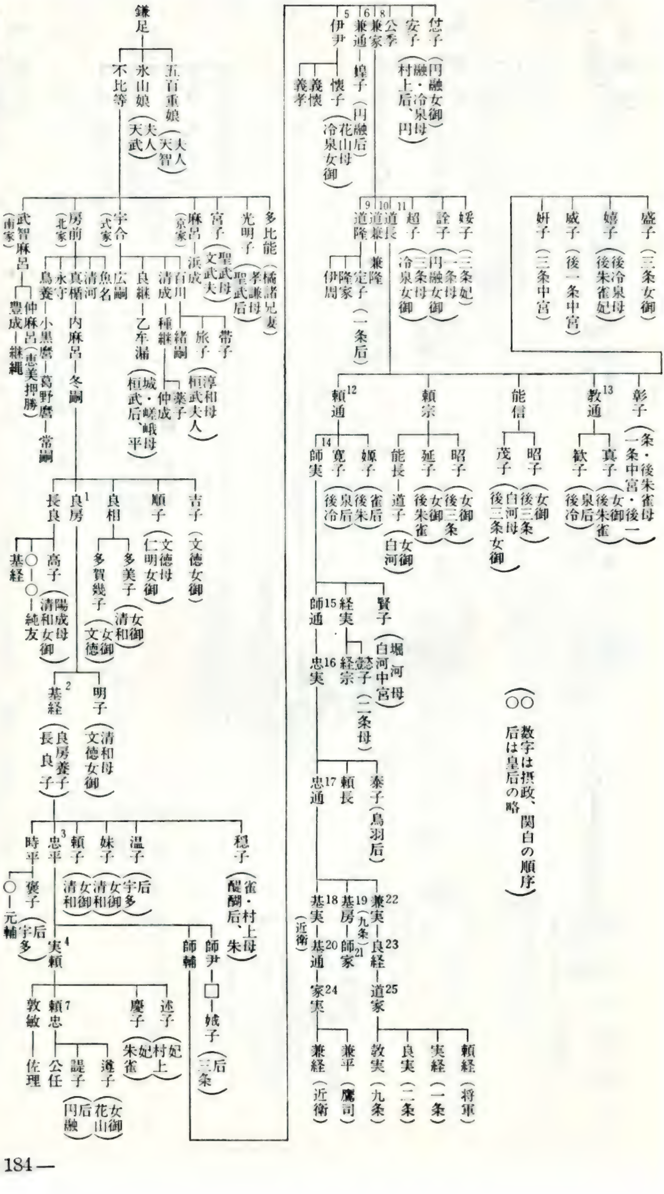
物部氏

- 饒速日命—可美真手命……十市根命（賜物部姓）—○—○—伊莒弗
  - 布都久留—○—○—麁鹿火
  - 目—荒山—尾輿—守屋

大伴氏

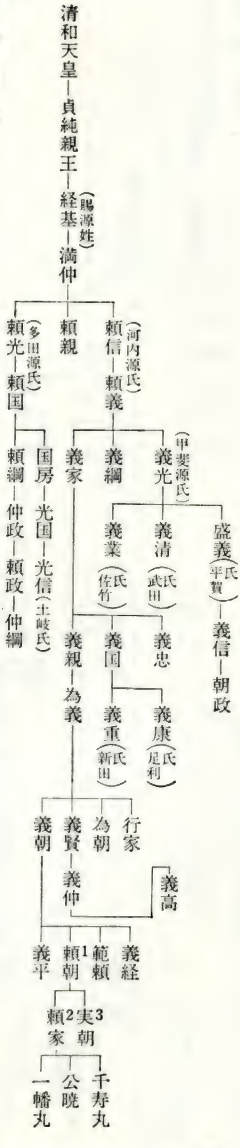
- 天忍日命……道臣命……武持（賜大伴姓）—室屋—談—金村
  - 磐
  - 咋—○—○—安麿
    - 旅人
      - 家持—継人—国道—善男（伴）
      - 書持
    - 田主
    - 宿奈麿
    - 道足—駿河麿
  - 狭手彦

藤原氏

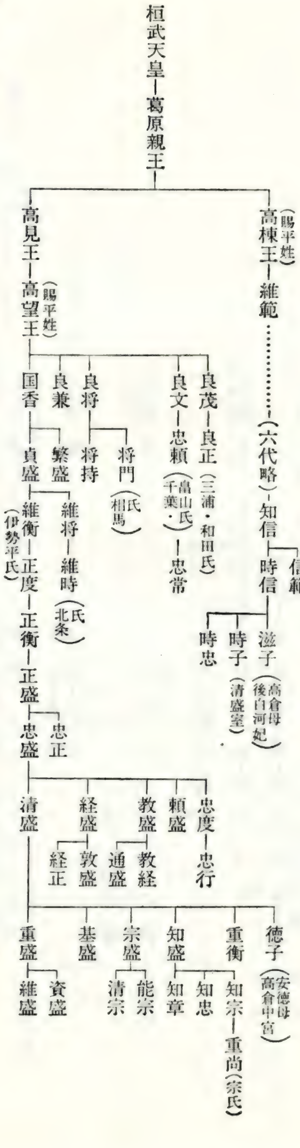


鎌足
五百重娘（夫人 天智）
氷山娘（夫人 天武）
不比等
多比能（橘諸兄妻）
光明子（孝謙母 聖武后）
宮子（聖武母 文武夫人）
麻呂（京家）
浜成
宇合（式家）
房前（北家）
武智麻呂（南家）
帯子
旅子（淳和母 桓武夫人）
百川
緒嗣
清成
種継
仲成
薬子
良継
乙牟漏（城・嵯峨母 桓武后、平）
広嗣
魚名
清河
真楯
内麻呂
冬嗣
永手
鳥養
小黒麿
葛野麿
常嗣
仲麻呂（恵美押勝）
豊成
継縄
吉子（文徳女御）
順子（文徳母 仁明女御）
良相
多美子（清和女御）
多賀幾子（文徳女御）
良房 1
長良
高子（陽成母 清和女御）
○
○
純友
基経
明子（清和母 文徳女御）
基経 2（良房養子 長良子）
穏子（朱雀・村上母 醍醐后）
温子（宇多后）
妹子（清和女御）
頼子（清和女御）
忠平 3
時平
褒子（宇多后）
○
元輔
師尹
□
娍子（三条后）
師輔
実頼 4
述子（村上妃）
慶子（朱雀妃）
頼忠 7
遵子（花山女御 円融后）
諟子
公任
敦敏
佐理
忯子（円融女御 冷泉・円融母）
安子（村上后、円融）
公季
兼家 8
兼通 6
媓子（円融后）
伊尹 5
懐子（花山母 冷泉女御）
義懐
義孝
綏子（三条妃）
詮子（一条母 円融女御）
超子（三条母 冷泉女御）
道長 11
道兼 10
兼隆
道隆 9
定子（一条后）
隆家
伊周
盛子（三条女御）
嬉子（後冷泉母 後朱雀妃）
威子（後一条中宮）
妍子（三条中宮）
彰子（一条中宮・後一条・後朱雀母）
教通 13
真子（後朱雀女御）
歓子（後冷泉后）
能信
昭子（後三条女御 白河母）
茂子（後三条女御）
頼宗
昭子（後三条女御）
延子（後朱雀女御）
能長
道子（白河女御）
頼通 12
嫄子（後朱雀后）
寛子（後冷泉后）
師実 14
賢子（堀河母 白河中宮）
経実
懿子（二条母）
経宗
師通 15
忠実 16
泰子（鳥羽后）
頼長
忠通 17
兼実 22
良経 23
道家 25
頼経（将軍）
実経（一条）
良実（二条）
教実（九条）
基房 19
師家 21
基実 18（近衛）
基通 20
家実 24
兼平（鷹司）
兼経（近衛）
（数字は摂政、関白の順序）
（○○后は皇后の略）

清和源氏

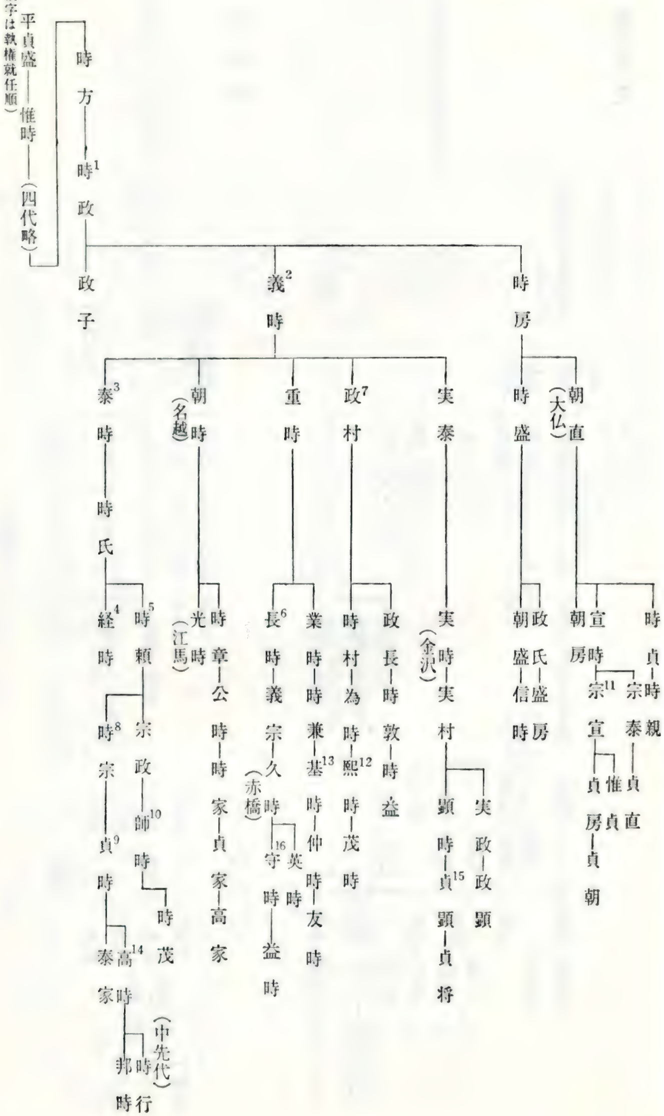

清和天皇
貞純親王
経基（賜源姓）
満仲
頼信（河内源氏）
頼義
頼親
頼光（多田源氏）
頼国
国房
光国
光信（土岐氏）
頼綱
仲政
頼政
仲綱
義光（甲斐源氏）
盛義（平賀氏）
義信
朝政
義清（武田氏）
義業（佐竹氏）
義綱
義家
義忠
義国
義康（足利氏）
義重（新田氏）
義親
為義
行家
為朝
義賢
義仲
義高
義朝
義経
範頼
頼朝 1
義平
実朝 3
頼家 2
千寿丸
公暁
一幡丸

桓武平氏

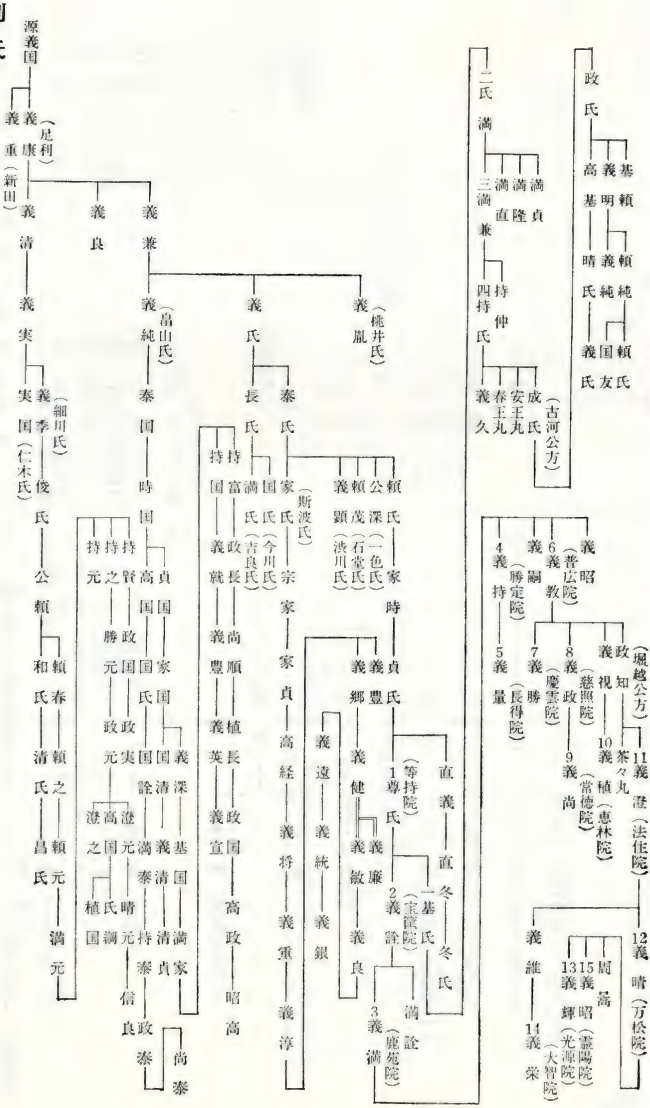

桓武天皇
葛原親王
高棟王（賜平姓）
維範
（六代略）
知信
信範
時信
滋子（高倉母 後白河妃）
時子（清盛室）
時忠
高見王
高望王（賜平姓）
良茂
良正（三浦・和田氏）
良文
忠頼（畠山氏・千葉氏）
忠常
良将
将門（相馬氏）
将持
良兼
国香
繁盛
維将
維時（北条氏）
貞盛
維衡（伊勢平氏）
正度
正衡
正盛
忠正
忠盛
忠度
忠行
頼盛
教盛
教経
通盛
経盛
敦盛
経正
清盛
徳子（安徳母 高倉中宮）
重衡
知盛
知宗
重尚（宗氏）
知忠
知章
宗盛
能宗
清宗
基盛
重盛
資盛
維盛

北条氏

（数字は執権就任順）

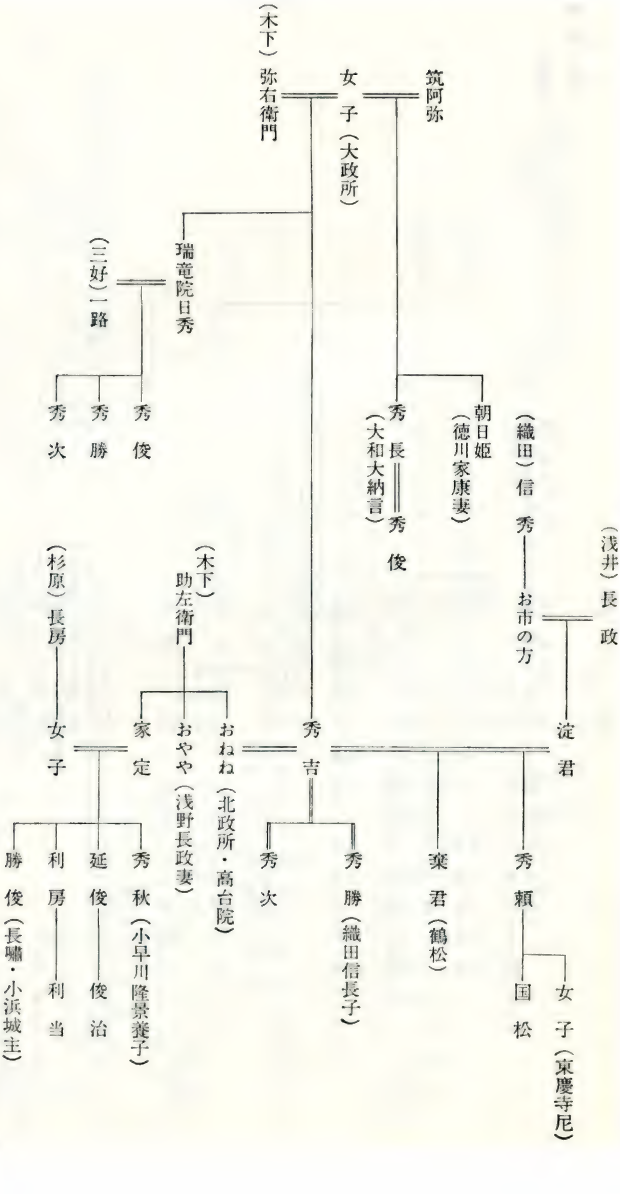


足利氏



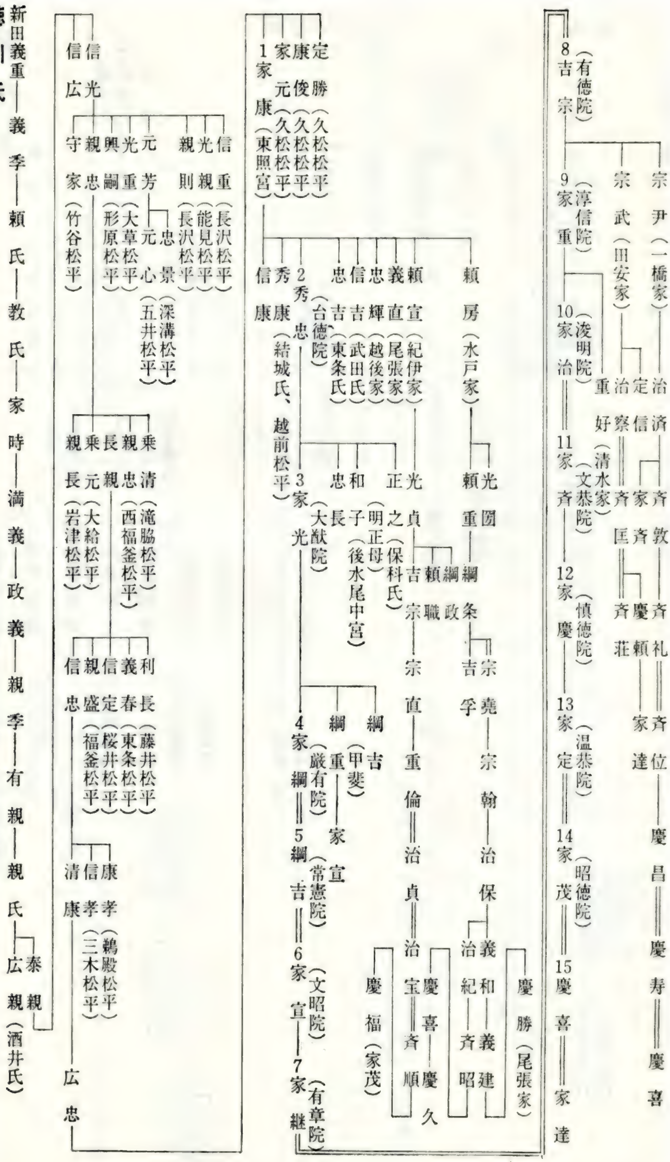
源義国
義重（新田）
義康（足利）
義清
義良
義兼
義実
実国（仁木氏）
義季（細川氏）
俊氏
公頼
和氏
頼春
清氏
頼之
昌氏
頼元
満元
持元
持之
持賢
勝元
政国
政元
政実
澄之
高国
澄元
植国
氏綱
晴元
信良
義純（畠山氏）
泰国
時国
高国
貞国
国氏
家国
国詮
国清
義深
満泰
義清
基国
持泰
清貞
満家
政泰
尚泰
義氏
長氏
泰氏
満氏（吉良氏）
国氏（今川氏）
持国
持富
義就
政長
義豊
尚順
義英
植長
義宣
政国
高政
昭高
家氏（斯波氏）
宗家
家貞
高経
義将
義重
義淳
義顕（渋川氏）
頼茂（石堂氏）
公深（一色氏）
頼氏
家時
貞氏
義豊
義郷
義健
義廉
義敏
義良
義遠
義統
義銀
義胤（桃井氏）
1尊氏（等持院）
直義
直冬
冬氏
2義詮（宝篋院）
一基氏
3義満（鹿苑院）
満詮
二氏満
満貞
満隆
満直
三満兼
持仲
四持氏
成氏（古河公方）
安王丸
春王丸
義久
政氏
基頼
義明
高基
頼純
義純
晴氏
頼氏
国友
義氏
義昭
6義教（普広院）
義嗣
4義持（勝定院）
5義量（長得院）
政知（堀越公方）
義視
8義政（慈照院）
7義勝（慶雲院）
11義澄（法住院）
茶々丸
10義植（恵林院）
9義尚（常徳院）
12義晴（万松院）
義維
14義栄（大智院）
周暠
15義昭（霊陽院）
13義輝（光源院）

豊臣氏



筑阿弥
女子（大政所）
（木下）弥右衛門
朝日姫（徳川家康妻）
秀長（大和大納言）
秀俊
瑞竜院日秀
（三好）一路
秀俊
秀勝
秀次
（織田）信秀
お市の方
（浅井）長政
淀君
秀吉
おね ね（北政所・高台院）
おやや（浅野長政妻）
（木下）助左衛門
家定
（杉原）長房
女子
秀頼
国松
女子（東慶寺尼）
棄君（鶴松）
秀勝（織田信長子）
秀次
秀秋（小早川隆景養子）
延俊
俊治
利房
利当
勝俊（長嘯・小浜城主）

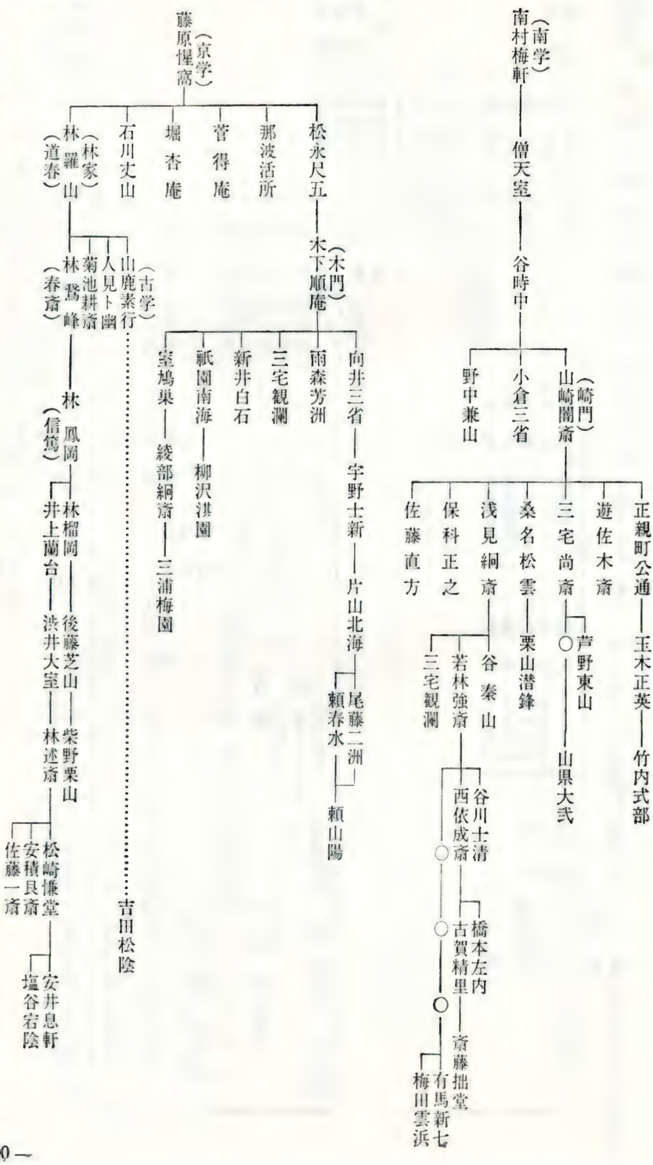
徳川氏



新田義重―義季―頼氏―教氏―家時―満義―政義―親季―有親―親氏
泰親
広親（酒井氏）
信光
信広
信重（長沢松平）
光親（能見松平）
親則（長沢松平）
元芳
忠景（深溝松平）
元心（五井松平）
光重（大草松平）
興嗣（形原松平）
親忠
守家（竹谷松平）
乗清（滝脇松平）
親忠（西福釜松平）
長親
乗元（大給松平）
親長（岩津松平）
利長（藤井松平）
義春（東条松平）
信定（桜井松平）
親盛（福釜松平）
信忠
康孝（鵜殿松平）
信孝（三木松平）
清康
広忠
定勝（久松松平）
康俊（久松松平）
家元（久松松平）
1 家康（東照宮）
頼房（水戸家）
頼宣（紀伊家）
義直（尾張家）
忠輝（越後家）
信吉（武田氏）
忠吉（東条氏）
2 秀忠（台徳院）
秀康（結城氏、越前松平）
信康
光圀
頼重
光貞
綱條
綱教
頼職
吉宗
宗堯
宗翰
治保
義和
治紀
宗直
重倫
治貞
治宝
斉順
慶喜
慶久
慶福（家茂）
義建
斉昭
慶勝（尾張家）
正之（保科氏）
和子（明正母）（後水尾中宮）
忠長
3 家光（大猷院）
綱吉（甲斐）
綱重
家宣
4 家綱（厳有院）
5 綱吉（常憲院）
6 家宣（文昭院）
7 家継（有章院）
8 吉宗（有徳院）
宗尹（一橋家）
宗武（田安家）
9 家重（淳信院）
重好（清水家）
10 家治（浚明院）
治済
定信
治察
11 家斉（文恭院）
斉敦
家斉
斉匡
斉礼
慶頼
斉荘
斉位
家達
12 家慶（慎徳院）
13 家定（温恭院）
14 家茂（昭徳院）
15 慶喜
家達
慶昌
慶寿
慶喜

付 録 6. 江戸時代の学統

朱子学



心学

- 石田梅巌
  - 斎藤全門
    - 大橋貞門
    - 鎌田一窓
  - 富岡以直
  - 小森売布
  - 慈音尼兼葭
  - 手島堵庵
    - 中沢道二
      - 中沢道甫
      - 大島有隣
        - 宮本愚翁
        - 中村徳水
        - 矢口頼応
    - 手島和庵
    - 上河淇水
    - 脇坂義堂
    - 薩埵徳軒
      - 柴田鳩翁 — 遊翁 — 謙堂
    - 布施松翁
    - 鎌田柳泓

折衷学派

- 中西淡淵・榊原篁洲
  - 細井平洲 — 片山兼山 — 井上金峨
    - 吉田篁墩（考証学）
    - 山本北山
      - 蒲生君平
      - 太田錦城 — 海保漁村
      - 梁川星巌
      - ○ — 寺門静軒
    - 亀田鵬斎

古学

- （古文辞学派 護園学派）荻生徂徠
  - 大内熊耳 — 立原翠軒
  - 山県周南 ○ 亀井南溟 — 広瀬淡窓
  - 服部南郭 — 湯浅常山
  - 太宰春台 ○ 大田南畝
- （堀河学派）伊藤仁斎
  - ○ — 小野蘭山
  - 伊藤蘭嵎
  - 伊藤梅宇
  - 稲生若水
  - 伊藤東涯
    - 青木昆陽
    - 伊藤東所
- 三宅石庵
  - 富永仲基
  - 中井甃庵 — 中井竹山（朱子学）
    - 山片蟠桃
    - 佐藤一斎
      - 佐久間象山 — 吉田松陰
      - 安積艮斎

陽明学

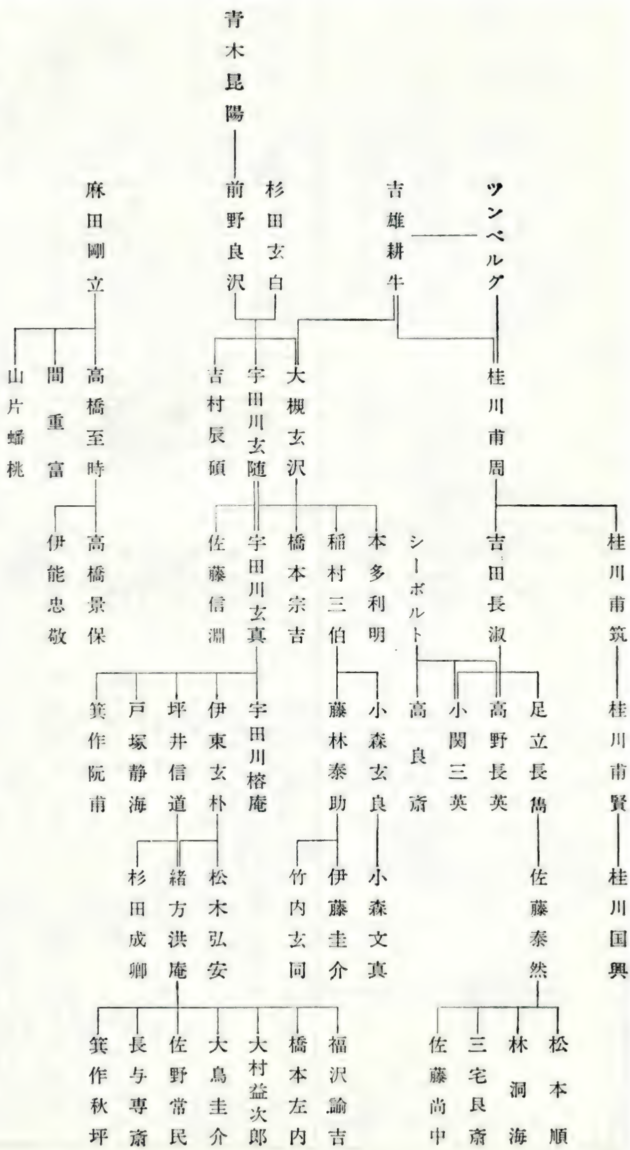
- 中江藤樹
  - 淵岡山
  - 熊沢蕃山 …… 大塩中斎
- 梁川星巌

国学学統

- 下河辺長流 ┄ 荷田春満
- 契沖 ┄ 荷田春満
- 戸田茂睡

- 荷田春満
  - 賀茂真淵
    - 塙保己一
      - 屋代弘賢
      - 石原正明
    - 加藤美樹
      - 上田秋成
    - 加藤千蔭
      - ○
        - 中島広足
    - 荒木田久老
      - 足代弘訓
        - 佐々木弘綱
    - 栗田土満
    - 田安宗武
    - 楫取魚彦
    - 村田春海
      - 小山田与清
        - ○
          - 横山由清
      - 岸本由豆流
        - 井上文雄
      - 清水浜臣
    - 建部綾足
    - 本居宣長
      - 本居大平
        - 本居内遠
          - 本居豊穎
          - 小中村清矩
        - 伊達千広
      - 本居春庭
      - 田中大秀
        - 橘曙覧
      - 服部中庸
      - 石塚龍麿
      - 伴信友
      - 平田篤胤
        - 大国隆正
          - 玉松操
          - 福羽美静
          - 鈴木重胤
        - 平田鉄胤
        - 権田直助
        - 六人部是香
        - 中根雪江
        - 飯田武卿
        - 生田方
        - 矢野玄道
        - 井上頼圀
  - 荷田在満

蘭学者学統


青木昆陽
ツンベルグ
吉雄耕牛
杉田玄白
前野良沢
麻田剛立
桂川甫周
大槻玄沢
宇田川玄随
吉村辰碩
高橋至時
間重富
山片蟠桃
桂川甫筑
吉田長淑
シーボルト
本多利明
稲村三伯
橋本宗吉
宇田川玄真
佐藤信淵
高橋景保
伊能忠敬
桂川甫賢
足立長雋
高野長英
小関三英
高良斎
小森玄良
藤林泰助
宇田川榕庵
伊東玄朴
坪井信道
戸塚静海
箕作阮甫
桂川国興
佐藤泰然
小森文真
伊藤圭介
竹内玄同
松木弘安
緒方洪庵
杉田成卿
松本順
林洞海
三宅艮斎
佐藤尚中
福沢諭吉
橋本左内
大村益次郎
大鳥圭介
佐野常民
長与専斎
箕作秋坪

付録7. 律令官制（大宝令の制による 701年）

中央官制

二官			八省	
神祇官				
太政官	左弁官局	中務省（なかつかさ）		中宮職 大舎人寮 図書寮 内蔵寮 縫殿寮 陰陽寮 画工司 内薬司 内礼司
		式部省（しきぶ）		大学寮 散位寮
		治部省（じぶ）		雅楽寮 玄蕃寮 諸陵司 喪儀司
		民部省（みんぶ）		主計寮 主税寮
	少納言局			外記局
	右弁官局	兵部省（ひょうぶ）		兵馬司 造兵司 鼓吹司 主船司 主鷹司
		刑部省（ぎょうぶ）		贓贖司 囚獄司
		大蔵省（おおくら）		典鋳司 掃部司 漆部司 縫部司 織部司
		宮内省（くない）		大膳職 木工寮 大炊寮 主殿寮 典薬寮 正親司 内膳司 造酒司 鍛冶司 官奴司 園池司 土工司 采女司 主水司 主油司 内掃司 筥陶司 内染司
	弾正台			
	（五衛府）	衛門府	（後に左右近衛府）	（六衛府）
		左右衛士府	（後に左右衛門府）	
		左右兵衛府		
	隼人司			
	左右馬寮			
	左右兵庫			
	内兵庫			
	後宮			内侍司 外十一司
	春宮坊			舎人監 外二監六署

地方官制

左右京職	東西市司
摂津職	郡司 軍団
大宰府	防人司
国司（諸国）	郡司 軍団

大宝令制定後増置した内大臣・中納言・参議・修理職・勘解由使庁・検非違使庁・蔵人所，地方官としての鎮守府・按察使・秋田城司・押領使・追捕使，臨時の官としての遣唐使・班田使等は，これを令外官と呼ぶ。

四等官

官名	長官（かみ）	次官（すけ）	判官（じょう）	主典（さかん）
神祇官	伯	大副・少副	大佑・少佑	大史・少史
太政官	太政大臣 左大臣 右大臣	大納言 中納言	少納言 左右大中少弁	大史・少史 大外記 少外記
省	卿	大輔・少輔	大丞・少丞	大録・少録
職・坊	大夫	亮	大進・少進	大属・少属
寮	頭	助	大允・少允	大属・少属
司・監	正 奉膳 尚侍	典侍	佑 典膳 掌侍	令史
台	尹	大弼・少弼	大忠・少忠	大疏・少疏
署	首		佑	令史
近衛府	大将	中将・少将	将監	将曹
四衛府 検非違使庁	督 別当	佐	大尉・少尉	大志・少志
司使：勘解由使 鋳銭司	長官	次官	判官	主典
司使：加茂斎院 造寺使	使	次官	判官	主典
司使：施薬院使 防鴨河使 修理宮城使	使		判官	主典
鎮守府	将軍	副将軍	軍監	軍曹
大宰府	帥	大弐・少弐	大監・少監	大典・少典
国司	守	介	掾（大少）	大目・少目
郡司	大領	少領	主政	主帳
家令	令	扶	従	書吏

本表には大宝令以後に増置した官をも加えた。なお，各等官の位階はすべて官により違うこというまでもない。

付　録 8.　　鎌倉幕府職制

<table>
<tr><td rowspan="12">将
軍</td><td rowspan="12">執権(執事)・連署</td><td rowspan="4">鎌
倉</td><td>政　所
(はじめ公文所)</td><td>別当
令
案主
執事
寄人</td><td>公事奉行　恩沢奉行
安堵奉行　寺社奉行
御所奉行　勘定奉行
祈禱奉行　倉　奉行　等</td></tr>
<tr><td>評定衆</td><td>引付衆</td><td>評定奉行　御物奉行
作事奉行　進物奉行　等</td></tr>
<tr><td>問注所</td><td>執事
寄人</td><td>賦別奉行　問注奉行
越訴奉行　京下奉行</td></tr>
<tr><td>侍　所</td><td>別当
所司</td><td>保検断奉行　地奉行
鎌倉大番　廂番　等</td></tr>
<tr><td rowspan="2">京
都</td><td>京都守護</td><td colspan="2">大内夜行番　大内守護</td></tr>
<tr><td>六波羅探題
1221 以降</td><td colspan="2">評定衆　引付衆　問注所執事
侍所所司　検断方　六波羅奉行</td></tr>
<tr><td rowspan="6">地
方</td><td>鎮西奉行</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>鎮西探題</td><td colspan="2">1293 以降</td></tr>
<tr><td>長門探題</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>奥州惣奉行</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>(諸国)守護</td><td colspan="2">守護代　守護使</td></tr>
<tr><td>地頭</td><td colspan="2">地頭代</td></tr>
</table>

付　録 9.　　室町幕府職制

<table>
<tr><td rowspan="13">将
軍</td><td rowspan="4">京
都</td><td rowspan="4">管　領
管領代</td><td>政　所</td><td>執事
執事代
政所代
寄人
公人</td><td colspan="3">普請奉行
反銭奉行
申次衆
披露奉行</td></tr>
<tr><td>評定衆</td><td>出世評定所
式評定衆</td><td>引　付</td><td>頭人
引付衆</td><td>評定
奉行 等</td></tr>
<tr><td>問注所</td><td>執事
執事代</td><td colspan="3">越訴奉行
証人奉行　等</td></tr>
<tr><td>侍　所</td><td>所司
所司代
寄人</td><td colspan="3">地方頭人
検断職　等</td></tr>
<tr><td rowspan="5">鎌
倉</td><td rowspan="5">関東管領</td><td>評定衆</td><td></td><td colspan="3">評定奉行</td></tr>
<tr><td>引付衆</td><td>頭人</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>問注所</td><td>執事</td><td colspan="3">越訴奉行</td></tr>
<tr><td>政　所</td><td>執事</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>侍　所</td><td>執事</td><td colspan="3">社家奉行　鶴岡総奉行</td></tr>
<tr><td rowspan="4">地
方</td><td>九州探題</td><td></td><td rowspan="3"></td><td colspan="3" rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>羽州探題</td><td></td></tr>
<tr><td>奥州探題</td><td></td></tr>
<tr><td>(諸国)
守護</td><td colspan="2">守護代・小守護
守護使</td><td>地頭</td><td colspan="2">地頭代</td></tr>
</table>

江戸幕府職制

将軍	【大老】老中	〈中央(江戸)〉	(三奉行)	寺社奉行		神官・僧侶・山伏・楽人・囲碁将棊役 等				
				勘定奉行	公事方(訴訟)					
					勝手方(民政財政)	郡代・代官	名主(庄屋)・組頭	百姓		
				(江戸)町奉行	与力・同心	江戸町年寄	名主	五人組	家主	町人
			勘定吟味役							
			大目付	……大名(親藩・譜代・外様)						
			高家							
			側衆							
			留守居年寄衆							
三家(尾張・紀伊・水戸)			三卿家老							
		京都	京都所司代	(後年，さらに京都守護職を置く)						
			二条城代							
			京都町奉行	与力・同心	京都町年寄					
	△側用人	大坂	大坂城代							
			大坂町奉行	与力・同心	大坂町年寄					
		〈駿府〉	駿府城代	与力・同心						
			駿府町奉行	与力・同心						
三卿(田安・一橋・清水)		〈伏見〉	伏見城代	与力・同心						
			伏見奉行	与力・同心						
		遠国奉行		(長崎・堺・山田・奈良・日光・佐渡)						
	若年寄	小普請奉行								
		目付		……旗本・御家人						
				右筆・儒者・天文方・医師・諸奉行・武事調練者・絵師・能者等						
	奏者番									
	(軍制)	五番方	(大番・書院番・小姓番・新番・小十人番)	番頭	組頭	組衆				

評定所
- 老中
- 寺社奉行 ⎫
- 勘定奉行 ⎬ 留役組頭
- 町奉行 ⎭
  - 留役
    - 寺社奉行留役
    - 勘定留役
    - 町奉行留役
  - 勘定吟味役
  - 目付
  - 徒目付
  - 小人目付
  - 囚獄
  - 町年寄
  - 留守居——同心
  - 目安読
  - 書役
- 大目付
- 作事奉行
- 傍聴

付 録 11.　　明治政府官制

<table>
<tr><td rowspan="2">1867 年
12 月

1868 年
閏 4 月</td><td rowspan="2">三
職</td><td rowspan="2">総　裁
議　定
参　与</td><td>1864 年
1 月</td><td>七
科</td><td colspan="2">神祇事務科　会計事務科
内国事務科　刑法事務科
外国事務科　制度事務科
海陸軍務科</td></tr>
<tr><td>1868 年
2 月</td><td>八
局</td><td colspan="2">総 裁 局　軍防事務局
神祇事務局　会計事務局
内国事務局　刑法事務局
外国事務局　制度事務局</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1868 年
閏 4 月

政体書の官制</td><td rowspan="3">太
政
官</td><td>（立　法）</td><td>議政官</td><td colspan="3">上局（議定・参与）
下局（議長・議員）</td></tr>
<tr><td>（行　政）</td><td colspan="3">行政官（輔　相）
神祇官（知官事）
会計官（知官事）
軍務官（知官事）
外国官（知官事）</td><td rowspan="2">（議定兼任）
親王・諸王・公卿・諸侯のうちより任ずる</td></tr>
<tr><td>（司　法）</td><td colspan="3">刑法官（知官事）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1869 年
7 月</td><td colspan="3">神　祇　官（伯）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="3">太 政 官
左大臣・右大臣
大納言・参議</td><td colspan="3">民 部 省（卿）
大 蔵 省（卿）
兵 部 省（卿）
刑 部 省（卿）
宮 内 省（卿）
外 務 省（卿）</td></tr>
<tr><td colspan="6">待 詔 院
集 議 院（長官）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1871 年

廃藩置県後の官制</td><td rowspan="3">太
政
官</td><td>正　院
太政大臣
左右大臣
参　議</td><td colspan="3">神祇省　宮内省
外務省　文部省
大蔵省　兵部省
工部省　各省に卿
司法省　大輔少輔</td><td>1872 年　教部省

1872 年　陸軍省
海軍省</td></tr>
<tr><td>左　院</td><td colspan="4">議長・議官が立法を掌る</td></tr>
<tr><td>右　院</td><td colspan="4">諸省の長・次官が省務協議</td></tr>
<tr><td rowspan="4">1875 年

明治 8 年の官制</td><td>太
政
官</td><td colspan="5">大蔵省　内務省
陸軍省　文部省
海軍省　教部省　1877 年廃止
司法省　工部省
宮内省　農商務省　1881 年設置
外務省</td></tr>
<tr><td colspan="6">元 老 院（立法）</td></tr>
<tr><td colspan="6">大 審 院（司法）　地方裁判所</td></tr>
<tr><td colspan="6">地方官会議</td></tr>
</table>

付録12.　近代官制 (1885~1945)

(宮中)		内大臣府	内大臣	
		宮内省	宮内大臣	総務局, 警衛局, 式部職, 宗秩寮, 諸陵寮, 図書寮, 侍医寮, 大膳寮, 皇后宮職　等
		枢密院	議長	枢密顧問官
(府中)	内閣(行政) 総理大臣	外務省	大臣	東亜局, 欧亜局, 亜米利加局, 南洋局, 通商局, 条約局, 調査部, 大公使館　等
		内務省	大臣	地方局, 警保局, 国土局, 防空局　等 神祇院
		大蔵省	大臣	主計局, 主税局, 理財局, 銀行局, 為替局, 専売局, 税関, 財務局　等
		陸軍省	大臣	人事局, 軍務局, 兵務局, 法務局　等 兵器本部, 技術本部　等
		海軍省	大臣	軍務局, 兵備局, 人事局, 教育局　等 艦政本部, 鎮守府, 要港部　等
		司法省	大臣	民事局, 刑事局, 行刑局, 保護局, 調査局, 司法研究所, 刑務所　等
		文部省	大臣	学務局, 教育局, 図書局, 宗教局, 体育局, 教学局, 中央気象台, 帝国大学　等
		農商務省　農林省	大臣	総務局, 農政局, 山林局, 水産局, 蚕糸局, 食品局, 食糧管理局, 馬政局　等
		農商務省　商工省	大臣	総務局, 鉱産局, 鉄鋼局, 化学局, 機械局, 繊維局, 監理局, 貿易局, 特許局　等
		逓信省　1885	大臣	郵務局, 電務局, 工務局, 管船局, 貯金局, 電気庁, 航空局, 逓信局　等
		鉄道省　1920	大臣	監督局, 運輸局, 建設局, 工務局, 工作局, 電気局, 国際観光局, 鉄道局　等
		拓務省　1929	大臣	朝鮮部, 管理局, 殖産局, 拓北局, 拓南局
		厚生省　1938	大臣	人口局, 衛生局, 予防局, 生活局, 労働局, 職業局, 保険局, 衛生試験所　等
		内閣書記官長		
		法制局	長官	外に統計局, 印刷局等直属
	会計検査院		院長	
	(立法)	帝国議会　貴族院	議長	華族議員　勅選議員　等
		帝国議会　衆議院	議長	議員
	(司法)	大審院	院長 検事総長	控訴院　地方裁判所
(統帥)	陸軍	参謀本部	参謀総長	外に航空総監部, 防衛総司令部, 軍管区司令部, 朝鮮・台湾・関東軍司令部
		教育総監部	教育総監	
	海軍	軍令部	軍令部総長	
(地方庁)	(内務省)	警視庁	総監	警務部, 特別高等警察部, 消防部　等
		北海道庁	長官	総務部, 警察部, 経済部 学務部, 土木部　等
		三府四十三県	知事	
	朝鮮総督府		総督	
	台湾総督府		総督	
	関東局		総長	関東州庁これに属す
	樺太庁		長官	
	南洋庁		長官	

＊ 本表には 1885 年以前より存続したもの, およびその後増置されたものを含む。
＊ 内閣各省のうち, 拓務省は 1942 年大東亜省となり, 農林・商工両省は 1943 年農商省・
＊ 軍需省となり, 1943 年逓信・鉄道両省は運輸通信省となる。
＊ 所属部局は 1940 年ころのもので, 各省外局も便宜上加えた。

付 録 13. 院 政

諡 号	在 位
白 河	1086(応徳 3),11—1129(大治 4), 7
鳥 羽	1129(大治 4), 7—1156(保元 1), 7
後 白 河	1158(保元 3), 8—1179(治承 3),11
高 倉	1180(治承 4), 2—1180(治承 4),12
後 白 河	1181(治承 4),12—1192(建久 3), 3
後 鳥 羽	1198(建久 9), 1—1221(承久 3), 7
後 高 倉	1221(承久 3), 7—1223(貞応 2), 5
後 堀 河	1232(貞永 1),10—1234(文暦 1), 8
後 嵯 峨	1246(寛元 4), 1—1272(文永 9), 2
亀 山	1274(文永11), 1—1287(弘安10),10
後 深 草	1287(弘安10),10—1290(正応 3), 2
伏 見	1298(永仁 6), 7—1301(正安 3), 1
後 宇 多	1301(正安 3), 1—1308(延慶 1), 8
伏 見	1308(延慶 1), 8—1313(正和 2),10
後 伏 見	1313(正和 2),10—1318(文保 2), 2
後 宇 多	1318(文保 2), 2—1321(元亨 1),12
後 伏 見	1331(元弘 1), 9—1333(元弘 3), 5

付 録 14. 摂 政 ・ 関 白

氏 名	職名	在 職 年 代
藤 原 良 房	摂 政	858(天安 2),11— 863(貞観 5),
藤 原 良 房	摂 政	866(貞観 8), 8— 872(貞観14), 9
藤 原 基 経	摂 政	872(貞観14),11— 880(元慶 4),11
藤 原 基 経	関 白	880(元慶 4),11— 890(寛平 2),12
藤 原 忠 平	摂 政	930(延長 8), 9— 941(天慶 4),11
藤 原 忠 平	関 白	941(天慶 4),11— 949(天暦 3), 8
藤 原 実 頼	関 白	967(康保 4), 6— 969(安和 2), 8
藤 原 実 頼	摂 政	969(安和 2), 8— 970(天禄 1), 5
藤 原 伊 尹	摂 政	970(天禄 1), 5— 972(天禄 3),10
藤 原 兼 通	関 白	972(天禄 3),11— 977(貞元 2),10
藤 原 頼 忠	関 白	977(貞元 2),10— 986(寛和 2), 6
藤 原 兼 家	摂 政	986(寛和 2), 6— 990(正暦 1), 5
藤 原 兼 家	関 白	990(正暦 1), 5— 990(正暦 1), 5
藤 原 通 隆	関 白	990(正暦 1), 5— 990(正暦 1), 5
藤 原 通 隆	摂 政	990(正暦 1), 5— 993(正暦 4), 4
藤 原 通 隆	関 白	993(正暦 4), 4— 995(長徳 1), 4
藤 原 道 兼	関 白	995(長徳 1), 4— 995(長徳 1), 5
藤 原 道 長	准摂政	1015(長和 4),10—1016(長和 5), 1
藤 原 道 長	摂 政	1016(長和 5), 1—1017(寛仁 1), 3
藤 原 頼 道	摂 政	1017(寛仁 1), 3—1019(寛仁 3),12
藤 原 頼 道	関 白	1019(寛仁 3),12—1068(治暦 4), 4
藤 原 教 通	関 白	1068(治暦 4), 4—1075(承保 2), 9
藤 原 師 実	関 白	1075(承保 2),10—1086(応徳 3),11
藤 原 師 実	摂 政	1086(応徳 3),11—1090(寛治 4),12
藤 原 師 実	関 白	1090(寛治 4),12—1094(嘉保 1), 3
藤 原 師 通	関 白	1094(嘉保 1), 3—1099(康和 1), 6
藤 原 忠 実	関 白	1105(長治 2),12—1107(嘉承 2), 7

藤原忠実	摂政	1107(嘉承 2), 7—1113(永久 1), 12
藤原忠実	関白	1113(永久 1), 12—1121(保安 2), 1
藤原忠通	関白	1121(保安 2), 3—1123(保安 4), 1
藤原忠通	摂政	1123(保安 4), 1—1129(大治 4), 7
藤原忠通	関白	1129(大治 4), 7—1141(永治 1), 12
藤原忠通	摂政	1141(永治 1), 12—1150(久安 6), 12
藤原忠通	関白	1150(久安 6), 12—1158(保元 3), 8
藤原基実	関白	1158(保元 3), 8—1165(永万 1), 6
藤原基実	摂政	1165(永万 1), 6—1166(仁安 1), 7
藤原基房	摂政	1166(仁安 1), 7—1172(承安 2), 12
藤原基房	関白	1172(承安 2), 12—1179(治承 3), 11
藤原基通	関白	1179(治承 3), 11—1180(治承 4), 2
藤原基通	摂政	1180(治承 4), 2—1183(寿永 2), 11
藤原師家	摂政	1183(寿永 2), 11—1184(元暦 1), 1
藤原基通	摂政	1184(元暦 1), 1—1186(文治 2), 3
藤原兼実	摂政	1186(文治 2), 3—1191(建久 2), 12
藤原兼実	関白	1191(建久 2), 12—1196(建久 7), 11
藤原基通	関白	1196(建久 7), 11—1198(建久 9), 1
藤原基通	摂政	1198(建久 9), 1—1202(建仁 2), 12
九条良経	摂政	1202(建仁 2), 12—1206(建永 1), 3
近衛家実	摂政	1206(建永 1), 3—1206(建永 1), 12
近衛家実	関白	1206(建永 1), 12—1221(承久 3), 4
九条道家	摂政	1221(承久 3), 4—1221(承久 3), 7
近衛家実	摂政	1221(承久 3), 7—1223(貞応 2), 12
近衛家実	関白	1223(貞応 2), 12—1228(安貞 2), 12

付録15. 将軍

〔鎌倉幕府〕

代	氏名	在職年代
1	源頼朝	1192(建久 3), 7—1199(正治 1), 1
2	源頼家	1202(建仁 2), 7—1203(建仁 3), 9
3	源実朝	1203(建仁 3), 9—1219(承久 1), 12
4	藤原頼経	1226(嘉禄 2), 1—1244(寛元 2), 4
5	藤原頼嗣	1244(寛元 2), 4—1252(建長 4), 4
6	宗尊親王	1252(建長 4), 4—1266(文永 3), 7
7	惟康親王	1266(文永 3), 7—1289(正応 2), 10
8	久明親王	1289(正応 2), 10—1308(延慶 1), 8
9	守邦親王	1308(延慶 1), 8—1333(元弘 3), 5

〔室町幕府〕

1	足利尊氏	1338(暦応 1), 8—1358(延文 3), 4	等持院
2	足利義詮	1358(延文 3), 12—1367(貞治 6), 12	宝篋院
3	足利義満	1368(応安 1), 12—1394(応永 1), 12	鹿苑院
4	足利義持	1394(応永 1), 12—1423(応永30), 3	勝定院
5	足利義量	1423(応永30), 3—1425(応永32), 2	長得院
6	足利義教	1429(永享 1), 3—1441(嘉吉 1), 6	普広院
7	足利義勝	1442(嘉吉 2), 11—1443(嘉吉 3), 7	慶雲院
8	足利義政	1449(宝徳 1), 4—1473(文明 5), 12	慈照院

9	足利義尚	1473(文明 5),12—1489(延徳 1), 3	常徳院
10	足利義稙	1490(延徳 2), 7—1497(明応 2), 6	恵林院
11	足利義澄	1494(明応 3),12—1508(永正 5), 4	法住院
	足利義稙	1508(永正 5), 7—1521(大永 1),12	
12	足利義晴	1521(大永 1),12—1546(天文15),12	万松院
13	足利義輝	1546(天文15),12—1565(永禄 8), 5	光源院
14	足利義栄	1568(永禄11), 2—1568(永禄11), 9	光徳院
15	足利義昭	1568(永禄11),10—1573(天正 1), 7	霊陽院

〔江戸幕府〕

1	徳川家康	1603(慶長 8), 2—1605(慶長10), 4	安国院
2	徳川秀忠	1605(慶長10), 4—1623(元和 9), 7	台徳院
3	徳川家光	1623(元和 9), 7—1651(慶安 4), 5	大猷院
4	徳川家綱	1651(慶安 4), 8—1680(延宝 8), 5	厳有院
5	徳川綱吉	1680(延宝 8), 8—1709(宝永 6), 1	常憲院
6	徳川家宣	1709(宝永 6), 5—1712(正徳 2),10	文昭院
7	徳川家継	1713(正徳 3), 4—1716(享保 1), 4	有章院
8	徳川吉宗	1716(享保 1), 8—1745(延享 2), 9	有徳院
9	徳川家重	1745(延享 2),11—1760(宝暦10), 5	惇信院
10	徳川家治	1760(宝暦10), 9—1786(天明 6), 9	浚明院
11	徳川家斉	1787(天明 7), 4—1837(天保 8), 4	文恭院
12	徳川家慶	1837(天保 8), 9—1853(嘉永 6), 6	慎徳院
13	徳川家定	1853(嘉永 6),10—1858(安政 5), 7	温恭院
14	徳川家茂	1858(安政 5),10—1866(慶応 2), 7	昭徳院
15	徳川慶喜	1866(慶応 2),12—1867(慶応 3),12	

付 録 16. 鎌倉幕府執権

北条時政	1203(建仁 3), 9—1205(元久 2),㊆
北条義時	1205(元久 2),㊆—1224(元仁 1), 6
北条泰時	1224(元仁 1), 6—1242(仁治 3), 6
北条経時	1242(仁治 3), 6—1246(寛元 4), 3
北条時頼	1246(寛元 4), 3—1256(康元 1),11
北条長時	1256(康元 1),11—1264(文永 1), 7
北条政村	1264(文永 1), 8—1268(文永 5), 3
北条時宗	1268(文永 5), 3—1284(弘安 7), 4
北条貞時	1284(弘安 7), 7—1301(正安 3), 8
北条師時	1301(正安 3), 8—1311(応長 1), 9
北条宗宣	1311(応長 1),10—1312(正和 1), 5
北条熈時	1312(正和 1), 6—1315(正和 4), 7
北条基時	1315(正和 4), 7—1315(正和 4),11
北条高時	1316(正和 5), 7—1326(嘉暦 1), 3
金沢貞顕	1326(嘉暦 1), 3—1326(嘉暦 1), 4
北条守時	1326(嘉暦 1), 4—1333(元弘 3), 5

付 録 17. 室町幕府執事・管領

高師直	1336(建武 3), —1349(貞和 5),㊅
高師世	1349(貞和 5),㊅—1349(貞和 5), 8
高師直	1349(貞和 5), 8—1351(観応 2), 2

仁木頼章	1351(応観 2),10—1358(延文 3), 5
細川清氏	1358(延文 3),10—1361(康安 1), 9
斯波義将	1362(貞治 1), 7—1366(貞治 5), 8
(以上執事，頼之より管領ともいう)	
細川頼之	1367(貞治 6),11—1379(康暦 1),㊃
斯波義将 2	1379(康暦 1),㊃—1391(明徳 2), 3
細川頼元	1391(明徳 2), 4—1393(明徳 4), 6
斯波義将 3	1393(明徳 4), 6—1398(応永 5),㊃
畠山基国	1398(応永 5), 6—1405(応永12), 7
斯波義教	1405(応永12), 7—1409(応永16), 8
斯波義淳	1409(応永16), 8—1410(応永17), 6
畠山満家	1410(応永17), 6—1412(応永19), 4
細川満元	1412(応永19), 4—1421(応永28), 7
畠山満家 2	1421(応永28), 8—1429(永享 1), 8
斯波義淳 2	1429(永享 1), 8—1432(永享 4),10
細川持之	1432(永享 4),10—1442(嘉吉 2), 6
畢山持国	1442(嘉吉 2), 6—1445(文安22), 3
細川勝元	1445(文安 2), 3—1449(宝徳 1),11
畠山持国	1449(宝徳 1),11—1452(享徳 1),11
細川勝元 2	1452(享徳 1),11—1464(寛正 5), 9
畠山政長	1464(寛正 5), 9—1467(応仁 1), 1
斯波義廉	1467(応仁 1), 1—1468(応仁 2), 7
細川勝元 3	1468(応仁 2), 7—1473(文明 5), 5
畠山政長 2	1473(文明 5),12—1473(文明 5),12
畠山政長 3	1477(文明 9),12—1486(文明18), 7
細川政元	1486(文明18), 7—1486(文明18), 7
畠山政長 4	1486(文明18), 8—
細川政元 2	1487(長享 1), 8
細川政元 3	1490(延徳 2), 7—1490(延徳 2), 7
細川政元 4	1494(明応 3),12—1507(永正 4), 6
細川高国	1508(永正 5), —1525(大永 5), 4
細川稙国	1525(大永 5), 4—1525(大永 5),10
畠山義尭	1526(大永 6),
細川晴元	1536(天文 5), 9
六角定頼 (代)	1546(天文15),
細川氏綱	1552(天文21), 2—1563(永禄 6),12

付録18. 江戸幕府大老

酒井忠世	1636(寛永13), 3—1636(寛永13), 3
土井利勝	1638(寛永15),11—1644(正保 1), 7
酒井忠勝	1638(寛永15),11—1656(明暦 2), 5
酒井忠清	1666(寛文 6), 3—1680(延宝 8),12
井伊直澄	1668(寛文 8),11—1676(延宝 4), 1
堀田正俊	1681(天和 1),12—1684(貞享 1), 8
井伊直該	1697(元禄10), 6—1700(元禄13), 3
柳沢吉保 (格)	1706(宝永 3), 1—1709(宝永 6), 6
井伊直該	1711(正徳 1), 2—1714(正徳 4), 2
井伊直幸	1784(天明 4),11—1787(天明 7), 9
井伊直亮	1835(天保 6),12—1841(天保12), 5
井伊直弼	1858(安政 5), 4—1860(万延 1), 3
酒井忠績	1865(慶応 1), 2—1865(慶応 1),11

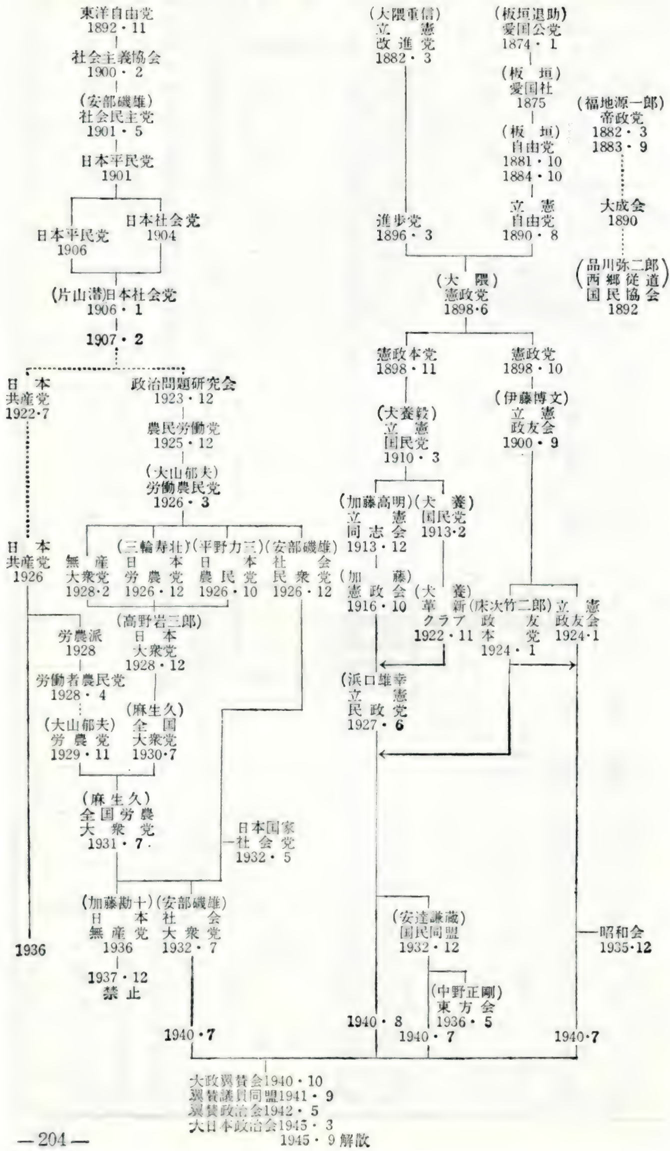
付　録 19.　　国　県　対　照 (陸奥・出羽は明治2(1869)年に分けられた。)

地方	国名		県名
東北地方	陸奥	陸奥(むつ)	青森
		陸中(りくちゅう)	岩手
		陸前(りくぜん)	宮城
		磐城(いわき)	福島
		岩代(いわしろ)	
	出羽	羽後(うご)	秋田(陸中の飛地を含む)
		羽前(うぜん)	山形
関東地方	安房(あわ)		千葉
	上総(かずさ)		
	下総(しもふさ)		
	常陸(ひたち)		茨城
	下野(しもつけ)		栃木
	上野(こうずけ)		群馬
	武蔵(むさし)		埼玉
			東京
	相模(さがみ)		神奈川
中部地方	伊豆(いず)		静岡
	駿河(するが)		
	遠江(とおとおみ)		
	三河(みかわ)		愛知
	尾張(おわり)		
	美濃(みの)		岐阜
	飛騨(ひだ)		

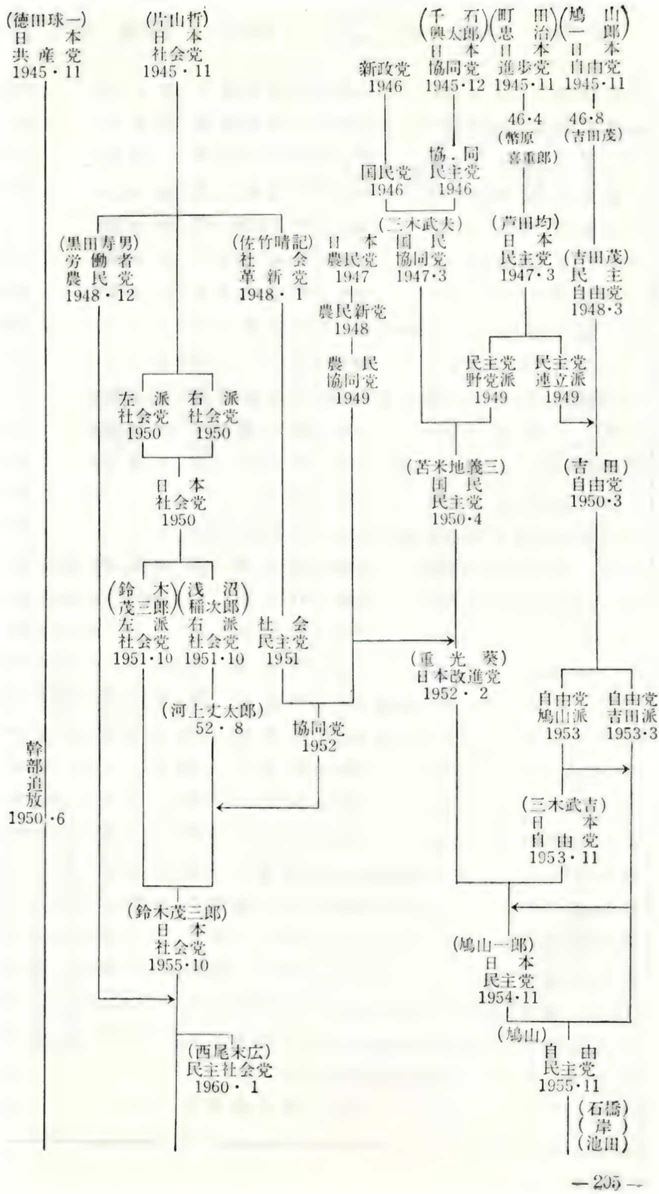
地方	国名	県名
地方	信濃(しなの)	長野
	甲斐(かい)	山梨
	越後(えちご)	新潟
	佐渡(さど)	
	越中(えっちゅう)	富山
	能登(のと)	石川
	加賀(かが)	
	越前(えちぜん)	福井
	若狭(わかさ)	
近畿地方	近江(おおみ)	滋賀
	山城(やましろ)	京都
	丹後(たんご)	
	丹波(たんば)	
	但馬(たじま)	兵庫
	播磨(はりま)	
	淡路(あわじ)	
	摂津(せっつ)	
	和泉(いずみ)	大阪
	河内(かわち)	
	大和(やまと)	奈良
	紀伊(きい)	和歌山
	伊勢(いせ)	三重
	伊賀(いが)	
	志摩(しま)	

地方	国名	県名
四国地方	阿波(あわ)	徳島
	土佐(とさ)	高知
	伊予(いよ)	愛媛
	讃岐(さぬき)	香川
中国地方	備前(びぜん)	岡山
	美作(みまさか)	
	備中(びっちゅう)	
	備後(びんご)	広島
	安芸(あき)	
	周防(すおう)	山口
	長門(ながと)	
	石見(いわみ)	島根
	出雲(いずも)	
	隠岐(おき)	
	伯耆(ほうき)	鳥取
	因幡(いなば)	
九州地方	筑前(ちくぜん)	福岡
	筑後(ちくご)	
	豊前(ぶぜん)	
	豊後(ぶんご)	大分
	日向(ひゅうが)	宮崎
	大隅(おおすみ)	鹿児島
	薩摩(さつま)	
	肥後(ひご)	熊本
	肥前(ひぜん)	佐賀
		長崎
	壱岐(いき)	
	対馬(つしま)	

付 録 20.　　政党の系譜



東洋自由党 1892・11
社会主義協会 1900・2
(安部磯雄) 社会民主党 1901・5
日本平民党 1901
日本社会党 1904
日本平民党 1906
(片山潜)日本社会党 1906・1
1907・2
日本共産党 1922・7
政治問題研究会 1923・12
農民労働党 1925・12
(大山郁夫) 労働農民党 1926・3
日本共産党 1926
無産大衆党 1928・2
(三輪寿壮) 日本労農党 1926・12
(平野力三) 日本農民党 1926・10
(安部磯雄) 社会民衆党 1926・12
労農派 1928
(高野岩三郎) 日本大衆党 1928・12
労働者農民党 1928・4
(大山郁夫) 労農党 1929・11
(麻生久) 全国大衆党 1930・7
(麻生久) 全国労農大衆党 1931・7
日本国家社会党 1932・5
(加藤勘十) 日本無産党 1936
(安部磯雄) 社会大衆党 1932・7
1936
1937・12 禁止
1940・7
(大隈重信) 立憲改進党 1882・3
(板垣退助) 愛国公党 1874・1
(板垣) 愛国社 1875
(福地源一郎) 帝政党 1882・3 1883・9
(板垣) 自由党 1881・10 1884・10
進歩党 1896・3
立憲自由党 1890・8
大成会 1890
(品川弥二郎 西郷従道) 国民協会 1892
(大隈) 憲政党 1898・6
憲政本党 1898・11
憲政党 1898・10
(犬養毅) 立憲国民党 1910・3
(伊藤博文) 立憲政友会 1900・9
(加藤高明) 立憲同志会 1913・12
(犬養) 国民党 1913・2
(加藤) 憲政会 1916・10
(犬養) 革新クラブ 1922・11
(床次竹二郎) 政友本党 1924・1
立憲政友会 1924・1
(浜口雄幸) 立憲民政党 1927・6
(安達謙蔵) 国民同盟 1932・12
昭和会 1935・12
(中野正剛) 東方会 1936・5
1940・8
1940・7
1940・7
大政翼賛会1940・10
翼賛議員同盟1941・9
翼賛政治会1942・5
大日本政治会1945・3
1945・9解散


(徳田球一) 日本共産党 1945・11
(片山哲) 日本社会党 1945・11
新政党 1946
(千石興太郎) 日本協同党 1945・12
(町田忠治) 日本進歩党 1945・11
(鳩山一郎) 日本自由党 1945・11
46・4 (幣原喜重郎)
46・8 (吉田茂)
協同民主党 1946
国民党 1946
(三木武夫) 国民協同党 1947・3
(芦田均) 日本民主党 1947・3
(黒田寿男) 労働者農民党 1948・12
(佐竹晴記) 社会革新党 1948・1
日本農民党 1947
(吉田茂) 民主自由党 1948・3
農民新党 1948
農民協同党 1949
民主党野党派 1949
民主党連立派 1949
左派社会党 1950
右派社会党 1950
日本社会党 1950
(苫米地義三) 国民民主党 1950・4
(吉田) 自由党 1950・3
(鈴木茂三郎) 左派社会党 1951・10
(浅沼稲次郎) 右派社会党 1951・10
社会民主党 1951
(重光葵) 日本改進党 1952・2
(河上丈太郎) 52・8
協同党 1952
自由党鳩山派 1953
自由党吉田派 1953・3
幹部追放 1950・6
(三木武吉) 日本自由党 1953・11
(鈴木茂三郎) 日本社会党 1955・10
(鳩山一郎) 日本民主党 1954・11
(鳩山) 自由民主党 1955・11
(西尾末広) 民主社会党 1960・1
(石橋) (岸) (池田)

付 録21.　内閣総理大臣一覧

	首相氏名	出身地		政党	就任年月
1	伊藤博文	山口	文官		1885.12
2	黒田清隆	鹿児島	陸軍		1888. 4
3	山県有朋	山口	陸軍		1889.12
4	松方正義	鹿児島	文官		1891. 5
5	伊藤博文2	山口	文官		1892. 8
6	松方正義2	鹿児島	文官		1896. 9
7	伊藤博文3	山口	文官		1898. 1
8	大隈重信	佐賀	文官	憲政党	1898. 6
9	山県有朋2	山口	陸軍		1898.11
10	伊藤博文4	山口	文官	政友会	1900.10
11	桂　太郎	山口	陸軍		1901. 6
12	西園寺公望	公卿	文官	政友会	1906. 1
13	桂　太郎2	山口	陸軍		1908. 7
14	西園寺公望2	公卿	文官	政友会	1911. 8
15	桂　太郎3	山口	陸軍		1912.12
16	山本権兵衛	鹿児島	海軍		1913. 2
17	大隈重信2	佐賀	文官		1914. 4
18	寺内正毅	山口	陸軍		1916.10
19	原　敬	岩手	文官	政友会	1918. 9
20	高橋是清	宮城	文官	政友会	1921.11
21	加藤友三郎	広島	海軍		1922. 6
22	山本権兵衛2	鹿児島	海軍		1923. 9
23	清浦奎吾	熊本	文官		1924. 1
24	加藤高明	愛知	文官	憲政会	1924. 6
25	加藤高明2	愛知	文官	憲政会	1925. 8
26	若槻礼次郎	島根	文官	憲政会	1926. 1
27	田中義一	山口	陸軍	政友会	1927. 4
28	浜口雄幸	高知	文官	民政党	1929. 7
29	若槻礼次郎2	島根	文官	民政党	1931. 4
30	犬養　毅	岡山	文官	政友会	1931.12
31	斎藤　実	岩手	海軍		1932. 5
32	岡田啓介	福井	海軍		1934. 7
33	広田弘毅	福岡	文官		1936. 3
34	林　銑十郎	石川	陸軍		1937. 2
35	近衛文麿	東京	文官		1937. 6
36	平沼騏一郎	岡山	文官		1939. 1
37	阿部信行	石川	陸軍		1939. 8
38	米内光政	岩手	海軍		1940. 1
39	近衛文麿2	東京	文官		1940. 7
40	近衛文麿3	東京	文官		1941. 7
41	東条英機	東京	陸軍		1941.10
42	小磯国昭	栃木	陸軍		1944. 7
43	鈴木貫太郎	千葉	海軍		1945. 4
44	東久迩宮稔彦王		皇族		1945. 8
45	幣原喜重郎	大阪	文官		1945.10
46	吉田　茂	東京	文官	自由党	1946. 5
47	片山　哲	和歌山	文官	社会党	1947. 5
48	芦田　均	京都	文官	民主党	1948. 3
49	吉田　茂2	東京	文官	民自党	1948.10
50	吉田　茂3	東京	文官	民自党 自由党	1949. 2
51	吉田　茂4	東京	文官	自由党	1952.10
52	吉田　茂5	東京	文官	自由党	1953. 5
53	鳩山一郎	東京	文官	民主党	1954.12
54	鳩山一郎2	東京	文官	民主党	1955. 3
55	鳩山一郎3	東京	文官	自由民主党	1955.11
56	石橋湛山	静岡	文官	自由民主党	1956.12
57	岸　信介	山口	文官	自由民主党	1957. 2
58	岸　信介2	山口	文官	自由民主党	1958. 6
59	池田勇人	広島	文官	自由民主党	1960. 7
60	池田勇人2	広島	文官	自由民主党	1960.12
61	〃　3	〃	〃	〃	1963.12
62	佐藤栄作	山口	〃	〃	1964.11

索　引

索　　引

——人　名——

【し】

【す】

【み】

【む】

【め】

【も】

【や】

—事　項—

【お】

【か】

【し】

【す】

【せ】

【そ】

【ひ】

【ふ】

【へ】

【ほ】

N. D. C. 分類番号 210
B 40 判　総ページ 240

地図対照 日本史年表 改訂版

定価 260 円

昭和 37 年 12 年 1 日　初版発行
昭和 41 年 8 月 10 日　12 版発行
昭和 41 年 11 月 1 日　改訂初版発行

編　者　三省堂編修所

発行者　株式会社 三省堂
代表者　小倉正風

東京都千代田区神田神保町1の1
発行所　株式会社 三省堂
電話東京 (293) 3441 (大代表)
振替口座 東京 54300

(改訂日本史年表)

世界史

世紀	西洋	インド	中国	朝鮮	世界の歩み
B.C. 30					人類の発生 文明発祥
10	古代社会 エーゲ文明 メソポタミア文明 エジプト文明	アーリア人の侵入	夏？ 殷		27C ピラミッド時代 17C ハムラビ法典
5	ギリシア ペルシア	マガダ国等十六国 シスナガ朝	犬戎 周 春秋	箕氏朝鮮	594 ソロンの改革 522 ダリウス大王即位 5C 釈迦、仏教をはじむ 孔子活躍,ペリクレス時代
4		ナンダ朝	匈奴 戦国		334 アレクサンダー大王遠征開始
3	マケドニア、ローマ	マウルア朝	秦		261 アショカ王、インド統一 221 秦始皇帝、中国統一
2		シュンガ アーンドラ朝	前漢	衛氏朝鮮	141 前漢武帝即位
1		カーンバ	新	楽浪郡等設置	53 カエザルのガリア遠征 30 ローマ地中海世界征覇
A.D. 1		クシャナ朝	後漢		30 このころ,キリスト刑死
2		分立	鮮卑		105 蔡倫、紙を発明 140 このころ,カニシカ王即位
3			三国 西晋 六朝時代		226 ササン朝ペルシア建国
4			柔然 五胡 東晋	高句麗	313 ミラノ勅令でキリスト教公認 375 ゲルマン民族大移動
5	フランク	グプタ朝	北朝 南朝		486 フランク王国建設
6			突厥		533 ローマ法大全なる 589 隋、中国を統一

略年表

世紀	西洋	インド	中国	朝鮮	世界の歩み
7	封建社会（ドイツ・イタリア・フランス）	ハルシア朝 諸勢力分立	突厥 隋 唐	新羅	618 唐成立 622 ヘジラ 661 ウマイア朝成立
8			渤海 唐		750 アッバス朝成立 755 安史の乱
9					828 イングランド王国成立 842 フランク王国三分す
10		ガズニ朝	契丹(遼) 五代	高麗	907 唐滅亡 962 神聖ローマ帝国成立
11			北宋		1037 セルジュク－トルコ成立 1069 王安石の新法 1096 第一回十字軍
12	中央集権化	ゴール	金 南宋		1127 南宋成立 1198 インノケンチウス三世(法王)
13		パタン王国 (デリーのスルタン政権)	蒙古(元)		1215 マグナ－カルタ 1265 イギリス国会開設 1299 オスマン－トルコ成立
14	ルネサンス		明	李氏朝鮮	1339 百年戦争おこる 1356 金印勅書発布
15	絶対主義				1453 東ローマ帝国滅亡 1492 コロンブス,新大陸発見
16	近代社会 市民革命	ムガール帝国			1517 ルターの宗教改革 1556 アクバル大帝即位 1588 無敵艦隊破る
17	産業革命		清		1618 三十年戦争おこる 1642 ピューリタン革命 1673 三藩の乱
18	帝国主義				1701 スペイン継承戦争 1776 アメリカ独立革命 1789 フランス革命
19		イギリス統治 インド帝国			1806 大陸封鎖令 1840 アヘン戦争(～42) 1861 南北戦争(～65)
20	現代 民主主義	パキスタン インド連邦	モンゴル 中華民国 中華人民共和国	日本統治 朝鮮 大韓	1911 辛亥革命 1914 第一次世界大戦(～18) 1917 ロシア革命 1939 第二次世界大戦(～45)

¥260